

- 煙地帯総合整備事業（担い手育成型）城久地区に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 -

（13）

城久遺跡群

ハンタクチ
半田口遺跡

城
久
田
口
遺
跡
群



二〇一三年三月

喜界町教育委員会

2013年3月

喜界町教育委員会



半田口遺跡土坑墓出土遺物

序 文

この報告書は、平成 19・20 年度に実施した半田口遺跡埋蔵文化財発掘調査の成果をまとめたものです。

畑地帯総合整備（担い手育成型）事業城久地区に伴い発掘調査を実施し、掘立柱建物跡 97 棟、土坑墓が 5 基などが発見されました。中には城久遺跡群では本遺跡だけとなる古代の遺物のみが出土する土坑も発見されています。また、出土遺物は城久遺跡群の他の遺跡と同様に多くが中国・韓国・日本本土などの島外産で占められ、東シナ海を取り巻く活発な交易があつたことをうかがわせます。

今回の発掘調査報告書によって、喜界町民はもとより、多くの方々が半田口遺跡について御理解いただくとともに、今後とも広く文化財の保護に御理解と御協力をいただくことができましたら幸いです。

おわりに、発掘調査やその後の整理作業に従事していただいた町民の皆様はじめ、発掘調査から報告書作成にいたるまで、御指導・御協力いただきました鹿児島県教育庁文化財課、県立埋蔵文化財センター、その他関係機関の方々に対し、深く感謝の意を表しますとともににお礼申し上げます。

平成 25 年 3 月

喜界町教育委員会

教育長 晴永 清道

報告書抄録



第1図 城久遺跡群位置図

例　　言

- 1 本報告書は、畠地帯総合整備事業（担い手育成型）城久地区に伴う半田口遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 発掘調査は主に平成 19・20 年度に喜界町教育委員会が鹿児島県農政部農地整備課（大島支庁喜界事務所農村整備係）の受託事業として、鹿児島県教育庁文化財課・鹿児島県立埋蔵文化財センターの指導・支援のもとに実施した。
- 3 整理作業及び報告書作成は、喜界町教育委員会が主に平成 24 年度事業として鹿児島県教育庁文化財課・鹿児島県立埋蔵文化財センターの指導・支援のもとに実施した。
- 4 本書に用いたレベル数値は、海拔絶対高による。
- 5 遺物番号は全て通し番号とし、本文及び挿図、図版番号とも一致する。
- 6 遺構・遺物の縮尺はそれぞれの挿図内に提示してある。遺構は 10 分の 1 もしくは 60 分の 1、遺物は 3 分の 1 を基本とする。
- 7 発掘調査（当時）については東京大学大学院情報学環教授石上英一氏、熊本大学教授甲元眞之氏、熊本大学教授木下尚子氏、鹿児島女子短期大学准教授竹中正巳氏などの指導を受けた。整理作業については、東京大学総合研究博物館教授米田穰氏、愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター所長村上恭通氏、ラ・サール高校教諭永山修一氏などの指導を受けた。遺物俯瞰写真の撮影については鹿児島県立埋蔵文化財センター西園勝彦氏の協力を得て行った。また、鹿児島女子短期大学の竹中正巳氏・下野真利子氏に人骨の形質学的分析を委託した。
- 8 本書の執筆編集は野崎、松原、澄田が担当した。
- 9 出土した遺物は喜界町教育委員会で保管し、展示・活用する計画である。

目 次

卷頭カラー	第V章 半田口遺跡 発掘調査の成果
序文	第1節 遺跡 1 本調査.....12 (1)A地区.....12 (2)B地区.....31 (3)C地区.....65 (4)D地区.....95 (5)E地区.....117
報告書抄録	
遺跡位置図	
例言	
第I章 調査の経過	第VI章 半田口遺跡 自然分析
第1節 調査に至るまでの経緯.....1	第1節 鹿児島県喜界町城久遺跡群半田口遺跡 出土の人骨.....128
第2節 調査の組織.....1	第2節 半田口遺跡出土炭化物の放射性炭素年代測定(AMS法) 及び樹種同定.....130
第3節 遺跡調査の経過.....3	
第II章 遺跡の位置と環境	第VII章 半田口遺跡基礎資料134
第1節 地理的環境.....4	
第2節 歴史的環境.....4	第VIII章 総括181
第III章 城久遺跡群の調査概要	写真図版
第1節 調査の進捗状況.....7	
第2節 調査の成果.....7	
第IV章 調査の概要	
第1節 発掘調査の方法.....11	
第2節 発見された遺構・遺物.....11	
第3節 基本層位.....11	

挿 図 目 次

第1図 城久道路群位置図	52
第2図 主な島内道路位置図	53
第3図 城久道路群位置図	53
第4図 幸田口道路調査状況	53
第5図 幸田口道路本調査範囲	53
第6図 A地区詳細図1	54
第7図 A地区詳細図2	56
第8図 挿立柱建物跡1号	56
第9図 挿立柱建物跡2号	57
第10図 挿立柱建物跡3号	57
第11図 挿立柱建物跡4号	58
第12図 挿立柱建物跡5号	58
第13図 挿立柱建物跡6号	59
第14図 挿立柱建物跡7号	60
第15図 挿立柱建物跡8号	61
第16図 挿立柱建物跡9号	62
第17図 挿立柱建物跡10号	62
第18図 挿立柱建物跡11号	63
第19図 挿立柱建物跡12号	63
第20図 挿立柱建物跡13号	67
第21図 挿立柱建物跡14号	68
第22図 挿立柱建物跡25号(1)	68
第23図 挿立柱建物跡25号(2)	69
第24図 A地区挿立柱建物跡内出土遺物	69
第25図 焙土器1号	70
第26図 焙土器2号	71
第27図 焙土器3号	72
第28図 A地区柱穴内出土遺物1	73
第29図 A地区柱穴内出土遺物2	73
第30図 A地区柱穴内出土遺物3	74
第31図 B地区詳細図	75
第32図 挿立柱建物跡15号	75
第33図 挿立柱建物跡16号	76
第34図 挿立柱建物跡17号	77
第35図 挿立柱建物跡18号	77
第36図 挿立柱建物跡19号	78
第37図 挿立柱建物跡20号	79
第38図 挿立柱建物跡21号	80
第39図 挿立柱建物跡22号	80
第40図 挿立柱建物跡23号	81
第41図 挿立柱建物跡24号	81
第42図 挿立柱建物跡26号(1)	83
第43図 挿立柱建物跡26号(2)	85
第44図 挿立柱建物跡27号(1)	86
第45図 挿立柱建物跡27号(2)	87
第46図 挿立柱建物跡28号	88
第47図 挿立柱建物跡29号	89
第48図 挿立柱建物跡30号	91
第49図 挿立柱建物跡31号	91
第50図 挿立柱建物跡32号	91
第51図 挿立柱建物跡33号	92
第52図 挿立柱建物跡34号	93
第53図 挿立柱建物跡35号	95
第54図 挿立柱建物跡36号	96
第55図 挿立柱建物跡37号	96
第56図 挿立柱建物跡38号	97
第57図 挿立柱建物跡39号	97
第58図 挿立柱建物跡40号	98
第59図 挿立柱建物跡41号	52
第60図 挿立柱建物跡42号	53
第61図 挿立柱建物跡43号	53
第62図 挿立柱建物跡44号	53
第63図 挿立柱建物跡45号	53
第64図 挿立柱建物跡46号	54
第65図 挿立柱建物跡47号	56
第66図 挿立柱建物跡48号	56
第67図 挿立柱建物跡49号	57
第68図 挿立柱建物跡50号	57
第69図 B地区柱穴内出土遺物	58
第70図 土坑1号	59
第71図 土坑2号(1)	60
第72図 土坑2号(2)	61
第73図 土坑3号	62
第74図 B地区柱穴内出土遺物	63
第75図 C地区詳細図	65
第76図 挿立柱建物跡51号	66
第77図 挿立柱建物跡52号	66
第78図 挿立柱建物跡53号	67
第79図 挿立柱建物跡54号	68
第80図 挿立柱建物跡55号	68
第81図 挿立柱建物跡56号	69
第82図 挿立柱建物跡57号	70
第83図 挿立柱建物跡58号	71
第84図 挿立柱建物跡59号	71
第85図 挿立柱建物跡60号	72
第86図 挿立柱建物跡61号	73
第87図 挿立柱建物跡62号	73
第88図 挿立柱建物跡63号	74
第89図 挿立柱建物跡64号	75
第90図 挿立柱建物跡65号	75
第91図 挿立柱建物跡66号	76
第92図 挿立柱建物跡67号	77
第93図 挿立柱建物跡68号	77
第94図 挿立柱建物跡69号(1)	78
第95図 挿立柱建物跡69号(2)	79
第96図 挿立柱建物跡70号	80
第97図 挿立柱建物跡71号	80
第98図 挿立柱建物跡72号	81
第99図 C地区柱穴内出土遺物	83
第100図 土坑1号	85
第101図 土坑2号	86
第102図 土坑4号	87
第103図 土坑5号(1)	88
第104図 土坑5号(2)	89
第105図 地上路4号	91
第106図 地上路5号	91
第107図 地上路6号	91
第108図 地上路7号	91
第109図 地上路7号	92
第110図 C地区柱穴内出土遺物	93
第111図 D地区詳細図	95
第112図 挿立柱建物跡73号	96
第113図 挿立柱建物跡74号	96
第114図 挿立柱建物跡75号	97
第115図 挿立柱建物跡76号	97
第116図 挿立柱建物跡77号	98

第11700 挖立柱建筑物78号	98	第17700 詳細追拂配置1629	175
第11800 挖立柱建筑物79号	100	第17800 詳細追拂配置1630	176
第11900 挖立柱建筑物80号	101	第17900 詳細追拂配置1628	177
第12000 挖立柱建筑物81号	101	第18000 詳細追拂配置1629	178
第12100 挖立柱建筑物82号	102	第18100 詳細追拂配置1630	179
第12200 挖立柱建筑物83号	103	第18200 詳細追拂配置1620	180
第12300 挖立柱建筑物84号	103		
第12400 挖立柱建筑物85号	104		
第12500 挖立柱建筑物86号	105		
第12600 挖立柱建筑物87号	105		
第12700 挖立柱建筑物88号	106		
第12800 挖立柱建筑物89号	106		
第12900 挖立柱建筑物90号	108		
第13000 D地区挖立柱建筑物内出土遺物	108		
第13100 土坑墓3号	109		
第13200 土坑墓4号	110		
第13300 土坑墓5号(1)	111		
第13400 土坑墓5号(2)	112		
第13500 土坑6号	113		
第13600 墓土路8号	114		
第13700 墓土路9号	114		
第13800 墓土路10号	114		
第13900 D地区柱穴内出土遺物	115		
第14000 E地区詳細10	117		
第14100 挖立柱建筑物91号	118		
第14200 挖立柱建筑物92号	119		
第14300 挖立柱建筑物90号	120		
第14400 挖立柱建筑物94号	122		
第14500 挖立柱建筑物95号	123		
第14600 挖立柱建筑物96号	124		
第14700 挖立柱建筑物97号	124		
第14800 E地区柱穴内出土遺物	125		
第14900 E地区柱穴内出土遺物(1)	126		
第15000 E地区柱穴内出土遺物(2)	127		
第15100 青年叔正結果	131		
第15200 詳細追拂配置10(1)	150		
第15300 詳細追拂配置10(2)	151		
第15400 詳細追拂配置10(3)	152		
第15500 詳細追拂配置10(4)	153		
第15600 詳細追拂配置10(5)	154		
第15700 詳細追拂配置10(6)	155		
第15800 詳細追拂配置10(7)	156		
第15900 詳細追拂配置10(8)	157		
第16000 詳細追拂配置10(9)	158		
第16100 詳細追拂配置10(10)	159		
第16200 詳細追拂配置10(11)	160		
第16300 詳細追拂配置10(12)	161		
第16400 詳細追拂配置10(13)	162		
第16500 詳細追拂配置10(14)	163		
第16600 詳細追拂配置10(15)	164		
第16700 詳細追拂配置10(16)	165		
第16800 詳細追拂配置10(17)	166		
第16900 詳細追拂配置10(18)	167		
第17000 詳細追拂配置10(19)	168		
第17100 詳細追拂配置10(20)	169		
第17200 詳細追拂配置10(21)	170		
第17300 詳細追拂配置10(22)	171		
第17400 詳細追拂配置10(23)	172		
第17500 詳細追拂配置10(24)	173		
第17600 詳細追拂配置10(25)	174		

表 目 次

第1表	主島島内遺跡地名表	5	第59表	土坑2号	61
第2表	城久遺跡群発掘調査一覧	8	第60表	土坑3号	62
第3表	擬立柱建物跡1号計測表	17	第61表	B地区柱穴内出土遺物	64
第4表	擬立柱建物跡2号計測表	17	第62表	擬立柱建物跡51号計測表	66
第5表	擬立柱建物跡3号計測表	17	第63表	擬立柱建物跡52号計測表	67
第6表	擬立柱建物跡4号計測表	17	第64表	擬立柱建物跡53号計測表	67
第7表	擬立柱建物跡5号計測表	17	第65表	擬立柱建物跡54号計測表	68
第8表	擬立柱建物跡6号計測表	18	第66表	擬立柱建物跡55号計測表	69
第9表	擬立柱建物跡7号計測表	20	第67表	擬立柱建物跡56号計測表	69
第10表	擬立柱建物跡8号計測表	20	第68表	擬立柱建物跡57号計測表	70
第11表	擬立柱建物跡9号計測表	20	第69表	擬立柱建物跡58号計測表	72
第12表	擬立柱建物跡10号計測表	22	第70表	擬立柱建物跡59号計測表	72
第13表	擬立柱建物跡11号計測表	22	第71表	擬立柱建物跡60号計測表	74
第14表	擬立柱建物跡12号計測表	22	第72表	擬立柱建物跡61号計測表	76
第15表	擬立柱建物跡13号計測表	22	第73表	擬立柱建物跡62号計測表	76
第16表	擬立柱建物跡14号計測表	22	第74表	擬立柱建物跡63号計測表	79
第17表	擬立柱建物跡25号計測表	25	第75表	擬立柱建物跡64号計測表	79
第18表	A地区擬立柱建物跡	25	第76表	擬立柱建物跡65号計測表	79
第19表	A地区柱穴内出土遺物①	30	第77表	擬立柱建物跡66号計測表	79
第20表	A地区柱穴内出土遺物②	30	第78表	擬立柱建物跡67号計測表	79
第21表	A地区柱穴内出土遺物③	30	第79表	擬立柱建物跡68号計測表	79
第22表	擬立柱建物跡15号計測表	33	第80表	擬立柱建物跡69号計測表	81
第23表	擬立柱建物跡16号計測表	33	第81表	擬立柱建物跡70号計測表	82
第24表	擬立柱建物跡17号計測表	35	第82表	擬立柱建物跡71号計測表	82
第25表	擬立柱建物跡18号計測表	35	第83表	擬立柱建物跡72号計測表	82
第26表	擬立柱建物跡19号計測表	35	第84表	C地区擬立柱建物跡内出土遺物	84
第27表	擬立柱建物跡20号計測表	39	第85表	土坑5号出土遺物	90
第28表	擬立柱建物跡21号計測表	39	第86表	C地区包含層出土遺物	94
第29表	擬立柱建物跡22号計測表	39	第87表	C地区柱穴内出土遺物	94
第30表	擬立柱建物跡23号計測表	39	第88表	擬立柱建物跡73号計測表	96
第31表	擬立柱建物跡24号計測表	39	第89表	擬立柱建物跡74号計測表	96
第32表	擬立柱建物跡26号計測表	41	第90表	擬立柱建物跡75号計測表	97
第33表	擬立柱建物跡27号計測表	41	第91表	擬立柱建物跡76号計測表	99
第34表	擬立柱建物跡28号計測表	42	第92表	擬立柱建物跡77号計測表	99
第35表	擬立柱建物跡29号計測表	46	第93表	擬立柱建物跡78号計測表	99
第36表	擬立柱建物跡30号計測表	46	第94表	擬立柱建物跡79号計測表	100
第37表	擬立柱建物跡31号計測表	48	第95表	擬立柱建物跡80号計測表	102
第38表	擬立柱建物跡32号計測表	48	第96表	擬立柱建物跡81号計測表	102
第39表	擬立柱建物跡33号計測表	48	第97表	擬立柱建物跡82号計測表	102
第40表	擬立柱建物跡34号計測表	48	第98表	擬立柱建物跡83号計測表	104
第41表	擬立柱建物跡35号計測表	48	第99表	擬立柱建物跡84号計測表	104
第42表	擬立柱建物跡36号計測表	48	第100表	擬立柱建物跡85号計測表	106
第43表	擬立柱建物跡37号計測表	49	第101表	擬立柱建物跡86号計測表	107
第44表	擬立柱建物跡38号計測表	50	第102表	擬立柱建物跡87号計測表	107
第45表	擬立柱建物跡39号計測表	52	第103表	擬立柱建物跡88号計測表	107
第46表	擬立柱建物跡40号計測表	52	第104表	擬立柱建物跡89号計測表	107
第47表	擬立柱建物跡41号計測表	54	第105表	擬立柱建物跡90号計測表	108
第48表	擬立柱建物跡42号計測表	54	第106表	D地区擬立柱建物跡内出土遺物	108
第49表	擬立柱建物跡43号計測表	55	第107表	土坑墓5号	109
第50表	擬立柱建物跡44号計測表	55	第108表	土坑墓5号	112
第51表	擬立柱建物跡45号計測表	55	第109表	D地区柱穴内出土遺物	116
第52表	擬立柱建物跡46号計測表	55	第110表	擬立柱建物跡91号計測表	118
第53表	擬立柱建物跡47号計測表	55	第111表	擬立柱建物跡92号計測表	121
第54表	擬立柱建物跡48号計測表	55	第112表	擬立柱建物跡93号計測表	121
第55表	擬立柱建物跡49号計測表	55	第113表	擬立柱建物跡94号計測表	121
第56表	擬立柱建物跡50号計測表	57	第114表	擬立柱建物跡95号計測表	122
第57表	B地区擬立柱建物跡内出土遺物	61	第115表	擬立柱建物跡96号計測表	123
第58表	土坑1号	61	第116表	擬立柱建物跡97号計測表	124

第117表 E地区掘立柱建物跡内出土遺物	127	第135表 ピット内出土遺物05	141
第118表 E地区柱穴内出土遺物①	127	第136表 ピット内出土遺物06	141
第119表 E地区柱穴内出土遺物②	127	第137表 ピット内出土遺物07	142
第120表 放射性炭素年代測定および樹種同定結果	131	第138表 ピット内出土遺物08	142
第121表 ピット内出土遺物①	134	第139表 ピット内出土遺物09	143
第122表 ピット内出土遺物②	134	第140表 ピット内出土遺物10	143
第123表 ピット内出土遺物③	135	第141表 ピット内出土遺物11	144
第124表 ピット内出土遺物④	135	第142表 ピット内出土遺物12	144
第125表 ピット内出土遺物⑤	136	第143表 ピット内出土遺物13	145
第126表 ピット内出土遺物⑥	136	第144表 ピット内出土遺物14	145
第127表 ピット内出土遺物⑦	137	第145表 ピット内出土遺物15	146
第128表 ピット内出土遺物⑧	137	第146表 ピット内出土遺物16	146
第129表 ピット内出土遺物⑨	138	第147表 ピット内出土遺物17	147
第130表 ピット内出土遺物⑩	138	第148表 ピット内出土遺物18	147
第131表 ピット内出土遺物⑪	139	第149表 ピット内出土遺物19	148
第132表 ピット内出土遺物⑫	139	第150表 ピット内出土遺物20	148
第133表 ピット内出土遺物⑬	140	第151表 ピット内出土遺物21	149
第134表 ピット内出土遺物⑭	140	第152表 ピット内出土遺物22	149

写 真 図 版 目 次

図版1 道路遺景（東シナ海を望む）	186	図版7 D-E地区遺景	192
土坑墓1号 検出状況	192		
土坑墓4号 半蔵状況	192		
土坑墓4号 人骨検出状況	192		
図版2 A~C地区遺景	187	図版8 土坑墓5号 人骨・副葬品検出状況①	193
F-36EKP281 出土土器	187	土坑墓5号 人骨・副葬品検出状況②	193
G-3IIKP44 遺物検出状況	187	土坑墓5号 人骨検出状況	193
桃土跡1号 半蔵状況	187	土坑墓5号 カムニヤキ検出状況	193
桃土跡2号 半蔵状況	187	土坑墓6号 検出状況	193
図版3 B地区遺構検出状況	188	土坑墓6号 半蔵状況	193
土坑1・2号 検出状況	188	作業風景	193
土坑1号 半蔵状況	188	図版9 A地区柱穴内出土遺物	194
土坑1号 完掘状況	188	図版10 B地区掘立柱建物跡内出土遺物	195
図版4 土坑2号 半蔵状況①	189	B地区柱穴内出土遺物	195
土坑2号 半蔵状況②	189	図版11 C地区掘立柱建物跡内出土遺物	196
土坑2号 半蔵状況③	189	C地区土坑5号出土遺物①	196
土坑3号 検出状況	189	図版12 C地区土坑5号出土遺物②	197
土坑3号 半蔵状況①	189	図版13 C地区包含層出土遺物	198
土坑3号 半蔵状況②	189	C地区柱穴内出土遺物	198
作業風景	189	図版14 D地区土坑3号出土遺物	199
図版5 土坑墓1号 検出状況	190	D地区土坑5号出土遺物	199
土坑墓1号 半蔵状況	190	D地区柱穴内出土遺物	199
土坑墓1号 人骨（黄）検出状況	190	図版15 E地区掘立柱建物跡内出土遺物	200
土坑墓2号 検出状況	190	E地区柱穴内出土遺物	200
土坑墓2号 反対化物+焼けた人骨塊	190		
土坑4号 検出状況	190		
土坑4号 完掘状況	190		
図版6 土坑5号 検出状況	191		
土坑5号 半蔵状況①	191		
土坑5号 半蔵状況②	191		
土坑5号 石灰岩検出状況	191		
土坑5号 完掘状況	191		
土坑墓3号 検出状況	191		
土坑墓3号 副葬品検出状況	191		

第Ⅰ章 調査の経過

第1節 調査に至るまでの経緯

鹿児島県農政部農地整備課（大島支庁喜界事務所土地改良課、以下県農政部）は、大島郡喜界町城久・瀧川地内などにおいて、県営畠地帯総合整備事業（城久地区）を計画し事業区域内の埋蔵文化財の有無について、喜界町教育委員会（以下、町教育委員会）に照会した。

これを受け、鹿児島県立埋蔵文化財センター（以下、県埋蔵文化財センター）と町教育委員会が平成11年に分布調査を実施したところ、事業区域内に複数の遺物散布地（山田中西遺跡、前畑遺跡、半田口遺跡など）が確認された。

この分布調査の結果をもとに、県農政部、鹿児島県教育厅文化財課（以下、県文化財課）、町教育委員会は、埋蔵文化財の保護と事業の調整を図るために協議を行った結果、半田口遺跡について事業着手前に埋蔵文化財確認調査（以下、確認調査）を実施することとなった。確認調査は、町教育委員会が調査主体となり、平成15年2月から平成18年2月に実施した。調査の結果、約30,000m²の範囲で中世の時期のものと考えられる遺構・遺物を確認した。

この結果をもとに、再度県農政部、県文化財課、町教育委員会は、埋蔵文化財の保護と事業の調整を図るために協議を行い、遺跡の現状保存が困難であることから記録保存を目的とした本調査を実施することとなった。

発掘調査は、町教育委員会が調査主体となり、県埋蔵文化財センターの支援を受け、平成19年4月から平成21年3月まで実施した。

発掘調査を進める段階で掘立柱建物跡が集中して検出された。これまでに、規格性の高い建物跡が集中し、盛土工法で保存がはかられた山田半田遺跡とも隣接することから、これら部分が城久遺跡群の重要な区域である可能性が高いということで県農政部、喜界町産業振興課、町教育委員会は埋蔵文化財の保護と事業の調整を図るために協議を行った結果、半田口遺跡の概ね東側半分の区域を盛土工法で保存することとなった。

第2節 調査の組織

平成14年度 確認調査

事業主体者 鹿児島県農政部農地整備課

（大島支庁喜界事務所土地改良課）

調査主体者 喜界町教育委員会

企画・調整 喜界町教育委員会生涯学習課

調査責任者

喜界町教育委員会 教育長

平 義哉

調査企画者

喜界町教育委員会社会教育課長

福岡 功彦

* 課長補佐

益 一幸

* 派遣社会教育主事

上原 一宏

調査・事務等担当者

喜界町教育委員会社会教育課主査

澄田 直敏

調査指導者

鹿児島県教育厅文化財課

堂込 秀人

平成15年度 確認調査

事業主体者 鹿児島県農政部農地整備課

（大島支庁喜界事務所土地改良課）

調査主体者 喜界町教育委員会

企画・調整 喜界町教育委員会生涯学習課

調査責任者

喜界町教育委員会 教育長

平 義哉

調査企画者

喜界町教育委員会社会教育課長

福岡 功彦

* 課長補佐

益 一幸

* 派遣社会教育主事

上原 一宏

調査・事務等担当者

喜界町教育委員会社会教育課主査

澄田 直敏

調査指導者

鹿児島県埋蔵文化財センター

文化財研究員

黒川 忠広

平成16年度 確認調査

事業主体者 鹿児島県農政部農地整備課

（大島支庁喜界事務所土地改良課）

調査主体者 喜界町教育委員会

企画・調整 喜界町教育委員会生涯学習課

調査責任者

喜界町教育委員会 教育長

平 義哉

調査企画者

喜界町教育委員会生涯学習課長

嘉 重久

* 課長補佐

福井長治郎

喜界町教育委員会生涯学習課係長	岩松 利和	喜界町教育委員会生涯学習課主任	竹内 功
派遣社会教育主事	中尾 奨	調査指導者	
調査・事務等担当者		東京大学資料編纂所教授	石上 英一
喜界町教育委員会中央公民館主査	澄田 直敏	福岡市教育委員会	
調査指導者		埋蔵文化財調査員	田中 克子
鹿児島県埋蔵文化財センター		熊本大学教授	木下 尚子
文化財研究員	横手浩二郎	鹿児島女子短期大学准教授	竹中 正巳
		伊仙町教育委員会	
		社会教育課学芸員	新里 亮人
平成17年度 確認調査		琉球大学教授	池田 重史
事業主体者 鹿児島県農政部農地整備課		鹿児島県教育庁文化財課	
(大島支庁喜界事務所土地改良課)		文化財主事	堂込 秀人
調査主体者 喜界町教育委員会		鹿児島県立埋蔵文化財センター	
企画・調整 喜界町教育委員会生涯学習課		次長	新東 晃一
調査責任者		鹿児島県立埋蔵文化財センター	
喜界町教育委員会 教育長	晴水 清道	文化財研究員	西園 勝彦
調査企画者		鹿児島県立埋蔵文化財センター	
喜界町教育委員会生涯学習課長	嘉 重久	文化財研究員	川口 雅之
* 課長補佐	持 勇	鹿児島県立埋蔵文化財センター	
* 係長	岩松 利和	文化財研究員	馬龍 亮道
* 派遣社会教育主事	中尾 奨	文化財研究員	
調査担当者		平成20年度 本調査	
喜界町教育委員会中央公民館主査	澄田 直敏	事業主体者 鹿児島県農政部農地整備課	
* 埋蔵文化財調査員	野崎 拓司	(大島支庁喜界事務所農村整備係)	
事務担当者		調査主体者 喜界町教育委員会	
喜界町教育委員会中央公民館主査	澄田 直敏	企画・調整 喜界町教育委員会生涯学習課	
調査指導者		調査責任者	
文化庁記念物課主任調査官	坂井 秀弥	喜界町教育委員会 教育長	晴水 清道
鹿児島県教育庁文化財課		調査企画者	
文化財研究員	横手浩二郎	喜界町教育委員会生涯学習課長	益 一幸
鹿児島県立埋蔵文化財センター		* 課長補佐	岩松 利和
文化財研究員	川口 雅之	* 主査	竹内 功
平成19年度 本調査		調査担当者	
事業主体者 鹿児島県農政部農地整備課		喜界町教育委員会生涯学習課	
(大島支庁喜界事務所土地改良課)		埋蔵文化財係長	澄田 直敏
調査主体者 喜界町教育委員会		喜界町教育委員会生涯学習課主任	野崎 拓司
企画・調整 喜界町教育委員会生涯学習課		* 埋蔵文化財調査員	後藤 法宣
調査責任者		* 発掘調査補助員	具志堅 亮
喜界町教育委員会 教育長	晴水 清道	事務担当者	
調査企画者		喜界町教育委員会生涯学習課主任	竹内 功
喜界町教育委員会生涯学習課長	益 一幸	調査指導者	
* 課長補佐	岩松 利和	東京大学大学院情報学環教授	石上 英一
* 主査	竹内 功	ラ・サール高等学校教諭	永山 修一
調査担当者		鹿児島女子短期大学准教授	竹中 正巳
喜界町教育委員会生涯学習課		文化財研究員	馬龍 亮道
埋蔵文化財係長	澄田 直敏		
喜界町教育委員会生涯学習課主任	野崎 拓司		
事務担当者			

平成 24 年度 整理作業・報告書刊行

事業主体者	鹿児島県農政部農地整備課 (大島支庁喜界事務所農村整備係)
調査等主体者	喜界町教育委員会
企画・調整	喜界町教育委員会生涯学習課
調査等責任者	
喜界町教育委員会 教育長	晴水 清道
調査等企画者	
喜界町教育委員会生涯学習課長 〃 課長補佐	吉本 実 岩松 利和
調査等担当者	
喜界町教育委員会生涯学習課 埋蔵文化財係長	澄田 直敏
喜界町教育委員会生涯学習課主事 〃	野崎 拓司 松原 信之
調査等指導者	
大学共同利用機関法人 人間文化研究機構理事	石上 英一
東京大学総合研究博物館教授 愛媛大学	米田 稔
東アジア古代鉄文化 研究センター長	村上 勝通
熊本市文化振興課 主査	網田 龍生
鹿児島県教育庁文化財課 文化財主事	中村 和美
鹿児島県教育庁文化財課 文化財主事	馬龍 亮道
鹿児島県立埋蔵文化財センター 文化財研究員	岩永 勇亮

第3節 遺跡調査の経過

1 確認調査（平成 14～17 年度）

平成 15 年 2 月～平成 18 年 2 月まで喜界町教育委員会が調査主体となって確認調査を実施した。

調査は 2m × 5m のトレンチを基本として実施した。その結果、複数のトレンチで中世と考えられる遺構・遺物を確認し、遺構・遺物の出土状況から 30,000m² の範囲に遺跡が残存していると判断した。

2 本調査（平成 19～20 年度）

平成 15 年～18 年度の確認調査の結果を受けて、平成 19 年 4 月から平成 21 年 3 月まで実施した。

調査では、まず調査区域内に 10m × 10m のグリッドを設定し実施した。グリッドは西側から東側方向にローマ数字とひらがなで名称を付け、それに直行する南側から北側方向のグリッドには山田半田遺跡からの続きである 29～44 と呼称した。

発掘調査は、確認調査で得られた資料をもとに、遺構検出

面直上まで（一部の遺物包含層が残る部分はその直上まで）は表土を重機により除去し、その後、作業員を投入して遺物及び遺構の検出作業を行った。

以下、調査の経過については日誌抄にて記載する。

平成 19 年度

4 月 調査開始。機材運搬などの環境整備。重機による表土剥ぎ、グリッドの設定、杭打ち、遺構検出作業などを行う。
5 月～9 月 包含層掘り下げ、遺構検出作業、ピット掘り下げなどを行う。
10 月 包含層掘り下げ、遺構検出作業、ピット掘り下げ、1/50 遺構配置図作成などをを行う。
11 月～12 月 包含層掘り下げ、遺構検出作業、ピット掘り下げ、1/20 遺構配置図作成、1/50 遺構配置図作成などをを行う。

平成 20 年度

1 月～3 月 包含層掘り下げ、遺構検出作業、ピット掘り下げ、1/20 遺構配置図作成。
5 月 トレンチ設定。杭打ち、鍬による表土剥ぎ、遺構検出作業などをを行う。
6 月 遺構検出作業、ピットの掘り下げ、1/20 遺構配置図作成などをを行う。
7 月 包含層掘り下げ、遺構検出作業、ピットの掘り下げ、1/50 遺構配置図作成、遺構のレベル実測、遺構の写真撮影などをを行う。
8 月～10 月 遺構検出作業、包含層掘り下げ、ピット掘り下げ、遺構実測などをを行う。
11 月 ピット掘り下げ、土坑掘り下げ、1/20 遺構配置図作成などをを行う。11 月 22 日、現場説明会をおこなう。同日、鹿児島女子短期大学竹中助教授による土坑墓の実測・人骨の取り上げなどの現地指導。
12 月 包含層掘り下げ、遺構検出作業、ピット掘り下げ、土坑掘り下げ、1/20 遺構配置図作成などをを行う。
2 月 ピット掘り下げ、1/20 遺構配置図作成、1/50 遺構配置図作成などをを行う。
3 月 遺跡の空堀を行う。機材撤収、ブレハブ撤去。

3 整理作業・報告書刊行（平成 24 年度）

整理作業は、平成 24 年度に出土人骨や炭化物の科学分析、遺物の注記・接合・拓本、実測、図面整理・トレースなどの作業を行い、報告書を刊行した。

第Ⅱ章 遺跡の位置と環境

第1節 地理的環境

喜界島は鹿児島県本土から南へ約380km、奄美大島から東へ約25kmの北緯28度19分、東経130度線上の太平洋と東シナ海の洋上に浮かぶ島である。1島で1町をなし、北東～南西方向を長軸に14km、北東部から南西部に向けて次第に島幅を広げ最大幅6.5km、周囲48.6km、面積56.9km²の島である。

概して平坦な隆起珊瑚礁の島で、海岸段丘が形成されている。島内の最高所は、中央東側にある百之台で標高は211mである。この百之台を中心に北西側へは緩やかに傾斜し、広い段丘地形が見られる。これに対して南東部は急峻な200mあまりの崖が切り立ち、海岸線に沿ってわずかな平坦地が見られるだけである。島の大部分が多孔質のサンゴ礁石灰岩に厚く覆われているため、河川の発達は乏しく用水のほとんどは地下水に依存している。

海岸線は掘礁からなっており、砂浜が広がる場所は少なく、また、港として利用できる場所も限られている。代表的な港としては、湧、早町、志戸桶、小野津があり、各集落では港を背に必ず砂丘が形成されている。砂丘上では、縄文時代から近世までの遺物を採取でき、古くから人々の生活が営まれていたことをうかがい知ることができる。

気候は亜熱帯気候で、年平均22.4度と年間を通じて温暖である。年間降雨量は2200mmに達する。島にはガジュマルをはじめとする亜熱帯植物が分布しているが、現在、段丘のほとんどが開墾され、さとうきび畑や牧草地などに利用されている。亜熱帯広葉樹林は段丘の部分でよく観察できる。

本島の基盤をなしているのは、未凝固のシルト～泥層および凝灰質砂泥の互層から構成される新生代新第三紀鮮新世の島尻層で、琉球石灰岩や隆起サンゴ石灰岩、砂丘などが上層を形成している。石灰岩の上には風化土である暗赤褐色土壤(マージ)が島の大部分を覆っている。

大ウフ・半田遺跡は、島内でもっとも標高の高い城久集落を取り巻く8遺跡の総称である城久遺跡群の一つである。遺跡群は喜界島の中央部の標高90mから160mの海岸段丘上に立地している。島内の段丘は、巨視的に見て4段あり、遺跡群は2番目に標高の高い中位段丘の縁辺部に展開しており、天気の良い日には奄美大島が一望できる。大ウフ遺跡の標高は約110m～120m前後であり、半田遺跡の標高は約100m～110mである。遺跡周辺には河川はないが、近くに湧水点がいくつか点在する。また、滝川集落内には、島内でも有数の湧水量を誇る滝川の泉がある。これらの湧水は崖下にあることが多く、島尻層と琉球石灰岩の不整合面から湧き出すと言われている。

第2節 歴史的環境

喜界島における考古学的研究は、戦前は昭和6年の重野豈吉による荒木貝塚の発見に始まり、三宅宗悦による鷲貝塚・手久津久貝塚の報告がある。戦後においては、昭和30年代に九学会連共同調査委員会考古学班による分布調査が行われ、荒木農道貝塚、荒木小学校貝塚、湧天神貝塚、伊実久戦鳥神社貝塚、七城などが紹介されている。

島内で一番古い遺跡は縄文時代のものであり、大多数の遺跡が古代・中世期に属している。また、中世における源氏や平家にまつわる伝承や地名が数多く残っていることも1つの特徴である。

以下、喜界町の主な遺跡を時代ごとに記述したい。

1 縄文時代

島内でもっとも古い縄文時代の遺跡は、昭和47年に発見された総合グランド遺跡である。遺跡からは面縄東洞式や嘉徳I式・嘉徳II式など、縄文時代後期を示す遺物が主に発見されていたが、平成13年に総合グランドから約300m南にある砂を採取した跡地の斜面に3層の貝層が露出し、その下層からほぼ完形に近い2つの砲弾型をした土器が見つかった。

土器に付着していた炭化物から求めた放射性炭素年代値が $6998 \pm 32\text{yr.B.P}$ という数値であり、沖縄貝塚時代早期に相当する可能性が指摘された。土器の見つかった貝層は、面縄東洞式などを出土していた砂丘よりさらに内陸側にあり、砂丘の形成上からも古い可能性が高く、遺跡の範囲確認と共に他の遺物などのさらなる検討が必要となってきている。

また、昭和27年に県立喜界高等学校校庭拡張工事に伴って出土した土器は、赤連系土器と名付けられ、縄文時代前期と考えられている。

縄文時代晚期の遺跡としては、昭和61年に熊本大学による発掘調査で面縄西洞式や喜念I式などの土器と共に堅穴住居跡11基が確認されたハンタ遺跡や、平成16年に喜界町役場新庁舎工事に伴って発掘調査された見付山遺跡などがある。

2 弥生時代～古墳時代平行期

弥生時代の遺跡は、発掘調査は行われていないが分布調査などで荒木小学校遺跡などの遺跡が確認されている。

古墳時代平行期の遺跡は、昭和61年度に鹿児島県教育庁文化課による先山遺跡の発掘調査が実施され、豪久式土器や貝斧などが報告されている。その他の古墳時代平行期の遺跡として中里貝塚などの約20遺跡が確認されているが、喜界島においての弥生時代～古墳時代平行期の様相は依然不明のままである。

3 古代・中世

古代・中世の遺跡は、昭和 63 年に島中 B 遺跡、平成 4 年にオン煙、卷烟 B・卷烟 C 遺跡、平成 5 年に前ヤ遺跡、平成 6 年に提リ遺跡、平成 18 年に和早地遺跡・荒木貝塚などの発掘調査が実施されている。各調査とも小規模な試掘調査であるが、重要な成果が得られている。本書で報告する大ウフ遺跡を含む城久遺跡群も古代末から中世前期の遺跡である。

平成 21 年度からは、県営畑地帯統合整備事業（手久津久地区）に伴う調査を行っており、新たに 4 遺跡を確認している。これらは、城久遺跡群の前後段階に相当する遺跡群と見られ、城久遺跡群の評価を考える上で重要であると考えられる。

参考・引用文献

喜界町 2000 「喜界町誌」

喜界町教育委員会 1987 「先山遺跡」 喜界町埋蔵文化財発掘報告書(1)

喜界町教育委員会 1987 「ハンタ遺跡」 喜界町埋蔵文化財発掘報告書(2)

喜界町教育委員会 1989 「島中 B 遺跡」 喜界町埋蔵文化財発掘報告書(3)

第1表 主な島内遺跡地名表

番号	遺跡名	所在地	地形	時代	主な遺構・遺物	備考
1	城久遺跡群	喜界町城久はか	海岸段丘	古代～中世	擬立柱建物跡、土竪墓、印跡、土師器、須恵器、繩文灰陶器、布目瓦、粗土器、灰陶陶器、白磁、初期高麗青磁、朝鮮系無釉陶器、サムィヤキ、滑石製石鍋、青磁、銅製品、貝製品、輪の羽口、ガラス玉ほか	平成 14・15・17・18・19・20 年度調査、平成 14・15・16・17・18・19・20 年度調査
2	赤連	喜界町赤連	海岸段丘	縄文	小連式土器	現葬界高校
3	清天井	喜界町清	海岸段丘	縄文	土器、石器、貝製品、魚骨	
4	組合グラウンド	喜界町清	砂丘	縄文	土器、石器、貝、魚骨	
5	平ク	喜界町清	海岸段丘	縄文		削平により消失した可能性
6	荒木貝塚	喜界町荒木	机地	縄文	石器、貝	
7	光山	喜界町浦原	海岸段丘	縄文～近世	田園前紀式、兼久式土器、石器、貝、紙骨	昭和 61 年度調査
8	平家森	喜界町早町	山麓	中世	規模・形狀: 300 × 200 複数	
9	後田	喜界町福通	海岸段丘			削平により消失した可能性
10	水口	喜界町福通	海岸段丘			削平により消失した可能性
11	櫛り	喜界町福通	海岸段丘	古代～中世	須恵器、サムィヤキ、白磁、青磁、滑石製石鍋、石器、紙骨	平成 6 年度調査
12	七城	喜界町吉川橋	台地	中世	規模・形狀: 200 × 200 複数	
13	オン烟	喜界町野下津	海岸段丘	古代～近世	擬立柱建物跡、印跡、漢状遺跡、サムィヤキ、鐵滓	平成 4 年度調査
14	卷烟 C	喜界町野下津	海岸段丘	古代～中世	土器、サムィヤキ、滑石製石鍋	平成 4 年度調査
15	卷烟 B	喜界町野下津	海岸段丘	古代～中世	土器器、須恵器、滑石製石鍋、輪の羽口、鐵滓	平成 4 年度調査
16	ハンタ	喜界町西日	海岸段丘	縄文	住居跡群、かまと状遺構、字御上勞式土器、土製品、石器、カムィヤキ、青磁	昭和 61 年度調査
17	前ヤ	喜界町島中	海岸段丘	古墳～中世	青磁、カムィヤキ	平成 5 年度調査
18	ウ川田	喜界町島中	海岸段丘	縄文～中世	土器、土師器、白磁、青磁、サムィヤキ、滑石製石鍋、染付	平成 5 年度調査
19	上田	喜界町島中	海岸段丘	縄文～中世	柱穴、土器、青磁、カムィヤキ	平成 5 年度調査
20	向田	喜界町島中	海岸段丘	縄文～中世	土器、土師器、白磁、青磁、サムィヤキ、滑石製石鍋、染付	平成 5 年度調査
21	島中 B	喜界町島中	海岸段丘	古代～近世	土器、内墨上土器、須恵器、白磁、青磁、輪の羽口、铁滓、石器、魚骨、紙骨、染付、龍掌燒	昭和 61 年度調査
22	和早地	喜界町荒木	海岸段丘	縄文～近代	田園前紀式、嘉德式、後奈良系青磁、白磁、铁器、輪の羽口、铁滓、石器、鱼骨、染付、龍掌燒	平成 18 年度調査

- 喜界町教育委員会 1989 「島中 B 遺跡 II」 喜界町埋蔵文化財発掘報告書(4)
- 喜界町教育委員会 2006 「山田中西遺跡 I」 喜界町埋蔵文化財発掘報告書(8)
- 喜界町教育委員会 2008 「山田中西遺跡 II」 喜界町埋蔵文化財発掘報告書(9)
- 喜界町教育委員会 2009 「山田半田遺跡」 喜界町埋蔵文化財発掘報告書(00)
- 喜界町教育委員会 2011 「前畠・小ハネ遺跡」 喜界町埋蔵文化財発掘報告書(11)
- 鹿児島県埋蔵文化財センター 2008 「荒木貝塚・和早地遺跡」 鹿児島県埋蔵文化財センター発掘報告書(119)
- 澄田直敏・堂込秀人・池畠耕一 2003 「喜界町組合グラウンド遺跡（弓道場）出土の土器」『鹿児島考古』第 37 号
- 鹿児島県考古学会
- 太田陽子 1978 「琉球列島喜界島の完新世海成段丘」 地理学評論
- 町田洋一・江波戸昭 1969 「薩南諸島の総合的研究」平山輝男編 第 1 編 地理的環境 明治書院
- 貝塚爽平はか編「4. 西南諸島」「日本の地形」



第2図 主な島内遺跡位置図

第Ⅲ章 城久遺跡群の調査概要

第1節 調査の進捗状況

城久遺跡群の発掘調査は、平成14年度の山田中西遺跡・山田半田遺跡を皮切りに本調査と確認調査を並行して行っている。本調査は山田中西遺跡を平成15・16年度に実施し、平成16・17年度と平成19年度に山田半田遺跡、平成18年度に小ハネ・前畠・半田遺跡、平成19年度と平成20年度に山田半田・半田口・大ウフ遺跡の本調査を行っている。

平成15年度以降に数次にわたって実施した確認調査を実施した。これらの調査によって、小ハネ・前畠・大ウフ・半田遺跡で古代～中世の遺構・遺物を確認し、赤道遺跡を含む8遺跡全体の総面積が約130,000m²に及ぶことが明らかとなつた。これにより、現在の城久集落を中心に展開するそれぞれの遺跡を城久遺跡群として位置づけ、一連のものとしてとらえるとともに、本調査を実施している山田中西・山田半田遺跡などで南西諸島では初見となる重要な遺構・遺物が検出されていることから、遺跡の取り扱いについては保存も視野に入れながら開発との調整を行っていく必要が生じてきた。

このため、町教育委員会では平成17年7月と平成18年2月に確認調査を実施したが、保存する地区とそれ以外の地区を分けるにはさらなる情報の蓄積が必要という結果であった。このような状況の中、平成18年～平成20年にかけて、城久遺跡群の詳細な内容把握と範囲確認のために文化庁の国庫補助事業を活用し、さらなる情報収集に努めている。

このように度重なる確認調査で一定の成果も上がってきていている。それは城久遺跡群のうち山田半田遺跡の掘立柱建物跡集中箇所や前畠遺跡の石敷遺構が確認された箇所などより重要な遺構などが確認された箇所を開発部局や地元農家の理解が得られ工法を盛土工法に変更し現状保存の対策がとれた箇所も出てきている。その面積は、約6,000m²である。

第2節 調査の成果

これまでの発掘調査では、古代～中世の遺構・遺物が多数確認され、南西諸島では他に類を見ない大規模な集落跡であることがわかってきてると同時に、出土した遺物群は非在地的な様相が強いという特徴がある。最も古い遺物は、山田半田遺跡で出土した8世紀代の須恵器の蓋であるが、出土数が少ない上に同時期の遺物は他になく、その様相は判然としない。

山田中西・山田半田・半田口・小ハネ・前畠・大ウフ遺跡からは9・10世紀頃の遺物と11世紀後半～12世紀頃の遺物、13・14世紀頃の遺物が出土しているが、中でも11世紀後半～12世紀頃の遺物が圧倒的多数を占める。ただし、城久遺跡群の中でも最も標高の低い大ウフ・半田遺跡では11世紀後半～14世紀頃に位置づけられる遺物が確認されており、その中でも標高の低い範囲には13・14世紀頃の遺物が多い傾向にある。遺跡群全体を見ると出土した遺物からは9

世紀頃～14世紀頃までの時間幅が与えられるが、9・10世紀頃と11世紀後半～12世紀頃、13・14世紀頃の3時期にピークがあると思われる。

以下、各遺跡について概略を述べる。

(1) 山田中西遺跡

平成14年度に確認調査、平成15・16年度に本調査を実施した。調査面積は約6,000m²である。掘立柱建物跡を約41棟を復元し、土坑墓10基、炉跡3基、土坑3基、溝状遺構2条などを検出している。出土遺物は土師器・須恵器・越州窯系青磁・布目圧痕土器・白磁・初期高麗青磁・朝鮮系無釉陶器・カムイヤキ・滑石製石鍋・滑石混入土器・青磁・刀子・繩の羽口・鉄滓・石器などが出土しているが、中世の傾向を示すものが多い傾向にある。

(2) 山田半田遺跡

平成14・15年度に確認調査、平成16・17・19年度に本調査を実施し、平成20年度も一部調査を実施した。調査面積は約18,000m²である。掘立柱建物跡は113棟復元し、土坑墓8基、炉跡3基、土坑10基、焼土を伴う土坑20基、溝状遺構2条、柱穴5,000基などの遺構のほか、土師器・須恵器・兼久式土器・越州窯系青磁・布目圧痕土器・灰釉陶器・白磁・青磁・初期高麗青磁・朝鮮系無釉陶器・カムイヤキ・滑石製石鍋・滑石混入土器・鉄製品・繩の羽口・石器などが出土している。建物には奄美地域特有の1間×1間、1間×2間の掘立柱建物跡も多く見られる。前者には柱穴直径が1.2mと大きく、しかもその四方を30本の柱穴によって囲む特殊な構造のものが1棟確認されている。さらに、柱穴直径が50cmを超える2間×2間の純柱の建物跡や2間×3間の掘立柱建物跡の四方に計34本の柱穴を配置する大型の建物がある。

(3) 半田口遺跡

平成15～18年度に確認調査が実施されている。平成19年～20年度に約15,000m²の本調査を実施し、掘立柱建物跡は97棟復元し、土坑墓・溝状遺構・土坑などの遺構のほか、土師器・須恵器・越州窯系青磁・白磁・青磁・カムイヤキ・滑石製石鍋・滑石混入土器・カムイヤキ・繩の羽口・石器などの遺物が出土している。

(4) 小ハネ遺跡

平成17年度に確認調査が実施し、平成18年度に本調査を実施している。調査面積は7,000m²。掘立柱建物跡を33棟復元し、土坑墓6基を検出している。また、炉跡6基などの遺構のほか、土師器・須恵器・越州窯系青磁・布目圧痕土器・白磁・青磁・初期高麗青磁・カムイヤキ・滑石製石鍋・滑石混入土器・繩の羽口・石器などの遺物が出土している。

(5) 前畠遺跡

平成 17 年度に確認調査を実施し、平成 18 年度に本調査を実施している。調査面積は 7,000m²である。柱穴跡約 4,000 基を検出し、掘立柱建物跡を 110 棟復元している。土坑墓では、火葬墓 2 基・土葬墓 6 基を検出している。また、炉跡 3 基、石敷道構などを確認している。遺物としては土器器・須恵器・越州窯系青磁・布日庄痕土器・兼久式土器・白磁・青磁・初期高麗青磁・朝鮮系無釉陶器・カムイヤキ・滑石製石鍋・滑石混入土器・繩の羽口・砂鉄・石器などが出土している。なお、砂鉄は包含層中から出土している。

(6) 大ウツ遺跡

平成 16・17 年度に確認調査を実施し、平成 19 年～21 年に約 11,500m²の本調査を実施した。

掘立柱建物跡を 85 棟復元しており、土坑墓・柱穴列・溝状道構などのほか、焼土跡を検出した。土器器・須恵器・越州窯系青磁・白磁・カムイヤキ・滑石製石鍋・龍泉窯系青磁・

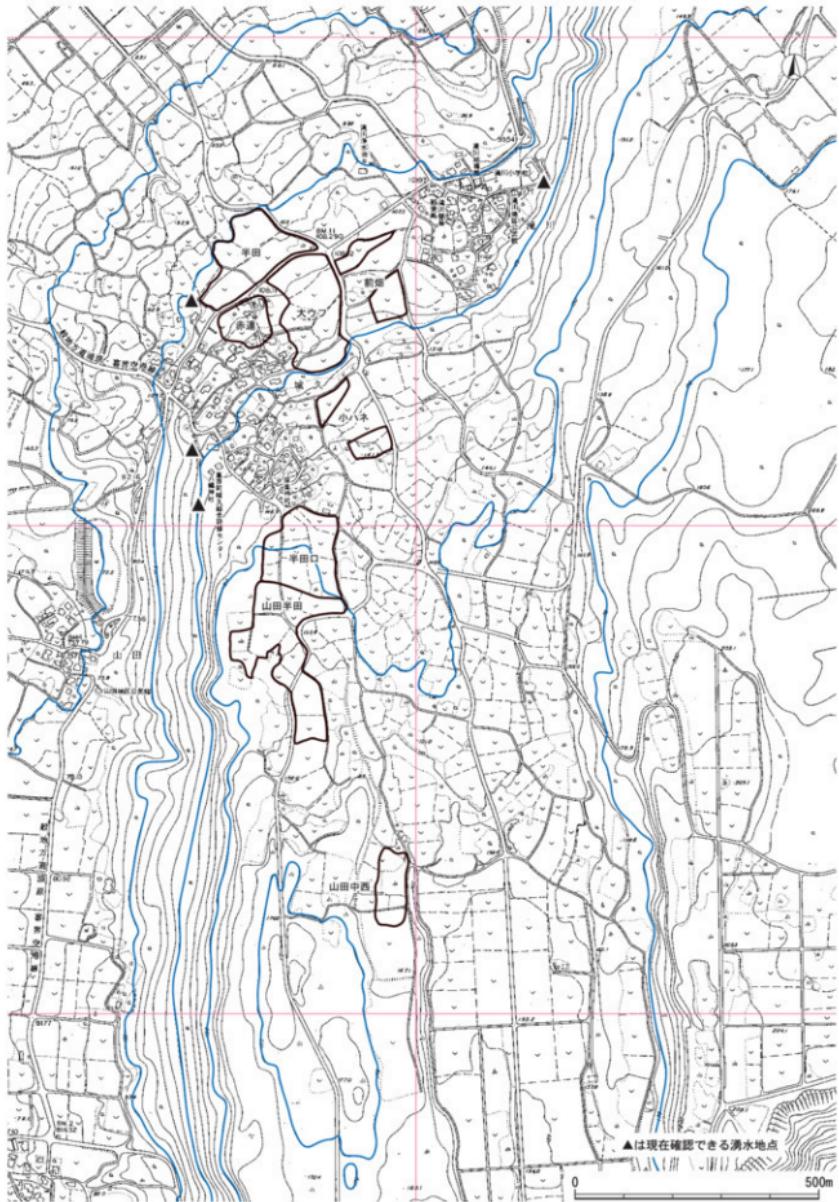
繩の羽口・砂鉄・鉄滓などの遺物が出土している。また、砂鉄を集積したピット状の土坑を検出している。その他、藏骨器と考えられる須恵器を伴う土坑墓や木棺墓と思われる土坑墓など城久遺跡群で初見となる事例が確認されている。

(7) 半田遺跡

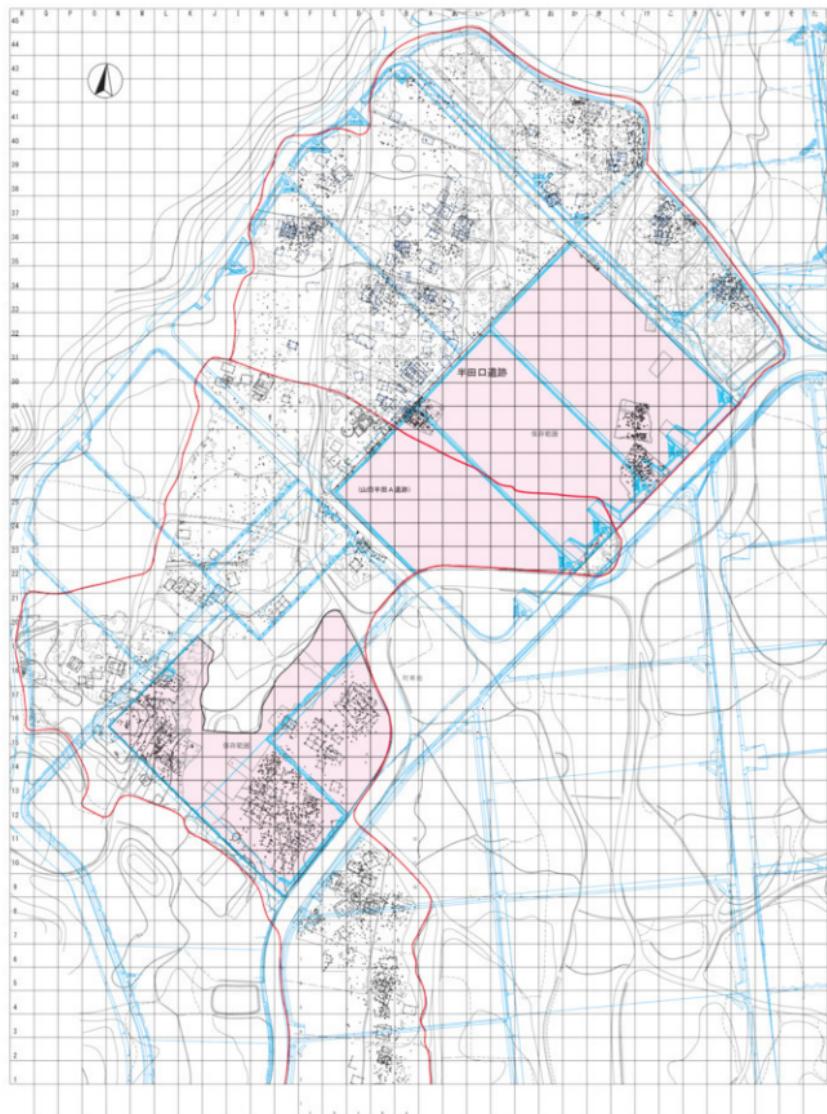
平成 16・17・18 年度に確認調査などを実施し、古代末から中世の土坑墓・溝状道構・土坑・柱穴などの遺構を検出している。土坑墓は 5 基検出し、取り上げた人骨は 9 体を数える（男性 3 名・女性 3 名・乳児 1 名・性別不明 2 名）。今回の報告では、土坑墓 4 基、人骨 5 体分を報告する。土坑墓の形状は、基本的に方形状である。全て土葬で、屈葬の状態で検出している。いずれも明瞭な副葬品は確認できていない。その他のには、越州窯系青磁・兼久式土器・白磁・カムイヤキ・滑石製石鍋・龍泉窯系青磁・ガラス玉などの遺物が出土した。

第 2 表 城久遺跡群発掘調査一覧

遺跡名	調査の種類	調査期間	調査面積	時代	遺構	遺物	調査主体
山田中西	本調査（相）	平成 15 年 5 月～8 月	5,900m ²	古代末～中世	掘立柱建物跡 40、土坑墓 30、炉跡 3(1)、土坑 3、燒土跡 3(2)、溝状道構 2(2)、柱穴跡 7(1)	土器器、須恵器、越州窯系青磁、布日庄痕土器、白磁、初期高麗青磁、朝鮮系無釉陶器、カムイヤキ、滑石製石鍋、滑石混入土器、繩の羽口ほか	町教育委員会
	本調査（通）	平成 15 年 12 月					文化財課・町教育委員会
	本調査（通）	平成 16 年 10 月～12 月					
山田半田	本調査	平成 16 年 5 月～8 月	18,000m ²	古代末～中世	掘立柱建物跡 11(3)、土坑墓 8(8)、炉跡 3(3)、土坑 30、燒土跡 2(2)、柱穴跡 1(1)、溝状道構 2(2)	土器器、須恵器、兼久式土器、越州窯系青磁、布日庄痕土器、灰被、灰塗、須恵陶器、カムイヤキ、滑石製石鍋、滑石混入土器、青磁、鐵製品、銅、ガラス玉、繩の羽口、鐵滓、石器ほか	町教育委員会
	本調査	平成 19 年 5 月～平成 20 年 3 月					
	本調査	平成 20 年 6 月～平成 20 年 10 月					
半田口	確認調査	平成 15 年 2 月、平成 16 年 2 月	2,500m ²	古代末～中世	掘立柱建物跡 40、土坑墓 4(1)、土坑、燒土跡はか	土器器、須恵器、越州窯系青磁、布日庄痕土器、白磁、初期高麗青磁、朝鮮系無釉陶器、カムイヤキ、滑石製石鍋、滑石混入土器、繩の羽口、石器ほか	町教育委員会
	確認調査（国）	平成 16 年 7 月	800m ²				
	本調査	平成 19 年 4 月～平成 20 年 3 月	15,000m ²				
	本調査	平成 20 年 4 月～平成 21 年 3 月					
小ハチ	本調査	平成 18 年 4 月～平成 19 年 3 月	7,900m ²	古代末～中世		土器器、須恵器、越州窯系青磁、布日庄痕土器、白磁、初期高麗青磁、カムイヤキ、滑石製石鍋、滑石混入土器、繩の羽口ほか	町教育委員会
前堀	本調査	平成 18 年 4 月～平成 19 年 3 月	7,900m ²	古代末～中世	掘立柱建物跡 11(1)、土坑墓 3(3)、炉跡 3(3)、石敷道構はか	土器器、須恵器、越州窯系青磁、布日庄痕土器、兼久式土器、白磁、初期高麗青磁、カムイヤキ、滑石製石鍋、滑石混入土器、繩の羽口、鐵滓、砂鉄	町教育委員会
大ウツ	確認調査（相）	平成 16 年 2 月～3 月、平成 17 年 7 月、平成 18 年 2 月	500m ²	古代末～中世	掘立柱建物跡 40、土坑墓 3(3)、燒土跡、柱穴列、溝状道構はか	土器器、須恵器、越州窯系青磁、白磁、朝鮮系無釉陶器、カムイヤキ、滑石製石鍋、龍泉窯系青磁、ガラス玉ほか	町教育委員会
	確認調査（国）	平成 18 年 7 月	700m ²				
	本調査	平成 19 年 8 月	1,000m ²				
	本調査	平成 19 年 4 月～10 月	11,500m ²				
半田	確認調査	平成 17 年 2 月～3 月、4 月～5 月、7 月、平成 18 年 2 月、10 月	1,500m ²	古代末～中世	掘立柱建物跡 3(3)、土坑墓 3(3)、土坑ほか	越州窯系青磁、兼久式土器、白磁、カムイヤキ、滑石製石鍋、龍泉窯系青磁、ガラス玉ほか	町教育委員会
	確認調査（国）	平成 18 年 7 月	400m ²				
	本調査	平成 20 年 7 月	50m ²				
半通	確認調査（国）	平成 20 年 7 月		中世	柱穴	青磁	町教育委員会



第3図 城久遺跡群位置図



第4図 半田口遺跡調査状況(ピンクは盛土範囲)

第IV章 調査の概要

第1節 発掘調査の方法

平成19年度からの本調査は10m間隔の調査用グリッドを設定して実施した。各年度とも伐採などの環境整備を実施した後、重機によって表土を除去し、遺物包含層であるⅡ層を人力で掘り下げ、Ⅲ層上面で遺構検出を行った。検出した遺構については、掘り下げを行い、写真撮影や50分の1や20分の1の遺構配置図、10分の1の個別図の作成などを行った。なお、掘立柱建物跡の復元は、調査現場での復元と整理作業の段階での図上復元両方で行った。発掘調査終了後は、プレハブなどの撤収を終え鹿児島県農政部農地整備課（大島支庁喜界事務所農村整備課）へ調査現場を引き渡した。

第2節 発見された遺構・遺物

調査では、古代末～中世（10世紀～14世紀）の遺構・遺物が発見された。遺構は、掘立柱建物跡97棟、土坑墓5基、焼土跡10基、土坑などを検出した。遺物は土器類・須恵器・兼久式土器・越州窯系青磁・布目庄痕土器・灰釉陶器・白磁・初期高麗青磁・朝鮮系無釉陶器・カムィヤキ・滑石製石鍋・滑石混入器・青磁・ガラス玉・鉄製品・縄の羽口・鉄滓・石器などが出土した。調査成果の詳細については、第V章でふれることとする。なお、陶磁器の分類は太宰府分類を参考にしている。

第3節 基本層位

遺跡の土層は大きく4層に分けることができる。石灰岩の風化土壤であるために堆積は非常に薄く、表土から基盤層までの深度は20cm程度である。

Ⅰ層－灰褐色粘質土で、サトウキビ畑の耕作土として利用されている。

Ⅱ層－硬質の暗褐色粘質土で古代・中世の遺物包含層である。削平されている地点も多い。ほとんどが削平されており、わずかに検出できるのみであった。

Ⅲ層－赤褐色粘質土で一般にマージと呼ばれる遺跡の基盤層である。（一部、細分化できる箇所もある）

Ⅳ層－隆起珊瑚礁である。調査区の至る所に露頭がみられる。

第V章 半田口遺跡 発掘調査の成果

第1節 遺構

1 本調査

半田口遺跡の本調査は数か年に分けて広範囲行っている。そこで本報告では、便宜上 A～E 地区を設けそれぞれについて述べていくこととする。

遺跡全体の状況は、表土及び包含層を除去後、地山面まで掘り下げ遺構の検出を行い、掘立柱建物跡・土坑・焼土跡・溝状遺構などを確認した。

(1) A 地区

A 地区では遺物包含層はほとんど確認できなかった。掘立柱建物跡は地形を考慮して建築されていると見られ、石灰岩が露頭している部分にはほとんどつくられていない。検出したピットは F・G-B36 区に極端に集中していた。また、近世代のカマド跡と見られる痕跡が F・G-36～38 付近まで非常に多く見られた。

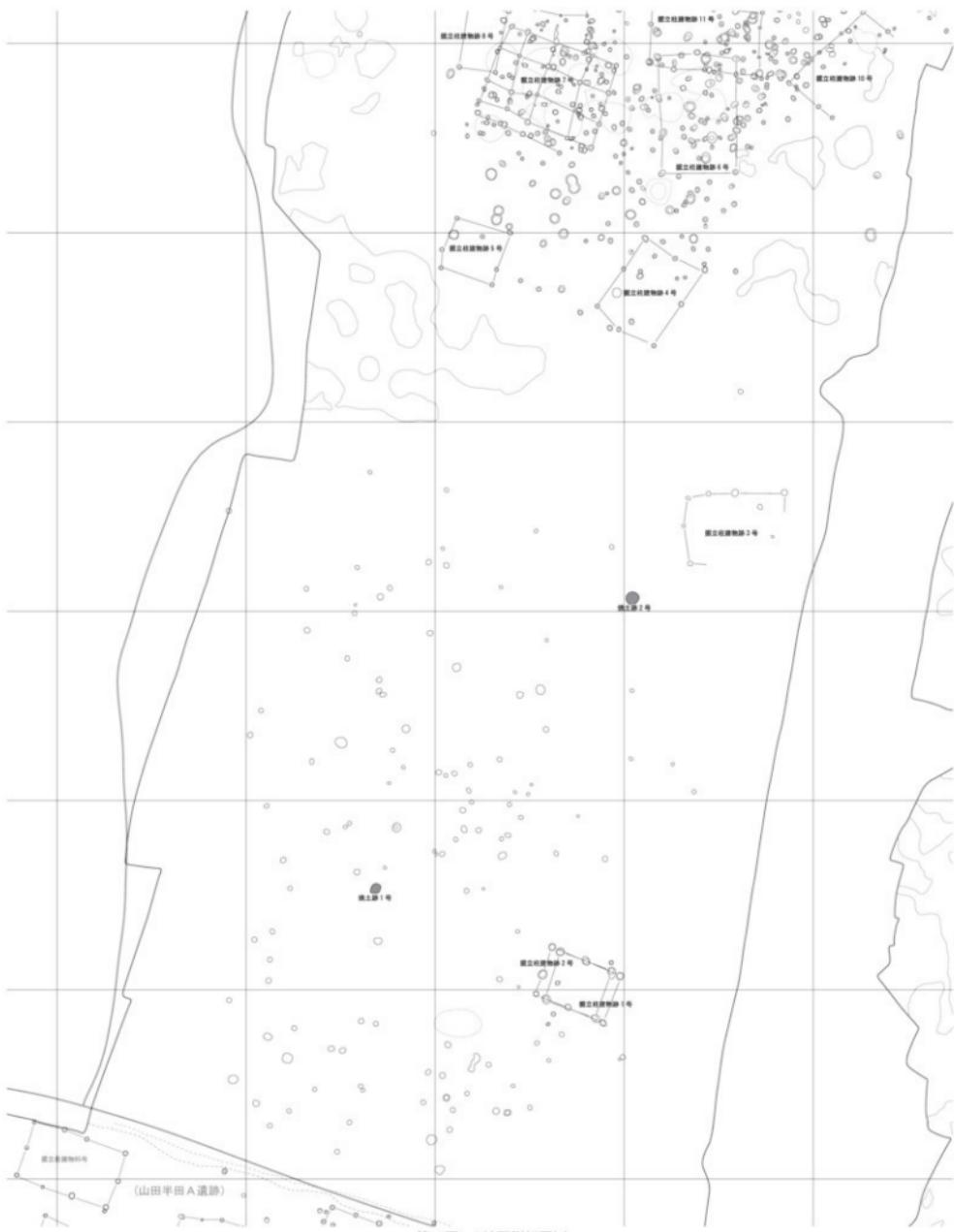
(2) 掘立柱建物跡

掘立柱建物跡 1 号 (第 8 図、第 3 表)

G-31・32 区で検出し、掘立 2 号と重複している。1 × 2 間の個柱建物跡である。西側梁行で柱穴数が 1 つ多い。柱穴内からは土師器が出土している。



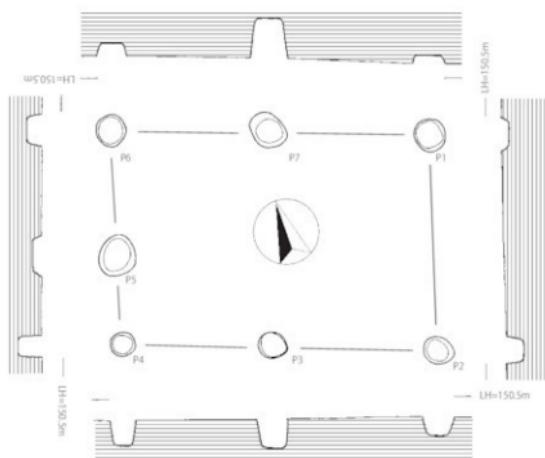
第5図 半田口遺跡本調査範囲



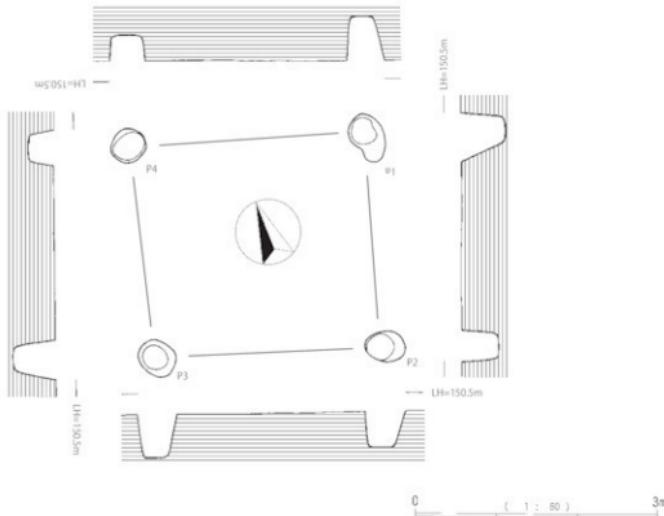
第6図 A地区詳細図(1)



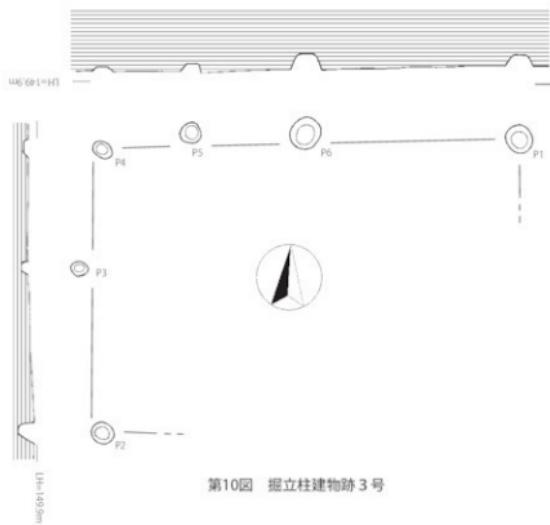
第7図 A地区詳細図2



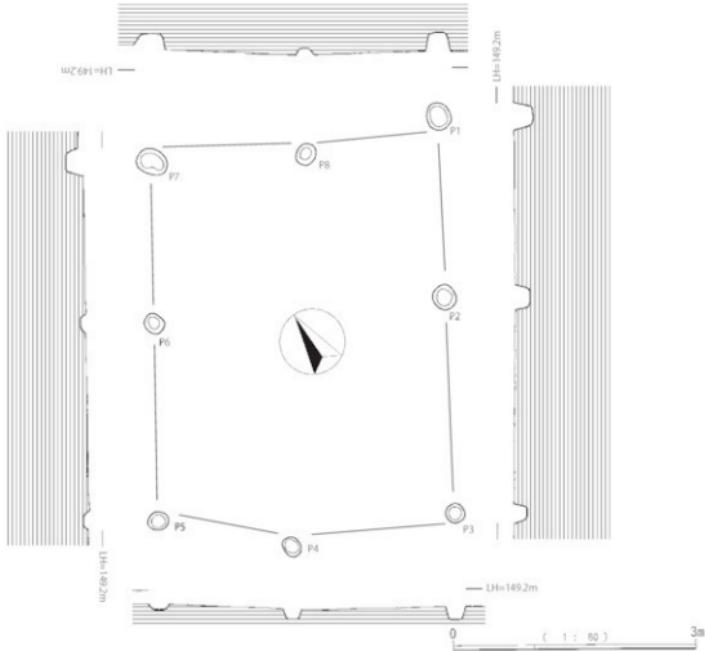
第8図 挖立柱建物跡1号



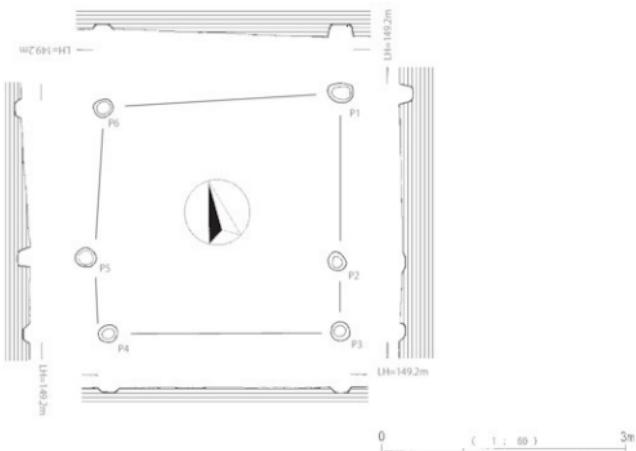
第9図 挖立柱建物跡2号



第10図 据立柱建物跡 3号



第11図 据立柱建物跡 4号



第12図 掘立柱建物跡 5号

第3表 掘立柱建物跡 1号計測表

梁行 1 寸法	梁行 2 寸法	桁行 1 寸法	桁行 2 寸法	備 考	遺 物
P1-P2 268	平均 -	P1-P6 396	平均 198	方向 N70°W	P4: 土器(2)
P4-P6 268	平均 134	P2-P4 388	平均 194		P7: 石器(2)
P4-P5 112	P1-P7 200	P2-P3 204			
P5-P6 156	P7-P6 196	P3-P4 184			

第4表 掘立柱建物跡 2号計測表

梁行 1 寸法	梁行 2 寸法	桁行 1 寸法	桁行 2 寸法	備 考	遺 物
P1-P2 268	平均 -	P1-P4 290	平均 -	方向:	P1: 土器(7), 滑石製石鍋(1)
P3-P4 260	平均 -	P2-P3 276	平均 -		P2: 土器(3), 布目庄痕土器(1) 粘土塊(1)

第5表 掘立柱建物跡 3号計測表

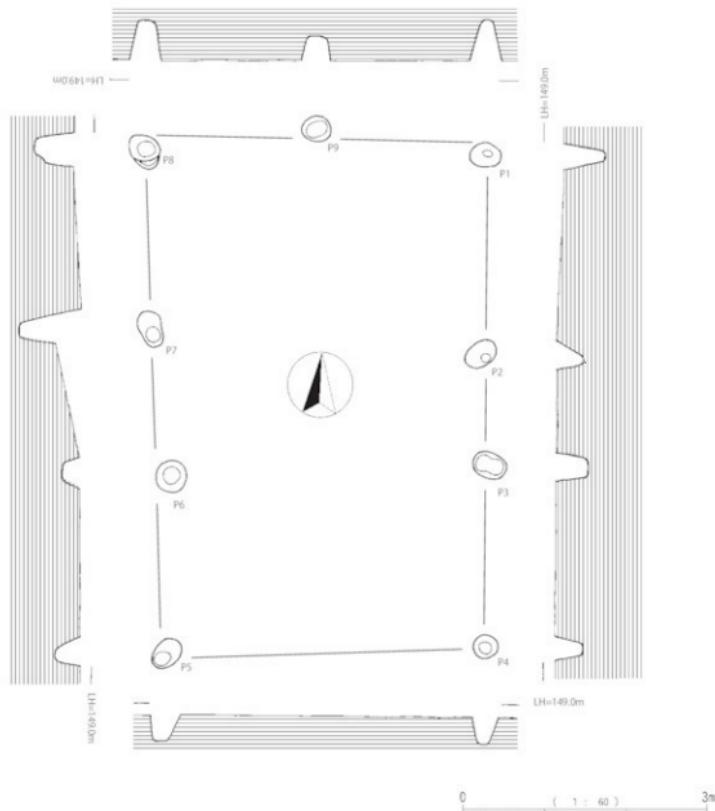
梁行 1 寸法	梁行 2 寸法	桁行 1 寸法	桁行 2 寸法	備 考	遺 物
P2-P4 352	平均 176	P1-P4 516	平均 172	方向:	
P2-P3 204		P1-P6 264			
P3-P4 148		P6-P5 140			
		P5-P4 112			

第6表 掘立柱建物跡 4号計測表

梁行 1 寸法	梁行 2 寸法	桁行 1 寸法	桁行 2 寸法	備 考	遺 物
P1-P7 358	平均 179	P1-P3 484	平均 242	方向 N32°E	
P3-P5 372	平均 186	P5-P7 440	平均 220		
P1-P8 170	P3-P4 204	P1-P2 220	P5-P6 240		
P8-P7 188	P4-P5 168	P2-P3 264	P6-P7 200		

第7表 掘立柱建物跡 5号計測表

梁行 1 寸法	梁行 2 寸法	桁行 1 寸法	桁行 2 寸法	備 考	遺 物
P1-P3 292	平均 146	P1-P6 292	平均 -	方向 N76°W	
P4-P6 280	平均 140	P3-P4 284	平均 -		
P1-P2 208	P4-P5 96				
P2-P3 84	P5-P6 184				



第13図 挖立柱建物跡 6号

第8表 挖立柱建物跡 6号計測表

査行1	寸法	査行2	寸法	査行1	寸法	査行2	寸法	備考	遺物
P1-P8	424	平均	212	P1-P4	612	平均	204	方向:N5°W	
P4-P5	396	平均	-	P5-P8	628	平均	209		
P1-P9	212			P1-P2	252	P5-P6	224		
P9-P8	212			P2-P3	136	P6-P7	176		
				P3-P4	224	P7-P8	228		

掘立柱建物跡 2号 (第9図、第4表)

G-31・32区で検出し、掘立1号と重複している。1×1間の建物跡である。掘立柱建物跡1号とは同じ軸である。

掘立柱建物跡 3号 (第10図、第5表)

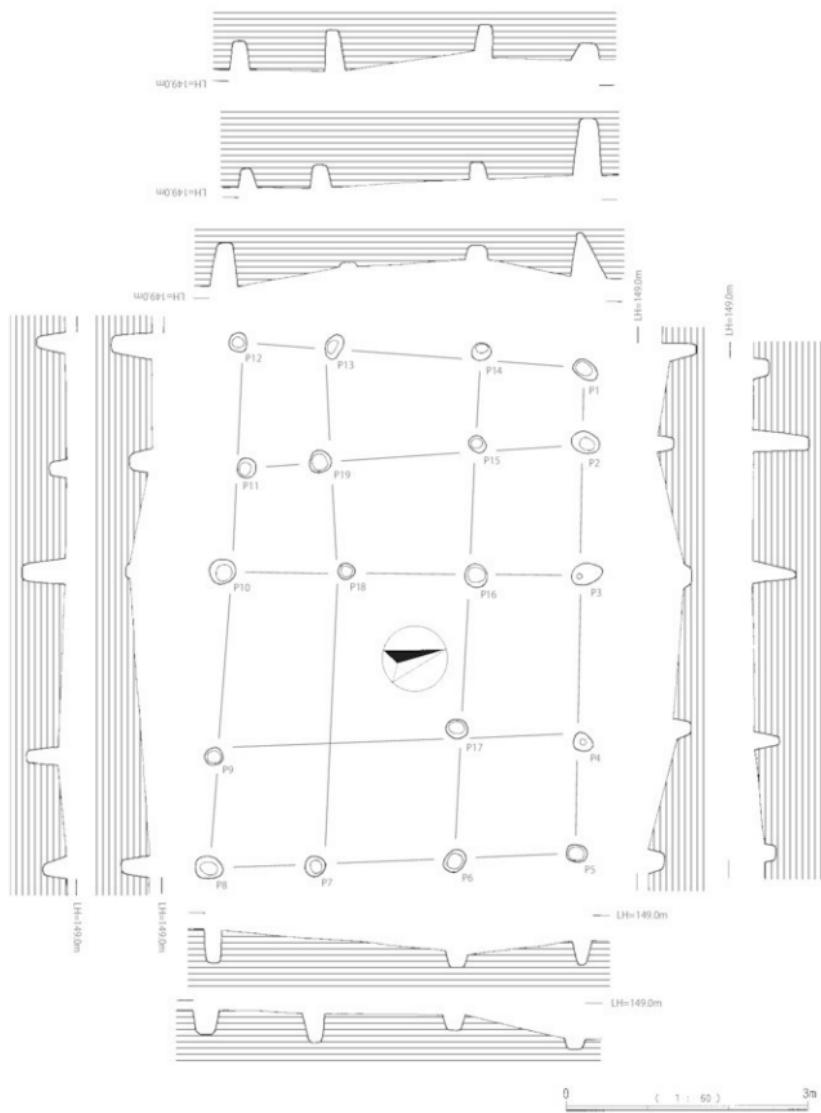
F-34区で検出。南東側を構成する柱穴は確認できなかつた。おそらく2×3間の側柱建物跡である。柱穴内からは遺物は出土していない。

掘立柱建物跡 4号 (第11図、第6表)

F-G-35区で検出。2×2間の側柱建物跡である。柱穴内からは遺物は出土していない。

掘立柱建物跡 5号 (第12図、第7表)

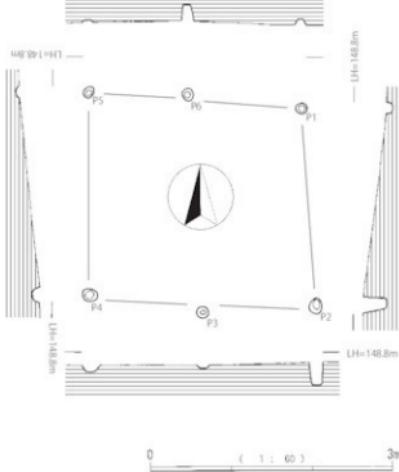
G-35・36区で検出。1×2間の建物跡である。柱穴は浅いものが多い。柱穴内からは遺物は出土していない。



第14図 掘立柱建物跡 7号



第15図 掘立柱建物跡8号



第16図 掘立柱建物跡9号

第9表 掘立柱建物跡7号計測表

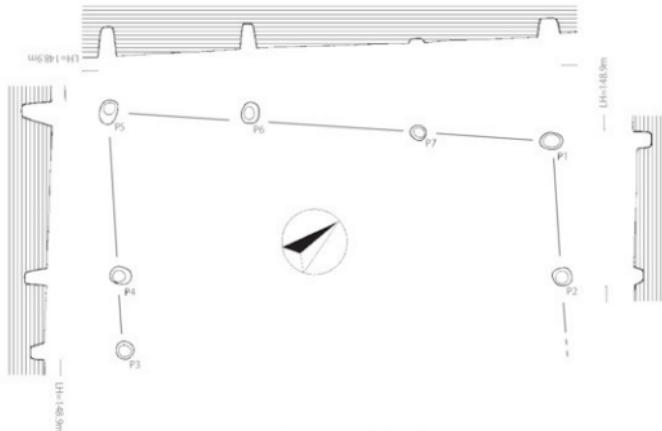
査行1	寸法	査行2	寸法	査行1	寸法	査行2	寸法	備考	遺物
P1-P12	474	平均	158	P1-P5	590	平均	148	方向:N70°W	P4: 須恵器(1)
P5-P8	452	平均	151	P8-P12	648	平均	162		P6: 土師器(1)
P2-P11	428	平均	143	P6-P14	632	平均	158		P9: 土師器(2)
P3-P10	440	平均	147	P7-P13	648	平均	216		P10: 鉄滓(1)
P4-P9	462	平均	231						P12: 粘土塊(2)
P1-P14	130	P5-P6	152	P1-P2	92	P8-P9	136		P15: 粘土塊(4)
P14-P13	186	P6-P7	168	P2-P3	164	P9-P10	226		
P13-P12	158	P7-P8	132	P3-P4	202	P10-P11	130		
				P4-P5	132	P11-P12	156		
P2-P15	136	P4-P17	158	P6-P17	168	P7-P18	364		
P15-P19	200	P17-P9	304	P17-P16	188	P18-P19	140		
P19-P11	92			P16-P15	160	P19-P13	144		
P3-P16	128			P15-P14	116				
P16-P18	160								
P18-P10	152								

第10表 掘立柱建物跡8号計測表

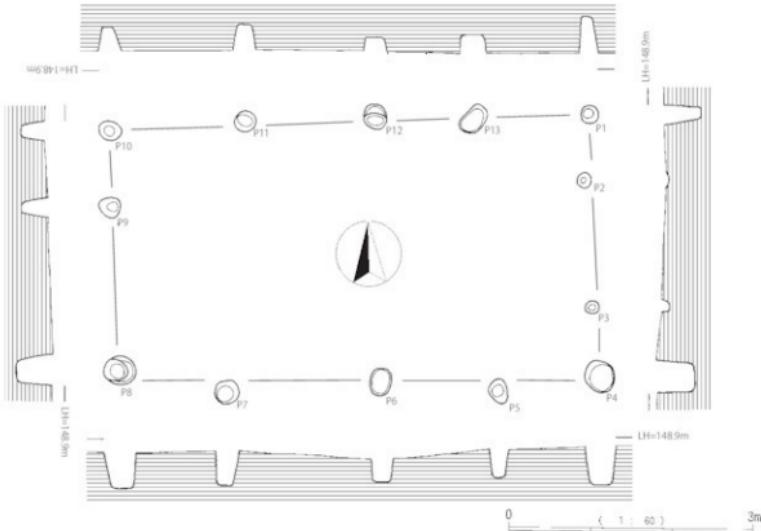
査行1	寸法	査行2	寸法	査行1	寸法	査行2	寸法	備考	遺物
P1-P4	212	平均	-	P1-P2	328	平均	-	方向:N10°E	P3: 粘土塊(3)
P2-P3	192	平均	-	P3-P4	330	平均	-		

第11表 掘立柱建物跡9号計測表

査行1	寸法	査行2	寸法	査行1	寸法	査行2	寸法	備考	遺物
P1-P2	240	平均	-	P1-P5	264	平均	132	方向:N87°W	
P4-P5	248	平均	-	P2-P4	282	平均	141		
				P1-P6	142	P2-P3	140		
				P6-P5	122	P3-P4	142		



第17図 挖立柱建物跡10号



第18図 挖立柱建物跡11号

掘立柱建物跡6号（第13図、第8表）

F-36区で検出し、掘立11号と重複している。ほぼ南北方向に主軸をもつ 2×3 間の側柱建物跡である。柱穴間隔は均一ではなく、中央部分に柱穴が集中している。

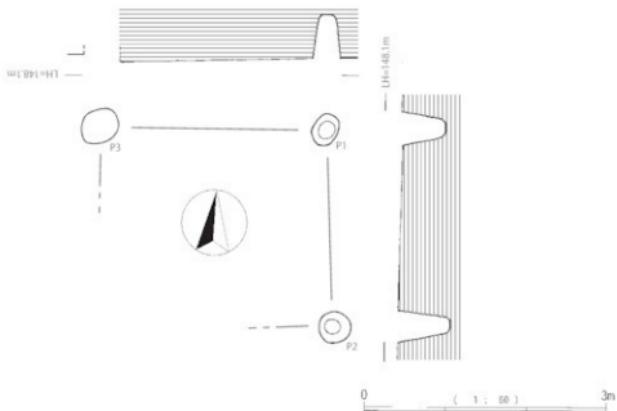
掘立柱建物跡7号（第14図、第9表）

G-36・37区で検出し、掘立8号と重複している。 3×4 間

の総柱建物跡である。西側の柱穴がややゆがんでおり、等間隔ではない。柱穴内からは土師器・須恵器などが出土している。

掘立柱建物跡8号（第15図、第10表）

G-36・37区で検出し、掘立7号と重複している。 1×1 間の建物跡である。柱穴内から粘土塊が出土している。



第19図 捜立柱建物跡12号

第12表 捜立柱建物跡10号計測表

査行1 寸法		査行2 寸法		査行1 寸法		査行2 寸法		備 考	遺 物
P1-P2	168	平均	-	P1-P5	546	平均	182	方向:	P1: 土師器(1)
P3-P5	296	平均	148						
		P3-P4	92	P1-P7	164				
		P4-P5	204	P7-P6	210				
				P6-P5	172				

第13表 捜立柱建物跡11号計測表

査行1 寸法		査行2 寸法		査行1 寸法		査行2 寸法		備 考	遺 物
P1-P4	326	平均	109	P1-P10	590	平均	148	方向:N88°W	P5: 粘土塊(3), 軽石(1), 炭化物(1)
P8-P10	294	平均	147	P4-P8	596	平均	149		P12: 鉄滓(1)
P1-P2	82	P8-P9	200	P1-P13	142	P4-P5	128		P13: 石器(2)
P2-P3	156	P9-P10	94	P13-P12	120	P5-P6	144		
P3-P4	88			P12-P11	160	P6-P7	192		
				P11-P10	168	P7-P8	132		

第14表 捜立柱建物跡12号計測表

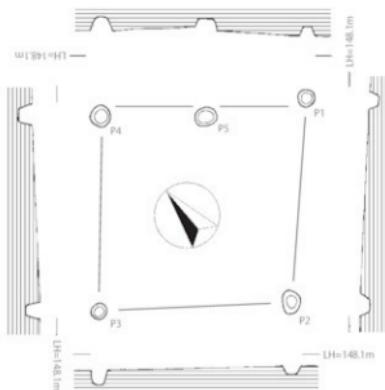
査行1 寸法		査行2 寸法		査行1 寸法		査行2 寸法		備 考	遺 物
P1-P2	240	平均	-	P1-P3	280	平均	-	方向:	P1: 土師器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1) P2: 土師器(1), 粘土塊(1)

第15表 捜立柱建物跡13号計測表

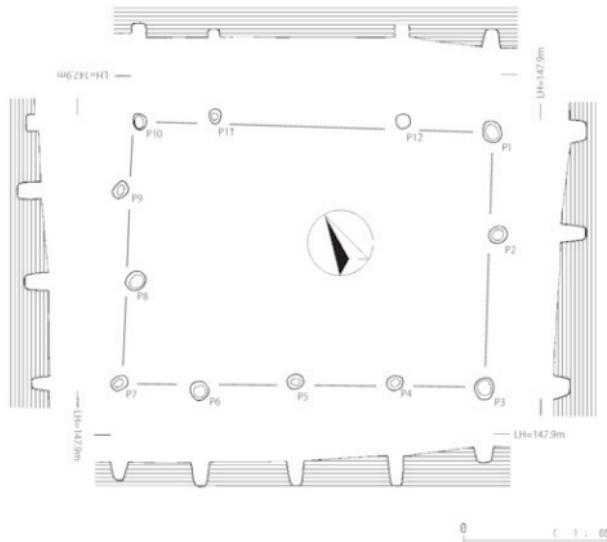
査行1 寸法		査行2 寸法		査行1 寸法		査行2 寸法		備 考	遺 物
P1-P2	248	平均	-	P1-P4	256	平均	128	方向:N55°W	
P3-P4	236	平均	-	P2-P3	236	平均	-		
				P1-P5	128				
				P5-P4	128				

第16表 捜立柱建物跡14号計測表

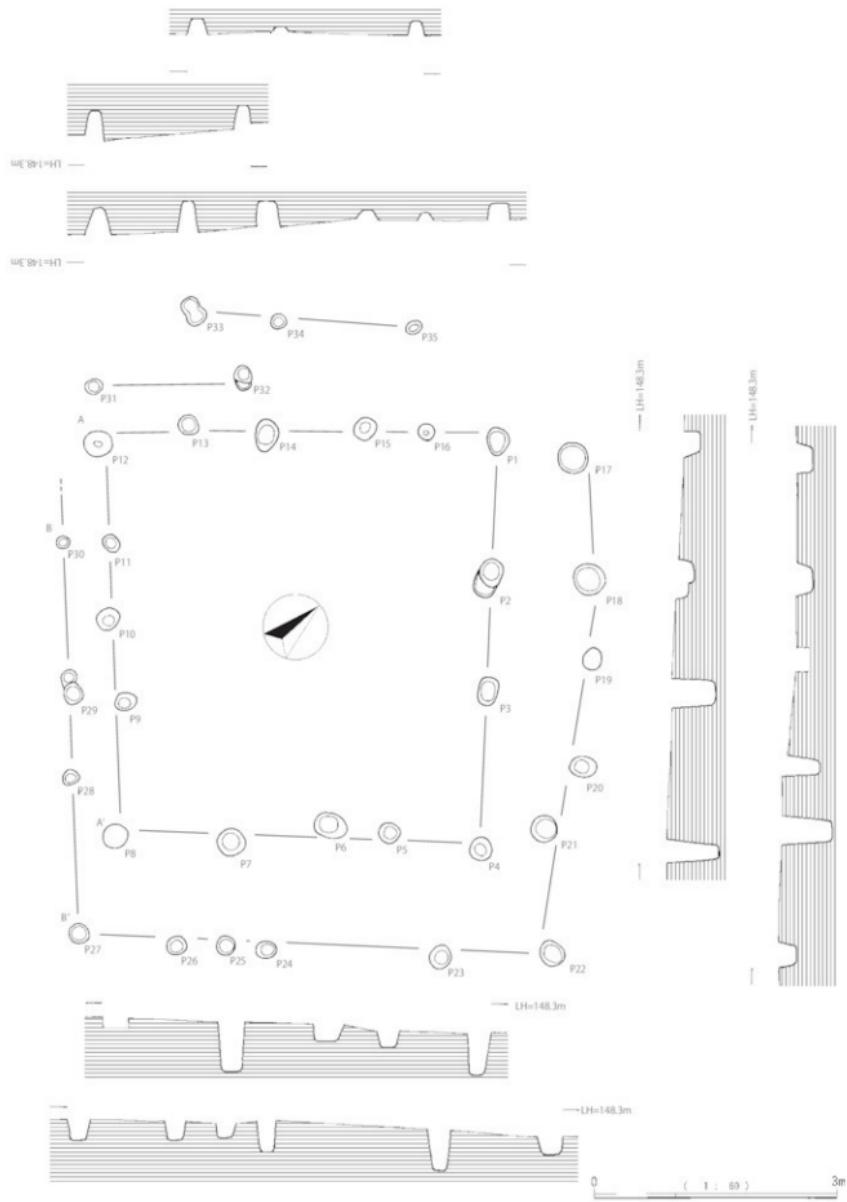
査行1 寸法		査行2 寸法		査行1 寸法		査行2 寸法		備 考	遺 物
P1-P3	314	平均	157	P1-P10	432	平均	144	方向:N61°W	P2: 稲の羽口(1)
P7-P10	324	平均	108	P3-P7	448	平均	112		P7: 粘土塊(16)
P1-P2	126	P7-P8	126	P1-P12	110	P3-P4	108		
P2-P3	188	P8-P9	112	P12-P11	230	P4-P5	122		
		P9-P10	86	P11-P10	92	P5-P6	118		
						P6-P7	100		



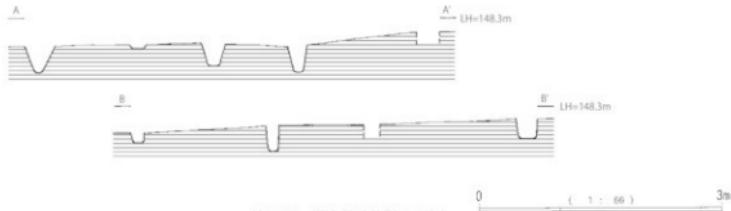
第20図 挖立柱建物跡13号



第21図 挖立柱建物跡14号



第22図 掘立柱建物跡25号(1)



第23図 挖立柱建物跡25号(2)

掘立柱建物跡 9号 (第16図、第11表)

G-37区で検出。1×2間の側柱建物跡である。柱穴径は他の建物跡よりも小さい。

掘立柱建物跡 10号 (第17図、第12表)

E-36-37区で検出。側柱建物跡であると見られる。東側は未検出である。柱穴内からは土師器・滑石製石鍋などが出土している。

掘立柱建物跡 11号 (第18図、第13表)

F-36-37区で検出し、掘立6号と重複している。3×4間の建物跡である。柱穴内からは粘土塊や鉄滓などが出土している。

掘立柱建物跡 12号 (第19図、第14表)

E-F-38-39区で検出。1×1間の建物跡と考えられる。南西の1本は近世カマドによって切られ、なくなっている可能性が高い。柱穴内からは土師器などが出土している。

掘立柱建物跡 13号 (第20図、第15表)

F-39区で検出。1×2間の建物跡とみられるが、南側では1本未検出である。

第17表 挖立柱建物跡 25号計測表

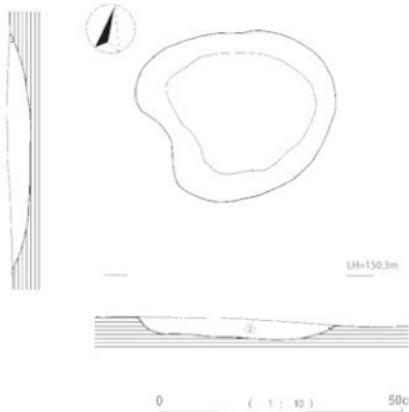
梁行1	寸法	梁行2	寸法	桁行1	寸法	桁行2	寸法	備考	遺物
P1-P12	492	平均	98	P1-P4	502	平均	167	方向:N45°W	P7: 越州窯系青磁(1) P12: 軽石(2)
P4-P8	452	平均	113	P8-P12	482	平均	121		P14: 土師器(1), 粘土塊(1) P22: 土師器(1)
P1-P16	88	P4-P5	112	P1-P2	160	P8-P9	164		P23: 土師器(1) P28: 軽石(3)
P16-P15	74	P5-P6	76	P2-P3	148	P9-P10	102		
P15-P14	122	P6-P7	122	P3-P4	194	P10-P11	94		
P14-P13	96	P7-P8	142			P11-P12	122		
P13-P12	112								
底部分									
P32-P31	184	平均	-	P17-P22	622	平均	124		
P35-P33	272	平均	136	P27-P30	478	平均	159		
P22-P27	584	平均	117						
P35-P34	166	P22-P23	136	P17-P18	150	P27-P28	190		
P34-P33	106	P23-P24	216	P18-P19	98	P28-P29	122		
		P24-P25	52	P19-P20	132	P29-P30	166		
		P25-P26	60	P20-P21	88				
		P26-P27	120	P21-P22	154				

第18表 A地区掘立柱建物跡

四隅 No	開闢 番号	出土区	通横	分類L1				分類L2	分類L3				計測値(cm)			色調	重量 (g)	備考
				口徑	底徑	器高	(内)		口徑部	底径部	器高部	(内)	(外)	(内)	(外)			
24	1	E38	P1537	越州窯系青磁	碗	II期	-		-	-	-	-	-	-	-	掘立25号 P07		



第25図 燃土跡1号



第27図 燃土跡3号

焼土跡 1・3 号土層説明

- | |
|-----------|
| ①炭化物層 |
| ②赤褐色被熱地山面 |

焼土跡 2 号土層説明

- | |
|-------------|
| ①灰褐色土 |
| ②黒褐色土。炭化物充填 |
| ③赤褐色被熱地山面 |



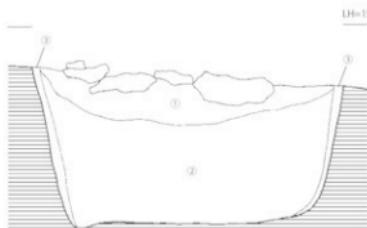
ウ焼土跡

焼土跡 1号

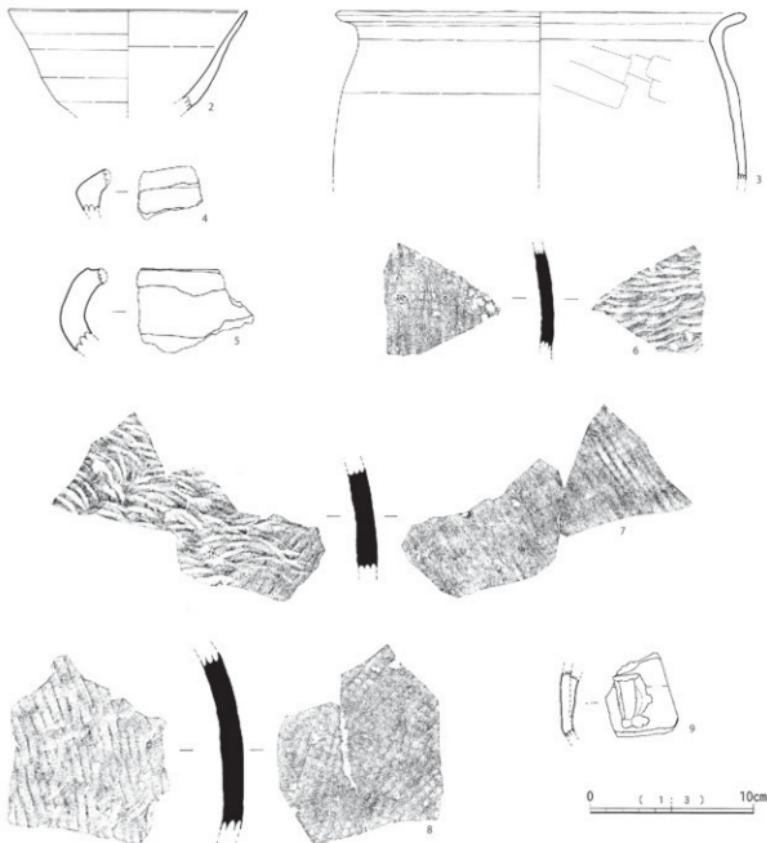
H-32 区で検出。直径35cmほどで、ほとんどが赤褐色の被熱面である。被熱帯は1~8cm程度である。①は炭化物が充填している。

焼土跡 2号

F-34 区で検出。直径63cm×64cm、深さ30cmほどである。上面には石灰岩が入っていた。周囲に厚さ1cm前後の被熱帯がめぐっている。②層には炭化物が充填されていた。床面は平坦であり、台形をひっくり返したような形状をしている。



第26図 燃土跡2号



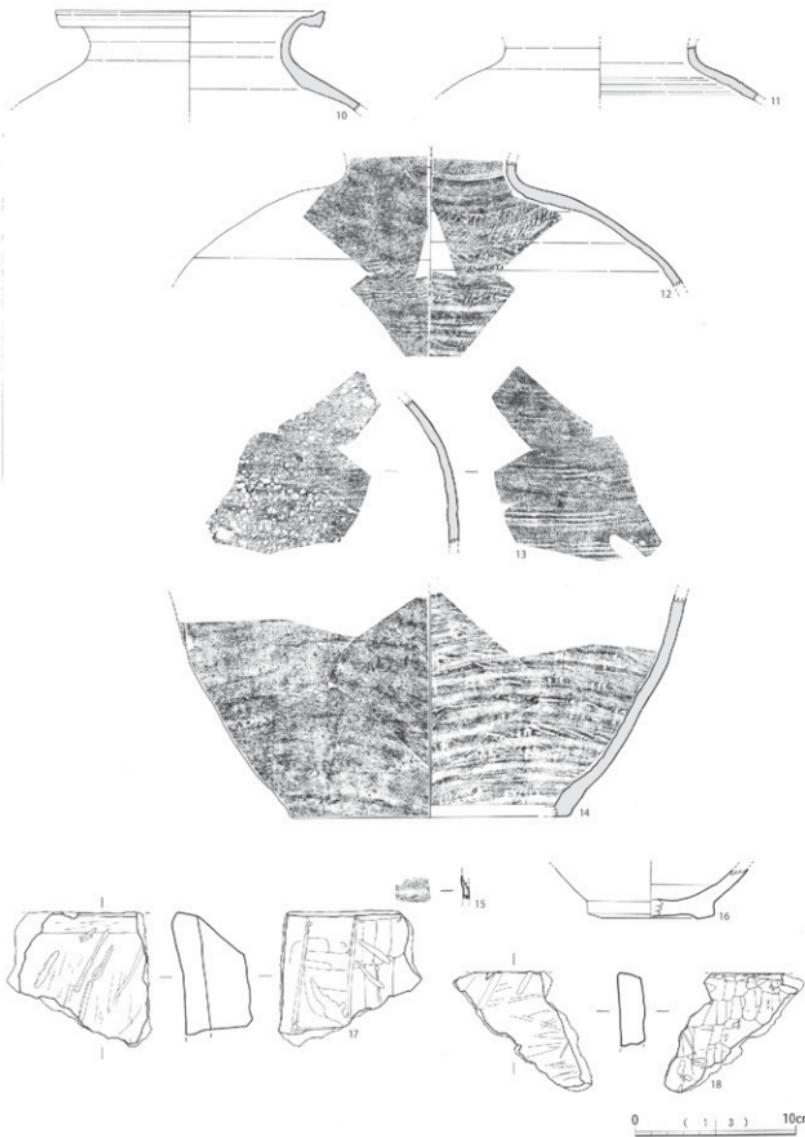
第28図 A地区柱穴内出土遺物(1)

(a) A地区柱穴内遺物

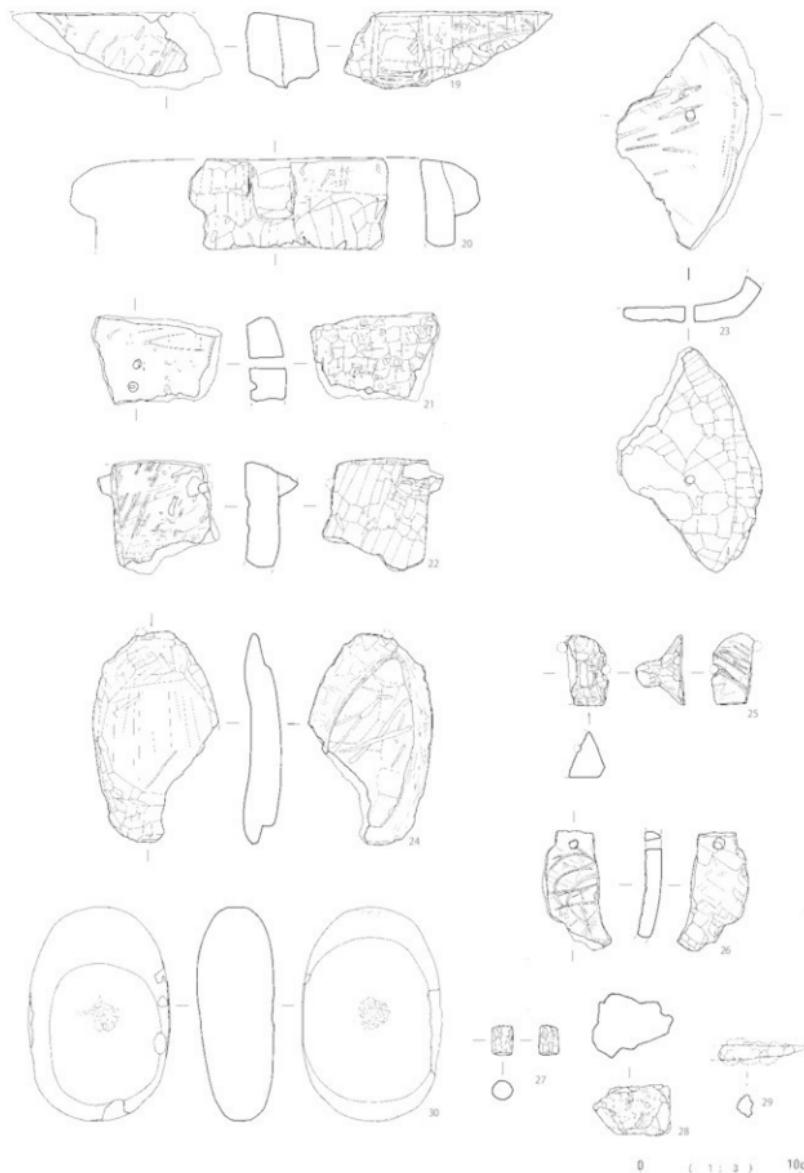
2~31は柱穴内から出土した資料である。

2~4は土師器である。2は土師器碗である。非常に薄く丁寧に作られている。3~4は土師器甕である。2は口径25.2cmを測る。内面にはケズリ痕が見られる。器壁は薄く仕上げられている。5~8は須恵器甕である。9は越州窯系青磁水注の取手部分の下部と見られる。10~14はカムイヤキである。いずれも壺・甕になると見られる。カムイヤキA群に相当する。15は朝鮮系無釉陶器と見られる。非常によく似

ているが、カムイヤキとは胎土の質感がやや異なる。16は白磁楕円瓶である。17~27は滑石製石鍋である。17~19は口縁部の破片である。20~22は破断面に擦り切り痕や擦痕が認められるものである。24~27は二次加工品である。24は突起部に横位穿孔がないが、バレン状製品に類するものと見られる。26は貫通穿孔が見られる部分に研ぎれ痕が見られ、吊り下げられていたと想定できる。28は鉄滓である。29は刀子の先端部かと見られる。30は磨敲石である。



第29図 A地区柱穴内出土遺物(2)



第30図 A地区柱穴内出土遺物(3)

第19表 A地区柱穴内出土遺物(1)

回収 No	規範 番号	出土区	通様	分類L1		分類L2	分類L3	部位	計測値(cm)			色調 (内) (外)	重量 (g)	備考
				口徑	底径				口徑	底径	高さ			
28	2	F36	P0282	土師器	桶			口縁部	14.5	-	-	-	-	-
	3	G37	P1444	土師器	甕			口縁部	25.2	-	-	-	-	-
	4	E38	P1687	土師器	甕			口縁部	-	-	-	-	-	-
	5	E38	P1686	漆壺裏	-			口縁部	-	-	-	褐色	褐色	-
	6	E39	P0494	漆壺裏	甕			脇部	-	-	-	褐色	褐色	-
	7	F39	P0495	漆壺裏	甕			脇部	-	-	-	灰黃褐色	褐色	-
	8	E38	P1685	漆壺裏	甕			脇部	-	-	-	灰黃褐色	褐色	-
	9	F37	P1758	越州某系青磁	水注			脇部	-	-	-	-	-	-

第20表 A地区柱穴内出土遺物(2)

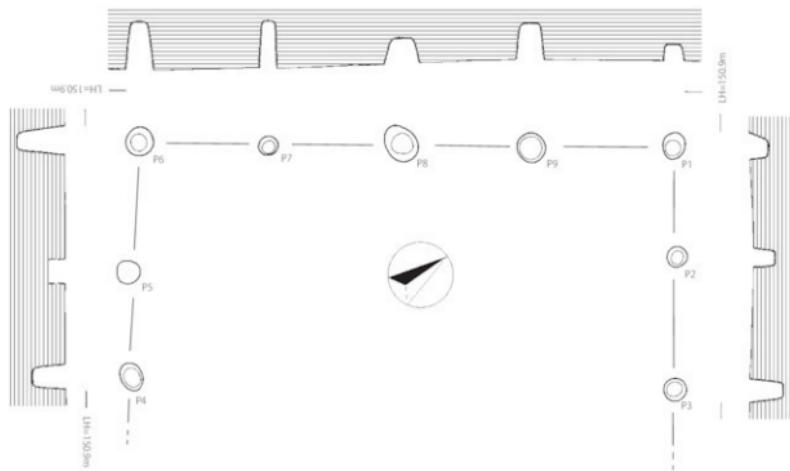
回収 No	規範 番号	出土区	通様	分類L1		分類L2	分類L3	部位	計測値(cm)			色調 (内) (外)	重量 (g)	備考
				口徑	底径				口徑	底径	高さ			
29	10	G31	P0044	カムイヤキ	-			口～肩	16.4	-	-	灰	灰	-
	11	G31	P0044	カムイヤキ	甕・甌			肩	-	-	11.6	黃灰	灰	-
	12	G31	P0056	カムイヤキ	-			肩	-	-	10.4	灰褐色	灰	芯志い黄 褐
	13	G31	P0044	カムイヤキ	甕・甌			脇部	-	-	-	灰	灰	-
	14	G31	P0044	カムイヤキ	-			底部	-	16.8	-	灰黃褐色	褐色	-
	15	F36	P0324	朝鮮系無釉陶器	甕・甌			脇部	-	-	-	灰	灰	-
	16	G31	P0044	白磁	柄			底部	-	5.9	-	-	-	-
	17	E37	P0312	油石製石鍋	-			底部	-	-	-	-	-	326 貫穿穿孔(1)
	18	F36	P0324	油石製石鍋	-			底部	-	-	-	-	-	106 表面T?

第21表 A地区柱穴内出土遺物(3)

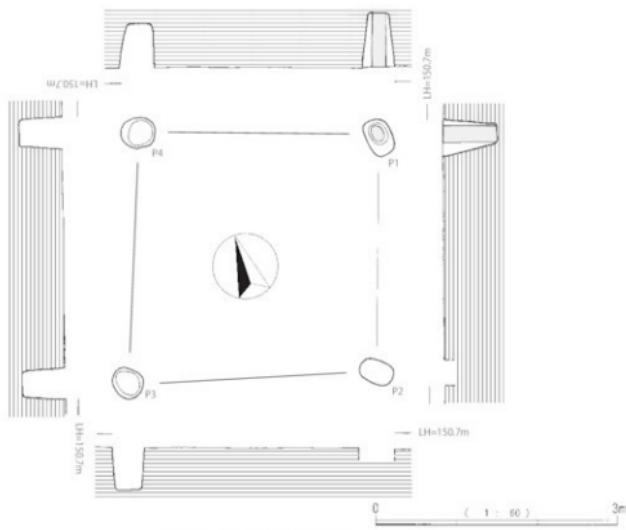
回収 No	規範 番号	出土区	通様	分類L1		分類L2	分類L3	部位	計測値(cm)			色調 (内) (外)	重量 (g)	備考
				口徑	底径				口徑	底径	高さ			
30	19	G37	P1470	油石製石鍋	-			-	-	-	-	-	-	230
	20	F37	P1758	油石製石鍋	-			-	-	-	-	-	-	296
	21	G36	P1401	油石製石鍋	-			-	-	-	-	-	-	147
	22	G36	P1417	油石製石鍋	-			-	-	-	-	-	-	173
	23	G36	P1442	油石製石鍋	-			肩部	-	-	-	-	-	160
	24	H33	P0124	油石二次加工品	バレン球			-	-	-	-	-	-	-
	25	G36	P1417	油石二次加工品	バレン球			-	-	-	-	-	-	23
	26	F36	P0417	油石二次加工品	棒状			-	-	-	-	-	-	5
	27	F36	P1286	油石二次加工品	-			-	-	-	-	-	-	51
	28	G36	P1432	鐵錠	梅円錠			-	-	-	-	-	-	61
	29	E39	P0493	鉄製品	刀子			-	-	-	-	-	-	8
	30	G36	P0201	石器	磨討石			砂岩	-	-	-	-	-	972



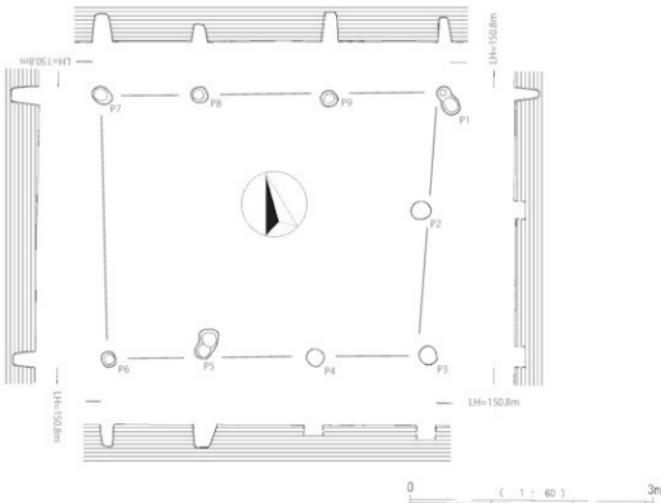
第31図 B地区詳細図



第32図 掘立柱建物跡15号



第33図 掘立柱建物跡16号



第34図 挖立柱建物跡17号

(2) B 地区

○ 挖立柱建物跡

掘立柱建物跡 15 号 (第 32 図、第 22 表)

B-C-28-29 区で検出し、掘立 16・18 号と重複している。東側半分は未掘部分が大半である。柱穴内からは土師器・須恵器などが出土している。

掘立柱建物跡 16 号 (第 33 図、第 23 表)

B-29 区で検出し、掘立 15・17・18 号と重複している。1 × 1 間の建物跡である。南島角柱は未掘であるので不明だが、それ以外はほぼ均一な深さで掘られている。柱穴内からはカムイヤキ・滑石製石鍋などが出土している。

掘立柱建物跡 17 号 (第 34 図、第 24 表)

B-29 区で検出し、掘立 16・18 号と重複している。柱穴の重複関係から掘立柱建物跡 18 号より新しい。2 × 3 間の側柱建物跡であるとみられる。柱穴内からは遺物は出土していない。

掘立柱建物跡 18 号 (第 35 図、第 25 表)

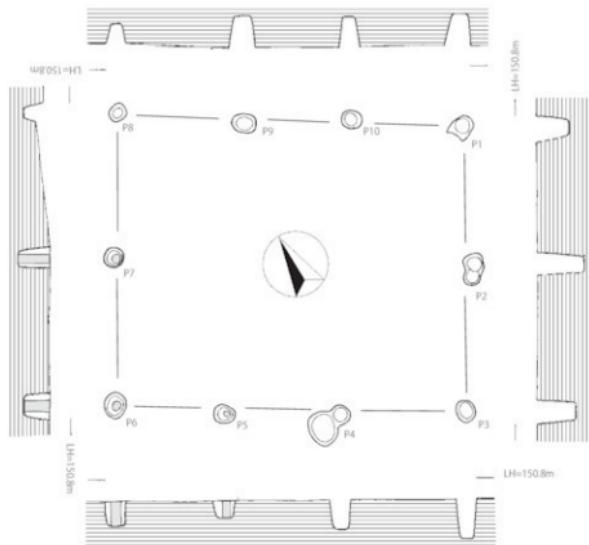
B-29 区で検出し、掘立 15～17 号と重複している。柱穴の重複関係から掘立 17 号より古い。2 × 3 間の側柱建物跡である。柱穴内からは石器・粘土塊などが出土している。

第 22 表 挖立柱建物跡 15 号計測表

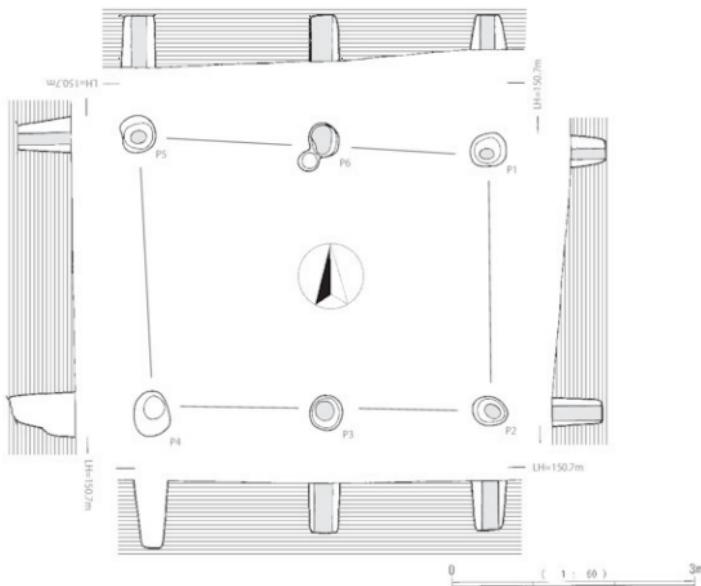
査行 1	寸法	査行 2	寸法	査行 1	寸法	査行 2	寸法	備考	遺物	
P1-P3	294	平均	147	P1-P6	664	平均	166	方向:	P2: 石器(1) P3: 石器(1) P4: 粘土塊(2), 石器(1) P6: 土師器(2), 福の羽口(2), 石器(1) P7: 土師器(2), 須恵器(1)	
P4-P6	292	平均	146							
P1-P2	134	P4-P5	132	P1-P9	176					
P2-P3	160	P5-P6	160	P9-P8	160					
				P8-P7	168					
				P7-P6	160					

第 23 表 挖立柱建物跡 16 号計測表

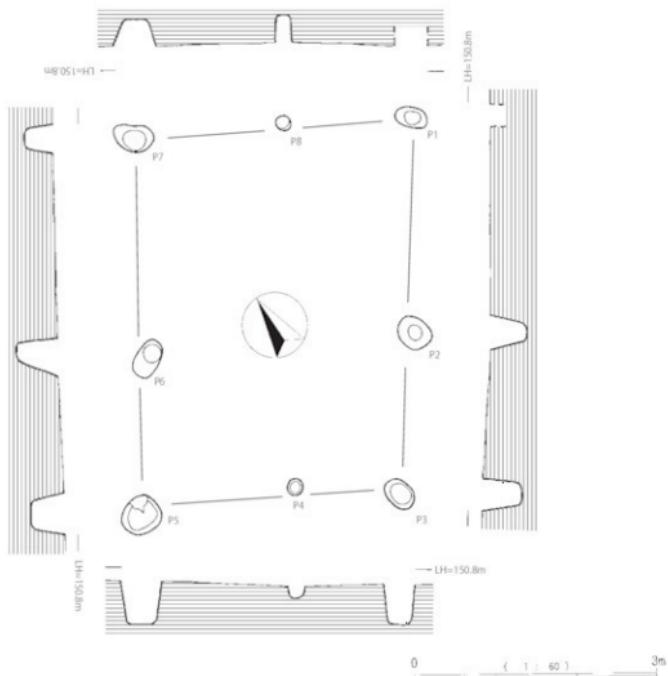
査行 1	寸法	査行 2	寸法	査行 1	寸法	査行 2	寸法	備考	遺物
P1-P2	292	平均	-	P1-P4	292	平均	-	方向:N20°E	P1: カムイヤキ(4), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(5), 石器(2) P3: 土師器(2), 粘土塊(1)
P3-P4	308	平均	-	P2-P3	308	平均	-		



第35図 挖立柱建物跡18号



第36図 挖立柱建物跡19号



第37図 挖立柱建物跡20号

第24表 挖立柱建物跡17号計測表

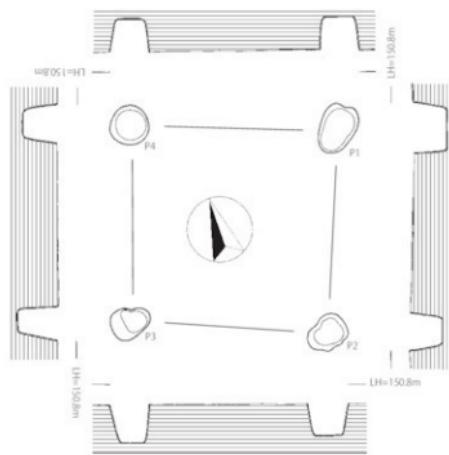
梁行1	寸法	梁行2	寸法	桁行1	寸法	桁行2	寸法	備考	遺物
P1-P3	328	平均	164	P1-P7	416	平均	139	方向:N75°W	
P6-P7	324	平均	-	P3-P6	396	平均	132		
P1-P2	148			P1-P9	136	P3-P4	140		
P2-P3	180			P9-P8	160	P4-P5	132		
				P8-P7	120	P5-P6	124		

第25表 挖立柱建物跡18号計測表

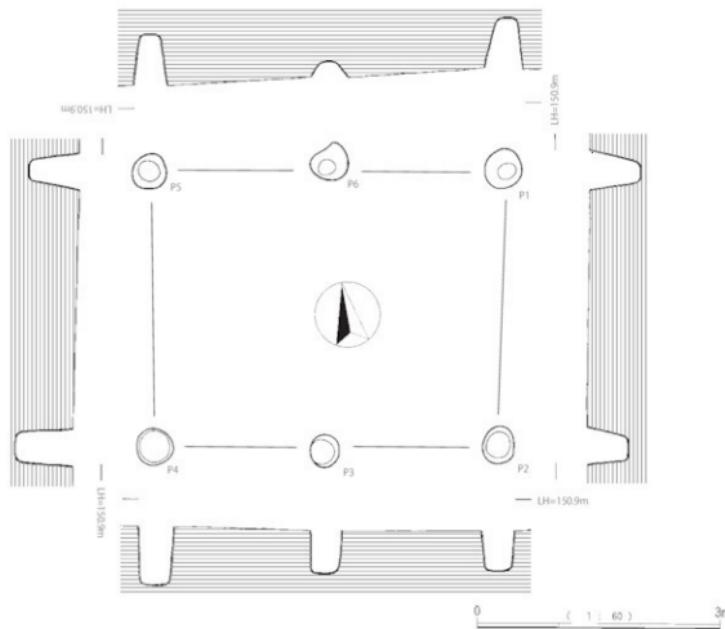
梁行1	寸法	梁行2	寸法	桁行1	寸法	桁行2	寸法	備考	遺物
P1-P3	348	平均	174	P1-P8	424	平均	141	方向:N68°W	P1:石器(1) P4:粘土塊(1)
P6-P8	356	平均	178	P3-P6	428	平均	143		P5:石器(1) P7:鐵漬(2)
P1-P2	168	P6-P7	180	P1-P10	136	P3-P4	152		P8:石器(1)
P2-P3	180	P7-P8	176	P10-P9	132	P4-P5	140		P10:粘土塊(3)
				P9-P8	156	P5-P6	136		

第26表 挖立柱建物跡19号計測表

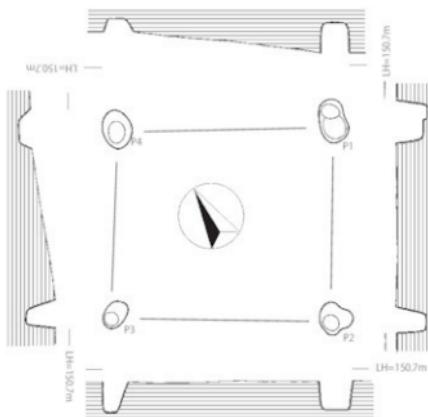
梁行1	寸法	梁行2	寸法	桁行1	寸法	桁行2	寸法	備考	遺物
P1-P2	316	平均	-	P1-P5	432	平均	216	方向:N86°W	P1:土師器(1),布目压痕土器(6),滑石製石鍋(1),鐵漬(1)
P4-P5	332	平均	-	P2-P4	420	平均	210		P2:土師器(5),滑石製石鍋(1),鐵漬(1),粘土塊(3)
				P1-P6	204	P2-P3	208		P3:土師器(1),粘土塊(1)
				P6-P5	228	P3-P4	212		P4:鐵漬(2),粘土塊(2)



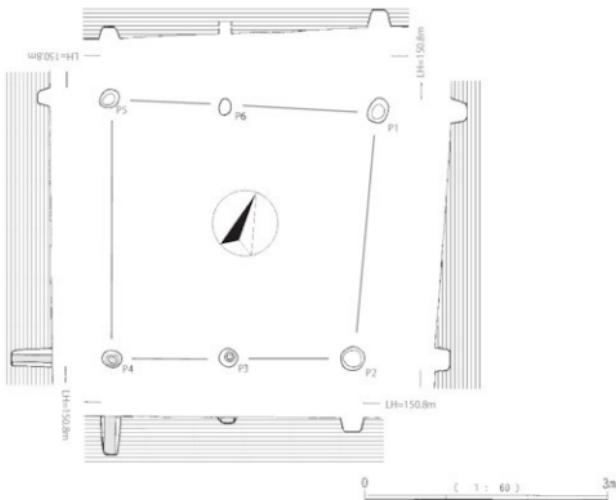
第38図 挖立柱建物跡21号



第39図 挖立柱建物跡22号



第40図 挖立柱建物跡23号



第41図 挖立柱建物跡24号

掘立柱建物跡 19 号（第36図、第27表）

C-29 区付近で検出し、掘立 20 号と重複している。掘立 20 号より新しい。1 × 2 間の掘立柱建物跡であると考えられる。柱穴内からは土師器・滑石製石鍋などが出土している。

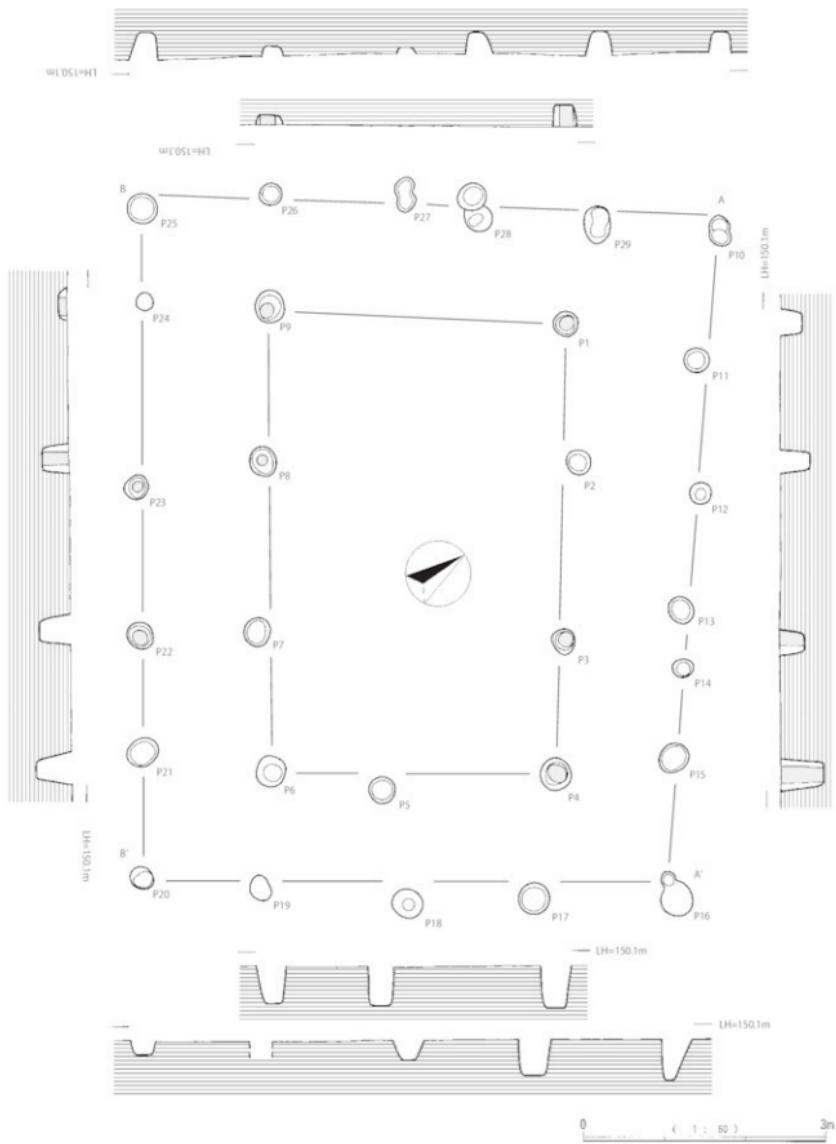
から掘立 19 号よりも古いと見られる。2 × 2 間の建物跡である。梁行の間にある柱は径が小さく、浅い。柱穴内からは土師器などが出土している。

掘立柱建物跡 20 号（第37図、第28表）

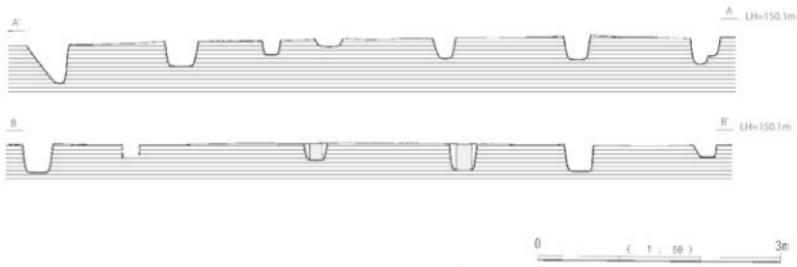
C-29 区で検出し、掘立 19 号と重複している。柱穴の重複

掘立柱建物跡 21 号（第38図、第29表）

C-29 区で検出。1 × 1 間の建物跡である。柱穴内からは滑石製石鍋などが出土している。



第42図 捜立柱建物跡26号(1)



第43図 据立柱建物跡26号(2)

第27表 据立柱建物跡20号計測表

梁行1	寸法	梁行2	寸法	桁行1	寸法	桁行2	寸法	備考	遺物
P1-P7	344	平均	172	P1-P3	460	P1-P7	230	方向:N33°E	P2: 土師器(5), 石器(2)
P3-P5	324	平均	162	P5-P7	460	P5-P6	230		P3: 鉄漿(1)
P1-P8	160	P3-P4	132	P1-P2	262	P6-P7	200		P5: 粘土塊(1)
P8-P7	184	P4-P5	192	P2-P3	198	P6-P7	260		P8: 粘土塊(4)

第28表 据立柱建物跡21号計測表

梁行1	寸法	梁行2	寸法	桁行1	寸法	桁行2	寸法	備考	遺物
P1-P2	252	平均	-	P1-P4	256	P1-P3	-	方向:	P2: 滑石製石鍋(1)
P3-P4	240	平均	-	P2-P3	240	P6-P5	-		P4: 粘土塊(22)

第29表 据立柱建物跡22号計測表

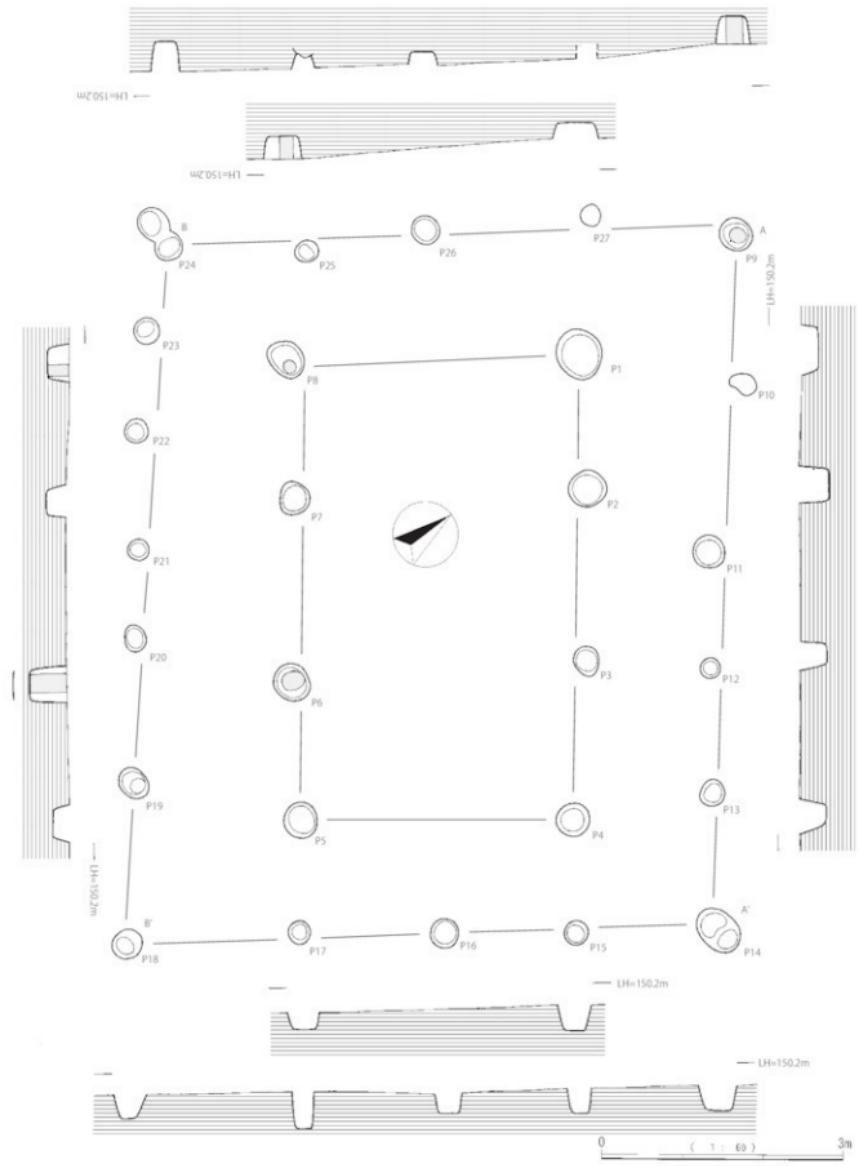
梁行1	寸法	梁行2	寸法	桁行1	寸法	桁行2	寸法	備考	遺物
P1-P2	336	平均	-	P1-P5	444	P1-P2	222	方向:N80°W	P1: 土師器(1), 須恵器(1), 粘土塊(1)
P4-P5	340	平均	-	P2-P4	426	P2-P3	213		P2: 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 石器(3)
				P1-P6	224	P2-P3	218		P3: 粘土塊(2)
				P6-P5	220	P3-P4	208		P4: 須恵器(1), 越州窯系青磁(1), 滑石製石鍋(1), 粘土塊(1)
									P5: 土師器(2), 龍泉窯系青磁(1), 粘土塊(1)

第30表 据立柱建物跡23号計測表

梁行1	寸法	梁行2	寸法	桁行1	寸法	桁行2	寸法	備考	遺物
P1-P2	258	平均	-	P1-P4	264	P1-P2	-	方向:	P1: 土師器(2)
P3-P4	228	平均	-	P2-P3	270	P2-P3	-		P2: 粘土塊(2)
									P4: 炭化物(1)

第31表 据立柱建物跡24号計測表

梁行1	寸法	梁行2	寸法	桁行1	寸法	桁行2	寸法	備考	遺物
P1-P5	328	平均	164	P1-P2	304	P1-P2	-	方向:N72°E	
P2-P4	296	平均	148	P4-P5	320	P4-P5	-		
P1-P6	188	P2-P3	152						
P6-P5	140	P3-P4	144						



第44図 掘立柱建物跡27号(1)

掘立柱建物跡 22 号 (第 39 図、第 29 表)

C-30 区で検出。周囲のビットより径が大きいもので構成されている。1 × 2 間の建物跡である。桁行の中央部のビットはやや浅い。柱穴内からは龍泉窯系青磁・滑石製石鍋などが出土している。

掘立柱建物跡 23 号 (第 40 図、第 30 表)

B-30 区で検出。1 × 1 間の建物跡である。柱はやや浅い傾向にある。柱穴内からは土師器などが出土している。

掘立柱建物跡 24 号 (第 41 図、第 31 表)

D-30 区で検出。1 × 2 間の側柱建物跡である。全体的にやや浅い。柱穴内から遺物は出土していない。

掘立柱建物跡 26 号 (第 42・43 図、第 32 表)

A-B-30-31 区で検出し、掘立 27・28 号と重複している。2 × 3 間の建物跡に 20 本の柱が開む建物跡である。山田半田遺跡 41 号などに類似がある。周囲を取り囲む建物跡と内部の建物跡の間隔はおよそ 150cm ほどであり、規格性が非常に高い。内部構造の柱の延長上に柱穴があるため、周囲を囲む柱は庇であると考えている。柱穴内からは越州窯系青磁・土師器などが出土している。

掘立柱建物跡 27 号 (第 44・45 図、第 33 表)

A-B-30-31 区で検出し、掘立 26・28 号と重複している。1 × 3 間の建物跡の周囲に 19 本の柱が開む建物跡である。掘立 26 号とはほぼ同軸・同規模の建物跡である。26 号とは異なり中柱と外柱の対応する位置が若干ずれている。柱穴内からは土師器・滑石製石鍋などが出土している。

第 32 表 掘立柱建物跡 26 号計測表

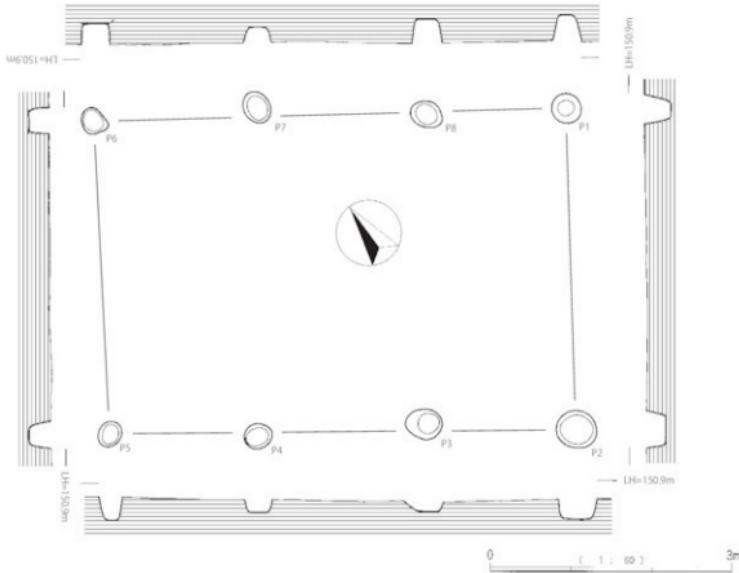
梁行 1 寸法	梁行 2 寸法	桁行 1 寸法	桁行 2 寸法	備考	遺物		
P1-P9	364	平均 -	P1-P4	556	方向 N52°W P2: 土師器(2) P3: 土師器(1), 布目压痕土器(2)		
P4-P6	352	平均 176	P6-P9	568	P4: 土師器(2), 粘土塊(5) P5: 土師器(1)		
底部分		P4-P5 216	P1-P2 172	P6-P7 174	P6: 土師器(1)		
		P5-P6 136	P2-P3 216	P7-P8 212	P7: 土師器(1), 須恵器(1), 鉄滓(1), 石器(2)		
		P3-P4 168	P8-P9 182	P11: 土師器(9) P16: 土師器(5), 滑石製石鍋(1)	P11: 土師器(9) P16: 土師器(5), 滑石製石鍋(1)		
P10-P25	724	平均 145	P10-P16	796	P17-P18 168 P11-P12 164 P12-P13 144 P13-P14 72 P14-P15 112 P15-P16 150	平均 154 平均 178	P17: 土師器(1), 石器(1) P19: 土師器(1) P21: 滑石製石鍋(1) P25: 須恵器(1)
P16-P20	652	平均 163	P20-P25	824			
P10-P29	152	P16-P17 168	P10-P11 154	P20-P21 156			
P29-P28	156	P17-P18 156	P11-P12 164	P21-P22 144			
P28-P27	92	P18-P19 184	P12-P13 144	P22-P23 184			
P27-P26	164	P19-P20 144	P13-P14 72	P23-P24 228			
P26-P25	160		P14-P15 112	P24-P25 112			
			P15-P16 150				

第 33 表 掘立柱建物跡 27 号計測表

梁行 1 寸法	梁行 2 寸法	桁行 1 寸法	桁行 2 寸法	備考	遺物	
P1-P8	360	平均 -	P1-P4	576	方向 N49°W P2: 土師器(1), 須恵器(1), 鉄滓(1)	
P4-P5	336	平均 -	P5-P8	552	P4: 土師器(9), 鉄滓(1), 粘土塊(2) P6: 白磁(1), 粘土塊(3), 石器(1)	
底部分		P1-P2 168	P5-P6 170	P7: 炭化物(1)	P7: 炭化物(1)	
		P2-P3 212	P6-P7 222	P9: 須恵器(1), 粘土塊(2)	P9: 須恵器(1), 粘土塊(2)	
		P3-P4 196	P7-P8 160	P12: 滑石製石鍋(1)	P12: 滑石製石鍋(1)	
P9-P24	708	平均 177	P9-P14	870	P13: 土師器(1)	P13: 土師器(1)
P14-P18	746	平均 187	P18-P24	864	P14: 布目压痕土器(2)	P14: 布目压痕土器(2)
P9-P27	184	P14-P15 188	P9-P10	184	P18-P19 200 P19-P20 180	朝鲜系無釉陶器(1), 粘土塊(3)
P27-P26	204	P15-P16 162	P10-P11	212	P18: 鉄滓(2), 繩の羽口(1)	P18: 鉄滓(2), 繩の羽口(1)
P26-P25	152	P16-P17 180	P11-P12	140	P19: 粘土塊(6)	P19: 粘土塊(6)
P25-P24	168	P17-P18 216	P12-P13 152	P20-P21 108		
			P13-P14 182	P21-P22 144		
			P22-P23 128	P23-P24 104		



第45図 挖立柱建物跡27号(2)



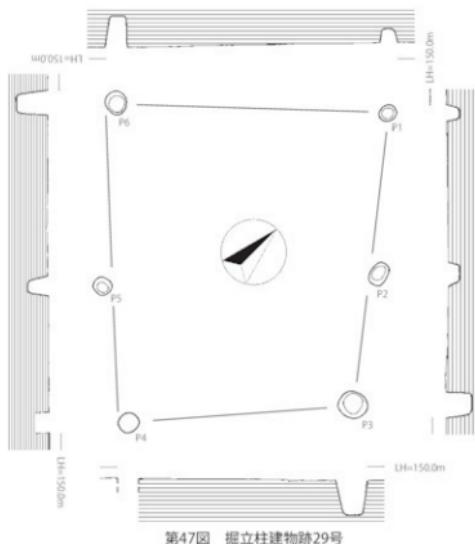
第46図 挖立柱建物跡28号

掘立柱建物跡 28号 (第46図、第34表)

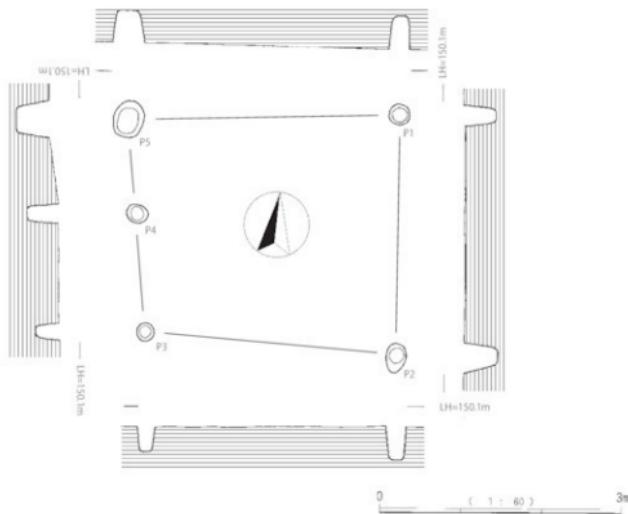
A-B-30-31区で検出し、掘立27-28号と重複している。1×3間の建物跡である。全体手にやや浅い。柱穴内からは土師器・兼久式土器などが出土している。

第34表 掘立柱建物跡 28号計測表

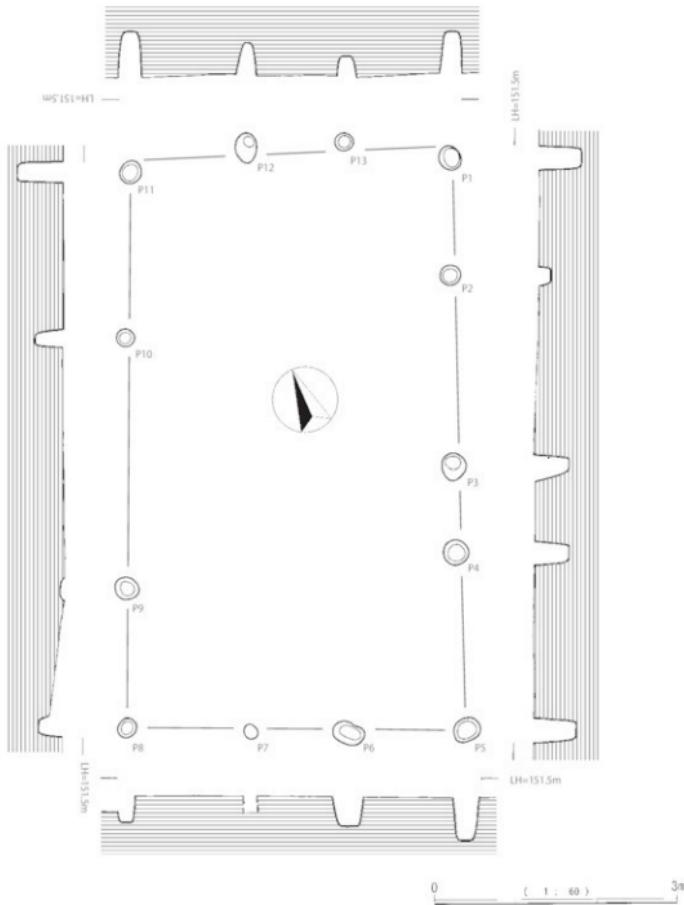
査行1 寸法	査行2 寸法	査行1 寸法	査行2 寸法	備考	遺物
P1-P2 394	平均 -	P1-P6 586	平均 195	方向:N54°W	P1: 土師器(1)
P5-P6 384	平均 -	P2-P5 576	平均 192		P2: 福の羽口(1)
		P1-P8 172	P2-P3 184		P3: 土師器(1)
		P8-P7 208	P3-P4 212		P8: 兼久式土器(1)
		P7-P6 206	P4-P5 180		



第47図 挖立柱建物跡29号



第48図 挖立柱建物跡30号



第49図 挖立柱建物跡31号

掘立柱建物跡 29号（第47図、第35表）

あ-31区で検出。1×2間の側柱建物跡である。柱穴内からは土師器・滑石製石鍋などが出土している。

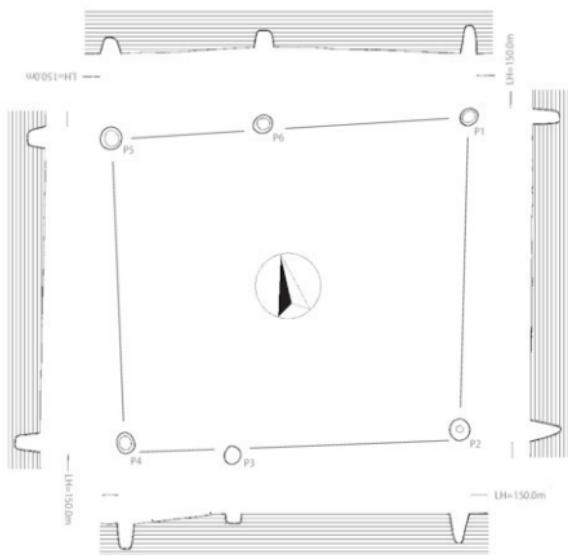
掘立柱建物跡 30号（第48図、第36表）

A-30区で検出。側柱建物跡である。柱穴内から遺物は出土していないが、埋土が新しいことと、この建物跡の内部に

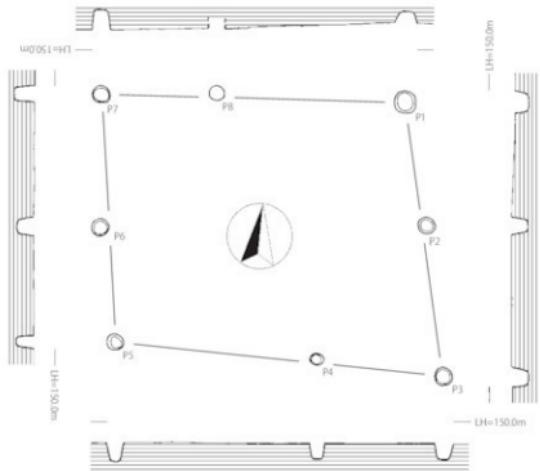
近世カマドあとがすっぽりと入ることから、カマドに伴う建物跡と考えられる。

掘立柱建物跡 31号（第49図、第37表）

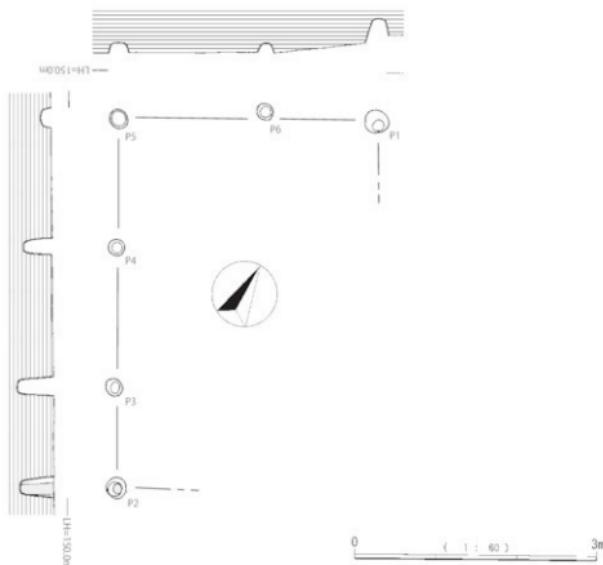
あ-31-32区で検出し、掘立33号と重複している。構成されている柱穴は深いものが多い。未検出の柱穴がある。柱穴内からは土師器などが出土している。



第50図 挖立柱建物跡32号



第51図 挖立柱建物跡33号



第52図 挖立柱建物跡34号

掘立柱建物跡32号（第50図、第38表）

A-32区で検出。1×2間の側柱建物跡である。構成するピットの埋土が近世の遺物を含むことから近世代の遺構と考えられる。こちらも掘立30号と同様に内側に近世カマド跡を内包することから、カマドに対応した建物跡であると考えられる。

されている柱穴は小さく浅いものが多い。柱穴内からは土師器などが出土している。

掘立柱建物跡34号（第52図、第40表）

A-32区で検出。2×3間の側柱建物跡である。南東角部分は未検出である。柱穴内からは土師器などが出土している。

掘立柱建物跡33号（第51図、第39表）

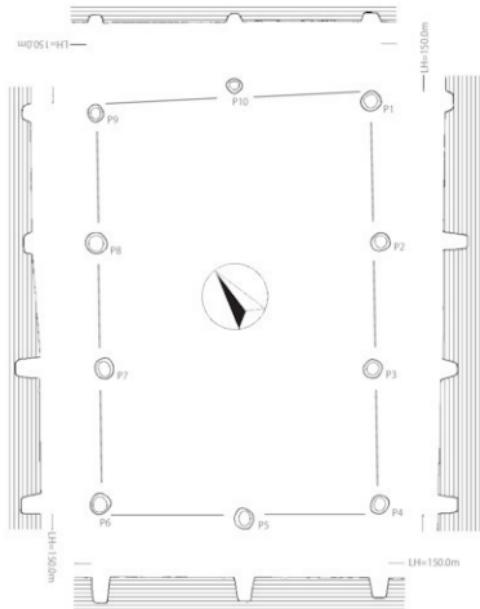
A-32区で検出し、掘立31号と重複している。南東角の柱がややゆがんでいる。2×2間の側柱建物跡である。構成

第35表 掘立柱建物跡29号計測表

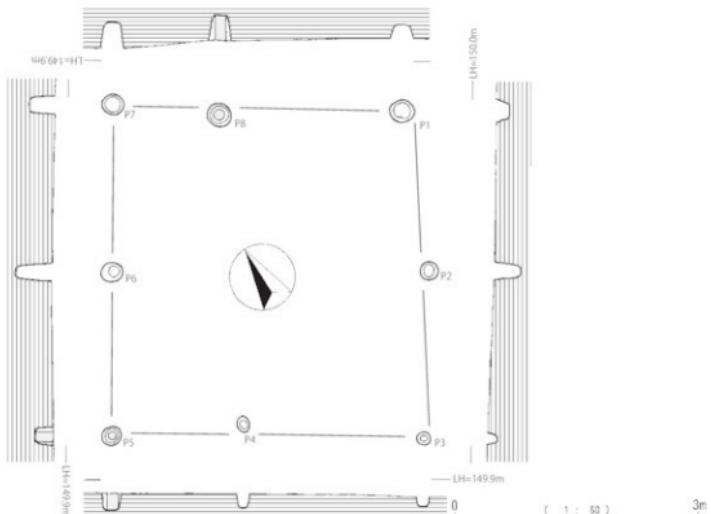
査行1	寸法	査行2	寸法	査行1	寸法	査行2	寸法	備考	遺物
P1-P6	336	平均	-	P1-P3	356	平均	178	方向:N48°W	P3: 土師器(3)
P3-P4	280	平均	-	P4-P6	392	平均	196		P5: 鉄滓(1)
				P1-P2	196	P4-P5	168		P6: 土師器(1), 滑石製石錠(1), 石器(1)
				P2-P3	160	P5-P6	224		

第36表 掘立柱建物跡30号計測表

査行1	寸法	査行2	寸法	査行1	寸法	査行2	寸法	備考	遺物
P1-P2	296	平均	-	P1-P5	336	平均	-		
P3-P5	260	平均	130	P2-P3	312	平均	-		
		P3-P4	144						
		P4-P5	116						



第53図 掘立柱建物跡35号



第54図 掘立柱建物跡36号

第37表 挖立柱建物跡31号計測表

査行1	寸法	査行2	寸法	査行1	寸法	査行2	寸法	備考	遺物
P1-P11	404	平均	135	P1-P5	702	平均	176	方向:N24°E	P1: 土師器(4), 粘土塊(6), 石器(2) P2: 積石(2)
P5-P8	420	平均	140	P8-P11	674	平均	225		P2: 粘土塊(1)
P1-P13	134	P5-P6	144	P1-P2	146	P8-P9	168		P5: 簾の羽口(7)
P13-P12	118	P6-P7	124	P2-P3	228	P9-P10	306		P11: 土師器(1), 粘土塊(1)
P12-P11	152	P7-P8	152	P3-P4	112	P10-P11	200		P12: 土師器(1), 粘土塊(1)
				P4-P5	216				

第38表 挖立柱建物跡32号計測表

査行1	寸法	査行2	寸法	査行1	寸法	査行2	寸法	備考	遺物
P1-P2	382	平均	-	P1-P5	442	平均	221	方向:N81°W	P1: 鉄製品(1)
P4-P5	374	平均	-	P2-P4	414	平均	207		P6: 簾の羽口(1)
				P1-P6	254	P2-P3	282		
				P6-P5	188	P3-P4	132		

第39表 挖立柱建物跡33号計測表

査行1	寸法	査行2	寸法	査行1	寸法	査行2	寸法	備考	遺物
P1-P3	340	平均	170	P1-P7	374	平均	187	方向:N85°E	P2: 土師器(1)
P5-P7	306	平均	153	P3-P5	404	平均	202		P4: 土師器(1), 滑石製石鏽(1)
P1-P2	152	P5-P6	142	P1-P8	232	P3-P4	156		
P2-P3	188	P6-P7	164	P8-P7	142	P4-P5	248		

第40表 挖立柱建物跡34号計測表

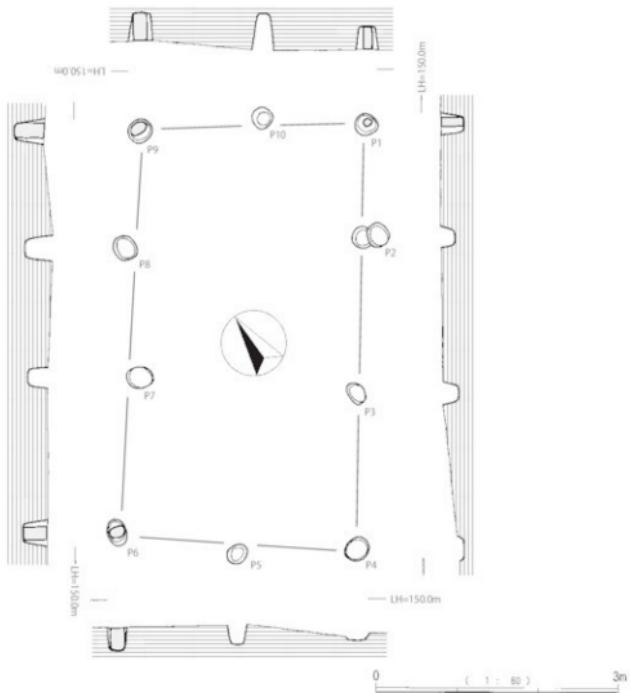
査行1	寸法	査行2	寸法	査行1	寸法	査行2	寸法	備考	遺物
P1-P5	320	平均	160	P2-P5	452	平均	151	方向:	P2: 土師器(1) P3: 土師器(1) P4: 石器(1)
P1-P6	140			P2-P3	124				
P6-P5	180			P3-P4	172				
				P4-P5	156				

第41表 挖立柱建物跡35号計測表

査行1	寸法	査行2	寸法	査行1	寸法	査行2	寸法	備考	遺物
P1-P9	342	平均	171	P1-P4	494	平均	165	方向:N35°E	P1: 土師器(2) P2: 土師器(4), 石器(1)
P4-P6	346	平均	173	P6-P9	482	平均	161		P6: 土師器(7), 須恵器(1) P9: 土師器(2)
P1-P10	168	P4-P5	168	P1-P2	172	P6-P7	168		
P10-P9	174	P5-P6	178	P2-P3	156	P7-P8	154		
				P3-P4	166	P8-P9	160		

第42表 挖立柱建物跡36号計測表

査行1	寸法	査行2	寸法	査行1	寸法	査行2	寸法	備考	遺物
P1-P7	356	平均	178	P1-P3	404	平均	202	方向:N31°E	P2: 土師器(2)
P3-P5	380	平均	190	P5-P7	404	平均	202		
P1-P8	224	P3-P4	220	P1-P2	200	P5-P6	200		
P8-P7	132	P4-P5	160	P2-P3	204	P6-P7	204		



第55図 挖立柱建物跡37号

掘立柱建物跡35号（第53図、第41表）

A-33区で検出。2×3間の側柱建物跡である。規格性は高い。柱穴内からは土師器などが出土している。

掘立柱建物跡36号（第54図、第42表）

A-33区で検出。2×2間の側柱建物跡である。柱穴内からは土師器などが出土している。

掘立柱建物跡37号（第55図、第43表）

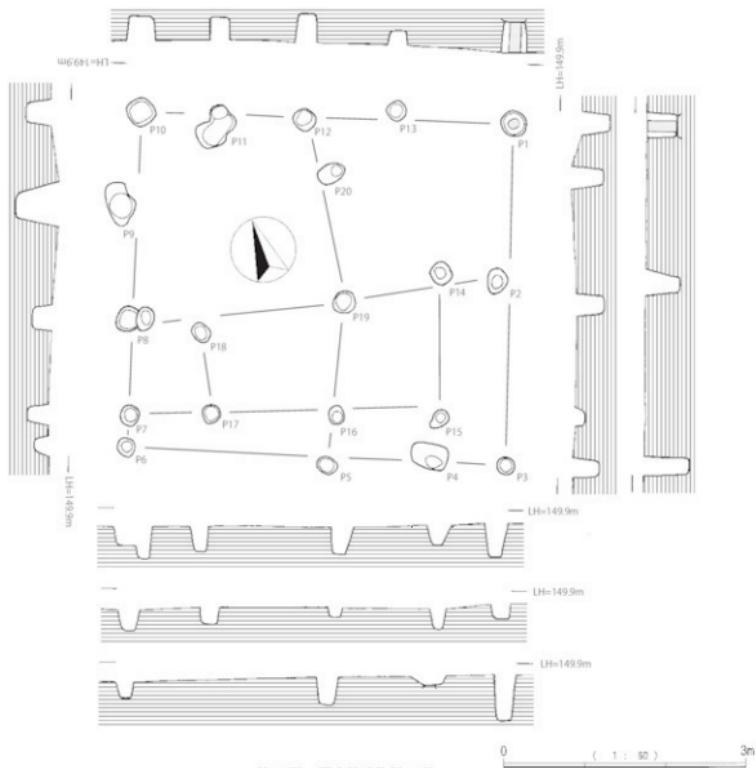
A-33-34区で検出し、掘立38号と重複している。2×3間の側柱建物跡である。梁行は掘立35号よりも短い。柱穴内からは滑石製石鍋、滑石混入土器などが出土している。

掘立柱建物跡38号（第56図、第44表）

A-33-34区で検出し、掘立37号と重複している。4×4間の総柱建物跡と見られる。柱穴内からは越州窯系青磁・滑石製石鍋などが出土している。

第43表 挖立柱建物跡37号計測表

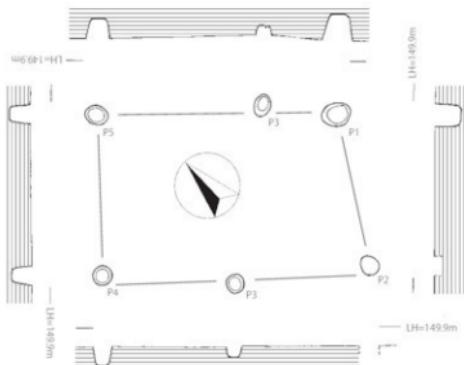
梁行1 寸法	梁行2 寸法	桁行1 寸法	桁行2 寸法	備考	遺物
P1-P9 284	平均 142	P1-P4 520	平均 173	方向 N35°E	P3: 滑石混入土器(2)
P4-P6 298	平均 149	P6-P9 502	平均 167		P5: 土師器(1), 滑石製石鍋(2)
P1-P10 128	P4-P5 148	P1-P2 140	P6-P7 192		P6: 滑石二次加工品(1), 粘土塊(9)
P10-P9 156	P5-P6 150	P2-P3 190	P7-P8 160		P7: 滑石製石鍋(1)
		P3-P4 190	P8-P9 150	P8: 滑石製石鍋(1)	
				P10: 滑石製石鍋(1), 石器(5)	



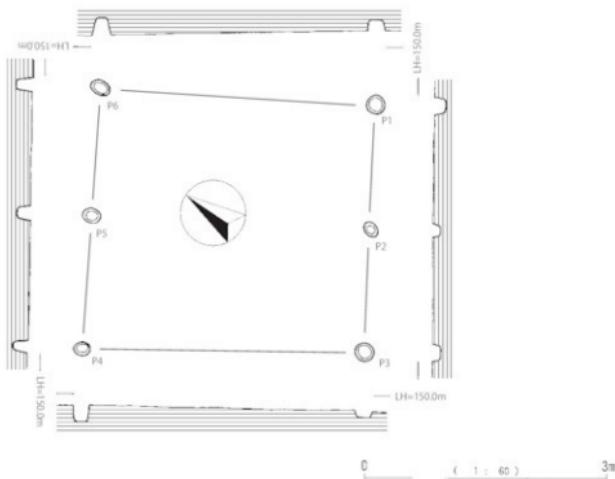
第56図 掘立柱建物跡38号

第44 掘立柱建物跡 38号計測表

査行 1	寸法	査行 2	寸法	査行 1	寸法	査行 2	寸法	備 考	遺 物
P1-P3	426	平均	213	P1-P10	472	平均	118	方向:N68°W	P2: 軽石(1)
P6-P10	420	平均	105	P3-P6	468	平均	156		P3: 土師器(8), 布目痕土器(7)
P15-P14	180	平均	-	P2-P8	476	平均	119		滑石二次加工品(1), 粘土塊(1), 軽石(1)
P6-P13	440	平均	110						P5: 粘土塊(1)
P17-P18	100	平均	-						P7: 土師器(2), 須恵器(1), 軽石(1)
P1-P2	196	P6-P7	40	P1-P13	148	P3-P4	88		P8: 土師器(5)
P2-P3	230	P7-P8	120	P13-P12	116	P4-P5	132		P9: 越州窯系青磁(1), 布目痕土器(1)
		P8-P9	140	P12-P11	108	P5-P6	248		滑石二次加工品(1)
		P9-P10	120	P11-P10	100				P11: 粘土塊(3), 石器(1)
P5-P16	64			P2-P14	72				P12: 土師器(1), 滑石製石鍋(2)
P16-P19	140			P14-P19	128				白磁(1), 粘土塊(7)
P19-P20	160			P19-P18	184				P15: 滑石製石鍋(1)
P20-P12	76			P18-P8	92				P16: 炭化物(1)
									P19: 土師器(2), 粘土塊(2)
									P20: 粘土塊(3)



第57図 挖立柱建物跡39号



第58図 挖立柱建物跡40号

掘立柱建物跡39号（第57図、第45表）

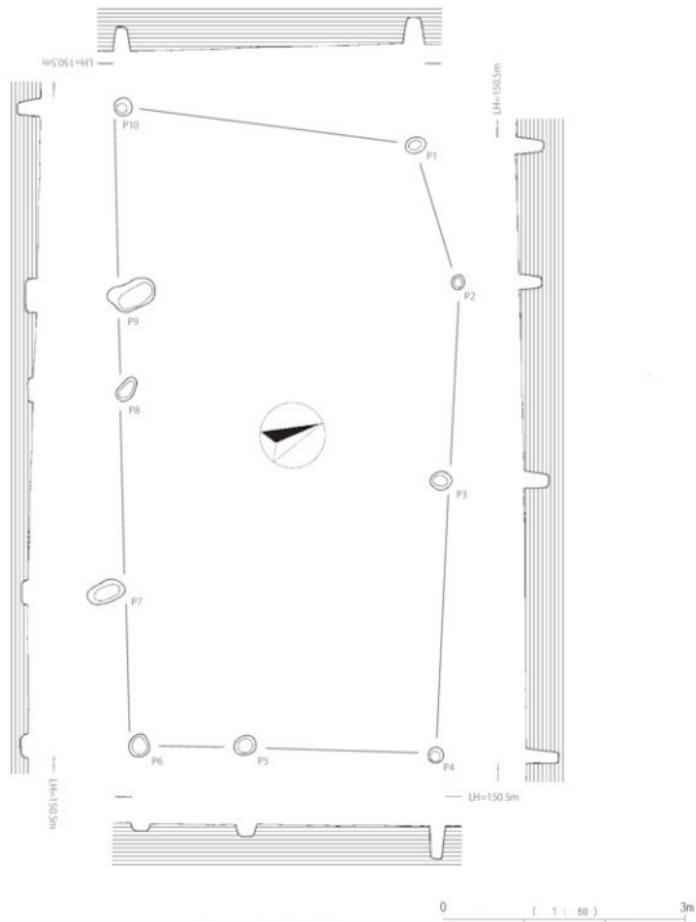
A・B-33区で検出。1×2間の側柱建物跡である。柱穴からは粘土塊が出土している。

掘立柱建物跡40号（第58図、第46表）

B-32・33区で検出。2×2間の側柱建物跡である。南側の1本は未検出である。柱穴内から遺物は出土していない。

掘立柱建物跡41号（第59図、第47表）

C・D-32区で検出。2×4間の側柱建物跡である。左右の柱もそろわず。ややいびつである。内部に近世カマ下跡が見られる事から、近世代の建物跡の可能性がある。柱穴内からは粘土塊などが出土している。



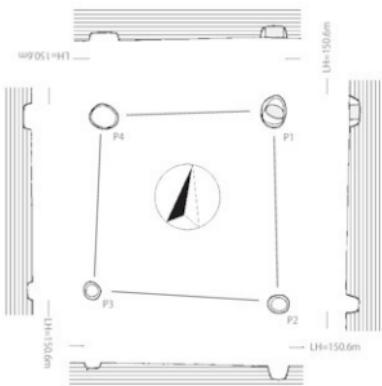
第45図 掘立柱建物跡41号

第45表 掘立柱建物跡39号計測表

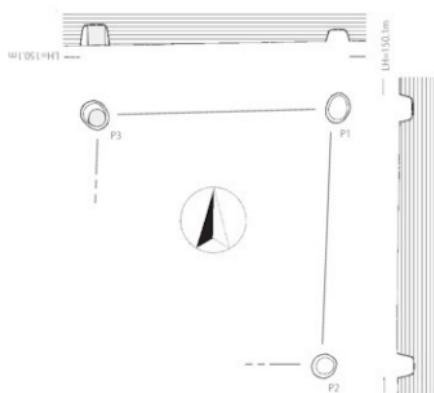
梁行1 寸法	梁行2 寸法	桁行1 寸法	桁行2 寸法	備考	遺物
P1-P2 188	平均 -	P1-P5 300	平均 150	方向:N50°W	P2: 粘土塊(1)
P4-P5 196	平均 -	P2-P4 332	平均 166		P4: 粘土塊(1)
		P1-P6 92	P2-P3 168		
		P6-P5 208	P3-P4 164		

第46表 掘立柱建物跡40号計測表

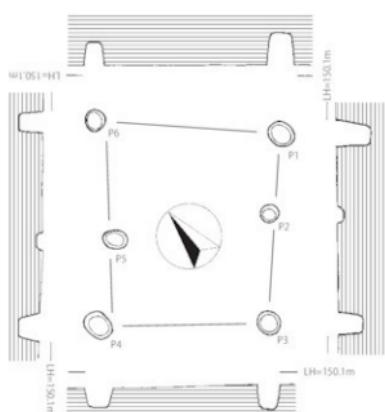
梁行1 寸法	梁行2 寸法	桁行1 寸法	桁行2 寸法	備考	遺物
P1-P3 302	平均 151	P1-P6 340	平均 -	方向:N33°W	
P4-P6 316	平均 158	P3-P4 348	平均 -		
P1-P2 152	P4-P5 160				
P2-P3 150	P5-P6 156				



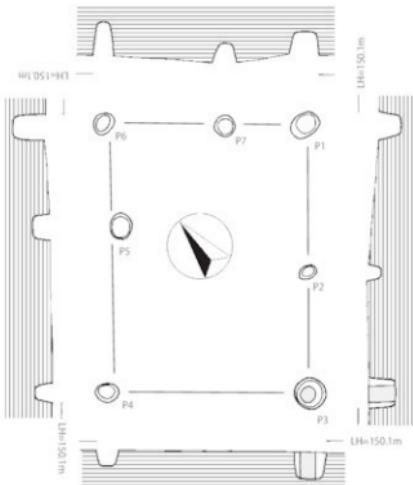
第60図 捜立柱建物跡42号



第61図 捜立柱建物跡43号



第62図 捜立柱建物跡44号



第63図 捜立柱建物跡45号

掘立柱建物跡42号（第60図、第48表）

D-32区で検出。1×1間の建物跡である。やや小さめの柱穴で構成される。

掘立柱建物跡43号（第61図、第49表）

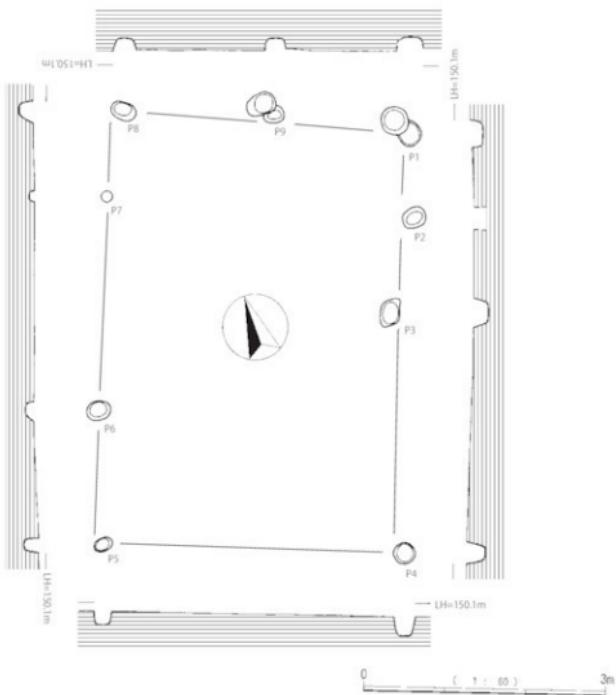
C-32区で検出。1×1間の建物跡と考えられる。南西側柱附は未検出である。柱穴内からは土師器が出土している。

掘立柱建物跡44号（第62図、第50表）

C-33区で検出。1×2間の側柱建物跡である。柱穴内からは粘土塊が出土している。

掘立柱建物跡45号（第63図、第51表）

C-33区で検出。2×2間の側柱建物跡と見られる。柱穴内から白磁・カムイキヤキが出土している。



第64図 挖立柱建物跡46号

掘立柱建物跡46号（第64図、第52表）

C-D-33-34区で検出し、掘立49号と重複している。倒柱建物跡である。全体的にやや浅い。柱穴内からは土師器などが出土している。

第47表 掘立柱建物跡41号計測表

査行1	寸法	査行2	寸法	査行1	寸法	査行2	寸法	備考	遺物
P1-P10	364	平均	-	P1-P4	756	平均	252	方向:N69°W	P1: 粘土塊(33)
P4-P6	368	平均	184	P6-P10	788	平均	197		P2: 粘土塊(1)
		P4-P5	236	P1-P2	176	P6-P7	192		P3: 鉄滓(1), 粘土塊(2), 炭化物(1)
		P5-P6	132	P2-P3	244	P7-P8	248		
				P3-P4	336	P8-P9	116		
					P9-P10	232			

第48表 掘立柱建物跡42号計測表

査行1	寸法	査行2	寸法	査行1	寸法	査行2	寸法	備考	遺物
P1-P4	212	平均	-	P1-P2	236	平均	-	方向:N12°W	
P2-P3	230	平均	-	P3-P4	214	平均	-		

掘立柱建物跡 47 号（第 65 図、第 53 表）

B-34 区で検出。1 × 2 間の掘立柱建物跡である。柱穴内からは土師器などが出土している。

第 49 表 掘立柱建物跡 43 号計測表

梁行 1 寸法	梁行 2 寸法	桁行 1 寸法	桁行 2 寸法	備 考	遺 物
P1-P4 212	平均 -	P1-P2 236	平均 -	方向:	P2: 土師器(1), 軽石(1)
P2-P3 230	平均 -	P3-P4 214	平均 -		P3: 土師器(1)

第 50 表 掘立柱建物跡 44 号計測表

梁行 1 寸法	梁行 2 寸法	桁行 1 寸法	桁行 2 寸法	備 考	遺 物
P1-P6 228	平均 -	P1-P3 232	平均 116	方向:N38°E	P3: 土師器(1), 滑石製石鍋(1)
P3-P4 212	平均 -	P4-P6 256	平均 128		滑石二次加工品(1)
		P1-P2 100	P4-P5 108		P6: 須恵器(1)
		P2-P3 132	P5-P6 148		

第 51 表 掘立柱建物跡 45 号計測表

梁行 1 寸法	梁行 2 寸法	桁行 1 寸法	桁行 2 寸法	備 考	遺 物
P1-P6 252	平均 126	P1-P3 332	平均 166	方向:N39°E	P1: 土師器(1), 石器(1)
P3-P4 248	平均 -	P4-P6 332	平均 166		P4: カムイヤキ(3), 白磁(1), 石器(1)
P1-P7 100		P1-P2 180	P4-P5 204		P5: 土師器(1)
P7-P6 152		P2-P3 152	P5-P6 128		P6: 土師器(4), 粘土塊(8), 石器(1)
					P7: 粘土塊(5)

第 52 表 掘立柱建物跡 46 号計測表

梁行 1 寸法	梁行 2 寸法	桁行 1 寸法	桁行 2 寸法	備 考	遺 物
P1-P8 356	平均 178	P1-P4 516	平均 172	方向:N22°E	P1: 土師器(2), 粘土塊(3)
P4-P5 372	平均 -	P5-P8 534	平均 178		P9: 粘土塊(1), 炭化物(1)
P1-P9 168		P1-P2 102	P5-P6 166		
P9-P8 188		P2-P3 120	P6-P7 260		
		P3-P4 294	P7-P8 108		

第 53 表 掘立柱建物跡 47 号計測表

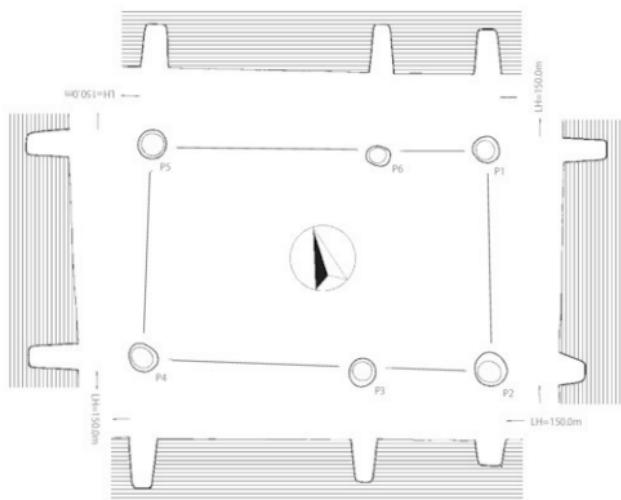
梁行 1 寸法	梁行 2 寸法	桁行 1 寸法	桁行 2 寸法	備 考	遺 物
P1-P2 272	平均 -	P1-P5 410	平均 205	方向:N72°W	P4: 土師器(2)
P4-P5 260	平均 -	P2-P4 426	平均 213		P5: 土師器(1), 粘土塊(2)
		P1-P6 132	P2-P3 156		P6: 布目压痕土器(1)
		P6-P5 278	P3-P4 270		

第 54 表 掘立柱建物跡 48 号計測表

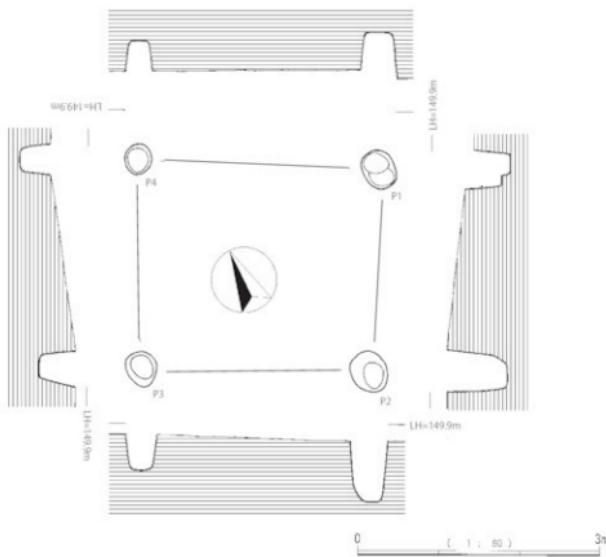
梁行 1 寸法	梁行 2 寸法	桁行 1 寸法	桁行 2 寸法	備 考	遺 物
P1-P2 260	平均 -	P1-P4 292	平均 -	方向:	P1: 土師器(2), 滑石製石鍋(3)
P3-P4 252	平均 -	P2-P3 284	平均 -		兼久式土器(1), 粘土塊(2)
					P2: 土師器(6), 滑石製石鍋(1)
					粘土塊(2)
					P3: 滑石製石鍋(1), 滑石二次加工品(2)
					粘土塊(3), 石器(1)
					P4: 土師器(1), 滑石製石鍋(1)
					粘土塊(4)

第 55 表 掘立柱建物跡 49 号計測表

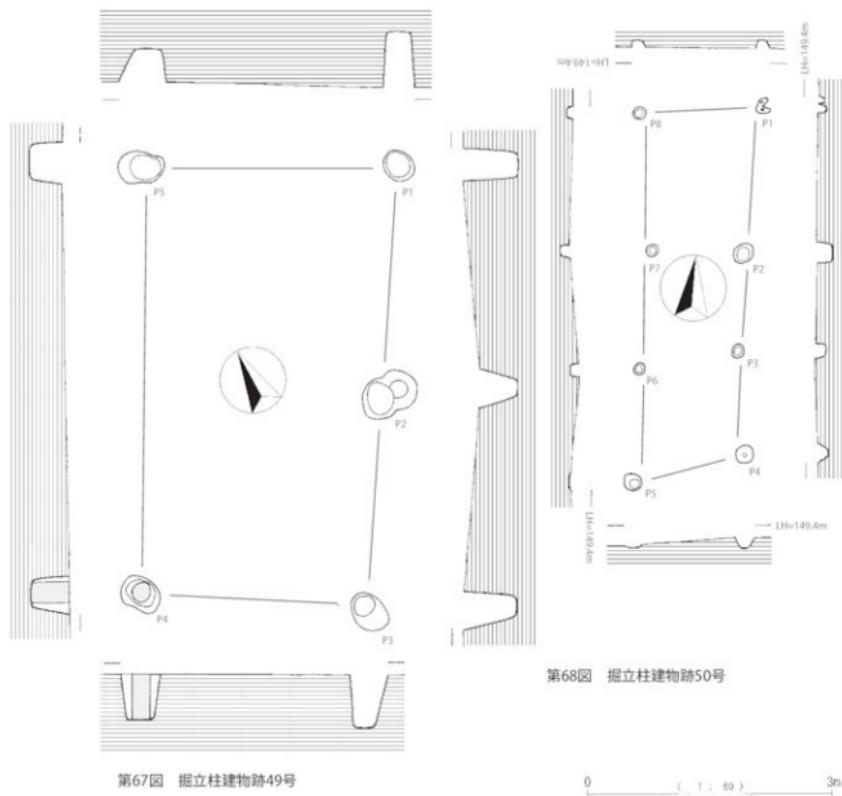
梁行 1 寸法	梁行 2 寸法	桁行 1 寸法	桁行 2 寸法	備 考	遺 物
P1-P5 308	平均 -	P1-P3 540	平均 270	方向:N31°E	P1: 布目压痕土器(2), 白磁(1)
P3-P4 274	平均 -	P4-P5 516	平均 -		粘土塊(1), 石器(1)
		P1-P2 272			P2: 粘土塊(1), 石器(2)
		P2-P3 268			P3: 土師器(4), 粘土塊(2)
					P4: 粘土塊(2), 軽石(3)
					P5: 土師器(2), 滑石製石鍋(1)
					粘土塊(2)



第65図 掘立柱建物跡47号



第66図 掘立柱建物跡48号

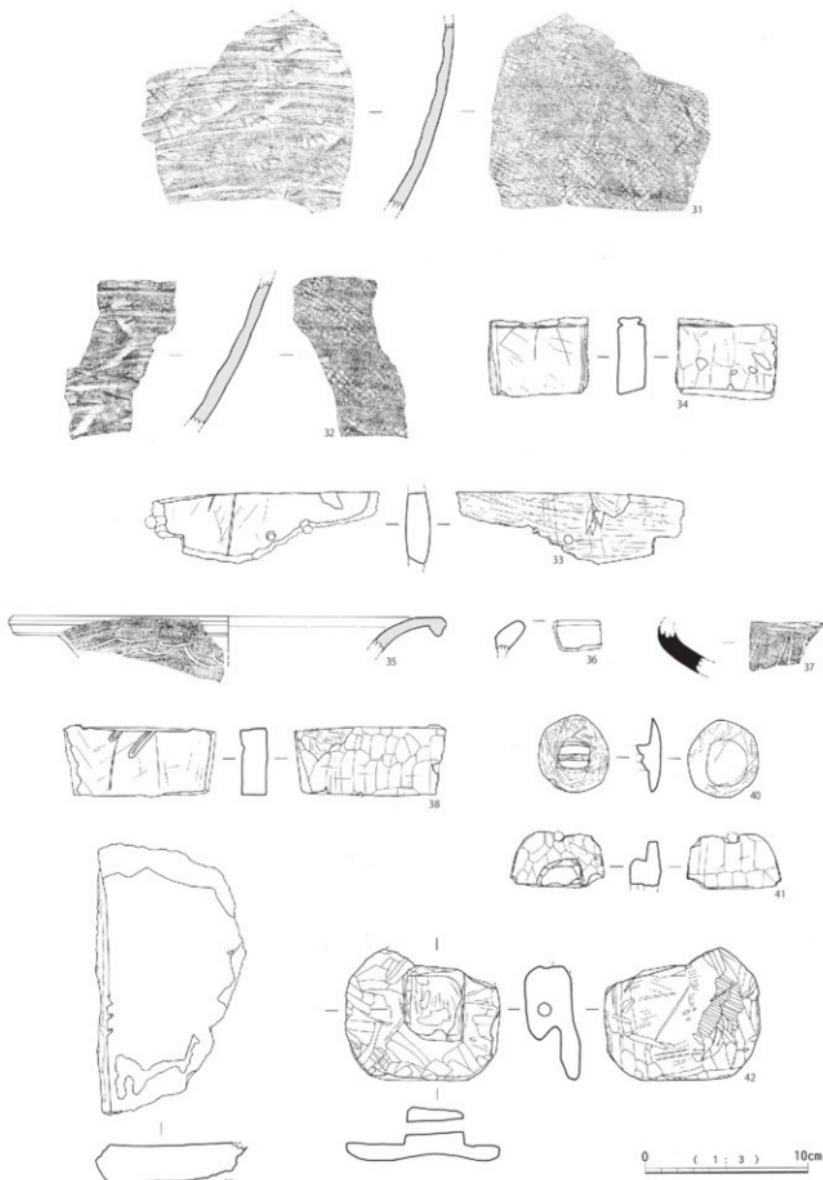


第 56 表 挖立柱建物跡 50 号計測表

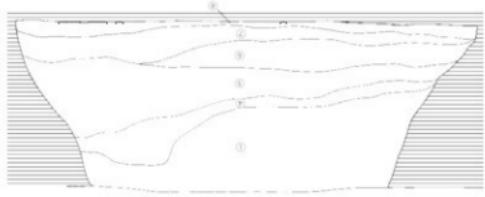
C34 区で検出し、掘立 46 号と重複している。1 × 2 間の側柱建物跡である。西側桁行の中央柱穴は近世カマドの構築によって消失したと見られる。

第 56 表 挖立柱建物跡 50 号計測表

B-33・34 区で検出し、掘立 51 号と重複している。1 × 3 間の細長い側柱建物跡である。柱穴内からは土師器などが出土している。



第69图 B地区据立柱建物跡内出土遗物



土坑1号土層説明	
①	暗褐色土。赤色粒有。
②	暗褐色土。混入物少。
③	暗褐色土。①より明るい。
④	灰褐色土。
⑤	暗褐色土。灰褐色ブロック有。
⑥	黄褐色粘質土。
⑦	暗褐色強粘質土。
⑧	黄褐色土。

— — — LH=150cm

— — — E-E'断面



46

LH=150cm

0 (1 : 20) 1m

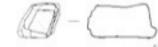


第70図 土坑1号

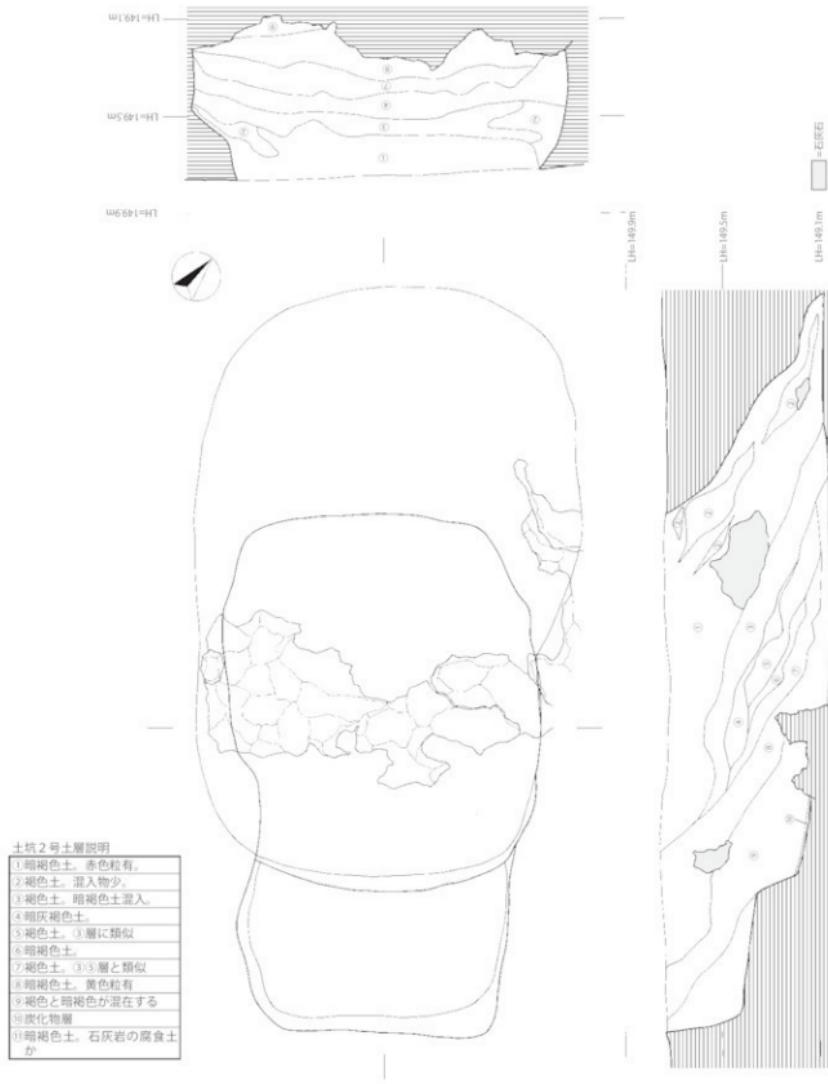
— — — 43



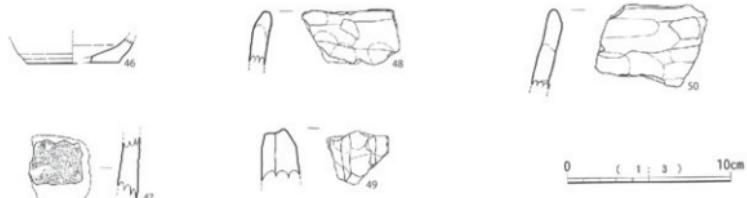
44



0 (1 : 2) 10cm



第71図 土坑2号(1)



第72図 土坑2号(2)

(イ) 挖立柱建物跡内出土遺物

31・32は掘立16号から出土したカムイヤキである。33は掘立21号から出土した滑石製石鍋である。器表面は製作時の壓痕がほとんど見られないほど擦痕が当てられている。35は掘立27号から出土した朝鮮系無輪陶器である。36・37は掘立33号から出土している。37は須恵器である。頸部に八字型の文様が見られる。38～40は掘立37号から出土した滑石製石鍋である。38・39とも破断面に擦痕が認められる。40はバレン状製品である。42は掘立44号から出土したバレン状製品である。胴部を転用しているよう、突起部の裏側は凹んでいた。

(ウ) 土坑

土坑1号

B-33区で検出。平面形状は瓢箪状に見えたが、北側の堀がフラスコ状に広がる土坑である。南側から北側に向けて流れ込みによる堆積状況が確認できる。⑦層上面に石灰岩が置かれていた。

出土遺物

43は土師器壺である。底部の形状から9世紀後半～10世紀頃の資料と見られる。44は土師器甕である。45は滑石製石鍋で左右の側面には擦り切り痕が確認できる。

土坑2号

B-33区で検出。土坑1号と隣接している。形状も非常に類似しており、瓢箪状で北側の下場が広がるフラスコ型をしている。土坑1号と同様に南側から北側に向けて流れ込みによる堆積状況が確認できるが、こちらは最下層(30層)で薄い炭化物層が形成されていた。

出土遺物

46は土師器壺である。43と類似している。9世紀後半～10世紀頃と見られる。47は布目压痕土器である。48～50は滑石混入土器である。49は滑石製石鍋の縁耳を模倣したものである。

第57表 B地区掘立柱建物跡内出土遺物

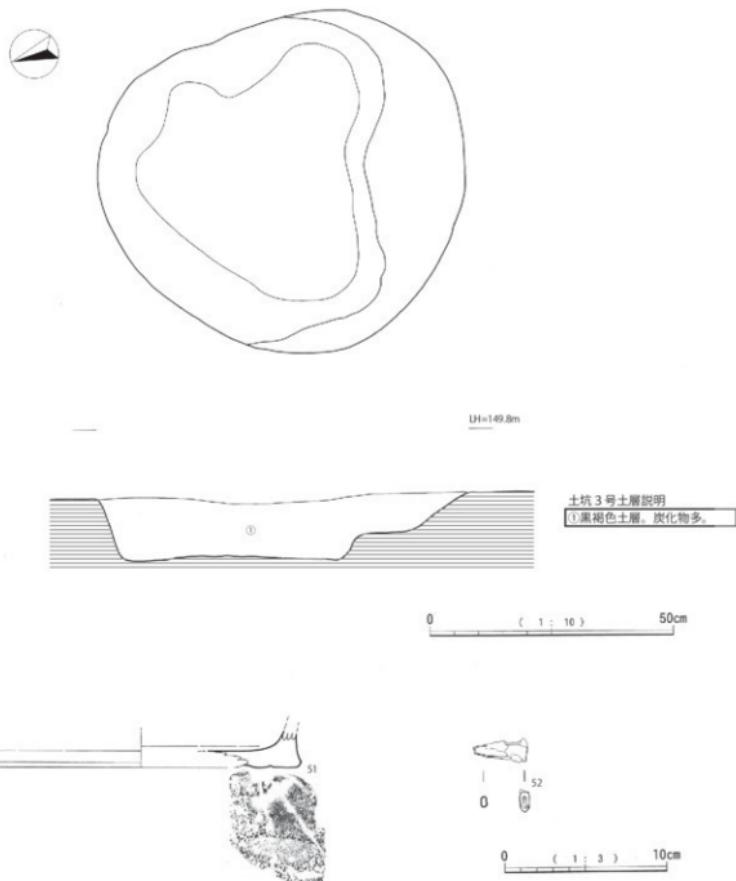
図版 No	開拓 番号	出土区	遺構	分類L1	分類L2	分類L3	部位	計測値(cm)			色調	重量 (g)	備考
								口径	底径	器高 (内) (外)			
69	31	B29	P1864	カムイヤキ	壺・甕	-	胴部	-	-	黄灰	-	-	掘立16号-P01
	32	B29	P1864	カムイヤキ	壺・甕	-	胴部	-	-	褐灰	にぶい橙	-	掘立16号-P01
	33	C29	P1758	滑石製石鍋	-	-	-	-	-	-	-	-	掘立21号-P02
	34	B30	P1909	滑石製石鍋	-	-	-	-	-	-	-	-	掘立26号-P21
	35	A30	P1948	朝鮮系無輪陶器	壺・甕	-	口縁部	26.3	-	にぶい黄	灰	-	掘立27号-P14
	36	約33	P2604	土師器	甕	-	口縁部	-	-	灰白	灰白	-	掘立35号-P02
	37	約33	P2587	漆器	-	-	頸部	-	-	灰白	灰白	-	掘立35号-P06
	38	A34	P2638	滑石製石鍋	-	-	-	-	-	-	-	144	掘立37号-P08
	39	A34	P3632	滑石製石鍋	-	-	-	-	-	-	-	440	掘立37号-P10
	40	A33	P2431	滑石二次加工品	バレン状	-	-	-	-	-	-	26	掘立37号-P06
	41	A34	P3653	滑石二次加工品	バレン状	-	-	-	-	-	-	35	掘立38号-P09
	42	C33	P3769	滑石二次加工品	バレン状	-	-	-	-	-	-	206	掘立44号-P03

第58表 土坑1号

図版 No	開拓 番号	出土区	遺構	分類L1	分類L2	分類L3	部位	計測値(cm)			色調	重量 (g)	備考
								口径	底径	器高 (内) (外)			
70	43	土坑1号	土師器	壺	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	44	土坑1号	土師器	甕	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	45	土坑1号	滑石製石鍋	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第59表 土坑2号

図版 No	開拓 番号	出土区	遺構	分類L1	分類L2	分類L3	部位	計測値(cm)			色調	重量 (g)	備考
								口径	底径	器高 (内) (外)			
72	46	土坑2号	土師器	壺	-	-	底部	-	-	-	-	-	-
	47	土坑2号	布目压痕土器	-	-	-	胴部	-	-	-	-	-	-
	48	土坑2号	滑石混入土器	-	-	-	口縁部	-	-	-	-	-	-
	49	土坑2号	滑石混入土器	-	-	-	口縁部	-	-	-	-	-	縫耳埋倣
	50	土坑2号	滑石混入土器	-	-	-	口縁部	-	-	-	-	-	-



第73図 土坑3号

土坑 3号

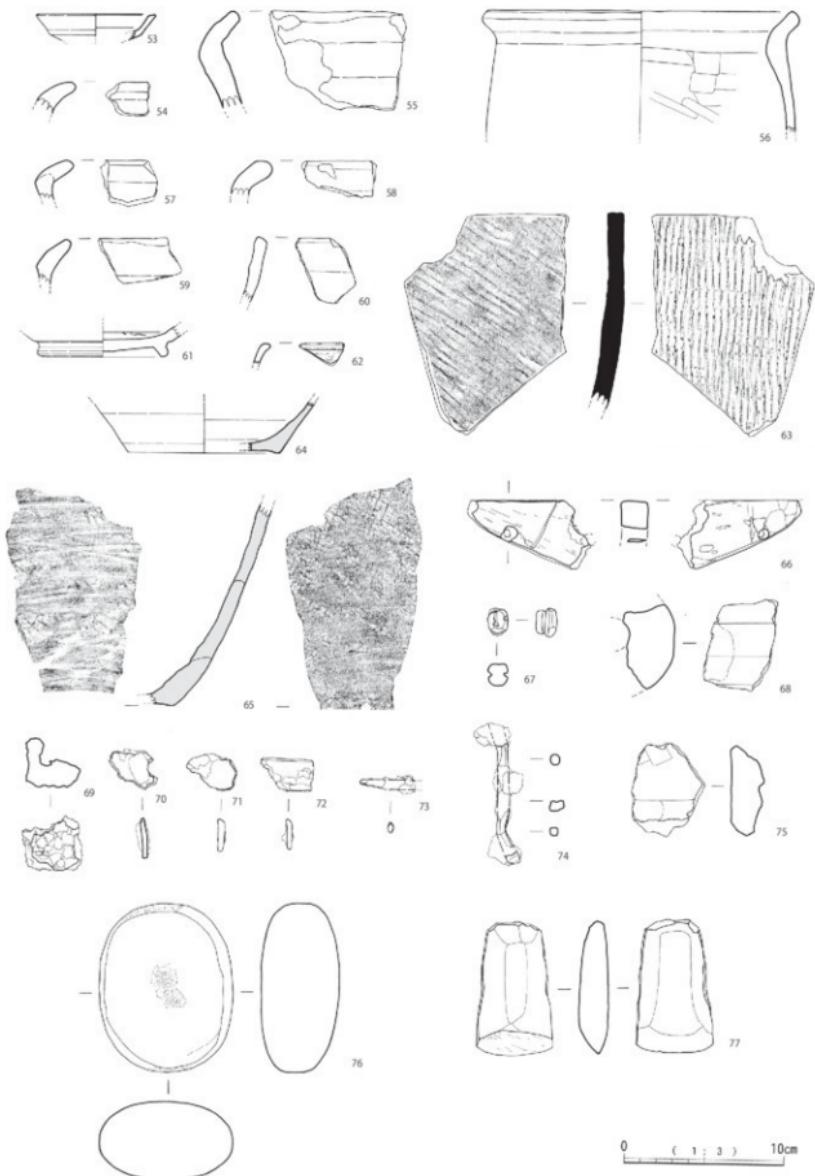
あ-33区で検出。直径 76cm × 71cm の円形状土坑で、南側に段差が見られる。内部は炭化物・赤色粒が多量に混入していた。被熱画は確認していない。

出土遺物

51 は滑石混入土器である。底面を外側に張り出すもので立ち上がり部分がくびれている。底面には木葉痕と見られる痕跡が確認できる。52 は刀子の基部である。

第60表 土坑3号

図版 No.	実地 番号	出土区	遺構	分類 L1			部位	計測値 (cm)			色調 (内) (外)	重量 (g)	備考
				分類 L2	分類 L3	口徑		底径	高さ				
73	51	土坑 3号	滑石混入土器	-	-	-	底面	-	-	-	-	-	木葉痕
	52	土坑 3号	鉄製品	刀子	-	-	基部	-	-	-	-	-	-



第74図 B地区柱穴内出土遺物

第61表 8地区柱穴内出土遺物

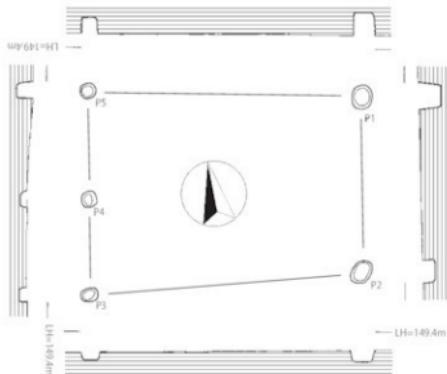
回復 No	規範 番号	出土区	遺構	分類L1	分類L2	分類L3	部位	計測値(cm)			色調 (内) (外)	重量 (g)	備考
								口径	底径	高さ			
	53	C29	P1797	土師器	环・桶	-	口縁部	7.3	-	-	-	-	-
	54	C31	P1734	土師器	甕	-	口縁部	-	-	-	-	-	-
	55	C34	P2232	土師器	甕	-	口縁部	-	-	-	-	-	-
	56	B28	P1829	土師器	甕	-	口縁部	18.5	-	-	-	-	-
	57	C28	P1828	土師器	甕	-	口縁部	-	-	-	-	-	-
	58	A33	P2457	土師器	甕	-	口縁部	-	-	-	-	-	-
	59	B33	P2163	土師器	甕	-	口縁部	-	-	-	-	-	-
	60	C33	P2124	土師器	甕	-	口縁部	-	-	-	-	-	-
	61	C34	P0123	越州窯系青磁	碗	1頭	底部	-	7.1	-	-	-	-
	62	A33	P2536	高輪陶短器	碗	綠釉陶器	口縁部	-	-	-	-	-	-
	63	B34	P3660	須恵器	甕	-	肩部	-	-	-	黄灰	に赤い黃 褐	-
74	64	C34	P3545	朝鮮系無釉陶器	甕・甌	-	底部	-	9.8	-	-	-	-
	65	B29	P1867	カムイヤキ	甕・甌	-	底部	-	-	-	褐色	灰褐色	-
	66	A34	P1136	滑石製石鍋	-	-	-	-	-	-	-	82	-
	67	B33	P2396	滑石二次加工品	疊状	-	-	-	-	-	-	5	-
	68	A34	P2406	繩の割口	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	69	B27	P0026	铁津	椭形津	-	-	-	-	-	-	41	-
	70	A32	P2578	鉄製品	刀子	-	-	-	-	-	-	5	-
	71	A32	P2578	鉄製品	刀子	-	-	-	-	-	-	4	-
	72	A32	P2578	鉄製品	刀子	-	-	-	-	-	-	4	-
	73	C33	P2307	鉄製品	刀子	-	-	-	-	-	-	-	-
	74	B30	P2016	鉄製品	-	-	-	-	-	-	-	20	-
	75	A34	P2406	粘土塊	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	76	A34	P2469	石器	磨歎石	-	-	-	-	-	-	704	-
	77	A32	P3789	石器	石斧	-	-	-	-	-	-	115	-

(2) 柱穴内出土遺物

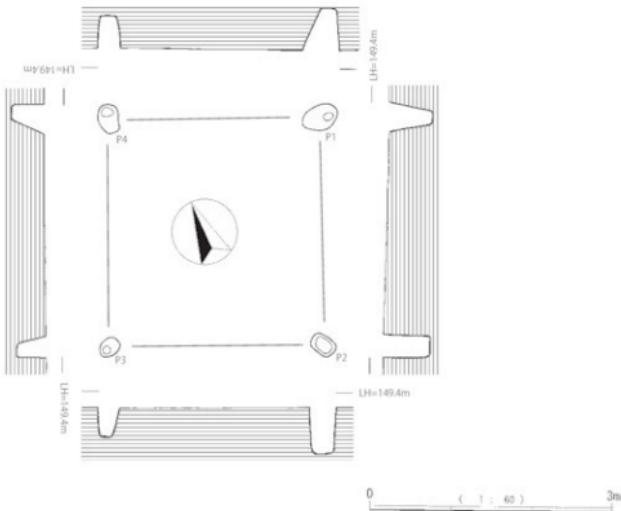
53 ~ 77 は柱穴内から出土した資料である。53 は南九州的な土師器ではなさそうである。黒色土器の皿である可能性もある。54 ~ 59 は甕の口縁部である。56 は口径 18.5cm を測る。内面にはケズリ痕が見られる。口縁直下は強くケズリを当てていないため、やや厚くなっている。60 は越州窯系青磁である。62 は緑釉陶器である。本遺跡群では初めての出土である。63 は須恵器である。断面の一部は擦られ平になっている。内外面も擦られている。墨痕などは確認できなかった。64 は朝鮮系無釉陶器の底部かと見られる。胎土などから判断したが、カムイヤキである可能性もある。65 はカムイヤキの底部である。70 ~ 74 は鉄製品である。70 ~ 72 は同じ柱穴内から出土しているので、一個体になると考えられる。73 は緩やかな S 字を描くような製品である。76~77 は石器である。76 は磨歎石、77 は石斧である。



第75図 C地区詳細図



第76図 挖立柱建物跡51号



第77図 挖立柱建物跡52号

(3) C 地区

(7) 挖立柱建物跡

掘立柱建物跡 51 号 (第 76 図、第 62 表)

B-34-35 区で検出し、掘立 50 号と重複している。2 × 1 間

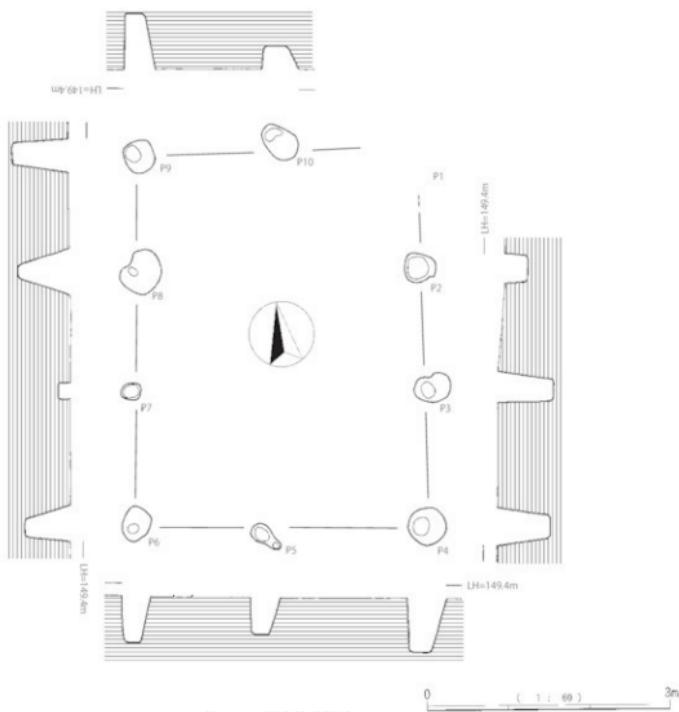
の圓柱建物跡である。

掘立柱建物跡 52 号 (第 77 図、第 63 表)

B-C-35 区で検出し、掘立 53 号と重複している。1 × 1 間の建物跡である。やや大きめの柱穴で構成されている。

第 62 表 挖立柱建物跡 51 号計測表

梁行 1 寸法	梁行 2 寸法	桁行 1 寸法	桁行 2 寸法	備 考	遺 物
P1-P2 214	平均 -	P1-P5 338	平均 -	方向:N80°W	P5: 土師器(1), 滑石製石錠(1)
P3-P5 248	平均 124	P2-P3 338	平均 -		粘土塊(1)
P3-P4 116					
P4-P5 132					



第78図 挖立柱建物跡53号

掘立柱建物跡53号（第78図、第64表）

C-35区で検出し、掘立52号と重複している。2×3間の側柱建物跡である。使用されている柱穴は大きいものが多く、面積も広い。柱穴内からは土師器・滑石製石鍋などが出土している。

第63表 掘立柱建物跡52号計測表

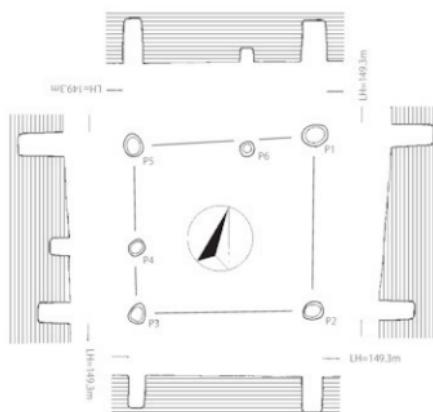
梁行1	寸法	梁行2	寸法	桁行1	寸法	桁行2	寸法	備考	遺物
P1-P4	272	平均	-	P1-P2	280	平均	-	方向:	P1: 土師器(1), 滑石製石鍋(1), 石器(1)
P2-P3	268	平均	-	P3-P4	292	平均	-		P2: 土師器(1)

掘立柱建物跡54号（第79図、第65表）

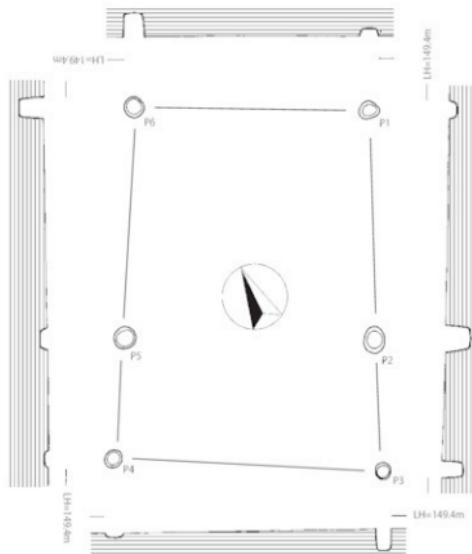
B-35区で検出。2×2間の側柱建物跡である。小型の建物跡である。柱穴内からは土師器・滑石製石鍋などが出土している。

第64表 掘立柱建物跡53号計測表

梁行1	寸法	梁行2	寸法	桁行1	寸法	桁行2	寸法	備考	遺物
P1-P9	176	平均	176	P1-P4	320	平均	160	方向:N8°E	P1: 土師器(4), 滑石製石鍋(1) 粘土塊(1), 石器(2)
P4-P6	356	平均	178	P6-P9	460	平均	153		P2: 土師器(9), 藤の羽口(1)
P1-P10		P4-P5	196	P1-P2		P6-P7	168		P3: 土師器(3)
P10-P9	176	P5-P6	160	P2-P3	152	P7-P8	148		P4: 黒色土器(1), 土師器(5) 粘土塊(3), 石器(1)
				P3-P4	168	P8-P9	144		P5: 土師器(1), 粘土塊(1)
									P6: 土師器(7)
									P8: 土師器(3), 藤の羽口(1), 石器(1)
									P9: 土師器(5), 粘土塊(1)
									P10: 土師器(8), 粘土塊(5)



第79図 挖立柱建物跡54号

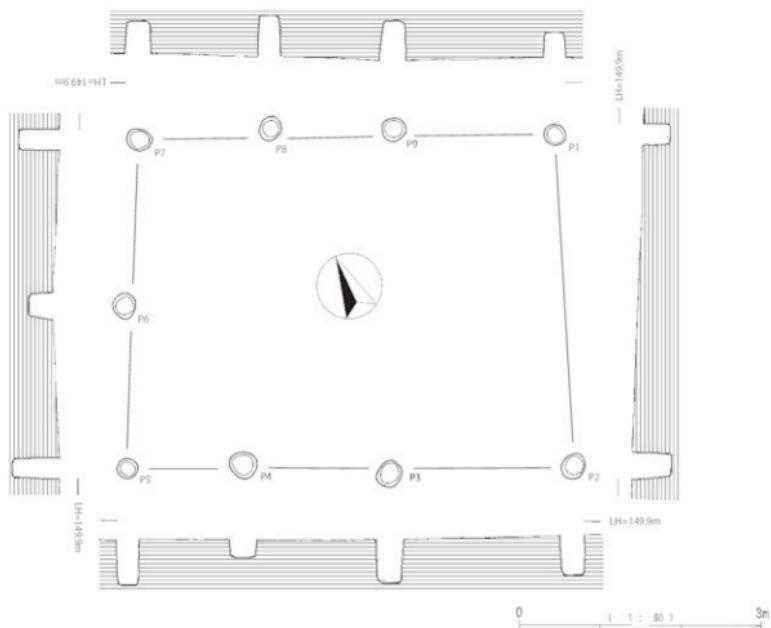


第80図 挖立柱建物跡55号

0 (1 : 60) 3m

第65表 挖立柱建物跡54号計測表

梁行1 寸法	梁行2 寸法	桁行1 寸法	桁行2 寸法	備 考	遺 物	
P1-P2 216	平均 -	P1-P5 224	平均 112	方向:N74°E	P1: 土師器(1), 滑石製石錠(1)	
P3-P5 208	平均 104	P2-P3 216	平均 -			粘土塊(3), 石器(2)
	P3-P4 84	P1-P6 84				P2: 石器(1)
	P4-P5 124	P6-P5 140				



第81図 挖立柱建物跡56号

掘立柱建物跡 55 号（第 80 図、第 65 表）

A-35 区で検出。1 × 2 間の側柱建物跡である。掘立 56 号と重複している。柱穴内から遺物は出土していない。

掘立柱建物跡 56 号（第 81 図、第 66 表）

A-35 区で検出し、掘立 55 号と重複している。2 × 3 間の側柱建物跡である。東側梁行の 1 本は未検出である。全体的に柱間距離が広く、面積も広い。柱穴内から土師器などが出土地している。

掘立柱建物跡 57 号（第 82 図、第 67 表）

B-35-36 区で検出し、掘立 58 号と重複している。2 × 3 間の総柱で北側に庇がつく建物跡である。柱穴内からは滑石製石鍋・カムイヤキ等が出土している。

掘立柱建物跡 58 号（第 83 図、第 68 表）

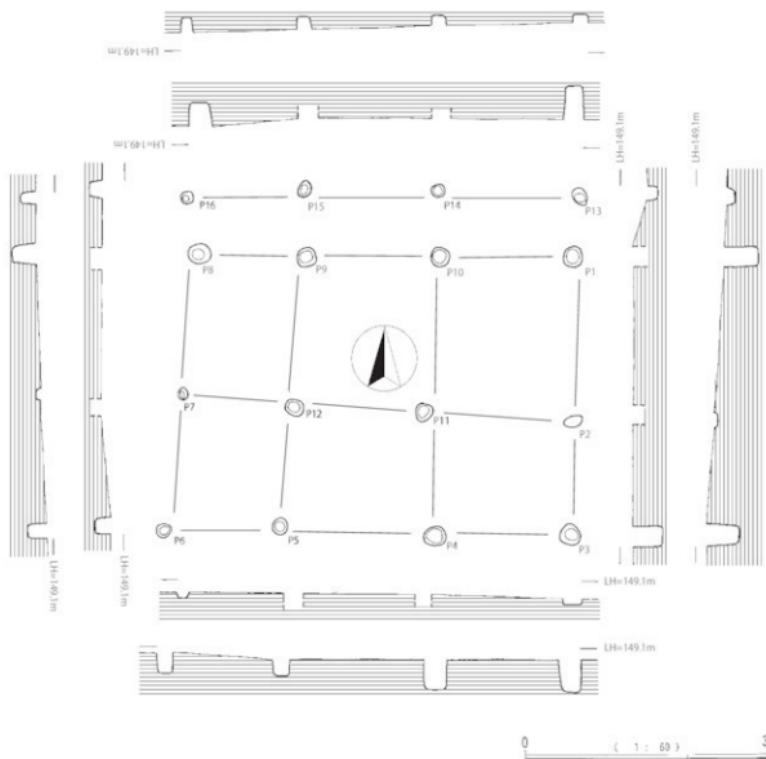
B-35 区で検出し、掘立 57 号と重複している。2 × 3 間の総柱建物跡である。柱穴内から土師器・施釉陶器などが出土していることから、新しい建物跡であると考えられる。

第 66 表 挖立柱建物跡 55 号計測表

梁行 1 寸法	梁行 2 寸法	桁行 1 寸法	桁行 2 寸法	備 考	遺 物
P1-P6 290	平均 -	P1-P3 440	平均 220		
P3-P4 332	平均 -	P4-P6 432	平均 216		
		P1-P2 280	P4-P5 148		
		P2-P3 160	P5-P6 284		

第 67 表 挖立柱建物跡 56 号計測表

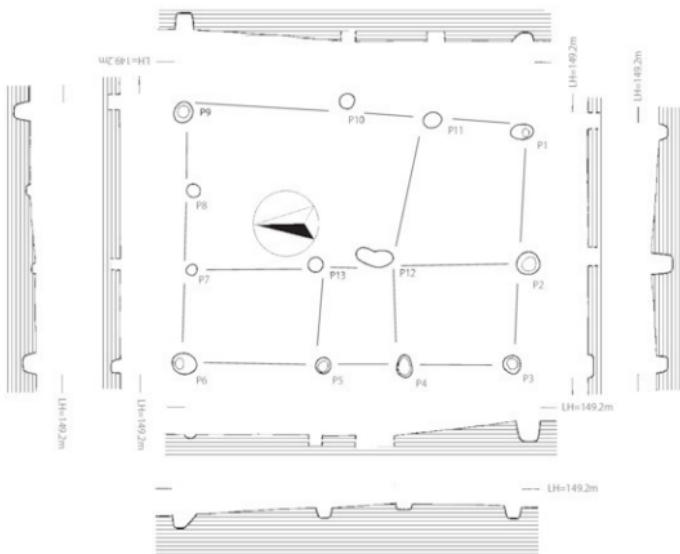
梁行 1 寸法	梁行 2 寸法	桁行 1 寸法	桁行 2 寸法	備 考	遺 物
P1-P2 460	平均 -	P1-P7 516	平均 172		
P5-P7 404	平均 202	P2-P5 552	平均 184		P5: 土師器(1), 土製品(1), 粘土塊(2) P6: 石器(1), 輪石(1)
	P5-P6 200	P1-P9 200	P2-P3 228		
	P6-P7 204	P9-P8 152	P3-P4 180		
		P8-P7 164	P4-P5 144		



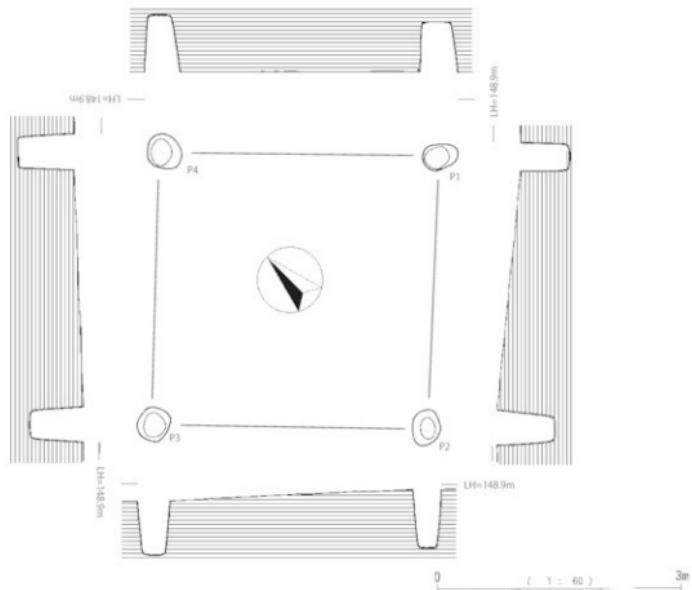
第82図 挖立柱建物跡57号

第68表 挖立柱建物跡57号計測表

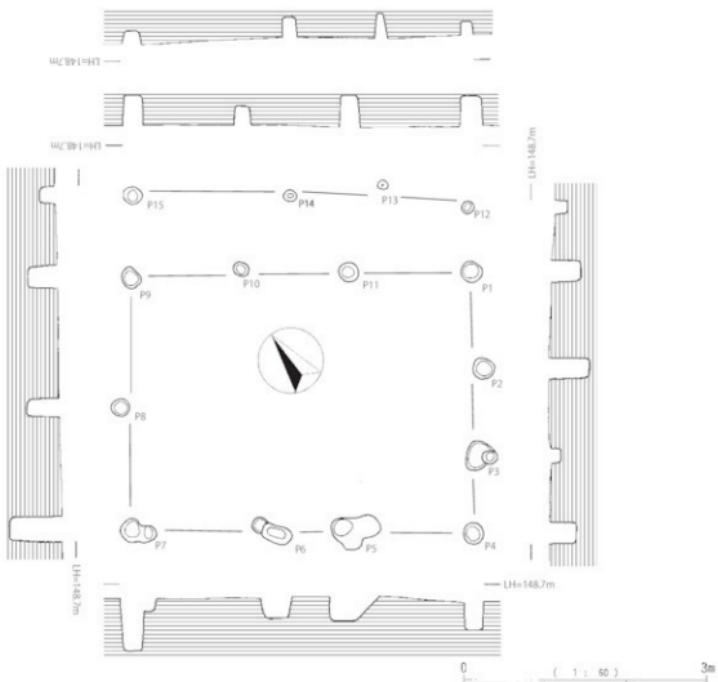
査行1	寸法	査行2	寸法	査行1	寸法	査行2	寸法	備考	遺物
P1-P3	342	平均	171	P1-P8	462	平均	154	方向:N90°E	P1: 滑石製石錠(1) P3: 鉄滓(2), 繩の羽口(1)
P6-P8	338	平均	169	P3-P6	502	平均	167		P4: 土師器(1), 滑石製石錠(1)
P4-P10	344	平均	172	P2-P7	480	平均	160		P8: 滑石製石錠(1) P9: 滑石製石錠(3), 炭化物(1)
P5-P9	330	平均	165	P1-P2	204	P6-P7	166	P10-P12	P10: 土師器(1), カムイヤキ(1) 粘土塊(1)
P2-P3	138			P7-P8	172	P1-P9	164	P4-P5	P11: 土師器(1), 滑石製石錠(1) 軽石(2)
P9-P8				P9-P8	134	P5-P6	142	P12: 粘土塊(1)	
P4-P11	152	P5-P12	146			P2-P11	184		
P11-P10	192	P12-P9	184			P11-P12	158		
P10-P11						P12-P7	138		
底部分									
P1-P13	72	平均	-	P13-P16	490	平均	163		
P8-P16	70	平均	-						
P10-P14	80	平均	-						
P9-P15	82	平均	-						
				P13-P14	176				
				P14-P15	166				
				P15-P16	148				



第83図 掘立柱建物跡58号



第84図 掘立柱建物跡59号



第85図 捜立柱建物跡60号

掘立柱建物跡 59号（第84図、第70表）

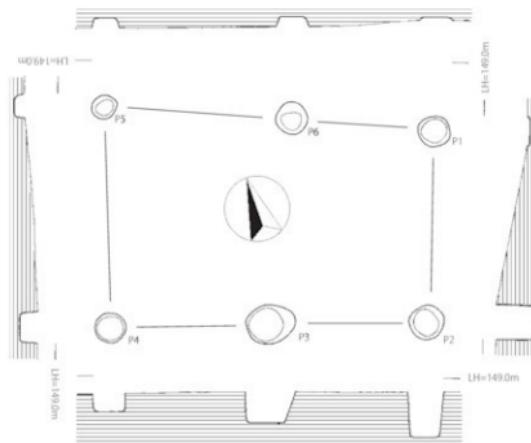
B-37区で検出。1×1間の建物跡である。周囲の柱穴よりも径が一回り大きい。柱穴内から土師器・滑石製石鍋などが出土している。

第69表 掘立柱建物跡 58号計測表

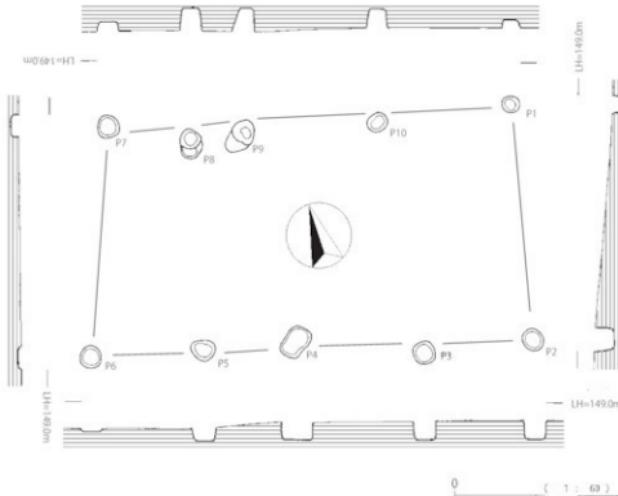
梁行1	寸法	梁行2	寸法	桁行1	寸法	桁行2	寸法	備考	遺物
P1-P3	290	平均	145	P1-P9	428	平均	143	方向:N90°E	P2: 土師器(3) P3: 土師器(2) P6: 土師器(1), 粘土塊(1)
P6-P9	352	平均	117	P3-P6	408	平均	136		P9: 施釉陶磁器(1)
P4-P11	322	平均	161	P2-P7	420	平均	140		P10: 鉄滓(1)
P5-P10	330	平均	165						
P1-P2	162	P6-P7	116	P1-P11	116	P3-P4	132		
P2-P3	128	P7-P8	138	P11-P10	110	P4-P5	100		
		P8-P9	98	P10-P9	202	P5-P6	176		
P4-P12	140	P5-P13	126	P2-P12	192				
P12-P11	182	P13-P10	204	P12-P13	76				
				P13-P7	152				

第70表 掘立柱建物跡 59号計測表

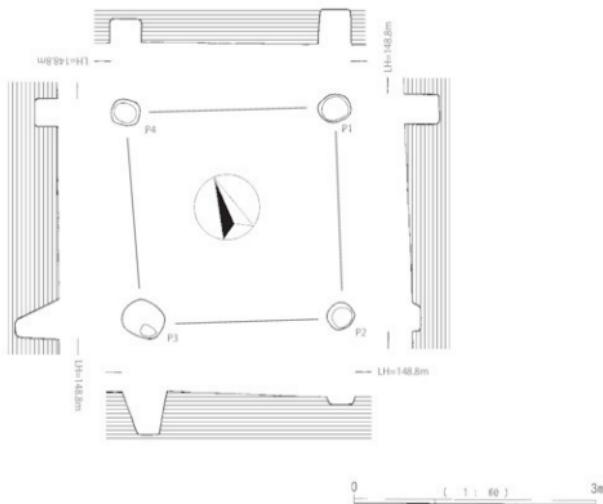
梁行1	寸法	梁行2	寸法	桁行1	寸法	桁行2	寸法	備考	遺物
P1-P2	332	平均	-	P1-P4	340	平均	-	方向:	P2: 土師器(1)
P3-P4	334	平均	-	P2-P3	336	平均	-		P3: 滑石製石鍋(1), 石器(1)



第86図 挖立柱建物跡61号



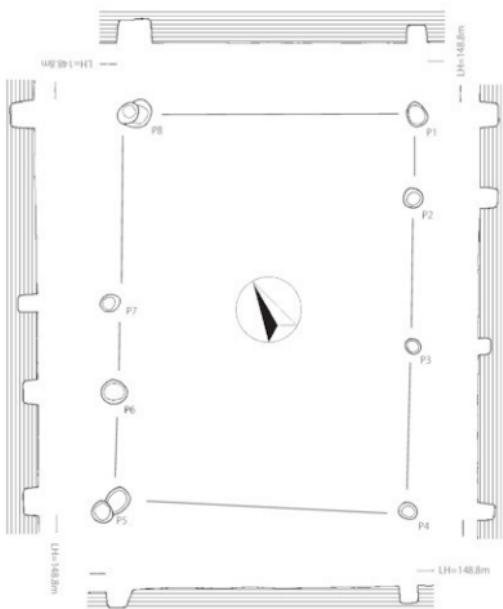
第87図 挖立柱建物跡62号



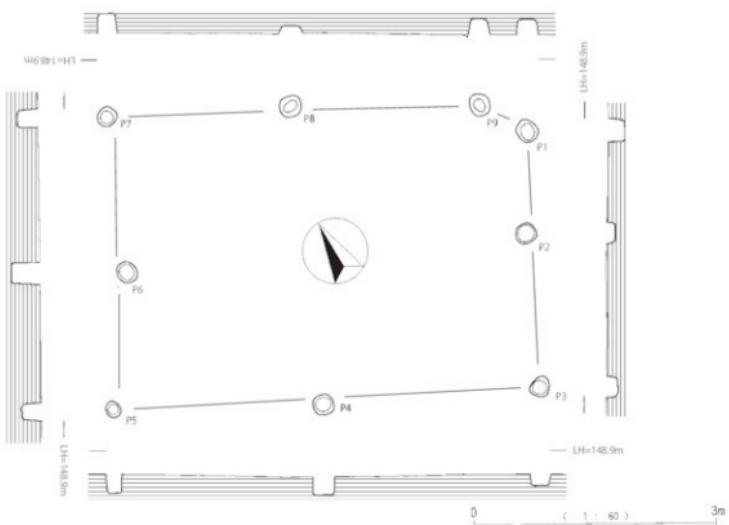
第88図 掘立柱建物跡63号

第71表 掘立柱建物跡 60号計測表

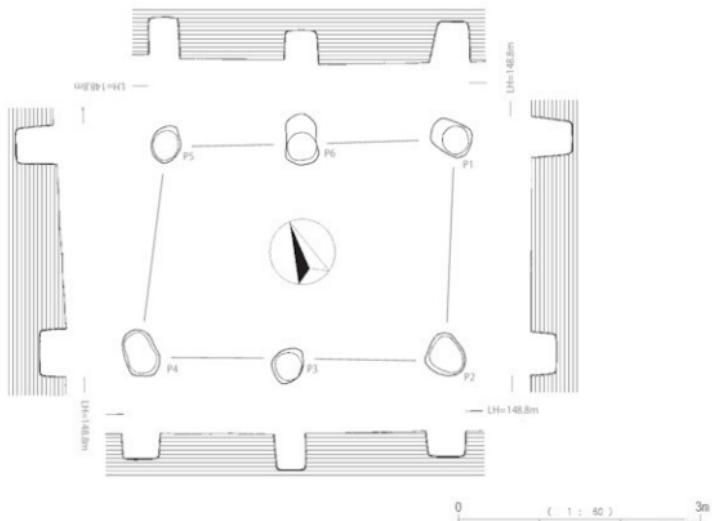
梁行1 寸法	梁行2 寸法	桁行1 寸法	桁行2 寸法	備 考	遺 物
P1-P4 326	平均 109	P1-P9 420	平均 140	方向:N52°W	P1: 粘土塊(2)
P7-P9 306	平均 153	P4-P7 424	平均 141		P5: 滑石二次加工品(1), 石器(2)
P1-P2 120	P7-P8 150	P1-P11 152	P4-P5 160		P6: 滑石製石錠(1), 石器(1)
P2-P3 110	P8-P9 156	P11-P10 132	P5-P6 84		P7: 土師器(1), 越州窯系青磁(1) 鉄滓(1)
P3-P4 96		P10-P9 136	P6-P7 180		P9: 土師器(1)
底部分					
P1-P12 78	平均 -	P12-P15 416	平均 139		P10: 越州窯系青磁(1)
P9-P15 100	平均 -	P1-P9 420	平均 140		P11: 土師器(1)
		P12-P13 108	P1-P11 152		P13: 箍の羽口(1)
		P13-P14 114	P11-P10 132		
		P14-P15 194	P10-P9 136		



第89図 掘立柱建物跡64号



第90図 掘立柱建物跡65号



第91図 掘立柱建物跡66号

掘立柱建物跡 61号 (第86図, 第72表)

あ・い-37区で検出し、掘立62-63号と重複している。1×2間の側柱建物跡である。大きめの柱穴で構成されている。柱穴内から滑石製石鍋などが出土している。

掘立柱建物跡 62号 (第87図, 第73表)

あ-37区で検出し、掘立61-63号と重複している。1×4間の側柱建物跡である。柱間ににはばらつきが見られる。柱穴内から滑石製石鍋などが出土している。

掘立柱建物跡 63号 (第88図, 第74表)

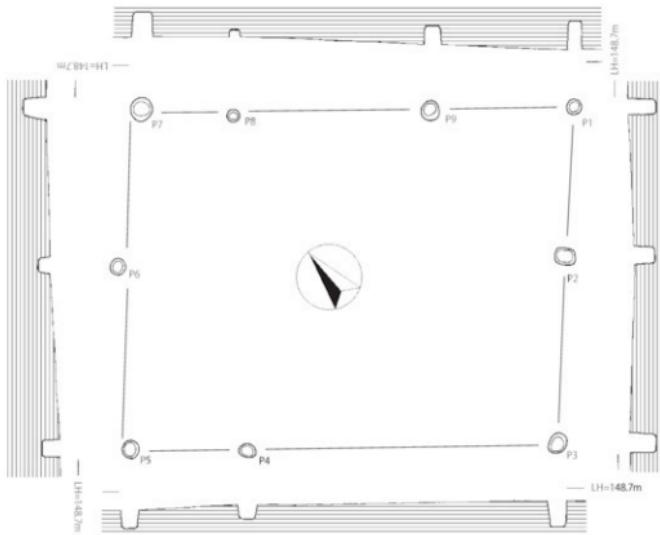
あ・い-37区で検出し、掘立61-62号と重複している。1×1間の建物跡である。比較的大きめの柱穴で構成されている。柱穴内からは白磁などが出土している。

第72表 掘立柱建物跡 61号計測表

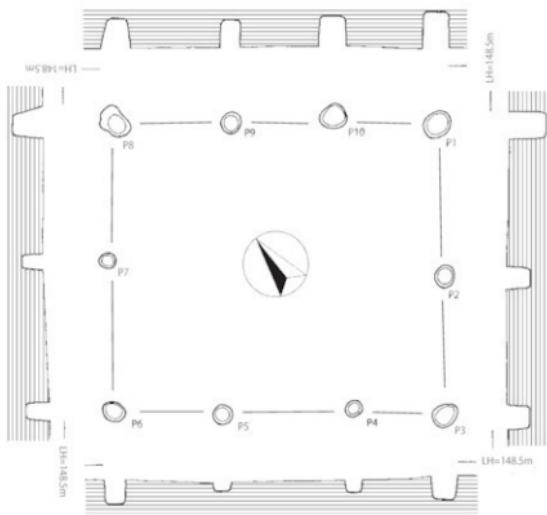
渠行1 寸法	渠行2 寸法	渠行1 寸法	渠行2 寸法	渠行2 寸法	備 考	遺 物
P1-P2 236	平均 -	P1-P5 404	平均 202			P5: 滑石製石鍋(1), 滑石二次加工品(1)
P4-P5 272	平均 -	P2-P4 396	平均 198			
		P1-P6 176	P2-P3 200			
		P6-P5 228	P3-P4 196			

第73表 掘立柱建物跡 62号計測表

渠行1 寸法	渠行2 寸法	渠行1 寸法	渠行2 寸法	渠行2 寸法	備 考	遺 物
P1-P2 290	平均 -	P1-P7 496	平均 124	方向:N68°W		P2: 滑石製石鍋(1), 鉄津(1)
P6-P7 284	平均 -	P2-P6 548	平均 137			P9: 滑石製石鍋(1), 滑石混入土器(1), 粘土塊(2), 石器(1)
		P1-P10 164	P2-P3 134			
		P10-P9 160	P3-P4 160			
		P9-P8 70	P4-P5 114			
		P8-P7 102	P5-P6 140			

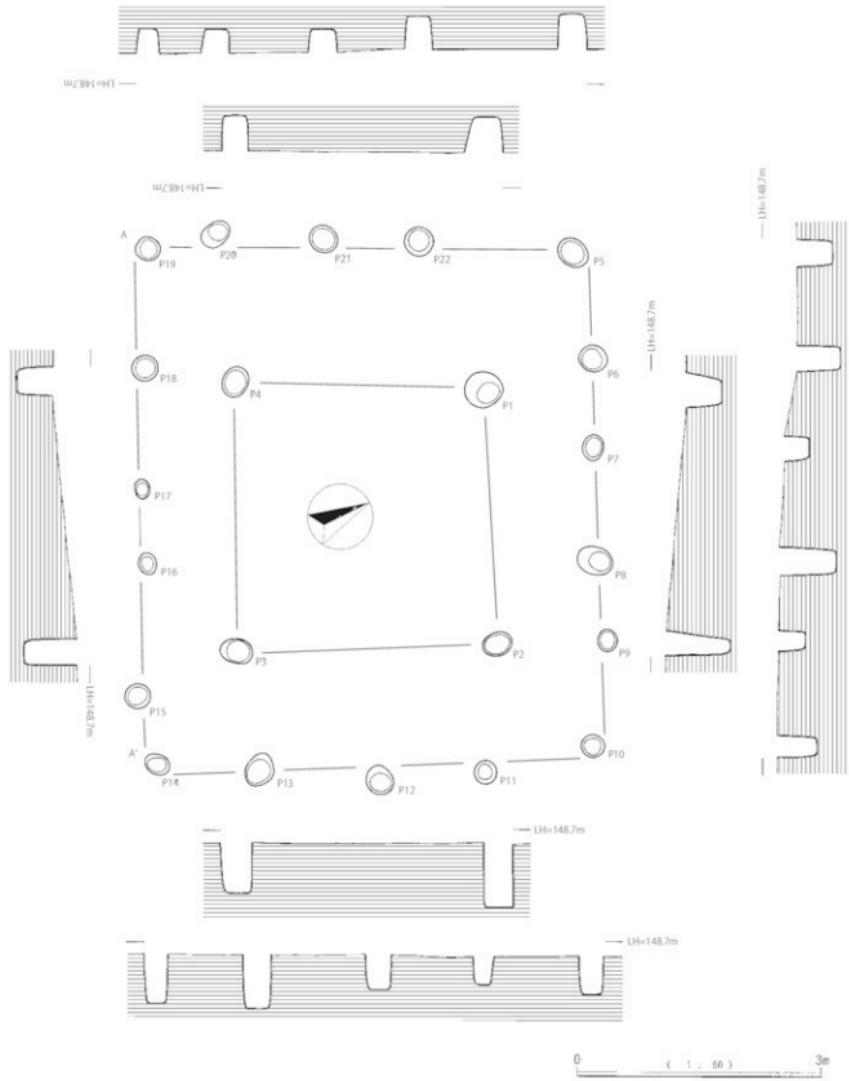


第92図 挖立柱建物跡67号



第93図 挖立柱建物跡68号

0 (1 : 60) 3m



第94図 挖立柱建物跡69号(1)

掘立柱建物跡 67 号 (第 92 図、第 78 表)

A-37・38 区で検出し、掘立 66 号と重複している。2 × 3 間の側柱建物跡である。西側柱行では 1 本未検出である。小さな柱穴内から土師器・滑石製石器などが出土している。

掘立柱建物跡 68 号 (第 93 図、第 79 表)

A-38 区で検出している。2 × 3 間の側柱建物跡である。両側の柱行の柱穴はやや小さめである。柱穴内から土師器などが出土地している。



第95図 挖立柱建物跡69号(2)

掘立柱建物跡 69 号 (第 94・95 図、第 80 表)

A・あ 38 区で検出し、掘立 70 号と重複している。1 × 1 間の建物跡の周囲を 18 本の柱が囲む建物跡である。中央の 4 本柱の建物跡の柱穴位置と外側がほぼ対応するため、庇ではないかと考えている。同じ形状の建物跡は山田半田遺跡掘立 41 号などに見られる。柱穴内から土師器・滑石製石鍋などが出土している。

掘立柱建物跡 70 号 (第 96 図、第 81 表)

A・あ 38・39 区で検出し、掘立 69 号と重複している。2 × 3 間の隅柱建物跡である。柱穴内から越州窯系青磁・須恵器・滑石製石鍋などが出土している。

第 74 表 挖立柱建物跡 63 号計測表

梁行 1	寸法	梁行 2	寸法	桁行 1	寸法	桁行 2	寸法	備考	遺物
P1-P4	260	平均	-	P1-P2	256	平均	-	方向:	P4: 土師器(1), 白磁(1), 粘土塊(5)
P2-P3	240	平均	-	P3-P4	268	平均	-		

第 75 表 挖立柱建物跡 64 号計測表

梁行 1	寸法	梁行 2	寸法	桁行 1	寸法	桁行 2	寸法	備考	遺物
P1-P8	356	平均	-	P1-P4	484	平均	161	方向: N31°E	P1: 布目圧痕土器(2), 鉄滓(1)
P4-P5	360	平均	-	P5-P8	492	平均	164		P2: カムイヤキ(1)
				P1-P2	104	P5-P6	148		
				P2-P3	180	P6-P7	108		
				P3-P4	200	P7-P8	236		

第 76 表 挖立柱建物跡 65 号計測表

梁行 1	寸法	梁行 2	寸法	桁行 1	寸法	桁行 2	寸法	備考	遺物
P1-P3	316	平均	158	P1-P7	524	平均	175	方向: N63°W	P7: 炭化物(1)
P5-P7	360	平均	180	P3-P5	524	平均	262		P9: 滑石二次加工品(1)
P1-P2	124	P5-P6	168	P1-P9	68	P3-P4	268		
P2-P3	192	P6-P7	192	P9-P8	232	P4-P5	256		
				P8-P7	224				

第 77 表 挖立柱建物跡 66 号計測表

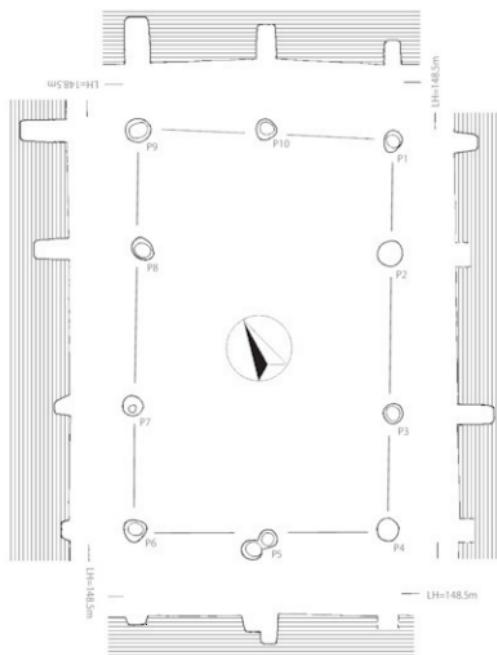
梁行 1	寸法	梁行 2	寸法	桁行 1	寸法	桁行 2	寸法	備考	遺物
P1-P2	264	平均	-	P1-P5	360	平均	180	方向: N65°W	P1: 布目圧痕土器(1), 滑石製石鍋(2)
P4-P5	260	平均	-	P2-P4	380	平均	190		粘土塊(2), 石器(1)
				P1-P6	190	P2-P3	196		P3: 滑石二次加工品(1)
				P6-P5	170	P3-P4	184		P4: 滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 粘土塊(7)
				P8-P7	108				P6: 鉄滓(2), 粘土塊(5), 炭化物(1)

第 78 表 挖立柱建物跡 67 号計測表

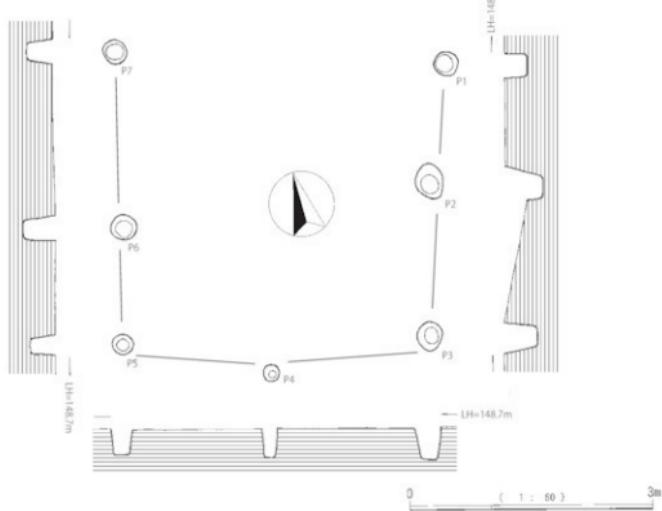
梁行 1	寸法	梁行 2	寸法	桁行 1	寸法	桁行 2	寸法	備考	遺物
P1-P3	412	平均	206	P1-P7	528	平均	176	方向: N52°W	P2: 鉄製品(1), 鞠石(4)
P5-P7	420	平均	210	P3-P5	528	平均	264		P5: 滑石製石鍋(1)
P1-P2	184	P5-P6	224	P1-P9	180	P3-P4	384		P6: 粘土塊(1)
P2-P3	228	P6-P7	196	P9-P8	240	P4-P5	144		P9: 土師器(1), 粘土塊(1)
				P8-P7	108				

第 79 表 挖立柱建物跡 68 号計測表

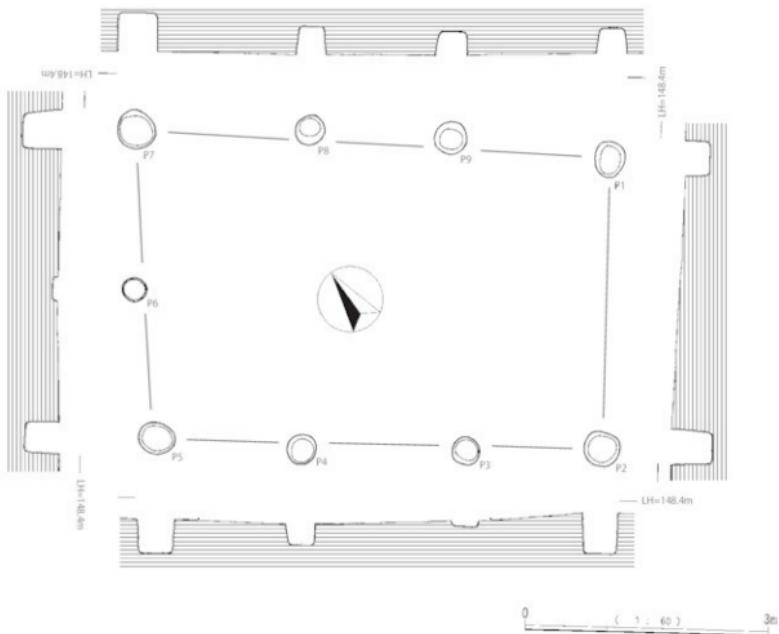
梁行 1	寸法	梁行 2	寸法	桁行 1	寸法	桁行 2	寸法	備考	遺物
P1-P3	360	平均	180	P1-P8	396	平均	132	方向: N53°W	P1: 粘土塊(1)
P6-P8	352	平均	176	P3-P6	404	平均	135		P2: 土師器(2), 粘土塊(2)
P1-P2	188	P6-P7	184	P1-P10	128	P3-P4	112		P7: 鉄滓(1)
P2-P3	172	P7-P8	168	P10-P9	128	P4-P5	160		
				P9-P8	140	P5-P6	132		



第96図 掘立柱建物跡70号



第97図 掘立柱建物跡71号



第98図 掘立柱建物跡72号

掘立柱建物跡 71号（第97図、第82表）

あ-38区で検出北側は未検出である。柱穴内から施釉陶器などが出土していることや、この建物跡の下に近世カマド跡があることから、カマドに伴う建物跡であったと考えられる。

掘立柱建物跡 72号（第98図、第83表）

あ-39区で検出している。2×3間の側柱建物跡である。大きめのピットで構成されている。柱穴内からは須恵器などが出土している。

第80表 掘立柱建物跡 69号計測表

梁行1	寸法	梁行2	寸法	桁行1	寸法	桁行2	寸法	備考	遺物
P1-P2	308	平均	-	P1-P4	312	平均	-	方向 N66°W	P2: 石器(1)
P3-P4	330	平均	-	P2-P3	320	平均	-		P3: 土師器(2), 滑石製石鍋(2), 石器(2)
庇部分									P4: 土師器(4), 糙の羽口(1)
P5-P10	608	平均	122	P5-P19	528	平均	132		P5: 滑石製石鍋(1)
P14-P19	634	平均	127	P10-P14	540	平均	135		P10: 布目压痕土器(6)
P5-P6	132	P14-P15	88	P5-P22	188	P10-P11	136		P12: 兼久式土器(1), 糙の羽口(1)
P6-P7	108	P15-P16	160	P22-P21	120	P11-P12	128		粘土塊(3)
P7-P8	140	P16-P17	92	P21-P20	132	P12-P13	152		P13: 須恵器(2), 滑石製石鍋(6)
P8-P9	96	P17-P18	148	P20-P19	88	P13-P14	124		鉄漬(2), 石器(2)
P9-P10	132	P18-P19	146						P16: 鉄漬(1)
									P18: 滑石製石鍋(2), 粘土塊(2)
									石器(1)
									P19: 須恵器(1), 糙の羽口(1)
									P22: 滑石製石鍋(2)

第 81 表 挖立柱建物跡 70 号計測表

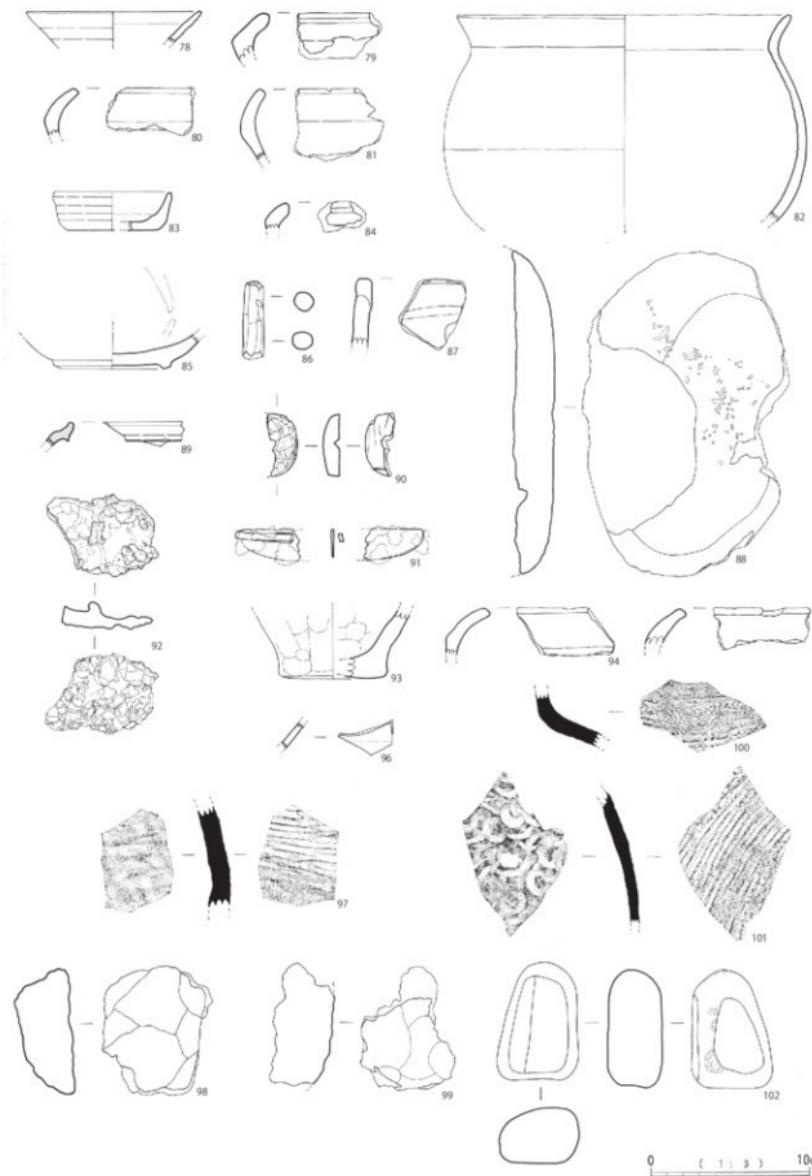
査行 1	寸法	査行 2	寸法	査行 1	寸法	査行 2	寸法	備 考	遺 物
P1-P9	316	平均	158	P1-P4	480	平均	160	方向:N29°E	P2: 土師器(5), 須恵器(1), 土製品(5) 粘土塊(8), 石器(4)
P4-P6	312	平均	156	P6-P9	492	平均	164		P4: 粘土塊(9), 石器(26) P5: 土師器(6), 須恵器(4) 滑石製石錆(1)
P1-P10	156	P4-P5	148	P1-P2	140	P6-P7	148		P6: 土師器(26), 越州窯系青磁(1) 粘土塊(2), 石器(2)
P10-P9	160	P5-P6	164	P2-P3	196	P7-P8	196		P7: 土師器(2), 須恵器(1), 粘土塊(5) 石器(9), 炭化物(3)
				P3-P4	144	P8-P9	148		P10: 土師器(1), 粘土塊(1)

第 82 表 挖立柱建物跡 71 号計測表

査行 1	寸法	査行 2	寸法	査行 1	寸法	査行 2	寸法	備 考	遺 物
P1-P3	334	平均	167	P3-P5	386	平均	193	方向:	P1: 粘土塊(2), 施釉陶磁器(1)
P5-P7	358	平均	179						P5: 粘土塊(4)
P1-P2	150	P5-P6	142	P3-P4	200				P6: 粘土塊(1)
P2-P3	184	P6-P7	216	P4-P5	186				P7: 炭化物(1)

第 83 表 挖立柱建物跡 72 号計測表

査行 1	寸法	査行 2	寸法	査行 1	寸法	査行 2	寸法	備 考	遺 物
P1-P2	356	平均	-	P1-P7	588	平均	196	方向:N50°W	P2: 須恵器(1), 石器(2)
P5-P7	384	平均	192	P2-P5	548	平均	183		P3: 石器(1)
	P5-P6	188	P1-P9	196	P2-P3	168			P5: 須恵器(2)
	P6-P7	196	P9-P8	176	P3-P4	200			P7: 須恵器(1), 粘土塊(2), 石器(1)
			P8-P7	216	P4-P5	180			P8: 石器(1)



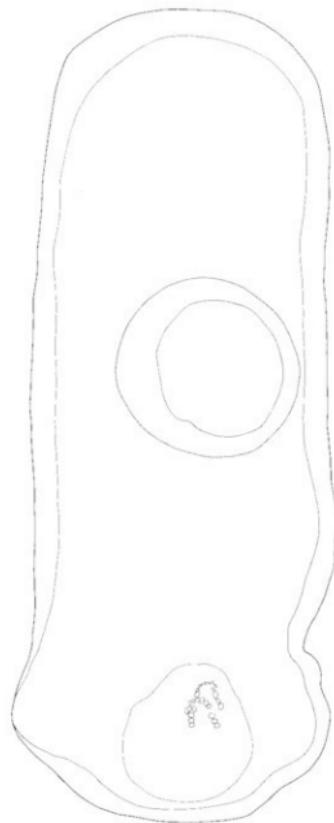
第99図 C地区掘立柱建物跡内出土遺物

(イ) 挖立柱建物跡内出土遺物

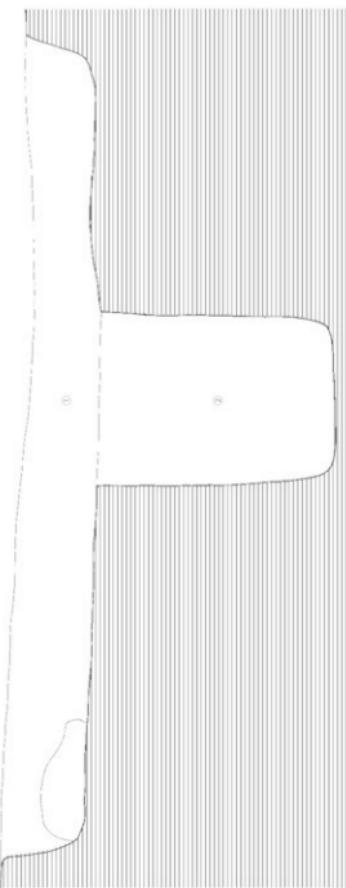
78～82は掘立53号から出土した土師器である。78は口径10.5cmを測る环もしくは椀である。82は口径20.5cm・胴径22.3cmを測る。内面の調整は不明瞭であったが、非常に薄く仕上げられている。83は掘立57号から出土した土師器壊である。底径7cmを測る。85-86は掘立60号から出土した遺物である。85は越州窯系青磁碗I類の底部である。88は掘立62号から出土した石器である。表面に鉄状の锖が付いている。91は掘立67号から出土した刀子である。2つ重なっており、基部と刃部が鋒でくっついたものと見られる。94～99は掘立70号から出土した遺物である。94-95は薄手の土師器壊口縁部で同一個体の可能性が高い。97は須恵器壊である。100～102は掘立72号から出土した遺物で、100-101は須恵器である。

第84表 C地区掘立柱建物跡内出土遺物

回復 No.	埋蔵 番号	出土区	遺構	分類L1	分類L2	分類L3	部位	計測値(cm)			色調 (内) (外)	重量 (g)	備考
								口径	底径	高さ			
	78	C35	P1373	土師器	环・椀	-	口縁部	10.5	-	-	-	-	掘立53号_P06
	79	C35	P1381	土師器	壊	-	口縁部	-	-	-	-	-	掘立53号_P09
	80	C35	P1383	土師器	壊	-	口縁部	-	-	-	-	-	掘立53号_P10
	81	C35	P1348	土師器	壊	-	口縁部	-	-	-	-	-	掘立53号_P02
	82	C35	P1383	土師器	壊	-	口～底	20.5	-	22.3	-	-	掘立53号_P10
	83	B35	P1535	土師器	环	-	口～底	7	-	-	-	-	掘立57号_P04
	84	B35	P1331	土師器	壊	-	口縁部	-	-	-	-	-	掘立58号_P02
	85	B37	P1635	越州窯系青磁	碗	I類	底部	-	7	-	-	-	掘立60号_P10
	86	B37	P1306	滑石二次加工品	堆狀	-	-	-	-	-	-	-	掘立61号_P05
	87	B36	P0997	滑石三次加工品	-	-	-	-	-	-	-	-	掘立61号_P05
	88	B36	P1009	石器	磨討石	花こう岩	-	-	-	-	-	-	掘立62号_P09
	89	B37	P0942	カムィヤキ	壺・甕	-	口縁部	-	-	-	-	-	掘立64号_P02
99	90	L37	P0952	滑石二次加工品	-	-	-	-	-	-	-	-	掘立65号_P09
	91	A36	P1036	鉄製品	刀子	-	-	-	-	-	-	-	掘立67号_P02
	92	A34	P1667	铁滓	流動滓	-	-	-	-	-	-	-	掘立68号_P07
	93	A37	P0920	薪久式土器	-	-	底部	-	7.6	-	-	-	掘立69号_P12
	94	A38	P1622	土師器	壊	-	口縁部	-	-	-	-	-	掘立70号_P07
	95	A38	P1623	土師器	壊	-	口縁部	-	-	-	-	-	掘立70号_P06
	96	A38	P1623	越州窯系青磁	-	-	胸部	-	-	-	-	-	掘立70号_P06
	97	A38	P0860	須恵器	壊	-	胸部	-	-	-	灰	灰	掘立70号_P02
	98	A38	P1622	粘土壤	-	-	胸部	-	-	-	-	-	掘立70号_P07
	99	B37	P0860	土製品	炉壁	-	胸部	-	-	-	-	-	掘立70号_P02
	100	B39	P0833	須恵器	-	-	胸部	-	-	-	黄褐色	黄褐色	掘立72号_P07
	101	B39	P0835	須恵器	壊	-	胸部	-	-	-	黄褐色	黄褐色	掘立72号_P05
	101	B38	P0641	須恵器	壊	-	胸部	-	-	-	黄褐色	黄褐色	掘立72号_P02
	102	B39	P0833	石器	磨石	-	-	-	-	-	-	-	掘立72号_P07
												210	

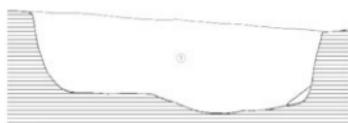


— LH=149.4m



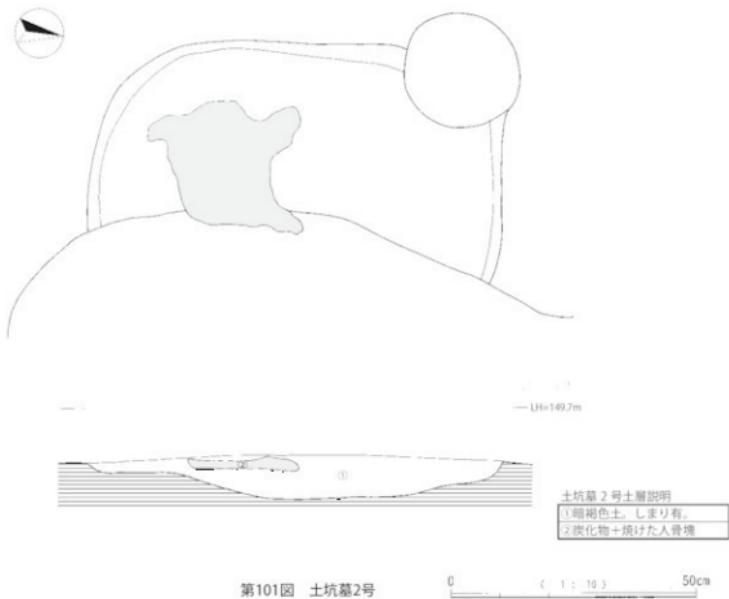
土坑墓 1号 土層説明

- | |
|----------------|
| 1. 暗褐色土。炭化物有。 |
| 2. ピット埋土。暗褐色土。 |



0 (1 : 10) 50cm

第100図 土坑墓1号



第101図 土坑墓2号

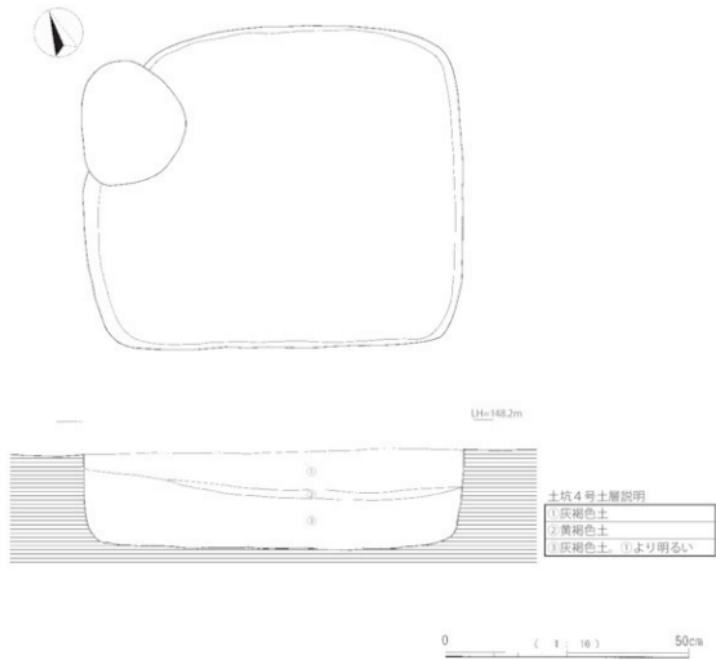
(ウ) 土坑

土坑墓1号

B-35 区で検出。直径 168cm × 62cm の長方形土坑である。南端部分に人骨と思われる骨の範囲を確認した。明瞭に観察できたのは歯の部分のみである。その周辺には粘質が強くやや褐色気味の範囲が見られた。これは頭骨の範囲と見られる。副葬品などを確認することができなかった。また、本道傍は掘立 53-1 号を切って構成されている。

土坑墓2号

A-36 区で検出。直径 85cm 程の方形土坑と見られる。半分以上は近世カマドにより削平を受けていた。土坑中央から南側に焼けた人骨と炭化物の塊が置かれていた。副葬品などは検出できなかった。



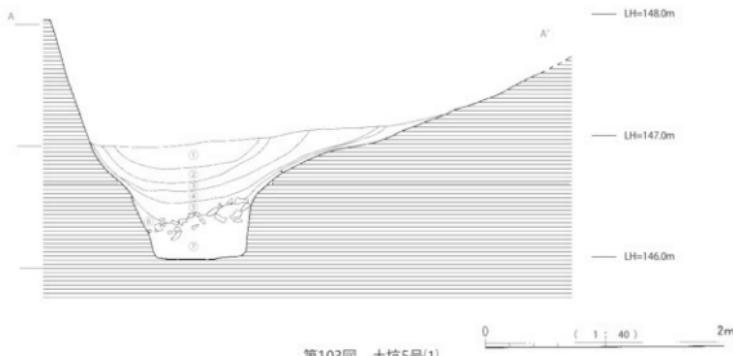
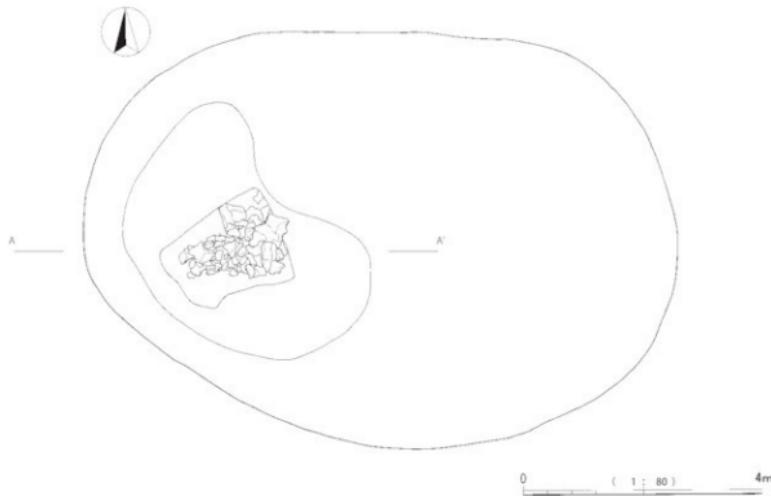
第102図 土坑4号

土坑4号

B-37区で検出。直径78cm×67cm程の方形土坑と見られる。土坑墓2号と類似しているが、③層の西側では部分的に黄色が強い部分が見られ、石灰岩もしくは人骨があった可能性がある。

土坑5号

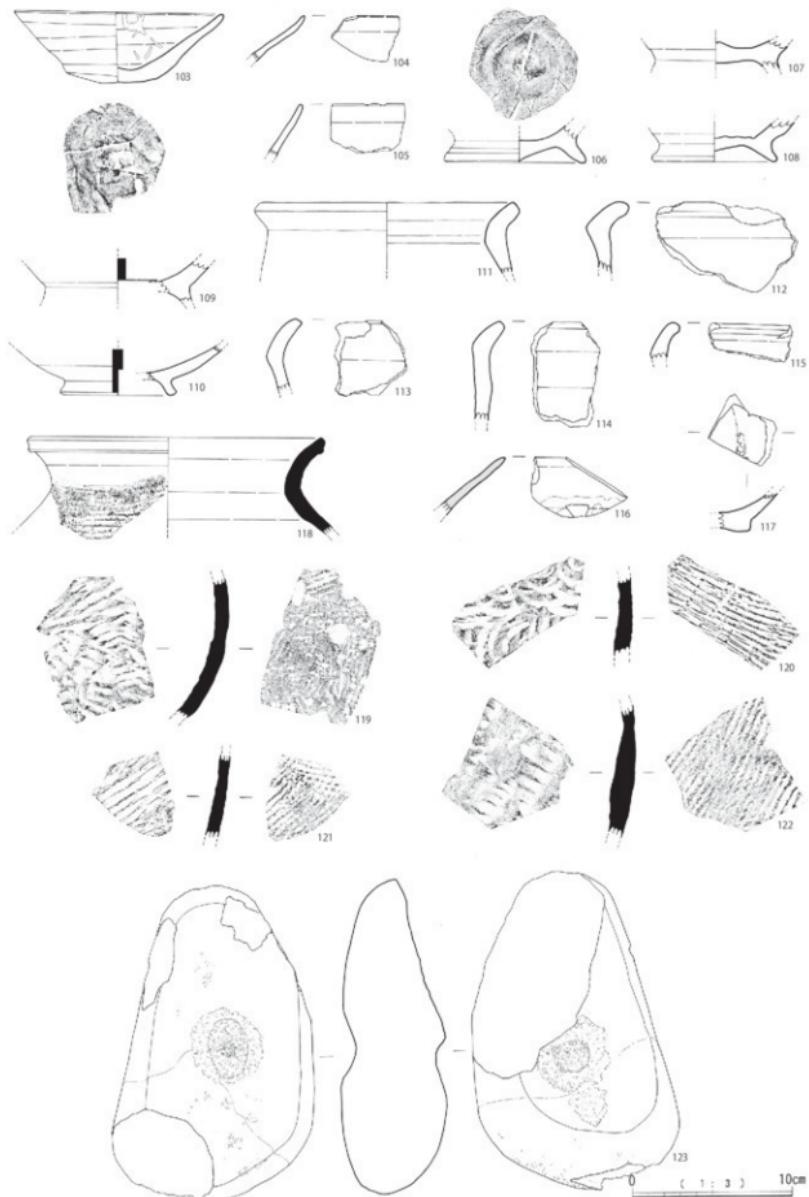
B-C-39区で検出。直径9.8m×6.7m程の円形土坑である。当初は包含層の残存範囲だと思い掘っていったが、掘り下げても地山面がなかなか検出できなかった。そのため、ベルトを設置し、半蔵しながら調査を進めた。その結果、部分的に深くなり、地山面まで深さが約2mほどもあった。最深部には石灰岩がはまっていた。石灰岩を除去すると地山面が出土した。土坑内からは多くの遺物が出土しているが、古代の遺物のみが出土している。



第103図 土坑5号(1)

土坑5号土層説明

- | |
|-----------------|
| 1茶褐色土 |
| 2褐色土。黄色塊+炭化物 |
| 3茶褐色土。黄褐色土混入 |
| 4暗褐色土+炭化物 |
| 5褐色土。黄色塊多い。 |
| 6炭化物充填 |
| 7褐色土。炭化物などは少ない。 |



第104図 土坑5号(2)

出土遺物

103～108は土師器壊もしくは掩の資料である。103は2/3ほど残存している。内面にはミガキが見られる。底部はヘラ削りされているが、未調整である。104・105は口縁部である。非常に薄く仕上げられている。106～108は底部である。106は内面に矢印のような線状の痕跡が見られる。南九州的な土師器で10世紀前半代と考えられる。109・110は黒色土器である。110は高台の形状から11世紀代までに収まる資料である。111～115は土師器壊である。比較的器壁が厚く、口縁部が長いものが多い。116・117は越州窯系青磁II類の口縁部と底部である。118～122は須恵器である。118は口径16.6cmを測る。出土している須恵器のなかでもやや古めになる可能性がある。123は石器である。中央部分が凹んでいる。一部破損しているが、敲打の結果と見られる。

(a) 焼土跡

焼土跡4号

B-36区で検出。直径47cm×41cmの円形状で北側が被熱していた。②層は炭化物が充填していた。

焼土跡5号

B-36区で検出。平面形状は円形になると見られる。検出できたのは炭化物層のみで、ほとんど遺存していなかった。

焼土跡6号

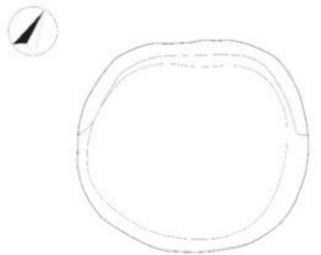
B-37区で検出。直径77cm×68cmの円形状で、周囲がわずかに被熱していた。台形を逆にしたような断面形状である。⑤層に炭化物が充填している。

焼土跡7号

A-37区で検出。直径62cm×56cmの円形状で、周囲がわずかに被熱していた。焼土跡6号と同様に台形を逆にしたような断面形状である。⑤層に炭化物が充填している。

第55表 土坑5号出土遺物

回復 No.	埋蔵 番号	出土区	遺構	分類L1	分類L2	分類L3	部位	計測値(cm)			色調 (内)	色調 (外)	重量 (g)	備考
								口径	底径	高さ				
	103	B39	土坑5号	土師器	坪	-	口～底	12.8	-	4.4	-	-	-	-
	104	B39	土坑5号	土師器	坪・桶	-	口縁部	-	-	-	-	-	-	-
	105	B39	土坑5号	土師器	坪・桶	-	口縁部	-	-	-	-	-	-	-
	106	B39	土坑5号	土師器	桶	-	底部	-	8.5	-	-	-	-	-
							口縁	底径	腰洋	腰洋	-	-	-	-
	107	C39	土坑5号	土師器	桶	-	腰部	-	-	7.7	-	-	-	-
	108	B39	土坑5号	土師器	桶	-	腰部	-	7.3	-	-	-	-	-
	109	B39	土坑5号	黒色土器	桶	B群	腰部	-	-	8.8	-	-	-	-
	110	B39	土坑5号	黒色土器	桶	A群	底部	-	6.6	-	-	-	-	-
	111	B39	土坑5号	土師器	甕	-	口縁部	15.5	-	-	-	-	-	-
	112	B39	土坑5号	土師器	甕	-	口縁部	-	-	-	-	-	-	-
	113	B39	土坑5号	土師器	甕	-	口縁部	-	-	-	-	-	-	-
	114	B39	土坑5号	土師器	甕	-	口縁部	-	-	-	-	-	-	-
	115	B39	土坑5号	土師器	甕	-	口縁部	-	-	-	-	-	-	-
	116	B39	土坑5号	越州窯系青磁	桶	-	口縁部	-	-	-	-	-	-	-
	117	B39	土坑5号	越州窯系青磁	桶	II類	底部	-	-	-	-	-	-	-
	118	B39	土坑5号	須恵器	甕	-	口～肩	16.6	-	-	灰オリーブ	灰オリーブ	-	-
	119	B39	土坑5号	須恵器	甕	-	胴部	-	-	-	にふい黄 褐	灰白	-	-
	120	B39	土坑5号	須恵器	甕	-	解部	-	-	-	灰黄褐	灰黄褐	-	-
	121	B39	土坑5号	須恵器	甕	-	胴部	-	x	-	灰黄褐	にふい黄 褐	-	-
	122	B39	土坑5号	須恵器	甕	-	胴部	-	x	-	灰白	灰白	-	-
	123	B39	土坑5号	石器	磨削石	砂岩	-	-	-	-	-	-	1868	-



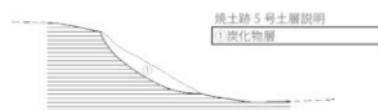
LH=149.0m

LH=149.0m



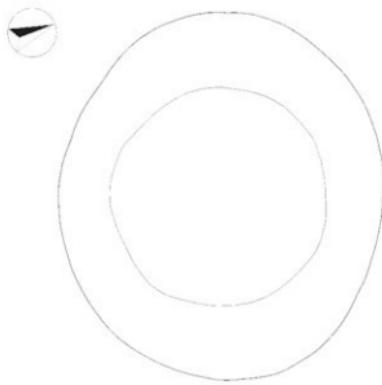
第105図 焼土跡4号

焼土跡 4 号土層説明
① 鮮褐色土
② 黄灰褐色土



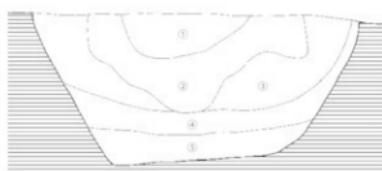
第106図 焼土跡5号

焼土跡 5 号土層説明
① 炭化物層



LH=148.6m

LH=148.5m

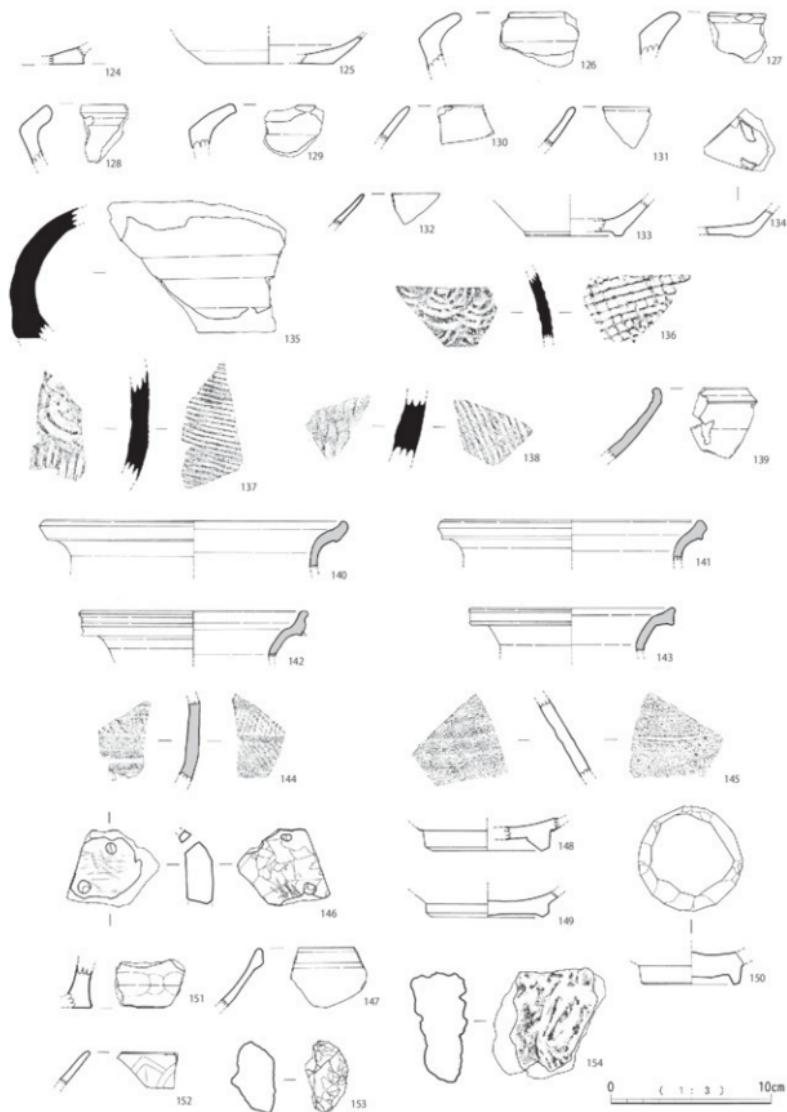


第107図 焼土跡6号

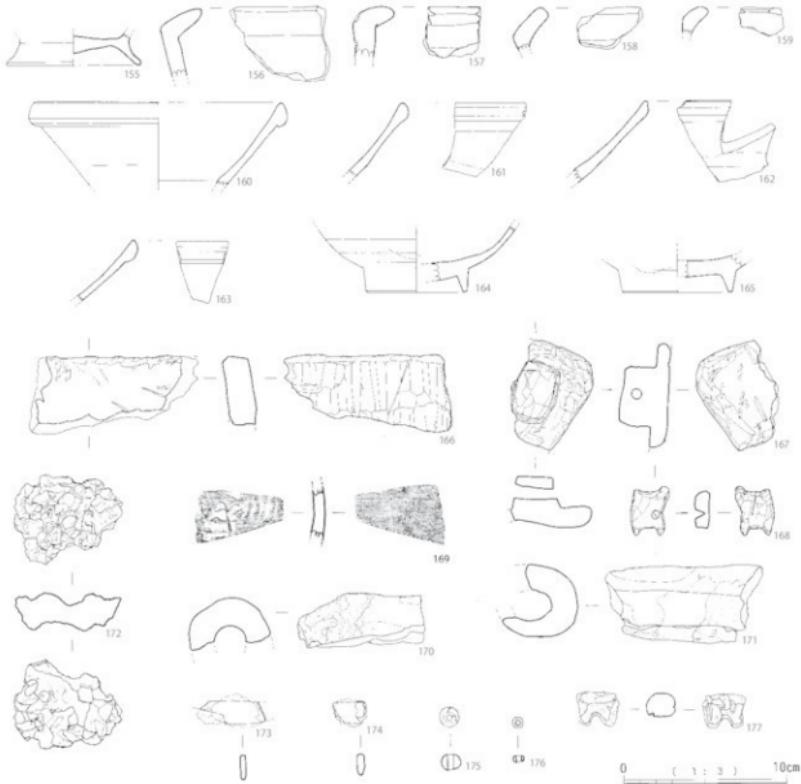


第108図 焼土跡7号

0 (1 : 10) 50cm



第109图 C地区包含层出土遗物



第110図 C地区柱穴内出土遺物

(イ) 包含層内出土遺物

124・125は土師器壺である。124は充実高台を意識して製作されていると見られ、9 製紀後半～10 製紀前半ごろのものと考えられる。126～129は土師器壺である。127以外は口唇部が長めに作成されている。131～134は越州窯系青磁である。133は越州窯系青磁I類の底部である。135～138は須恵器である。139～144はカムミヤキである。139は白磁玉線椀を模倣したものである。142は胎土がマーブル状で他のカムミヤキとはやや趣が異なる。朝鮮系無釉陶器の可能性もある。146は滑石製石鍋である。底部片に貫通穿孔が穿かれている。147～150は白磁である。147～149は白磁椀IV類である。149は高台内に擦痕が認められる。152は龍泉窯系青磁鏡連弁文椀である。154は粘土塊である。表面に植物痕のような痕跡が確認できる。

(カ) 柱穴内出土遺物

155～177は柱穴内から出土した資料である。

155は土師器椀である。底径8cmを測る。形状から10 製紀前半代と考えている。156～159は土師器壺である。157や159のように内面のケズリ位置から口唇部分までの長さが短いものが見られる。160～165は白磁である。口縁部はIV類、底部はV類である。166～168は滑石製品である。167はバレン状製品である。つまみ部分に貫通穿孔が見られる。170・171は繩の羽口である。170は先端部分の資料で、表面がガラス質化している。172は鉄滓である。表面は細かい凸凹が見られる。173・174は鉄製品である。いずれも刀子の凸片とみられる。175・176はガラス玉である。

第 86 表 C 地区包含型出土遗物

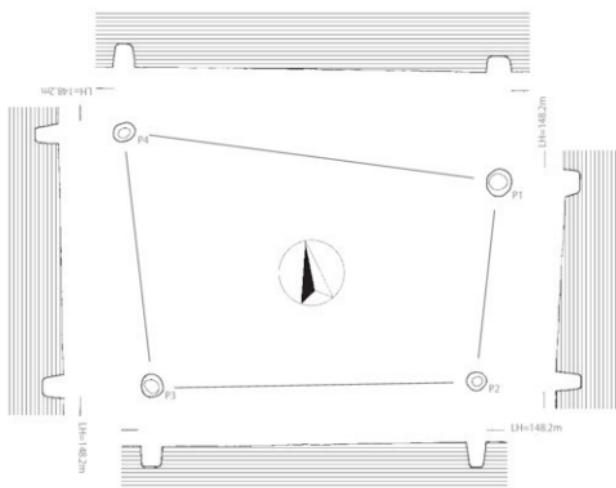
回収 No	揭露 番号	出土区	遺構	分類 L1	分類 L2	分類 L3	部位	計測値 (cm)			色調 (内) (外)	重量 (g)	備考
								口径	底径	高さ			
	124	B36	II	土師器	环	-	底部	-	-	-	-	-	-
	125	B35	II	土師器	环	-	底部	-	7.3	-	-	-	-
	126	B36	II	土師器	甕	-	口縁部	-	-	-	-	-	-
	127	B36	II	土師器	甕	-	口縁部	-	-	-	-	-	-
	128	B36	II	土師器	甕	-	口縁部	-	-	-	-	-	-
	129	B36	II	土師器	甕	-	口縁部	-	-	-	-	-	-
	130	B36	II	土師器	环・甕	-	口縁部	-	-	-	-	-	-
	131	B36	II	越州窯系青磁	碗	II 頭	口縁部	-	-	-	-	-	-
	132	B36	II	越州窯系青磁	碗	II 頭	口縁部	-	-	-	-	-	-
	133	B37	II	越州窯系青磁	碗	-	底部	-	5.5	-	-	-	-
	134	B35	II	越州窯系青磁	碗	-	底部	-	-	-	-	-	-
	135	D37	II	漆巻器	-	-	底部	-	-	灰白	-	-	-
	136	B36	II	漆巻器	甕	-	胸部	-	-	灰白	灰白	-	-
	137	D36	II	漆巻器	甕	-	胸部	-	-	灰	灰	-	-
	138	B36	II	漆巻器	甕	-	胸部	-	-	灰	灰	-	-
109	139	A38	II	カムイヤキ	碗	-	口縁部	-	-	青灰	暗緑灰	-	-
	140	A37	II	カムイヤキ	酉・甕	-	口縁部	-	18.2	-	灰	灰	-
	141	A38	II	カムイヤキ	酉・甕	-	口縁部	-	15.5	-	灰	暗青灰	-
	142	B36	II	カムイヤキ	酉・甕	-	口縁部	-	13.5	-	-	-	胎土マーブル状
	143	B37	II	カムイヤキ	酉・甕	-	口縁部	-	12.3	-	灰	灰	-
	144	B36	II	カムイヤキ	酉・甕	-	胸部	-	-	暗青灰	暗青灰	-	-
	145	D36	II	刷毛糸無釉陶器	酉・甕	-	胸部	-	-	灰	黄灰	-	-
	146	A38	II	滑石製石鍋	-	-	-	-	-	-	-	68	-
	147	B38	II	白磁	碗	IV頭	口縁部	-	-	-	-	-	-
	148	A38	II	白磁	碗	IV 1a 頭	底部	-	6.6	-	-	-	-
	149	B37	II	白磁	碗	IV頭	底部	-	6.7	-	-	-	裏面擦痕
	150	B37	II	白磁	碗	-	底部	-	5.4	-	-	-	転用品
	151	B36	II	滑石製入土器	-	-	底部	-	-	-	-	-	-
	152	A37	II	鹿児島系青磁	碗	駆連井	口縁部	-	-	-	-	-	-
	153	B36	II	鉢	輪	輪出津	-	-	-	-	-	30	-
	154	-	II	粘土塊	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第 87 表 C 地区柱穴内出土遗物

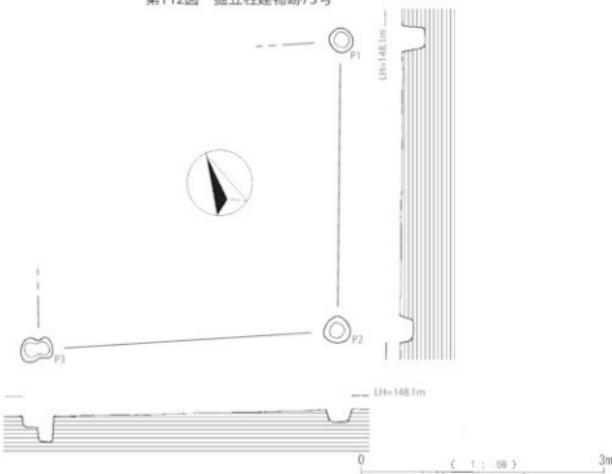
回収 No	揭露 番号	出土区	遺構	分類 L1	分類 L2	分類 L3	部位	計測値 (cm)			色調 (内) (外)	重量 (g)	備考
								口径	底径	高さ			
	155	B35	P1491	土師器	碗	-	底部	-	8	-	-	-	-
	156	B37	P1292	土師器	甕	-	口縁部	-	-	-	-	-	-
	157	あ36	P1099	土師器	甕	-	口縁部	-	-	-	-	-	-
	158	B35	P1491	土師器	甕	-	口縁部	-	-	-	-	-	-
	159	あ35	P1118	土師器	甕	-	口縁部	-	-	-	-	-	-
	160	B35	P1831	白磁	碗	IV頭	口縁部	-	15	-	-	-	-
	161	あ36	P1022	白磁	-	華南系	口縁部	-	-	-	-	-	-
	162	あ36	P1022	白磁	碗	IV頭	口縁部	-	-	-	-	-	-
	163	あ36	P1002	白磁	-	-	口縁部	-	-	-	-	-	-
	164	あ36	P0996	白磁	碗	V頭	底部	-	5.8	-	-	-	-
	165	あ36	P1009	白磁	碗	V頭	底部	-	6.7	-	-	-	-
110	166	C37	P1224	滑石製石鍋	-	-	-	-	-	-	-	151	-
	167	B36	P1565	滑石・二次加工品	バレン状	-	-	-	-	-	-	90	-
	168	あ37	P1799	滑石・二次加工品	輪	-	-	-	-	-	-	9	-
	169	B35	P1395	カムイヤキ	酉・甕	-	胸部	-	-	灰	灰	-	-
	170	あ36	P1097	種の羽口	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	171	あ37	P0929	種の羽口	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	172	B37	P1638	鉢	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	173	A36	P0001	鉢製品	刀子	-	-	-	-	-	-	-	-
	174	A37	P0010	鉢製品	刀子	-	-	-	-	-	-	4	-
	175	A36	P1150	ガラス玉	-	-	直径	高さ	-	-	-	-	-
	176	A36	P1150	ガラス玉	-	-	完所品	1.2	1	-	-	-	-
	177	あ36	P1002	剝石	-	-	完所品	0.7	0.45	-	-	-	-



第111図 D地区詳細図



第112図 挖立柱建物跡73号



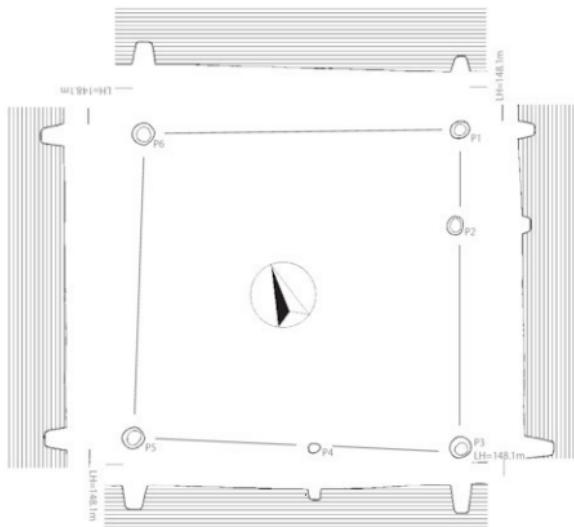
第113図 挖立柱建物跡74号

第88表 挖立柱建物跡73号計測表

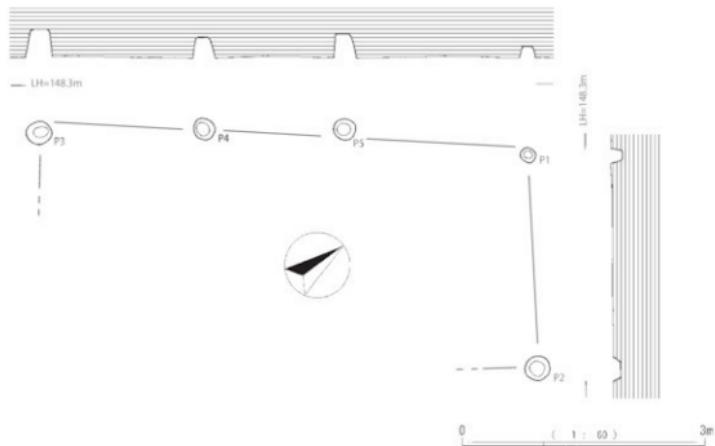
査行1 寸法	査行2 寸法	査行1 寸法	査行2 寸法	備 考	遺 物
P1-P2 248	平均 -	P1-P4 468	平均 -	方向:N70°W	P3: 施釉陶器(1)
P3-P4 312	平均 -	P2-P3 400	平均 -		

第89表 挖立柱建物跡74号計測表

査行1 寸法	査行2 寸法	査行1 寸法	査行2 寸法	備 考	遺 物
P1-P2 356	平均 -	P2-P3 360	平均 -	方向:	P1: 粘土塊(1)



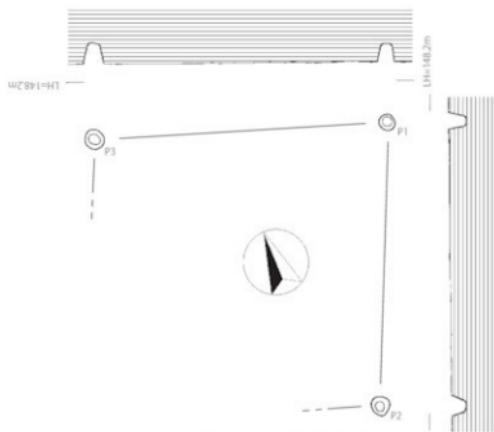
第114図 据立柱建物跡75号



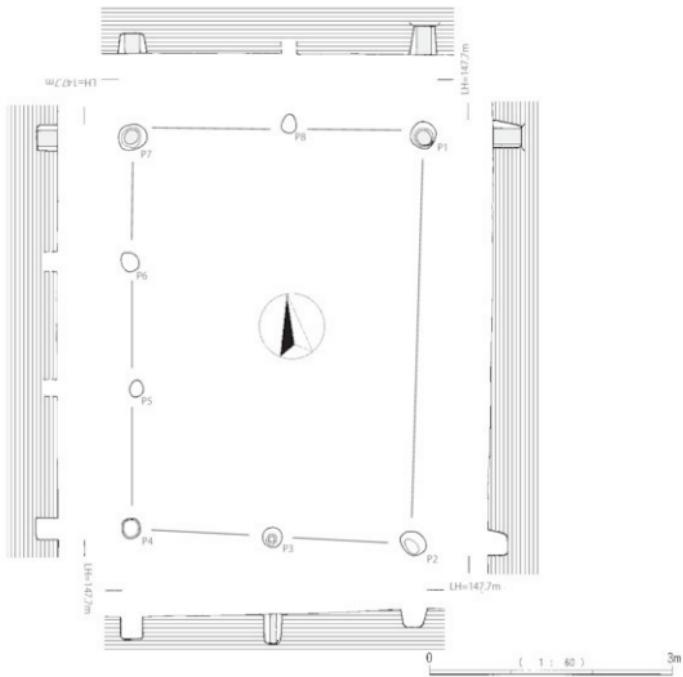
第115図 据立柱建物跡76号

第 90 表 据立柱建物跡 75 号計測表

梁行 1 寸法	梁行 2 寸法	桁行 1 寸法	桁行 2 寸法	備 考	遺 物
P1-P3 392	平均 196	P1-P6 390	平均 -	方向 N66°E	P3: 粘土塊(3)
P5-P6 372	平均 -	P3-P5 404	平均 202		P5: 粘土塊(1)
P1-P2 118		P3-P4 182			P6: 粘土塊(1)
P2-P3 274		P4-P5 222			



第116図 据立柱建物跡77号



第117図 据立柱建物跡78号

(4) D 地区

D 地区は建物跡が調査区の北側、現集落側の小ハネ遺跡に近い部分に密集して検出している。西側では近世代のサトウキビのカマドとみられるものが集中して検出した。

(ア) 挖立柱建物跡

掘立柱建物跡 73 号（第 112 図、第 88 表）

A-41 区で検出している。1 × 1 間の建物跡である。柱穴内から施釉陶器が出土していることや、構成するピットの埋土、建物跡の内部に近世カマド跡が見られることなどから、近世の遺構であると考えられる。

掘立柱建物跡 74 号（第 113 図、第 89 表）

B-42 区で検出している。1 × 1 間の建物跡とみられる。こちらも構成するピットの埋土、建物跡の内部に近世カマド跡が見られることなどから、近世の遺構であると考えられる。

掘立柱建物跡 75 号（第 114 図、第 90 表）

B-C42 区で検出している。掘立 73・74 号と同様に構成するピットの埋土、建物跡の内部に近世カマド跡が見られることなどから、近世の遺構であると考えられる。

掘立柱建物跡 76 号（第 115 図、第 91 表）

A-42 区で検出している。掘立 73 ~ 75 号と同様に構成するピットの埋土、建物跡の内部に近世カマド跡が見られることなどから、近世の遺構であると考えられる。

掘立柱建物跡 77 号（第 116 図、第 92 表）

A-42 区で検出し、掘立 73 ~ 76 号と同様に構成するピットの埋土、建物跡の内部に近世カマド跡が見られることなどから、近世の遺構であると考えられる。

掘立柱建物跡 78 号（第 117 図、第 93 表）

か・37・38 区で検出。2 × 3 間の側柱建物跡である。P2 の埋土色が近世に相当するものと見られることから、近世の遺構と考えられる。

掘立柱建物跡 79 号（第 118 図、第 94 表）

か・37・38 区で検出し、掘立 80 号と重複している。2 × 2 間の総柱建物で北側と東側に庇がつく建物跡である。柱穴内からは遺物は出土していない。

掘立柱建物跡 80 号（第 119 図、第 95 表）

か・37・38 区で検出し、掘立 79 号と重複している。2 × 3 間の側柱建物跡である。柱穴内から粘土塊が出土している。

掘立柱建物跡 81 号（第 120 図、第 96 表）

か・39 区で検出。1 × 1 間の建物跡である。全体的に柱穴径が小さい。柱穴内からは粘土塊などが出土している。

掘立柱建物跡 82 号（第 121 図、第 97 表）

え・40・41 区で検出している。総柱建物跡である。桁行の北東隅柱穴は未検出である。柱穴内からは土師器などが出土している。

第 91 表 挖立柱建物跡 76 号計測表

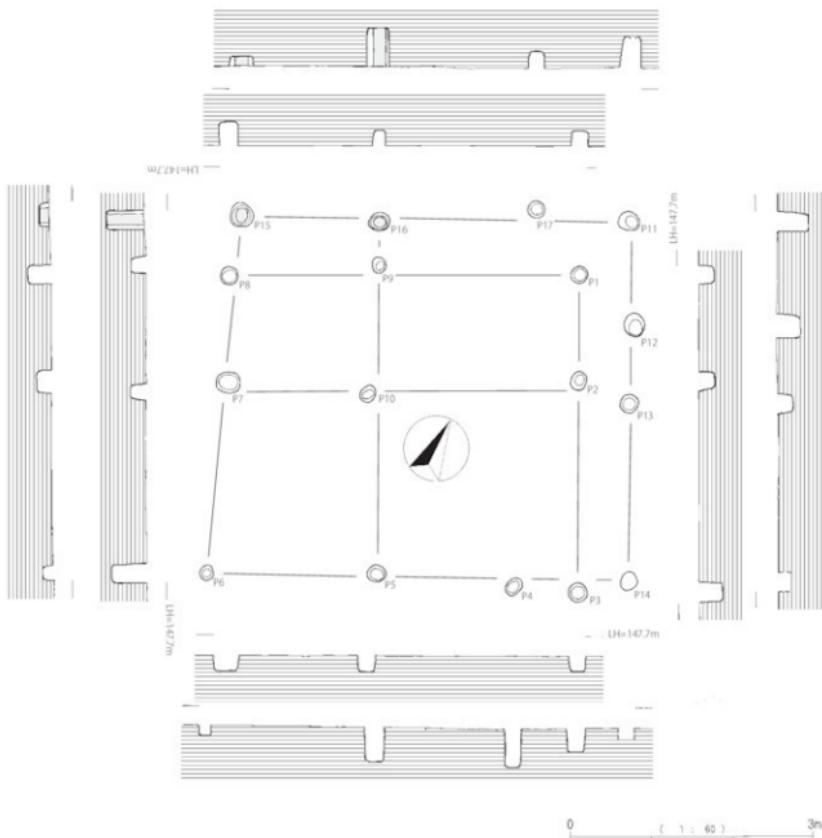
梁行 1 寸法	梁行 2 寸法	桁行 1 寸法	桁行 2 寸法	備 考	遺 物
P1-P2 264	平均 -	P1-P3 604	平均 201	方向:	P3: 粘土塊(2) P5: 粘土塊(1)
		P1-P5 230 P5-P4 174 P4-P3 200			

第 92 表 挖立柱建物跡 77 号計測表

梁行 1 寸法	梁行 2 寸法	桁行 1 寸法	桁行 2 寸法	備 考	遺 物
P1-P2 350	平均 -	P1-P3 360	平均 -	方向:	P3: 粘土塊(1)

第 93 表 挖立柱建物跡 78 号計測表

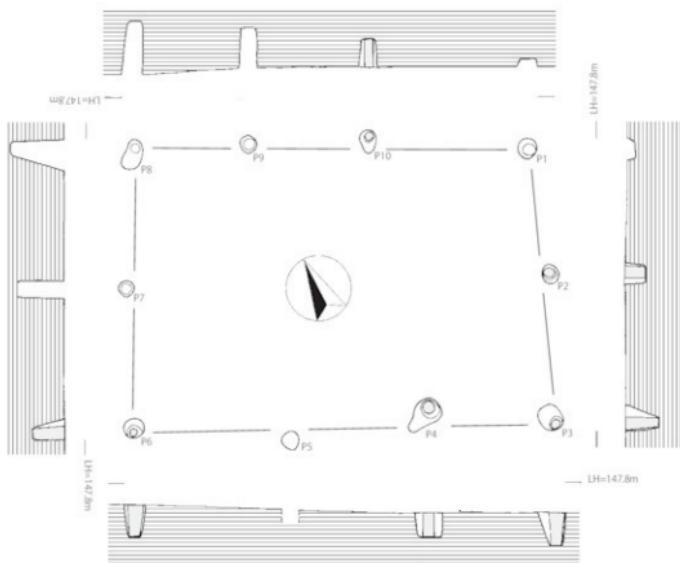
梁行 1 寸法	梁行 2 寸法	桁行 1 寸法	桁行 2 寸法	備 考	遺 物
P1-P7 360	平均 180	P1-P2 500	平均 -	方向:N11°E	P1: 土師器(2), 鉄滓(1)
P2-P4 346	平均 173	P4-P7 480	平均 160		P7: 土師器(1)
P1-P8 166	P2-P3 172		P4-P5 172		
P8-P7 194	P3-P4 174		P5-P6 156		
			P6-P7 152		



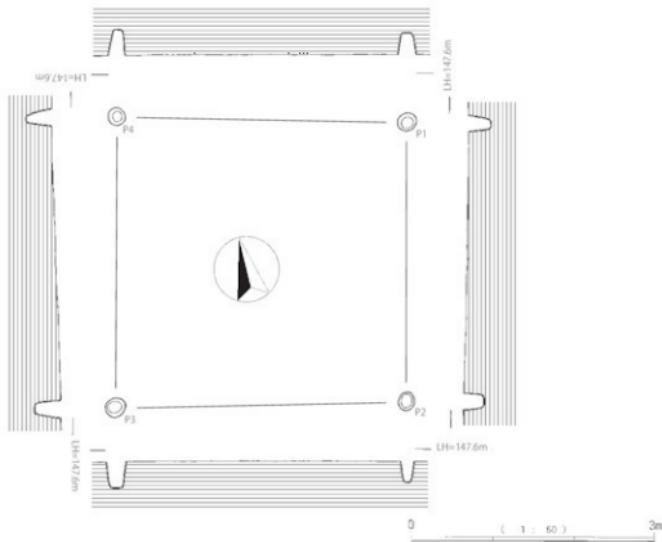
第118図 挖立柱建物跡79号計測表

第94表 挖立柱建物跡79号計測表

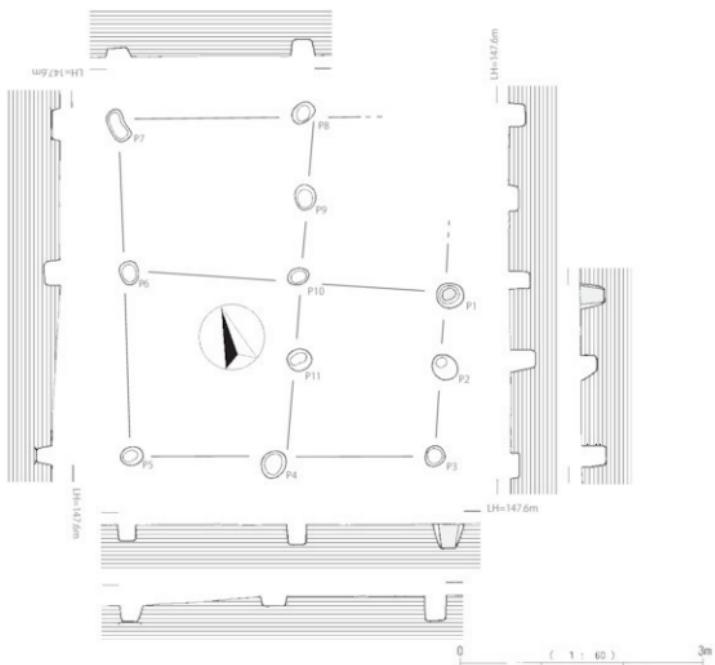
柵行1	寸法	柵行2	寸法	柵行1	寸法	柵行2	寸法	備考	遺物
P1-P3	388	平均	194	P1-P8	436	平均	218	方向:N64°E	
P6-P8	368	平均	184	P3-P6	456	平均	152		
P5-P9	376	平均	188	P2-P7	432	平均	216		
P1-P2	128	P6-P7	236	P1-P9	248	P3-P4	80		
P2-P3	260	P7-P8	132	P9-P8	188	P4-P5	168		
P5-P10	220			P2-P10	260	P5-P6	208		
P10-P9	156			P10-P7	172				
底部分									
P11-P14	440	平均	147	P11-P15	484	平均	161		
P8-P15	76	平均	-	P3-P14	64	平均	-		
P11-P12	132			P11-P17	116				
P12-P13	92			P17-P16	196				
P13-P14	216			P16-P15	172				



第119図 挖立柱建物跡80号



第120図 挖立柱建物跡81号



第121図 掘立柱建物跡82号

第95表 掘立柱建物跡80号計測表

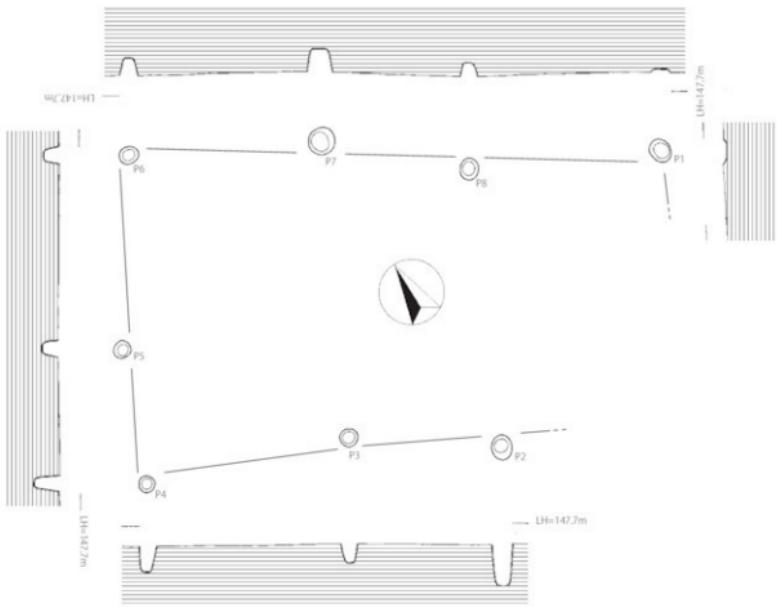
梁行1	寸法	梁行2	寸法	桁行1	寸法	桁行2	寸法	備考	遺物
P1-P3	336	平均	168	P1-P8	492	平均	164	方向:N65°W	P10: 粘土塊(5)
P6-P8	348	平均	174	P3-P6	526	平均	175		
P1-P2	152	P6-P7	176	P1-P10	198	P3-P4	156		
P2-P3	184	P7-P8	172	P10-P9	154	P4-P5	176		
				P9-P8	140	P5-P6	194		

第96表 掘立柱建物跡81号計測表

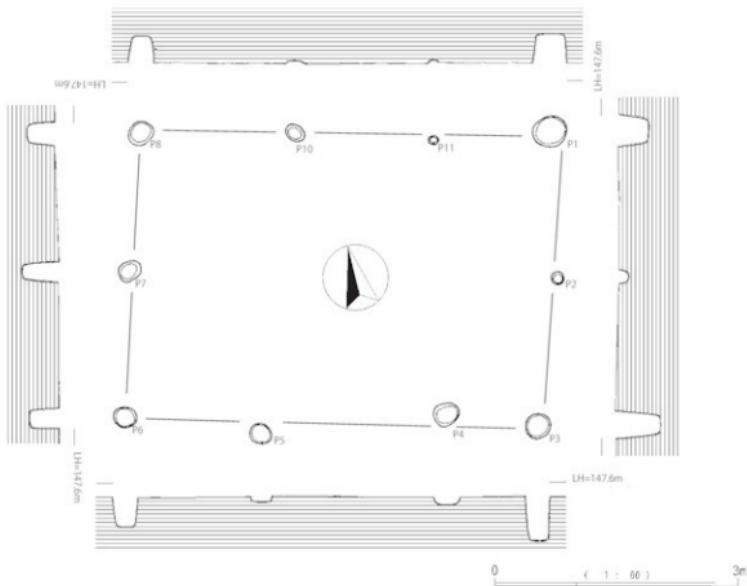
梁行1	寸法	梁行2	寸法	桁行1	寸法	桁行2	寸法	備考	遺物
P1-P2	340	平均	-	P1-P4	356	平均	-	方向:	P1: 粘土塊(2)
P3-P4	356	平均	-	P2-P3	360	平均	-		P3: 土師器(1), 粘土塊(7)

第97表 掘立柱建物跡82号計測表

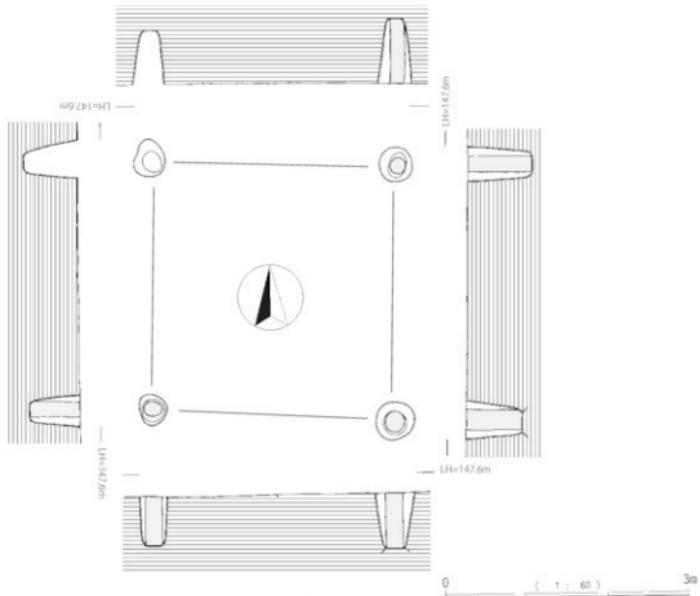
梁行1	寸法	梁行2	寸法	桁行1	寸法	桁行2	寸法	備考	遺物
P4-P6	406	平均	203	P1-P6	660	平均	220	方向:N59°W	P2: 粘土塊(4), 石器(1)
				P2-P4	442	平均	221		P4: 粘土塊(11)
P4-P5	166			P1-P8	236	P2-P3	188		P6: 粘土塊(7)
P5-P6	240			P8-P7	188	P3-P4	254		P7: カムイヤキ(1)
				P7-P6	236				



第122図 挖立柱建物跡83号



第123図 挖立柱建物跡84号



第124図 掘立柱建物跡85号

掘立柱建物跡 83号（第122図、第98表）

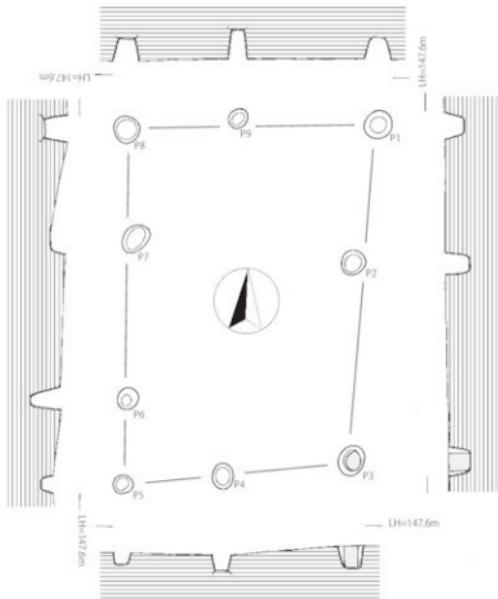
え、お-42区で検出し、掘立82号と重複している。2×3間の建物跡とみられる。個性されるビットの埋土色が近世に相当するものと見られることから、近世の遺構と考えられる。柱穴内からはカムイヤキなどが出土している。

第98表 掘立柱建物跡 83号計測表

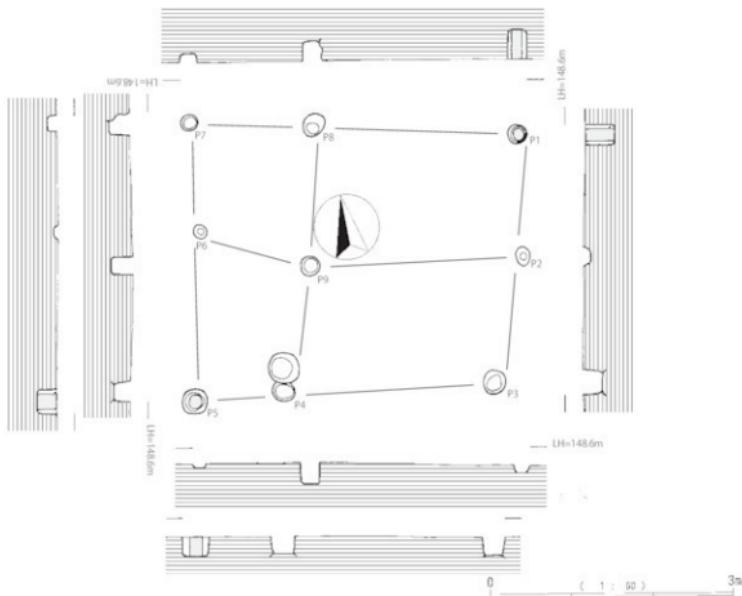
渠行1寸法	渠行2寸法	桁行1寸法	桁行2寸法	寸法	備考	遺物
P8-P7 188	平均 -	P1-P3 200	平均 100	100	方向:N17°E	P1: 土師器(1) P11: 陶化物(1)
P3-P5 376	平均 188	P5-P7 410	平均 205			
P1-P6 398	平均 199	P4-P8 438	平均 110			
P1-P10 188	P3-P4 198	P1-P2 84	P5-P6 226	226		
P10-P6 210	P4-P5 178	P2-P3 116	P6-P7 184	184		
		P4-P11 134				
		P11-P10 102				
		P10-P9 98				
		P9-P8 104				

第99表 掘立柱建物跡 84号計測表

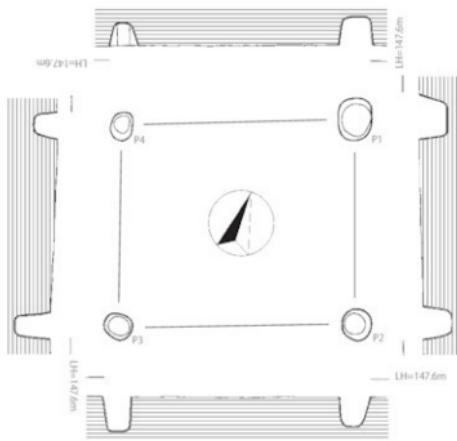
渠行1寸法	渠行2寸法	桁行1寸法	桁行2寸法	寸法	備考	遺物
P1-P3 364	平均 182	P1-P8 506	平均 169	169	方向:N76°W	P1: 土師器(4), 滑石二次加工品(1) 白磁(1), 鉄滓(1), 糯の羽口(3)
P6-P8 352	平均 176	P3-P6 512	平均 171	171		粘土塊(2)
P1-P2 180	P6-P7 180	P1-P10 144	P3-P4 112	112		P3: 土師器(4), 滑石製石鏟(1) 粘土塊(3)
P2-P3 184	P7-P8 172	P10-P9 170	P4-P5 232	232		P6: 土師器(1), 粘土塊(3) P7: 土師器(1), 滑石製石鏟(2)
		P9-P8 192	P5-P6 168	168		P8: 土師器(8), 滑石製石鏟(1), 鉄滓(1)



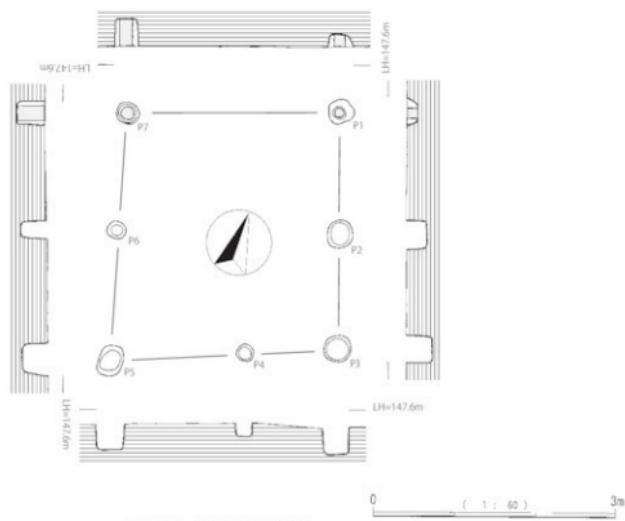
第125図 挖立柱建物跡86号



第126図 挖立柱建物跡87号



第127図 掘立柱建物跡88号



第128図 掘立柱建物跡89号

第100表 掘立柱建物跡85号計測表

査行1	寸法	査行2	寸法	査行1	寸法	査行2	寸法	備考	遺 物
P1-P4	302	平均	-	P1-P2	314	平均	-	方向:	P1: 土師器(2), カムイヤキ(1) 滑石二次加工品(1), 白磁(1)
P2-P3	296	平均	-	P3-P4	302	平均	-		鉄滓(2), 羅の羽口(3), 粘土塊(1) 石器(1)

掘立柱建物跡 85 号 (第 124 図, 第 100 表)

き -40 区で検出。1 × 1 間の建物跡である。柱穴内からは白磁・カムイヤキなどが出土している。

掘立柱建物跡 86 号 (第 125 図, 第 101 表)

く -40 区で検出。2 × 3 間の個柱建物跡とみられる。南側梁行はやや短くなっている。柱穴内からは黒色土器などが出土している。

掘立柱建物跡 87 号 (第 126 図, 第 102 表)

く -39 区で検出し、掘立 88 号と重複している。2 × 2 間の総柱建物跡である。柱穴内からは滑石製石鍋・土師器などが出土している。

第 101 表 掘立柱建物跡 86 号計測表

梁行 1	寸法	梁行 2	寸法	桁行 1	寸法	桁行 2	寸法	備考	遺物
P1-P8	312	平均	156	P1-P3	416	平均	208	方向: N4°W	P1: 黒色土器(1), 土師器(3) 羅の羽口(1), 炭化物(1)
P3-P5	286	平均	143	P5-P8	438	平均	146		
P1-P9	174	P3-P4	160	P1-P2	172	P5-P6	102		
P9-P8	138	P4-P5	126	P2-P3	244	P6-P7	200		
						P7-P8	136		

第 102 表 掘立柱建物跡 87 号計測表

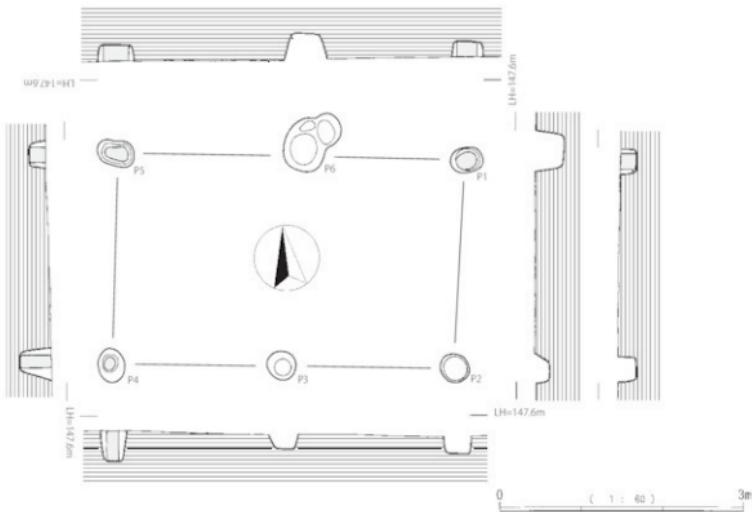
梁行 1	寸法	梁行 2	寸法	桁行 1	寸法	桁行 2	寸法	備考	遺物
P1-P3	310	平均	155	P1-P7	406	平均	203	方向: N78°W	P1: 滑石製石鍋(3) P6: 土師器(1) P9: 粘土塊(2)
P5-P7	340	平均	170	P3-P5	370	平均	185		
P4-P8	326	平均	163	P2-P6	406	平均	203		
P1-P2	150	P5-P6	208	P1-P8	254	P3-P4	260		
P2-P3	160	P6-P7	132	P8-P7	152	P4-P5	110		
P4-P9	158			P2-P9	264				
P9-P8	168			P9-P6	142				

第 103 表 掘立柱建物跡 88 号計測表

梁行 1	寸法	梁行 2	寸法	桁行 1	寸法	桁行 2	寸法	備考	遺物
P1-P2	250	平均	-	P1-P4	288	平均	-	方向:	P1: 滑石混入土器(1)
P3-P4	248	平均	-	P2-P3	292	平均	-		

第 104 表 掘立柱建物跡 89 号計測表

梁行 1	寸法	梁行 2	寸法	桁行 1	寸法	桁行 2	寸法	備考	遺物
P1-P7	260	平均	-	P1-P3	288	平均	144	方向: N17°W	P2: 滑石製石鍋(1), 龍泉窯系青磁(1) 石器(2), 錠石(1)
P3-P5	282	平均	141	P5-P7	302	平均	151		P3: 土師器(1) P4: 粘土塊(5) P7: 白磁(1)
		P3-P4	116	P1-P2	148	P5-P6	160		
		P4-P5	166	P2-P3	140	P6-P7	142		



第129図 挖立柱建物跡90号

第105表 挖立柱建物跡90号計測表

査定1 寸法		査定2 寸法		査定1 寸法		査定2 寸法		備考	遺物
P1-P2	256	平均	-	P1-P5	434	平均	217	方向:N82°W	P1: 土師器(2)
P4-P5	256	平均	-	P2-P4	424	平均	212		P2: 箕の羽口(1), 粘土塊(1), 軽石(1)
				P1-P6	204	P2-P3	212		P4: カムイヤキ(1), 滑石製石鍋(1)
				P6-P5	230	P3-P4	212		鉄滓(1), 粘土塊(1), 石器(2)
									軽石(1)



(f) 挖立柱建物跡内出土遺物

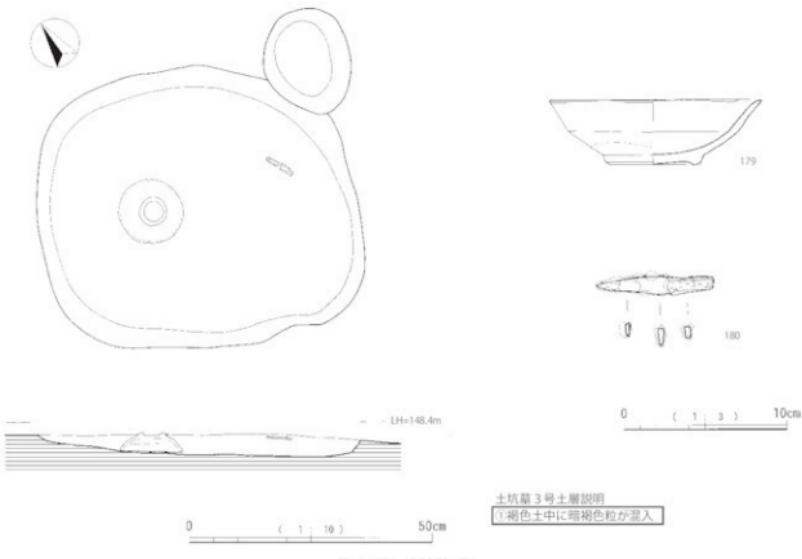
178は掘立85号から出土した滑石製品である。縦方向に1条沈線が施されていた。



第130図 D地区掘立柱建物跡内出土遺物

第106表 D地区掘立柱建物跡内出土遺物

回復 No.	埋藏 番号	出土区	遺構	分類L1				分類L2	分類L3	部位	計測値(cm)			色調 (内) (外)	重量 (g)	備考
				口径	底径	高さ	口径				口径	底径	高さ			
178	8 40	P1124	滑石二次加工品	縫状	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	掘立85号 P01	



第131図 土坑墓3号

(2) 土坑

土坑墓3号

う-34 区で検出。直径 65cm × 60cm の方形状土坑で、深さ 4 cmほどで浅かった。人骨は検出できなかったが、完形品の白磁・刀子が出土した。このサイズの小型の土坑は前畠遺跡にみられることなどから、人骨は検出できなかったが、土坑墓として捉えることとした。

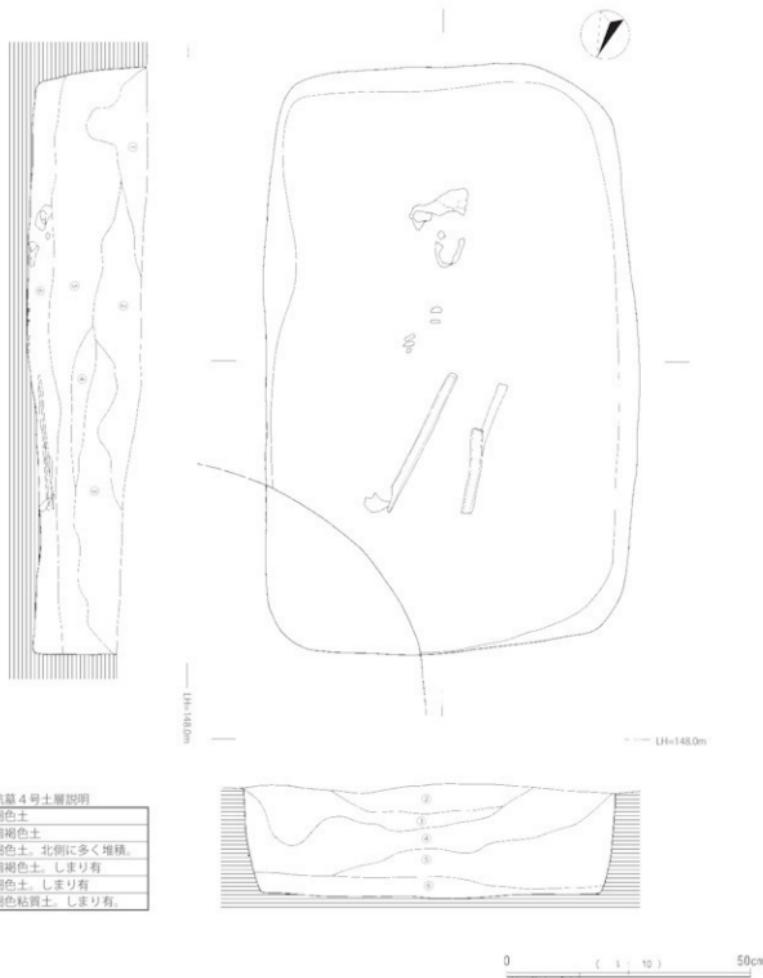
土坑の埋土は地山面とほぼ同じ褐色土で検出が非常に難しかったが、わずかに混入している暗褐色土を頼りに行つた。

出土遺物

179 は白磁碗である。口径 12.9cm、底径 5.1cm、器高 4cm を測る。全体的に釉がはげかかっており、褐色気味になつてゐる。180 は刀子である。基部が破損している。

第107表 土坑墓3号

記号 No.	開拓 番号	出土区	遺構	分類 L1				部位	計測値(cm)			色調		重量 (g)	備考
				分類 L2	分類 L3	実用品	口径		底径	器高	(内)	(外)			
131	179	土坑墓3号	白磁	碗		実用品	12.9	5.1	4				-	-	
	180	土坑墓3号	鉄製品	刀子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	



第132図 土坑墓4号

土坑墓4号

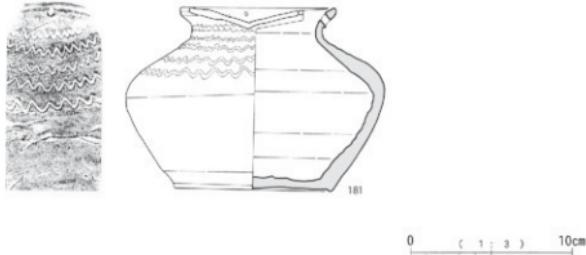
お-35区で検出。直径 122cm × 78cm の長方形状土坑で、深さ 23cmほどであった。最下層に土葬人骨を確認した。人骨の遺存状況は良くなく、わずかしか検出できなかった。副葬品などの痕跡は検出できなかった。頭位は南方向であった。また、土坑の一部は近世カマドにより削平を受けている。

土坑墓5号

か-40区で検出。直径 204cm × 95cm の長方形土坑で、深さ 22cmほどであった。中央部分は近世カマドにより壊されている。床面付近に土葬された人骨とカムイヤキ壺を検出した。人骨は頭部のみの検出で頭位は南方向と見られる。カムイヤキは上方から圧力を受けたようで細かく割れていた。骨は検出できなかつたが、おそらく足元付近に置かれていたものと見られる。



第133図 土坑墓5号(1)



第134図 土坑墓5号(2)

出土遺物

181はカムイヤキ壺である。口径9.6cm、底径9.6cm、器高11.2cmを測る。肩部に波状沈線文が描かれている。一筆書きではなく、1本ずつ分けて描かれている。口縁部には貫通穿孔が2か所みられ、内から外側に向けて穿枯れている。

土坑6号

か-41区で検出。直径120cm×112cmの円形土坑である。中央部分が一段凹んでいる。深さは35cmほどである。同心円状に堆積していることがうかがえ、流れ込みによって堆積したものと考えている。②層では魚骨が多く出土している。

(a) 焼土跡

焼土跡8号

A-41区で検出。不定形な形状である。

焼土跡9号

B-42区で検出。直径50cm×35cmの梢円形状で、周囲が被熱していた。②層は被熱面である。

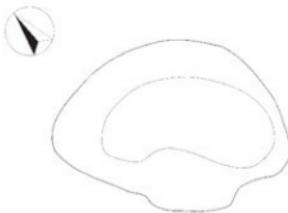
焼土跡10号

う-34区で検出。直径73cmの円形状で土坑の周囲が被熱していた。③層は炭化物が充填しており、その上には石灰岩が出土している。

第108表 土坑墓5号

回復 No	埋蔵 番号	出土区	遺構	分類L1				分類L2				分類L3				部位	計測値(cm)			色調	重量 (g)	備考
				口径	底径	高さ	(内)	(外)	高さ	(内)	(外)	高さ	(内)	(外)	高さ		口径	底径	高さ			
134	181	土坑墓5号	カムイヤキ	-	-	-	完形品	9.6	9.6	11.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

第135図 土坑6号



— LH=148.0m

— LH=148.1m

第136図 焼土跡8号

焼土跡8号 土層説明	
①	橙色・赤色土
②	黒褐色土

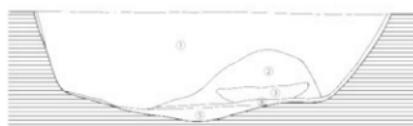
焼土跡9号 土層説明	
①	黒褐色土
②	赤褐色被熱面

第137図 焼土跡9号

0 (1 : 10) 50cm



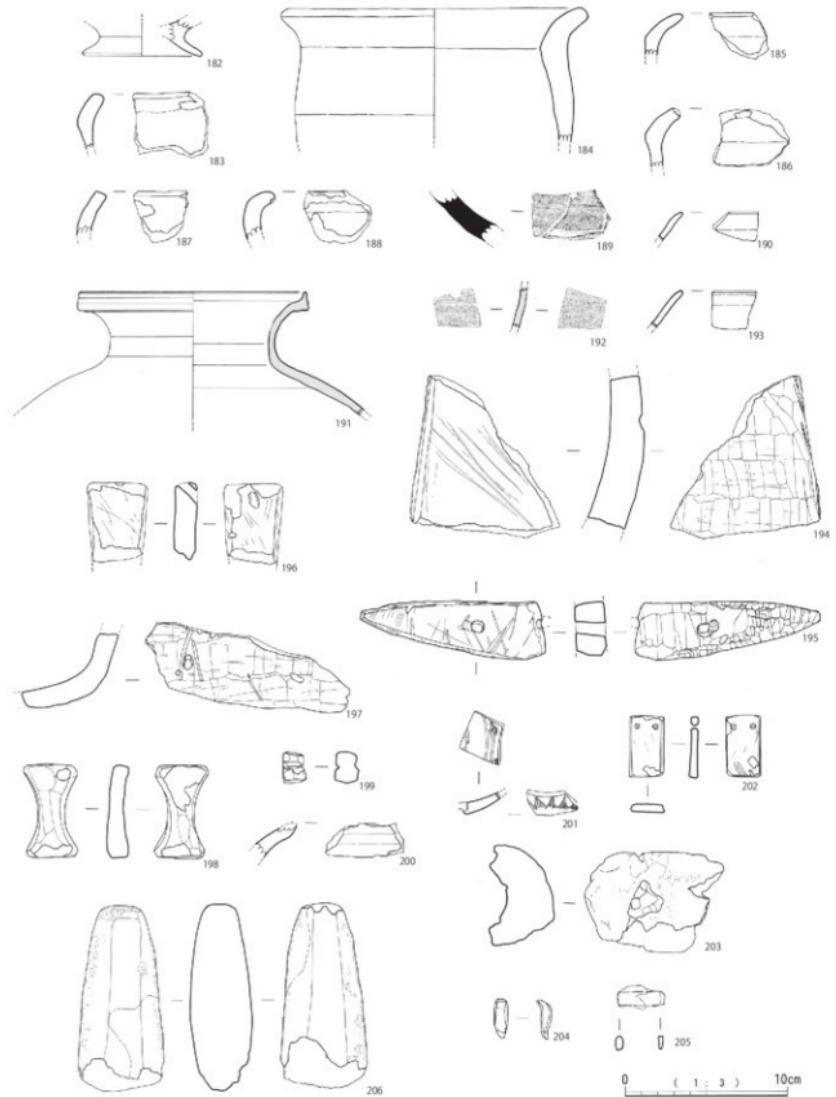
— LH=148.5m



焼土跡10号 土層説明	
①	にふい黄褐色土
②	③ + 濁化物
③	濁化物層
④	にふい黄褐色土 + 褐色土の 混在層
⑤	赤褐色被熱面

第138図 焼土跡10号

0 (1 : 10) 50cm



第139図 D地区柱穴内出土遺物

(4) 柱穴内出土遺物

182は土師器碗である。183～188は土師器壺である。184は口径19.8cmを測る。内面はケズリが入っているが単位は不明瞭である。器壁はやや厚い。189は須恵器である。肩部に沈線が入っている。190は越州窯系青磁碗の口縁部である。191はカムイヤキである。口径10.6cmを測る。192は胎土から朝鮮無釉陶器と判断した。193は白磁口禿げ椀である。

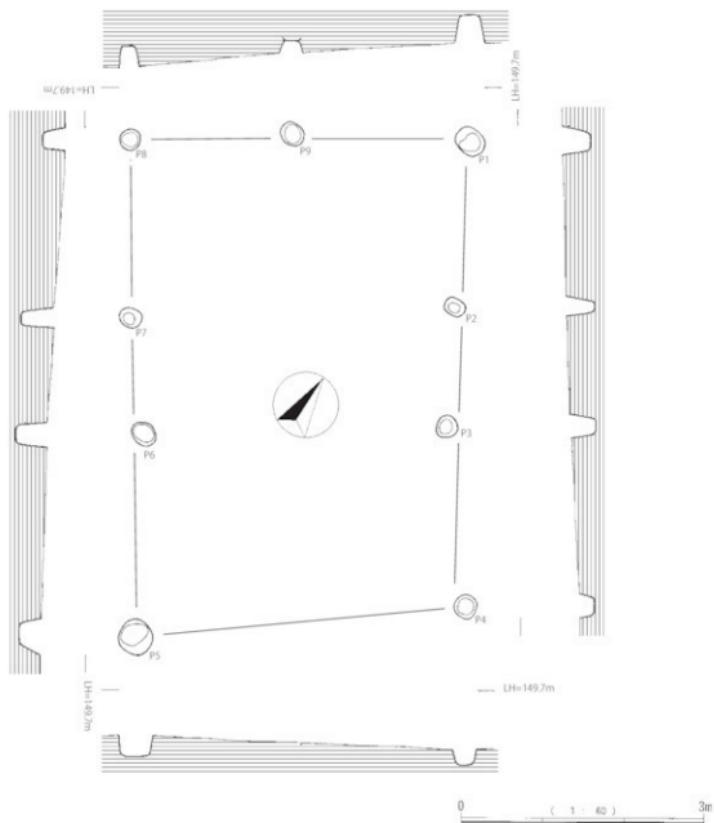
194～199は滑石製石鍋である。194は断面に擦りきり後破断した跡が見られる。外面には何處か擦り切ろうとした痕跡が確認できる。198・199は製品である。198はI字型をした製品である。用途は不明である。200は施釉陶器である。203は櫛の羽口である。表面は被熱しており、ガラス質化している。204・205は鉄製品である。206は石器である。先端部分が破損しているが石斧を転用したものと考えられる。

第109表 D地区柱穴内出土遺物

記録 No	開拓 番号	出土区	遺構	分類 L1	分類 L2	分類 L3	部位	計測値(cm)			色調		重量 (g)	備考
								口径	底径	器高	(内)	(外)		
	182	辛 41	P0593	土師器	碗	-	底部	7.2	-	-	-	-	-	-
	183	か 41	P3830	土師器	壺	-	口縁部	-	-	-	-	-	-	-
	184	辛 41	P0591	土師器	壺	-	口縁部	19.8	-	-	-	-	-	-
	185	こ 36	P3041	土師器	壺	-	口縁部	-	-	-	-	-	-	-
	186	辛 41	P0665	土師器	壺	-	口縁部	-	-	-	-	-	-	-
	187	辛 42	P1181	土師器	壺	-	口縁部	-	-	-	-	-	-	-
	188	い 39	P0564	土師器	壺	-	口縁部	-	-	-	-	-	-	-
	189	辛 42	P0223	須恵器	碗	-	底部	-	-	-	淡白	灰白	-	-
	190	い 40	P1060	越州窯系青磁	-	-	口縁部	-	-	-	-	-	-	-
	191	< 40	P1195	カムイヤキ	碗・碟	-	口～胸	10.6	-	-	灰	灰	-	-
	192	< 39	P0223	銅針系無釉陶器	碗・碟	-	底部	-	-	-	-	-	-	-
	193	< 40	P1073	白磁	碗	口縫	口縁部	-	-	-	-	-	-	-
139	194	< 41	P0756	滑石製石鍋	-	-	-	-	-	-	-	-	307	-
	195	い 40	P1098	滑石製石鍋	-	-	-	-	-	-	-	-	118	-
	196	< 41	P0777	滑石二次加工品	方形状	-	-	-	-	-	-	-	48	-
	197	< 39	P0911	滑石製石鍋	-	-	底部	-	-	-	-	-	207	-
	198	い 40	P1017	滑石二次加工品	-	-	-	-	-	-	-	-	29	-
	199	< 40	P0604	滑石二次加工品	蝶状	-	-	-	-	-	-	-	7	-
	200	辛 40	P0610	施釉陶泡呑	-	-	腹部	-	-	-	-	-	-	-
	201	そ 35	P3776	雪花	-	-	底部	-	-	-	-	-	-	-
	202	か 42	P0176	石劍	礫石	-	-	-	-	-	-	-	18	-
	203	< 39	P0907	櫛の羽口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	204	か 42	P0171	鉄製品	釘	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	205	< 40	P1068	鉄製品	刀子	-	-	-	-	-	-	-	4	-
	206	か 41	P0267	石器	石斧	-	-	-	-	-	-	-	357	-



第140図 E地区詳細図



第141図 掘立柱建物跡91号

(5) E 地区

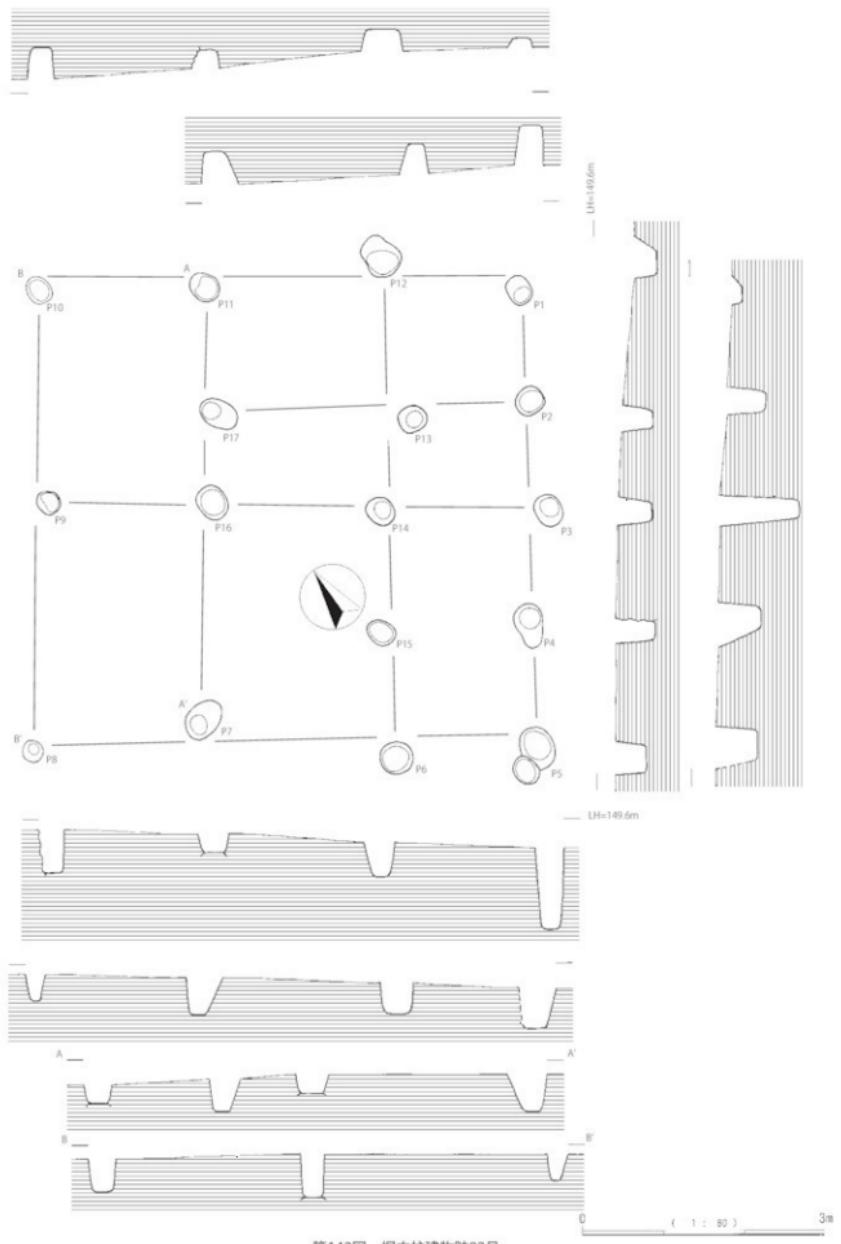
(ア) 掘立柱建物跡

掘立柱建物跡 91 号 (第 141 図, 第 110 表)

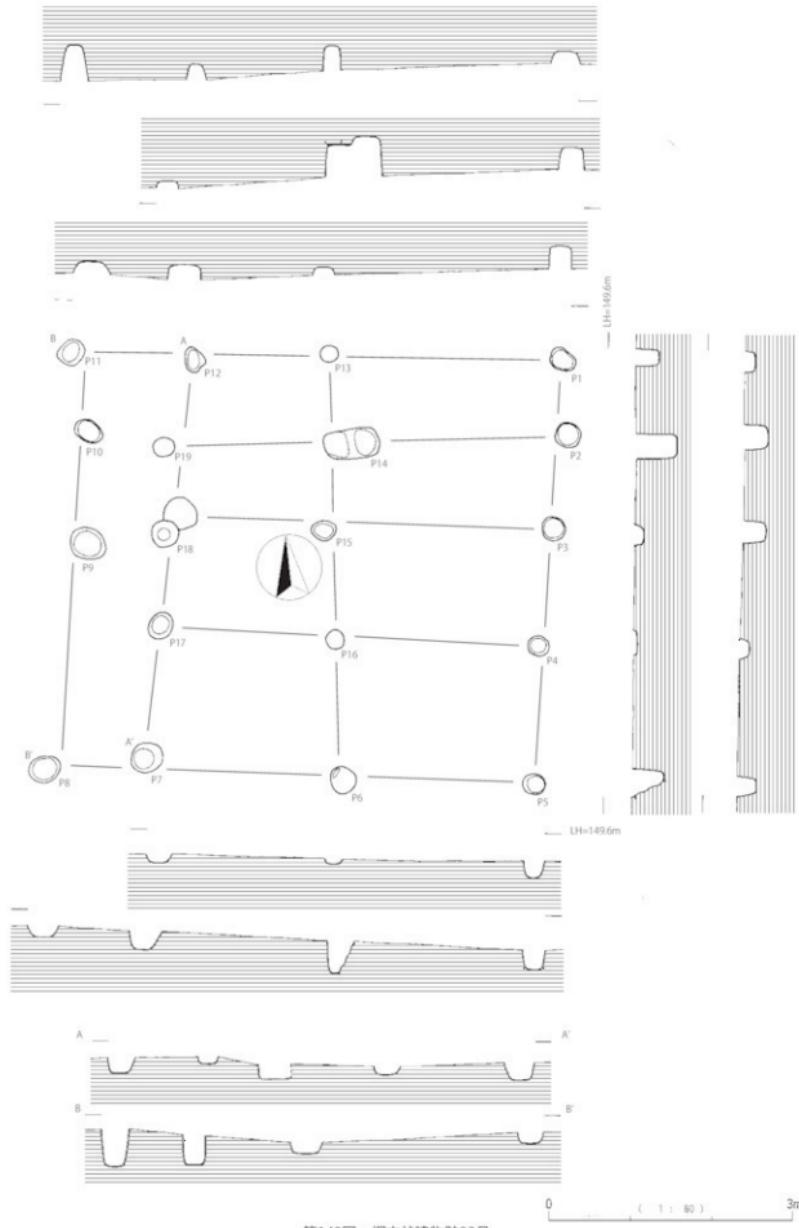
こ -37 区で検出し、掘立 92 号と重複している。2 × 3 間の側柱建物跡になると見られる。桁行の中央部分の柱穴は間隔がやや短くなっている。柱の配置も中央寄りになっている。

第 110 表 掘立柱建物跡 91 号計測表

梁行 1	寸法	梁行 2	寸法	桁行 1	寸法	桁行 2	寸法	備考	遺 物
P1-P8	420	平均	210	P1-P4	570	平均	190	方向:N35°W	P2: 土師器(1), 粘土塊(1)
P4-P5	500	平均	-	P5-P8	608	平均	203		P4: 滑石製石鍋(1), 粘土塊(1)
P1-P9	220		P1-P2	204	P5-P6	248		P6: 須恵器(1), 粘土塊(8)	
P9-P8	200		P2-P3	146	P6-P7	140		P7: カムイヤキ(1), 粘土塊(5)	
P3-P4	220		P7-P8	220	炭化物(2)				
P8: 土師器(6), 滑石製石鍋(1), 石器(5)									
P9: 滑石二次加工品(1), 粘土塊(1)									



第142図 掘立柱建物跡92号



第143図 掘立柱建物跡93号

掘立柱建物跡 93 号（第 143 図、第 112 表）

け・こ-36 区で検出し。4 × 3 間の純柱建物跡である。全体的にやや浅めである。柱穴内からは土師器・滑石製石鍋などが出土している。

掘立柱建物跡 94 号（第 144 図、第 113 表）

し-34 区で検出し、掘立 95 号と重複している。2 × 3 間ないし 2 × 4 間の純柱建物跡になると見られる。半分以上の柱穴が石灰岩上に作られている。柱穴内からは滑石製石鍋などが出土している。

掘立柱建物跡 95 号（第 145 図、第 114 表）

し-34 区で検出し、掘立 94 号と重複している。3 × 3 間の純柱建物跡である。柱穴内からは龍泉窯系青磁・滑石製石鍋などが出土している。

掘立柱建物跡 96 号（第 146 図、第 115 表）

す-33-34 区で検出している。2 × 4 間の純柱建物跡である。一部浅い柱穴がある。柱穴内からは土師器・白磁などが出土している。

第 111 表 掘立柱建物跡 92 号計測表

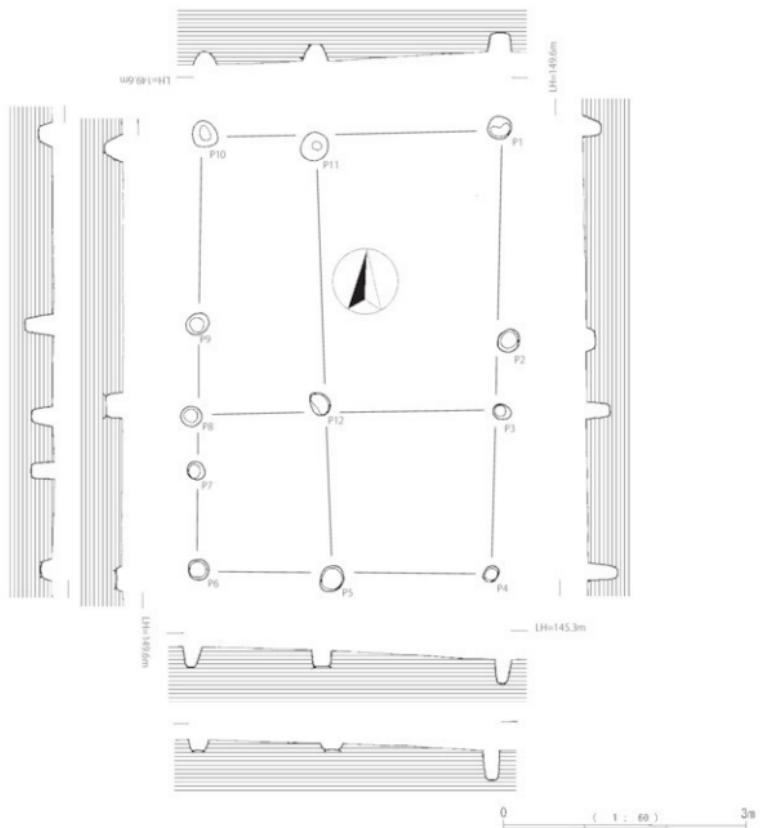
梁行 1	寸法	梁行 2	寸法	桁行 1	寸法	桁行 2	寸法	備 考	遺 物
P1-P5	556	平均	139	P1-P10	604	平均	201	方向 :N55°W	P2: 土師器(2), 粘土塊(2), 炭化物(1)
P8-P10	562	平均	281	P5-P8	630	平均	210		P3: 滑石製石鍋(1), 白磁(1), 鉄滓(1)
P6-P12	620	平均	155	P2-P17	400	平均	200		粘土塊(2)
P7-P11	534	平均	178	P3-P9	616	平均	205		P5: 土師器(1)
P1-P2	130	P8-P9	302	P1-P12	176	P5-P6	176		P7: 滑石製石鍋(1), 粘土塊(1)
P2-P3	132	P9-P10	260	P12-P11	220	P6-P7	248		P10: 土師器(1), 粘土塊(2)
P3-P4	138			P11-P10	208	P7-P8	206		P11: 粘土塊(1)
P4-P5	156								P14: 滑石製石鍋(1), 滑石混入器(1)
P6-P15	156	P7-P16	272	P2-P13	148	P3-P14	208		轡の羽口(1), 軽石(1)
P15-P14	150	P16-P17	114	P13-P17	252	P14-P16	208		P15: 土師器(1), 粘土塊(2)
P14-P13	118	P17-P11	148			P16-P9	200		P16: 石器(2)
P13-P12	196								P17: 滑石製石鍋(1), 粘土塊(2)
									施釉陶磁器(1), 軽石(1)

第 112 表 掘立柱建物跡 93 号計測表

梁行 1	寸法	梁行 2	寸法	桁行 1	寸法	桁行 2	寸法	備 考	遺 物
P1-P12	456	平均	228	P1-P5	524	平均	131	方向 :N82°W	P2: 鉄滓(1)
P5-P7	484	平均	242	P7-P12	494	平均	124		P3: 滑石製石鍋(1), 粘土塊(7)
P2-P19	500	平均	250	P6-P13	512	平均	128		P4: 土師器(2)
P3-P18	480	平均	240						P6: 滑石製石鍋(2), 鉄滓(1), 粘土塊(3)
P4-P17	466	平均	233						P9: 軽石(1)
P1-P13	288	P5-P6	248	P1-P2	92	P7-P17	164		P11: 土師器(1), 滑石製石鍋(1)
P13-P12	168	P6-P7	236	P2-P3	116	P17-P18	110		粘土塊(1), 石器(2)
				P3-P4	144	P18-P19	108		P12: 滑石製石鍋(1)
				P4-P5	172	P19-P12	112		P14: 滑石製石鍋(1), 粘土塊(5)
									石器(3)
P2-P14	288	P4-P16	250	P6-P16	164				P17: 鉄滓(2), 粘土塊(1)
P14-P19	212	P16-P17	216	P16-P15	132				
P3-P15	284			P15-P14	108				
P15-P18	196			P14-P13	108				
庇部分									
P11-P12	148	平均	-	P8-P11	516	平均	172		
P7-P8	120	平均	-						
				P8-P9	280				
				P9-P10	136				
				P10-P11	100				

第 113 表 掘立柱建物跡 94 号計測表

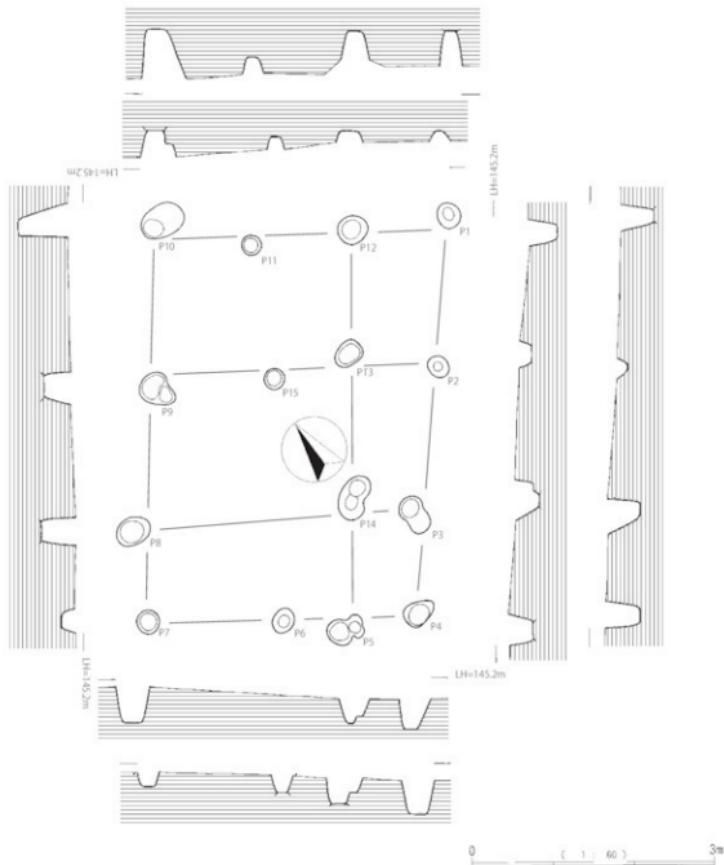
梁行 1	寸法	梁行 2	寸法	桁行 1	寸法	桁行 2	寸法	備 考	遺 物
P1-P10	366	平均	183	P1-P4	544	平均	181	方向 :N2°W	P7: 滑石製石鍋(2), 粘土塊(1)
P4-P6	360	平均	180	P6-P10	536	平均	134		P9: 粘土塊(1)
P3-P8	380	平均	190	P5-P11	532	平均	266		P10: 獣骨(6)
P1-P11	228	P4-P5	196	P1-P2	256	P6-P7	120		
P11-P10	138	P5-P6	164	P2-P3	88	P7-P8	68		
				P3-P4	200	P8-P9	112		
P3-P12	220			P5-P12	216	P9-P10	236		
P12-P8	160			P12-P11	316				



第144図 挖立柱建物跡94号

第114表 挖立柱建物跡 95号計測表

渠行1	寸法	渠行2	寸法	渠行1	寸法	渠行2	寸法	備考	遺物
P1-P10	366	平均	122	P1-P4	494	平均	165	方向 N39°E	P1: 土師器(3), 粘土塊(1), 輕石(2)
P4-P7	336	平均	112	P7-P10	484	平均	161		P2: 土師器(2), 滑石製石錠(2)
P2-P9	360	平均	120	P5-P12	496	平均	165		P3: 鐵滓(2)
P3-P8	346	平均	173						P4: 土師器(1)
P1-P12	120	P4-P5	100	P1-P2	188	P7-P8	112		P6: 龍泉窯系青磁(1), 鐵滓(1)
P12-P11	126	P5-P6	68	P2-P3	176	P8-P9	180		粘土塊(2)
P11-P10	120	P6-P7	168	P3-P4	130	P9-P10	192		P8: 土師器(1), 滑石製石錠(4), 石器(1)
P2-P13	108	P3-P14	72	P5-P14	158				P10: 土師器(5), 滑石製石錠(1)
P13-P15	100	P14-P8	274	P14-P13	184				粘土塊(1), 石器(1)
P15-P9	152			P13-P12	154				P11: 粘土塊(2)
									P13: 滑石製石錠(1)
									P15: 土師器(2)



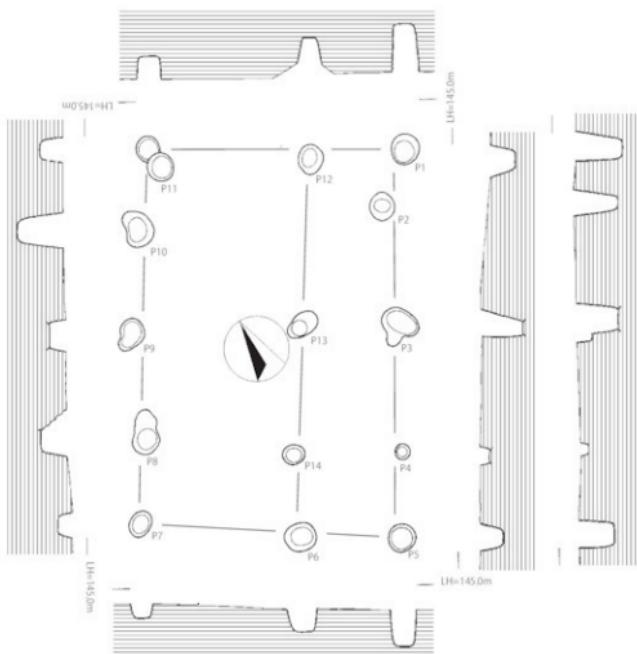
第145図 挖立柱建物跡95号

掘立柱建物跡 97号（第147図、第116表）

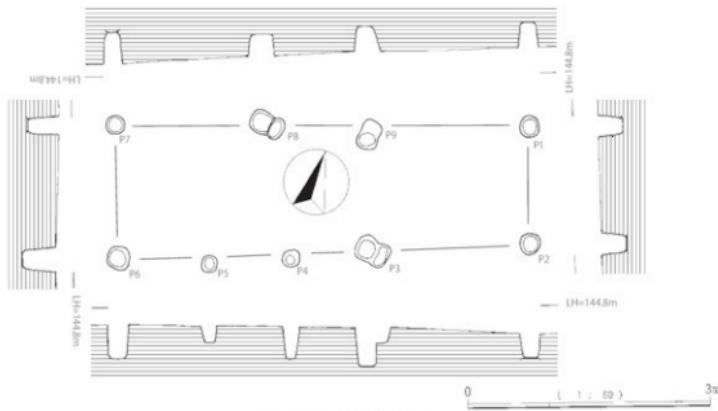
す-33区で検出している。1×4間の側柱建物跡になると見られる。掘立50号と類似するような建物跡である。柱穴内からは土師器などが出土している。

第116表 挖立柱建物跡 96号計測表

梁行1	寸法	梁行2	寸法	桁行1	寸法	桁行2	寸法	備考	遺物
P1-P11	318	平均	159	P1-P5	482	平均	121	方向:N32°E	P1: 土師器(3), 粘土塊(3), 石器(2)
P5-P7	320	平均	160	P7-P11	464	平均	116		P3: 土師器(2), 糙の羽口(1), 粘土塊(1)
		P6-P12	466	平均	155				石器(1)
P1-P12	118	P5-P6	120	P1-P2	70	P7-P8	104		P7: 土師器(1)
P12-P11	200	P6-P7	200	P2-P3	146	P8-P9	132		P8: 土師器(2)
		P3-P4	160	P9-P10	128				P10: 土師器(2), 白磁(1)
		P4-P5	106	P10-P11	100				P11: 土師器(4), 鉄漬(1), 粘土塊(3)
		P6-P14	100						P12: 糙の羽口(2)
		P14-P13	156						P13: 白磁(1), 土器(2), 鉄漬(1)
		P13-P12	210						



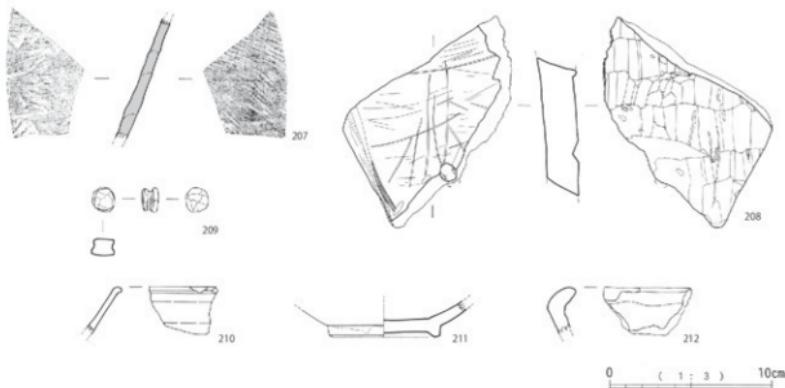
第146図 据立柱建物跡96号



第147図 据立柱建物跡97号

第116表 据立柱建物跡97号計測表

梁行1 寸法	梁行2 寸法	桁行1 寸法	桁行2 寸法	備 考	遺 物
P1-P2 144	平均 -	P1-P7 516	平均 172	方向:N71°E	P2: 土師器(2)
P6-P7 164	平均 -	P2-P6 516	平均 129		P3: 土師器(4), 鉄滓(2)
		P1-P9 202	P2-P3 204		P4: 土師器(2), 粘土塊(1)
		P9-P8 132	P3-P4 96		P5: 鉄滓(1), 粘土塊(1)
		P8-P7 182	P4-P5 100		P6: 罐の羽口(1)
		P5-P6 116			P9: 鉄滓(4)



第148図 E地区掘立柱建物跡内出土遺物

(4) 掘立柱建物跡内出土遺物

207～209は掘立91号から出土した遺物である。外面は平行状タタキ、内面煮は扇形當て具痕が見られる。208は滑石製石鍋である。破断面には擦り切り後破断した痕跡が見られる。内面にも縦横に沈線が見られる。210は掘立95号から出土した初期高麗青磁である。211は掘立96号、212は掘立97号から出土している。

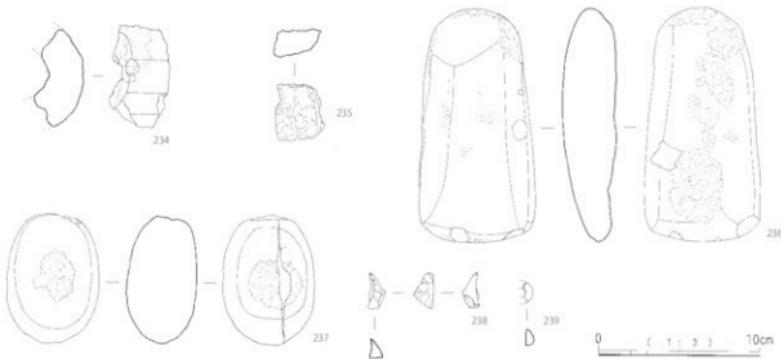
(ウ) 柱穴内出土遺物

213～239はE地区の柱穴内から出土した遺物である。

213は豪久式土器である。底部に木葉痕が観察できる。214は土師器碗と考えているが、内側が黒く変色しており、黒色土器の可能性がある。11～12世紀頃と見られる。215～218は土師器甕である。219～220は越州窯系青磁である。219は外面に縱免押線文が見られる。221～222は布目庄痕土器である。224はカムィヤキである。225は胎土などから朝鮮系無釉陶器と見られる。226～233は滑石製石鍋である。滑石には貫通穿孔が開いているものが多く見られる。228や230には穿孔内部に鉄が挟まっていることが観察できる。232～233はバレン状製品と見られる。233はつまみ部分以外はほとんど被損していた。234は籠の羽口である。先端部分で表面がガラス質化している。235は鉄滓である。236～238は石器である。237は石斧を転用したものと見られ、敲打痕が顕著に見られた。刃部は敲きつぶれていない。238は黒曜石である。239はガラス玉である。半分以上は被損していた。



第149図 E地区柱穴内出土遺物(1)



第150図 E地区柱穴内出土遺物(2)

第117表 E地区柱立柱建物跡内出土遺物

因版 No	開拓 番号	出土区	遺構	分類 L1		部位	計測値(cm)			色調 (内) (外)	重量 (g)	備考
				分類 L2	分類 L3		口径	底径	器高			
148	207	乙 37	P2825	カムイ・ヤキ	壺・甕	-	肩部	-	-	灰	-	掘立 91 号 P07
	208	け 37	P2798	滑石製石硝	-	-	-	-	-	-	-	掘立 91 号 P08
	209	乙 37	P2819	滑石二次加工品	-	-	-	-	-	-	-	掘立 91 号 P09
	210	し 34	P1256	初期馬鹿頭	-	-	口縁部	-	-	-	-	掘立 95 号 P06
	211	す 33	P3325	白磁	-	-	底部	-	6.1	-	-	掘立 96 号 P13
	212	す 33	P3490	土師器	甕	-	口縁部	-	-	-	-	掘立 97 号 P04

第118表 E地区柱穴内出土遺物(1)

因版 No	開拓 番号	出土区	遺構	分類 L1		部位	計測値(cm)			色調 (内) (外)	重量 (g)	備考
				分類 L2	分類 L3		口径	底径	器高			
149	213	し 34	P1060	兼久式土器	-	-	底部	-	6	-	-	-
	214	す 34	P3210	土師器	壺	-	底部	-	6.4	-	-	-
	215	こ 34	P2718	土師器	甕	-	口縁部	-	-	-	-	-
	216	す 33	P3365	土師器	甕	-	口縁部	-	-	-	-	-
	217	け 36	P2857	土師器	甕	-	口縁部	-	-	-	-	-
	218	す 34	P1299	土師器	甕	-	口縁部	-	-	-	-	-
	219	し 34	P3138	越前窯系青磁	碗	口縁部	口縁部	-	-	-	-	-
	220	す 33	P3473	越州窯系青磁	碗	口縁部	口縁部	-	-	-	-	-
	221	す 34	P3210	白山庄窯土器	-	-	肩部	-	-	-	-	-
	222	こ 37	P3773	白山庄窯土器	-	-	肩部	-	-	-	-	-
	223	す 34	P3226	土器	-	-	肩部	-	-	-	-	-
	224	こ 37	P2828	カムイ・ヤキ	壺・甕	-	肩部	-	-	褐灰青 オリーブ 黒	-	-
	225	す 34	P3234	朝鮮系無袖陶器	壺・甕	-	肩部	-	-	褐灰白	-	-
	226	す 34	P3328	滑石製石硝	-	-	口縁部	-	-	-	28	-
	227	こ 37	P2688	滑石製石硝	-	-	肩部	-	-	-	107	-
	228	す 34	P3287	滑石製石硝	-	-	底部	-	-	-	185	-
	229	け 37	P1027	滑石製石硝	-	-	底部	-	-	-	-	-
	230	さ 37	P2938	滑石製石硝	-	-	肩部	-	-	-	220	-
	231	す 33	P3413	滑石二次加工品	-	-	肩部	-	-	-	90	-
	232	す 34	P3218	滑石二次加工品	ハレン状	-	肩部	-	-	-	24	-
	233	こ 37	P2837	滑石二次加工品	ハレン状	-	肩部	-	-	-	3	-

第119表 E地区柱穴内出土遺物(2)

因版 No	開拓 番号	出土区	遺構	分類 L1		部位	計測値(cm)			色調 (内) (外)	重量 (g)	備考
				分類 L2	分類 L3		口径	底径	器高			
150	234	す 33	P3365	縄文の羽口	-	-	-	-	-	-	-	-
	235	し 34	P3138	鈴津	柳形・津	-	-	-	-	-	-	-
	236	こ 37	P3773	石器	石舟	-	-	-	-	-	594	-
	237	こ 37	P3773	石器	磨石	-	-	-	-	-	287	-
	238	こ 37	P1004	石器	鐘	周庵石	-	-	-	-	-	-
	239	こ 36	P2965	ガラス玉	-	-	-	-	-	-	-	-

第VI章 半田口遺跡自然分析

第1節 鹿児島県喜界町城久遺跡群半田口遺跡出土の人骨

鹿児島女子短期大学 竹中正巳・下野真理子

はじめに

半田口遺跡は鹿児島県喜界島の城久遺跡群を構成する遺跡である。土坑墓2号（B-35区）からは焼人骨が、土坑墓4号（お-35区）と土坑墓5号（か-40区）からは埋葬人骨が出土した。本稿では、3基から出土した人骨について、人類学的精査を行った結果を報告する。

人骨の所見

土坑墓2号（B-35区）（性別不明・年齢不明）

焼かれた人骨片と木炭が遺存していた。焼人骨は約23g、木炭は約17g遺存している。遺存している焼人骨はすべて細片で、大きいものでも長径は20mmを越えない。同定できたのは手の中節骨が約1g、頭蓋片が約1g、残りは四肢骨片であった。重複部位は認められない。

焼かれた人骨の緻密質の外面は白色を呈する。内側の海面質の部分は、白色のものが多いが、黒色を示すものもある。これまでに城久遺跡群から出土した焼人骨のほとんどが緻密質の外面は白色であるが、海面質部分は黒色を呈する。本例は基本的にはそれらと同様で、火葬時に火が十分にまわらない部分があったことがわかる。火葬時、焼骨は200°Cで焦茶色、400°Cで黒色、500°Cで灰白色、600°Cで純白色、800°Cで淡桃色を帯びた乳白色になる（平野、1935）。本例は600°C以上の温度で焼かれたが、体の場所によっては400°C程度程度の温度までしか上がらなかった。

本例は焼骨の遺存量が約23gと少なく、細片化している。納める焼骨量が少い場合、拾骨を丹念に行わなかった可能性、分骨、二次的な改葬などが理由として考えられる。どのような理由でこの程度の納骨量になったのか、今後、解明しなければいけない課題である。

土坑墓4号（お-35区）出土人骨（性別不明・成人）

1体分の人骨が出土したが、保存状態は悪い。頭蓋片、下頸骨片、右寛骨片、左大腿骨片、右大腿骨片、左脛骨片が遺存する。頭蓋では右側頭骨の椎体が遺存し、椎体の大きさから成人であると考えられる。性別が判定できる部位は遺存していない。その他に特記所見は認められない。

土坑墓5号（か-40区）出土人骨（性別不明・熟年）

頭蓋が遺存しているだけである。人骨の保存状態は悪い。性別が判定できる部位は遺存していない。上顎骨および上顎歯列が確認できる。歯は上顎左第1小白歯、上顎左第2小白歯、上顎左第1大臼歯、上顎左第2大臼歯が遺存している。咬耗はMartinの2度であり、熟年と年船は推定される。その他のに特記所見は認められない。



写真1. 半田口遺跡土坑墓2号(B-35区)出土の人骨(性別不明・年齢不明)



写真2. 半田口遺跡土坑墓5号(か-40区)出土人骨(性別不明・熟年)

第2節 半田口遺跡出土炭化物の放射性炭素年代測定（AMS法）及び樹種同定

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

半田口遺跡が属する城久遺跡群は、喜界島中央部の標高90～160mの海岸段丘（中位段丘）上に位置する。澄田・野崎（2008）によれば、遺跡群全体では、古代から中世の遺構・遺物が検出されている。半田口遺跡では、多数の柱穴、溝状遺構、土坑などの遺構が検出されている。遺物は、9～10世紀頃、11世紀後半～12世紀頃、13～14世紀頃の土師器、須恵器、白磁、青磁、滑石製石鍋、滑石混入器、カムイヤキ等が出土している。

本報告では、墓や大型土坑から出土した炭化材を対象として、遺構の年代の確認のために放射性炭素年代測定を、木材利用などの検討のために樹種同定を実施する。

1. 試料

試料は、墓や大型土坑から出土した炭化材4点である。いずれも小片が複数片認められるが、接合関係、元の大きさ、年輪の状況等は不明である。

2. 分析方法

(1) 樹種同定

各試料の炭化材を実体顕微鏡で全て観察し、單一種か複数種かを確認する。確認された各種類から、必要最小限の破片を取り出し、残りは年代測定用試料とする。なお、う-34区土坑墓3号については、量が少ないので、年代測定を優先し、樹種同定は実体顕微鏡で可能な範囲で実施する。その他の3点については、取り出した破片から木口（横断面）、胚目（放射断面）、板目（接線断面）の3断面の割断面を作成し、アルミ合金製の試料台に固定する。走査型電子顕微鏡で木材組織の種類や配列を観察し、その特徴を現生標本および独立行政法人森林総合研究所の日本産木材識別データベースと比較して種類を同定する。

なお、木材組織の名称や特徴は、島地・伊東（1982）やWheeler他（1998）を参考にする。また、日本産木材の組織配列は、林（1991）や伊東（1995, 1996, 1997, 1998, 1999）を参考にする。

(2) 放射性炭素年代測定

樹種同定作業で年代測定用に抽出された炭化材を用いる。炭化材に土壤や根など目的物と異なる年代を持つものが付着している場合、これらをビンセット、超音波洗浄などにより物理的に除去する。その後HC1により炭酸塩等酸可溶成分を除去、NaOHにより腐植酸等アルカリ可溶成分を除去、HC1によりアルカリ処理時に生成した炭酸塩等酸可溶成分を除去する（酸・アルカリ・酸処理）。

試料をバイコール管に入れ、1gの酸化銅IIと銀箔（硫化物を除去するため）を加えて、管内を真空にして封じきり、500°C（30分）850°C（2時間）で加熱する。液体窒素と液体窒素+エタノールの温度差を利用して、真空ラインにてCO₂を精製する。真空ラインにてバイコール管に精製したCO₂と鉄・水素を投入し封じる。鉄のあるバイコール管底部のみを650°Cで10時間以上加熱し、グラファイトを生成する。

化学処理後のグラファイト・鉄粉混合試料を内径1mmの孔にプレスして、タンデム加速器のイオン源に装着し、測定する。測定機器は、3MV小型タンデム加速器をベースとした14C-AMS専用装置（NEC Pelletron 9SDH-2）を使用する。AMS測定時に、標準試料である米国国立標準局（NIST）から提供されるシュウ酸（HOX-II）とバックグラウンド試料の測定も行う。また、測定中同時に¹³C/¹²Cの測定も行うため、この値を用いてδ¹³Cを算出する。

放射性炭素の半減期はLIBBYの半減期5568年を使用する。また、測定年代は1950年を基点とした年代（BP）であり、誤差は標準偏差（One Sigma 68%）に相当する年代である。なお、曆年較正は、RADIOCARBON CALIBRATION PROGRAM CALIB REV6.00（Copyright 1986-2010 M Stuiver and PJ Reimer）を用い、誤差として標準偏差（One Sigma）を用いる。

曆年較正とは、大気中の¹⁴C濃度が一定で半減期が5568年として算出された年代値に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の¹⁴C濃度の変動、及び半減期の違い（¹⁴Cの半減期 5730 ± 40年）を較正することである。曆年較正に関しては、本来10年単位で表すのが通例であるが、将来的に曆年較正プログラムや曆年較正曲線の改正があった場合の再計算、再検討に対応するため、1年単位で表している。

曆年較正は、測定誤差σ、2σ双方の値を計算する。σは統計的に真の値が68%の確率で存在する範囲、2σは真の値が95%の確率で存在する範囲である。また、表中の相対比とは、σ、2σの範囲をそれぞれ1とした場合、その範囲内で真の値が存在する確率を相対的に示したものである。

3. 結果

放射性炭素年代測定結果、曆年較正結果、樹種同定結果を第120表、第151図に示す。同位体効果の補正を行った補正年代は、B-35区土坑墓1号が1250 ± 20BP、B-39区土坑5号⑤層が1460 ± 20BP、か-40区土坑墓5号が140 ± 20BP、う-34区土坑墓3号が1050 ± 20BPを示す。また、測定誤差をσとして計算させた曆年較正結果は、B-35区土坑墓1号がcalAD691-800、B-39区土坑5号⑤層がcalAD585-636、か-40区土坑墓5号がcalAD1,681-1,952、う-34区土坑墓3号がcalAD986-1,017である。

第120表 放射性炭素年代測定および樹種同定結果

地区 遺構	状態 種類	処理 方法	測定年代 BP	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	補正年代 (曆年較正組) BP	曆年較正結果				Code No.
						誤差	cal BC/AD	cal BP	相対比	
B-35区 土坑墓1号	炭化材 広葉樹	AAA	1290 ± 20 (1246 ± 24)	-27.88 ± 0.45	1250 ± 20 (1246 ± 24)	σ	cal AD 691 - cal AD 750	cal BP 1,259 - 1,200	0.748	IAAA-122019
						cal AD 763 - cal AD 779	cal BP 1,187 - 1,171	-	0.203	
						cal AD 794 - cal AD 800	cal BP 1,156 - 1,150	-	0.049	
						cal AD 682 - cal AD 828	cal BP 1,268 - 1,122	-	0.930	
						cal AD 838 - cal AD 866	cal BP 1,112 - 1,084	-	0.070	
B-39区 土坑5号 ③層	炭化材 広葉樹	AAA	1480 ± 20 (1459 ± 23)	-26.15 ± 0.30	1460 ± 20 (1459 ± 23)	σ	cal AD 585 - cal AD 586	cal BP 1,365 - 1,364	0.033	IAAA-122020
						cal AD 590 - cal AD 606	cal BP 1,360 - 1,314	-	0.967	
						2 σ	cal AD 563 - cal AD 645	cal BP 1,387 - 1,305	1.000	
							cal AD 1,691 - cal AD 1,696	cal BP 269 - 252	0.151	
							cal AD 1,723 - cal AD 1,738	cal BP 227 - 212	0.129	
か-40区 土坑墓5号	炭化材 アダム	AAA	-120 ± 20 (135 ± 22)	-9.43 ± 0.59	140 ± 20 (135 ± 22)	σ	cal AD 1,755 - cal AD 1,762	cal BP 195 - 188	0.046	IAAA-122021
						cal AD 1,802 - cal AD 1,806	cal BP 148 - 134	-	0.113	
						cal AD 1,834 - cal AD 1,878	cal BP 116 - 72	-	0.365	
						cal AD 1,916 - cal AD 1,937	cal BP 34 - 13	-	0.189	
						cal AD 1,951 - cal AD 1,952	cal BP: 1 - 2	-	0.007	
う-34区 土坑墓3号	炭化材 広葉樹	AAA	1000 ± 20 (1050 ± 23)	-24.98 ± 0.29	1050 ± 20 (1050 ± 23)	σ	cal AD 1,676 - cal AD 1,730	cal BP 274 - 240	0.162	IAAA-122022
						2 σ	cal AD 1,716 - cal AD 1,777	cal BP 234 - 173	0.236	
							cal AD 1,799 - cal AD 1,891	cal BP 151 - 59	0.432	
							cal AD 1,809 - cal AD 1,941	cal BP 41 - 9	0.166	
							cal AD 1,960 - cal AD 1,953	cal BP 0 - 3	0.005	

1) 処理方法の AAA は、酸処理-アルカリ処理-酸処理を示す。

2) 年代値の算出には、Libby の半減期 5568 年を使用した。

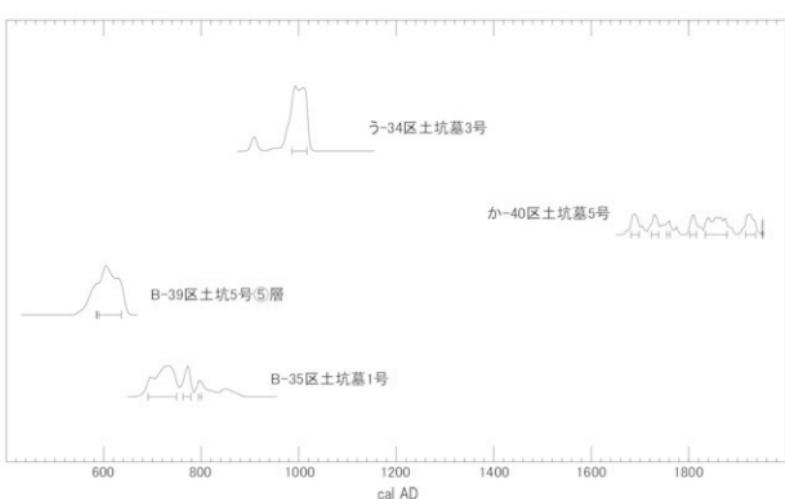
3) BP 年代値は、1950 年を基点として何年前であるかを示す。

4) 付記した誤差は、測定誤差 σ (測定値の 68% が入る範囲) を年代値に換算した値。

5) 曆年の計算には、RADIOCARBON CALIBRATION PROGRAM CALIB REV6.0 (Copyright 1986-2010 M. Stuiver and P.J. Reimer) を使用した。

6) 曆年の計算には、補正年代に () で曆年較正年代として示した。一桁目を丸める前の値を使用している。

7) 年代値は、1 桁目を丸めるのが慣例だが、曆年較正曲線や曆年較正プログラムが改正された場合の再計算や比較が行いやすいように、曆年較正年代値は 1 桁目をためていない。

8) 統計的に真の値が入る確率は σ は 68%, 2 σ は 90% である。9) 相対比は、 σ , 2 σ のそれぞれを 1 とした場合、確率的に真の値が存在する比率を相対的に示したものである。

第151図 曆年較正結果

炭化材は、いずれの試料も單一種であり、複数種類が混在する試料は認められない。これらの炭化材のうち、か-40区SK3はアダンに同定された。残る3点は、いずれも広葉樹であり、全て異なる種類と考えられるが、保存状態が悪く、種類は不明である。アダンの解剖学的特徴等を記す。

・アダン (*Pandanus odoratissimus* L. fil.)

タコノキ科タコノキ属

原生木部には、やや大型の道管が24個と小型の道管28個がある。道管の外側には師部細胞がある。これらをやや厚壁の横維細胞（維管束鞘）が囲んで維管束を形成する。維管束は円形を呈し、道管は維管束の端部に位置する。維管束は、基本細胞中に散在し、不齊中心柱をなす。

4. 考察

B-39区土坑5号⑤層を除く3基は、いずれも墓と考えられており、B-35区土坑墓1号からは齒、か-40区土坑墓5号からは頭骨の一部が出土地してい。また、か-40区土坑墓5号ではカムイヤキ壺が副葬されていた。う-34区土坑墓3号では、副葬品と考えられる白磁小碗や刀子が出土している。

年代測定結果をみると、B-39区土坑墓1号は補正年代が $1,250 \pm 20BP$ で、暦年較正結果はcalAD691-800であり、7世紀末～8世紀代の年代が想定される。また、う-34区土坑墓3号は、補正年代が $1,050 \pm 20BP$ で、暦年較正結果はcalAD986-1,017となり、土坑墓1号よりも新しい10世紀末～11世紀初頭頃の年代が想定される。一方、か-40区土坑墓5号は、補正年代が $140 \pm 20BP$ で、暦年較正結果はcalAD1,691-1,952となる。年代幅が広いが、相対比別に暦年較正結果を細かくみると、確率1（相対比0.365）はcalAD1,834-1,878である。確率2以下は、相対比が0.189以下であることを考えると、試料の年代としては19世紀中頃の可能性が高くなる。本遺構は、中心部を近世・近代のサトウキビ小屋によって壊されていることから、炭化材はサトウキビ小屋に関連する可能性がある。

B-39区土坑5号⑤層の炭化材は、補正年代で1,460±20BPで、暦年較正結果はcalAD585-636となった。この結果から、6世紀末～7世紀前半頃の年代が想定され、今回分析を実施した中で最も古い時期に属する可能性がある。本遺構では、古代を中心とした遺物が出土しているが、中世の遺物は出土していない。

墓から出土した炭化材についてみると、B-35区土坑墓1号とう-34区土坑墓3号は、いずれも種類は不明であるが、広葉樹であり、僅かに残存する木材組織を観察した範囲では、道管の大きさや配列から異なる種類に由来すると考えられる。一方、か-40区土坑墓5号の炭化材は、年代測定結果から近世・近代のサトウキビ小屋に伴うことが推定される。アダンは、トカラ列島以南の各島々の海岸近くに生育する常緑低木である。炭化した状態で出土していることから、何らかの用途に利用し、火を受けて炭化したことが推定される。

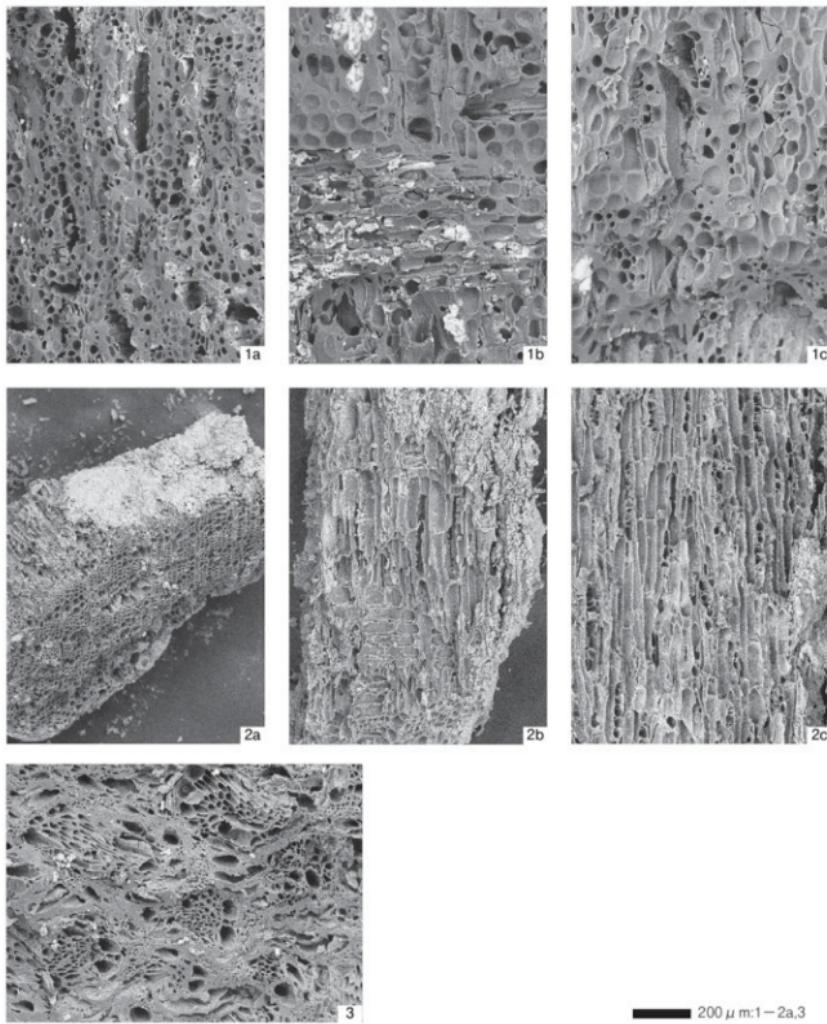
土坑5号⑤層から出土した炭化材は、種類不明の広葉樹である。実体顕微鏡観察のみであるが、観察できた組織から、墓から出土した炭化材とは異なる種類と考えられる。

喜界島の現植生は、シイ属やタブノキ属等の暖温帶性常緑広葉樹を主体としており、針葉樹は二次林や海岸に生育するマツ属複雜管束亞属や常緑広葉樹林中に生育するマキ属がある。こうした植生を背景に、出土炭化材に広葉樹材が多いことが推定される。

引用文献

- 林 昭三. 1991. 日本産木材 顕微鏡写真集. 京都大学木質科学研究所.
- 伊東 隆夫. 1995. 日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅰ. 木材研究・資料. 31. 京都大学木質科学研究所. 81-181.
- 伊東 隆夫. 1996. 日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅱ. 木材研究・資料. 32. 京都大学木質科学研究所. 66-176.
- 伊東 隆夫. 1997. 日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅲ. 木材研究・資料. 33. 京都大学木質科学研究所. 83-201.
- 伊東 隆夫. 1998. 日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅳ. 木材研究・資料. 34. 京都大学木質科学研究所. 30-166.
- 伊東 隆夫. 1999. 日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅴ. 木材研究・資料. 35. 京都大学木質科学研究所. 47-216.
- 伊東 隆夫・山田 昌久(編). 2012. 木の考古学 出土木製品用材データベース. 海青社. 449p.
- 野崎 直敏・野崎 拓司. 2008. 喜界島城久遺跡群、「古代中世の境界領域 キカイガシマの世界」(池田栄史編). 高志書院. 153-170.
- 島地 謙・伊東 隆夫. 1982. 国説木材組織. 地球社. 176p.
- Wheeler E.A., Bass P. and Gasson P.E. (編). 1998. 広葉樹材の識別 IAWAによる光学顕微鏡的特徴リスト. 伊東 隆夫・藤井 智之・佐伯 浩(日本語版監修). 海青社. 122p. [Wheeler E.A., Bass P. and Gasson P.E. (1989) IAWA List of Microscopic Features for Hardwood Identification].

図版 1 炭化材



1. 広葉樹 (B-35区土坑墓 1号) a : 木口, b : 柱木, c : 板目
2. 広葉樹 (う-34区土坑墓 3号) a : 木口, b : 柱木, c : 板目
3. アダン (か-40区土坑墓 5号) 横断面

— 200 μ m:1-2a,3
— 200 μ m:1-2b,c

第VII章 半田口遺跡 基礎資料

本遺跡では包含層の堆積が一部を除いて薄く表土直下で遺構が検出される状況であった。出土遺物については小片が多いが可能な限り分類を行い一覧表を作成した。

ピット内の出土遺物一覧表については以下の表に示す通りである。

なお、ピット番号については1から始まる共通の通し番号で採番されている。

整理作業にあたっては、発掘調査時にピット番号が付与されていなかったものがあった。それについては、整理作業時にID「P9xxx」を付与して番号を作成した。

また、このIDは詳細遺構配置図、ピット内出土遺物一覧表に示した。

なお、詳細遺構配置図はS=1:100で作成している。土坑などの位置はトーンを貼って表示しているため、一部見づらくなっている柱穴がある。

第121表 ピット内出土遺物(1)

遺構ID	グリッド	出土遺物	備考
P0001	A-38	鉄製品(1)、粘土塊26	
P0007	A-37	滑石製石鍋(1)、施釉陶磁器(1)	
P0009	A-37	カムイヤキ(1)、滑石製石鍋(1)、軽石(1)、石器(1)、土師器(1)、粘土塊(1)	
P0010	A-37	石器(2)、鉄製品(1)、粘土塊(3)	
P0011	B-37	粘土塊(4)	
P0016	H-31	粘土塊(4)	
P0017	B-38	須恵器(1)	
P0018	B-38	粘土塊(1)	
P0024	B-35	滑石製石鍋(1)、石器(1)、土師器(1)	既立柱建物跡52号(P1)
P0026	B-37	鉄滓(1)	
P0028	B-37	石器(1)	
P0029	B-37	粘土塊(1)	
P0030	B-37	籠の羽(1)	
P0038	G-32	粘土塊(2)	
P0044	G-31	カムイヤキ(8)、石器(1)、鉄製品(1)、粘土塊(2)、白磁(1)	
P0056	G-31	カムイヤキ(5)	
P0058	G-31	滑石製石鍋(1)、朝鮮系無釉陶器(1)	
P0060	H-32	鉄製品(1)	
P0065	H-32	土師器(2)	既立柱建物跡7号(P4)
P0072	-	石器(2)	既立柱建物跡1号(P7)
P0074	G-32	滑石製石鍋(1)、土師器(7)	既立柱建物跡2号(P1)
P0077	G-32	土師器(3)、粘土塊(1)、布目庄唐土器(1)	既立柱建物跡2号(P2)
P0094	G-32	土師器(3)、粘土塊(1)	
P0097	-	土師器(3)	
P0099	G-32	石器(1)	
P0104	G-32	土師器(1)	
P0109	G-33	須恵器(1)	
P0111	あ-35	石器(3)、鉄滓(2)、布目庄唐土器(3)	
P0113	H-33	滑石製石鍋(1)	
P0114	あ-35	粘土塊(4)、白磁(1)	
P0116	H-33	カムイヤキ(1)、粘土塊(3)	
P0119	H-33	滑石製石鍋(1)、石器(1)、粘土塊(5)	
P0120	H-33	カムイヤキ(1)、粘土塊(4)	
P0124	H-33	滑石二次加工品(1)	
P0125	G-32	滑石製石鍋(1)	
P0126	G-32	土師器(1)	
P0127	G-33	土師器(1)	
P0134	G-33	土師器(1)、布目庄唐土器(1)、無釉陶磁器(1)	
P0156	H-33	石器(1)	
P0165	H-33	粘土塊(2)	
P0173	G-36	粘土塊(5)	
P0177	G-36	粘土塊(3)	既立柱建物跡8号(P3)

第122表 ピット内出土遺物(2)

遺構ID	グリッド	出土遺物	備考
P0178	G-36	粘土塊(5)	
P0181	G-36	土師器(1)	
P0183	G-36	粘土地(2)	既立柱建物跡7号(P12)
P0193	G-37	石器(1)、土師器(1)、粘土塊(2)	
P0195	G-37	土師器(1)、粘土塊(1)	
P0198	G-36	鉄滓(1)	既立柱建物跡7号(P10)
P0199	G-36	土師器(1)	
P0201	G-36	石器(1)	
P0205	A-37	滑石製石鍋(1)	
P0211	G-35	粘土塊(2)	
P0221	G-36	石器(1)、粘土塊(2)	
P0224	G-36	滑石製石鍋(1)	
P0263	F-36	粘土塊(6)	
P0272	D-41	土師器(2)	
P0278	F-36	石器(2)	
P0282	F-36	土師器(2)	
P0284	F-36	鉄滓(1)	
P0287	F-36	土師器(3)	
P0288	F-36	土師器(1)	
P0312	E-37	滑石製石鍋(2)、鉄滓(1)、土師器(3)、粘土塊(7)、籠の羽(1)	
P0320	F-36	滑石製石鍋(2)、須恵器(1)	
P0323	F-36	粘土塊(3)	
P0324	F-36	滑石製石鍋(1)、石器(2)、朝鮮系無釉陶器(1)	
P0328	F-37	軽石(1)、炭化物(1)、粘土塊(3)	既立柱建物跡11号(P5)
P0329	F-36	粘土塊(1)	
P0341	F-37	鉄滓(1)、土師器(2)	
P0346	F-37	石器(1)、粘土塊(2)	
P0355	F-37	土製品(1)	
P0356	F-36	石器(4)、鉄滓(2)、土師器(2)、粘土塊(5)	
P0359	F-36	石器(1)	
P0375	G-36	石器(1)、土師器(3)	
P0376	G-36	土師器(1)	
P0377	G-36	土師器(2)	
P0378	G-36	須恵器(1)	
P0379	G-36	越州窯系青磁(1)	
P0380	G-36	土師器(1)	
P0385	G-36	粘土塊(3)	
P0386	G-36	粘土塊(1)	
P0387	G-36	土師器(1)	既立柱建物跡7号(P6)
P0394	F-36	粘土塊(2)	
P0401	G-36	須恵器(1)	
P0403	G-36	粘土塊(1)	
P0406	G-36	粘土塊(1)	

第123表 ピット内出土遺物3)

遺構ID	グリッド	出土遺物	備考
P0407	G-36	土師器1)	
P0412	F-36	土師器2), 粘土塊(1)	
P0413	F-36	カムイヤキ(1)	
P0417	F-36	滑石二次加工品(1)	
P0419	F-36	無釉陶磁器(1), 石器(1), 鉄滓(1)	
P0423	I-38	粘土塊(2)	
P0426	E-38	石器(1), 粘土塊(7)	
P0427	I-38	粘土塊(1), 種の羽口(1)	
P0434	E-38	軽石(1), 土師器(5)	
P0435	E-38	石器(1)	
P0436	E-38	粘土塊(4)	
P0437	E-38	無釉陶磁器(1), 粘土塊(4)	
P0439	E-38	石器(1), 粘土塊(9)	
P0446	F-37	土師器(1)	
P0447	F-38	滑石製石鍋(1), 土製品(1)	
P0450	F-38	カムイヤキ(1)	
P0451	F-38	滑石製石鍋(1), 粘土塊(2)	
P0452	F-38	滑石製石鍋(1), 石器(1)	
P0453	E-38	粘土塊(2)	
P0455	E-38	石器(1)	
P0457	あ-38	土師器(1)	
P0459	F-38	土師器(2), 粘土塊(1)	
P0462	F-38	粘土塊(3)	
P0463	F-36	粘土塊(4)	
P0464	F-36	粘土塊(8)	
P0466	E-38	土師器(1), 粘土塊(1)	掘立柱建物跡 12 号 (P2)
P0469	E-38	土師器(3), 粘土塊(3)	
P0486	E-38	軽石(3)	掘立柱建物跡 25号(P28)
P0488	E-38	土師器(3), 粘土塊(1)	
P0491	E-39	粘土塊(5)	
P0492	E-39	滑石製石鍋(1), 石器(1), 土師器(1), 粘土塊(3)	
P0493	E-39	道楽器(1), 鉄製品(1), 粘土塊(1)	
P0494	E-39	道楽器(1), 石器(1), 粘土塊(1)	
P0495	F-39	道楽器(1), 土製品(1), 粘土塊(2)	
P0498	E-39	铁滓(1), 土師器(1), 粘土塊(1)	掘立柱建物跡 12 号 (P1)
P0499	E-38	石器(1), 粘土塊(3)	
P0501	E-39	土師器(1)	
P0518	D-38	土師器(1)	掘立柱建物跡 25号(P23)
P0528	E-39	土師器(1), 粘土塊(1)	掘立柱建物跡 25号(P14)
P0555	E-39	種の羽口(1)	掘立柱建物跡 14 号 (P2)
P0562	E-39	粘土塊(3)	
P0564	D-40	道楽器(1)	
P0566	D-40	炭化物(1), 無釉陶磁器(1)	
P0570	F-39	粘土塊(6)	掘立柱建物跡 14 号 (P7)
P0571	F-39	土師器(1)	
P0574	F-39	粘土塊(2)	
P0575	F-39	白磁(1)	
P0586	F-38	粘土塊(1)	
P0587	F-38	粘土塊(2)	
P0588	F-38	粘土塊(5)	
P0589	F-38	粘土塊(2)	
P0594	G-38	土師器(6)	
P0608	F-38	粘土塊(2)	
P0609	G-38	無釉陶磁器(1)	
P0610	G-38	石器(1), 土師器(7), 粘土塊(20)	
P0622	あ-43	粘土塊(1)	

第124表 ピット内出土遺物4)

遺構ID	グリッド	出土遺物	備考
P0626	あ-43	石器(1)	
P0629	あ-43	石器(1), 炭化物(1), 粘土塊(1)	
P0630	あ-43	粘土塊(2)	
P0631	あ-43	炭化物(4)	
P0632	あ-43	石器(1), 粘土塊(4)	
P0650	あ-43	粘土塊(1)	
P0654	い-43	粘土塊(1)	
P0655	い-43	粘土塊(1)	
P0656	い-43	粘土塊(2)	
P0657	い-43	粘土塊(1)	
P0659	い-43	粘土塊(1)	
P0664	あ-43	石器(2)	
P0665	あ-43	無釉陶磁器(1)	
P0666	あ-43	粘土塊(1)	
P0668	あ-43	粘土塊(3)	
P0669	あ-43	無釉陶磁器(1)	
P0672	あ-43	粘土塊(6)	
P0673	あ-43	カムイヤキ(1), 施釉陶磁器(1), 粘土塊(2)	
P0674	あ-43	カムイヤキ(1), 施釉陶磁器(1), 粘土塊(30)	
P0677	あ-43	炭化物(1), 粘土塊(8)	
P0678	あ-43	粘土塊(1)	
P0679	あ-43	施釉陶磁器(1), 粘土塊(2)	
P0680	あ-42	粘土塊(3)	
P0681	あ-43	炭化物(2), 粘土塊(5)	
P0682	あ-43	カムイヤキ(1), 粘土塊(3)	
P0691	A-42	粘土塊(1)	掘立柱建物跡 26 号 (P5)
P0699	B-43	粘土塊(1)	
P0703	B-43	粘土塊(3)	
P0708	B-42	石器(3), 鉄滓(1), 粘土塊(8)	
P0709	B-42	粘土塊(3)	
P0712	B-42	粘土塊(1)	
P0713	A-37	滑石製石鍋(1), 軽石(3), 石器(2), 鉄製品(1), 土師器(5), 粘土塊(2)	
P0714	B-42	粘土塊(5)	
P0723	B-42	軽石(1), 粘土塊(1)	
P0724	A-42	粘土塊(2)	掘立柱建物跡 26 号 (P3)
P0726	B-42	カムイヤキ(2), 粘土塊(6)	
P0727	B-42	無釉陶磁器(1)	
P0744	い-42	施釉陶磁器(1), 無釉陶磁器(1)	
P0759	あ-41	粘土塊(4)	
P0761	-	施釉陶磁器(1)	
P0762	あ-41	粘土塊(4)	
P0763	あ-41	粘土塊(1)	
P0764	あ-41	粘土塊(2)	
P0770	あ-40	粘土塊(8)	
P0772	あ-41	粘土塊(1), 無釉陶磁器(1)	
P0775	あ-41	施釉陶磁器(1), 粘土塊(4)	
P0777	あ-41	カムイヤキ(1), 施釉陶磁器(1), 粘土塊(3)	
P0778	A-41	カムイヤキ(1), 粘土塊(5)	
P0779	A-41	鉄製品(1), 粘土塊(6), 無釉陶磁器(1)	
P0780	A-41	粘土塊(8)	
P0781	あ-41	炭化物(1), 粘土塊(4)	
P0782	あ-41	獸骨(1), 粘土塊(4)	
P0785	あ-40	粘土塊(1)	
P0794	A-42	粘土塊(2)	
P0796	A-42	粘土塊(5)	
P0801	A-42	粘土塊(1)	掘立柱建物跡 27 号 (P3)
P0804	A-42	粘土塊(3)	
P0805	A-41	粘土塊(3)	

第125表 ピット内出土遺物5)

遺構ID	グリッド	出土遺物	備考
P0809	B-41	粘土塊(1)	竪立柱建物跡 74 号 (P1)
P0811	B-41	粘土塊(3)	竪立柱建物跡 75 号 (P3)
P0827	あ-40	施釉陶磁器(1)	
P0831	A-39	カムイヤキ(1)	
P0833	あ-39	須恵器(1), 石器(1), 粘土塊(2)	竪立柱建物跡 72 号 (P7)
P0835	あ-38	須恵器(2)	竪立柱建物跡 72 号 (P5)
P0837	あ-39	石器(1)	竪立柱建物跡 72 号 (P8)
P0840	あ-38	石器(1)	竪立柱建物跡 72 号 (P3)
P0841	あ-38	須恵器(1), 石器(2)	竪立柱建物跡 72 号 (P2)
P0842	あ-38	石器(1), 鉄滓(1)	
P0844	あ-38	土製品(2), 粘土塊(1)	
P0847	あ-38	粘土塊(1)	
P0852	あ-37	施釉陶磁器(1), 粘土塊(2)	竪立柱建物跡 71 号 (P1)
P0854	あ-38	炭化物(1)	
P0855	あ-37	白磁(1)	
P0856	あ-38	土製品(2)	
P0860	あ-38	須恵器(1), 石器(4), 土師器(5), 土製品(6), 粘土塊(8)	竪立柱建物跡 70 号 (P2)
P0861	あ-38	粘土塊(2)	
P0862	あ-38	粘土塊(2), 白磁(1)	
P0863	あ-38	炭化物(1)	竪立柱建物跡 71 号 (P7)
P0864	あ-37	粘土塊(1)	竪立柱建物跡 71 号 (P6)
P0866	あ-37	粘土塊(1), 種の羽口(3)	
P0869	あ-37	粘土塊(4)	竪立柱建物跡 71 号 (P5)
P0870	あ-37	布目庄痕土器(6)	竪立柱建物跡 69 号 (P10)
P0871	あ-37	カムイヤキ(2), 粘土塊(2)	
P0875	あ-37	粘土塊(1)	
P0878	い-37	土師器(1)	
P0882	あ-38	土師器(1), 粘土塊(1)	竪立柱建物跡 70 号 (P10)
P0885	あ-37	石器(6), 粘土塊(6)	竪立柱建物跡 70 号 (P4)
P0888	あ-37	石器(1)	竪立柱建物跡 69 号 (P2)
P0898	い-37	カムイヤキ(1)	
P0905	A-37	滑石製石鍋(1)	竪立柱建物跡 69 号 (P5)
P0907	A-38	石器(1), 土師器(1)	
P0908	A-38	滑石製石鍋(1), 須恵器(4), 土師器(6)	竪立柱建物跡 70 号 (P5)
P0909	A-37	滑石製石鍋(2)	竪立柱建物跡 69 号 (P22)
P0911	あ-37	カムイヤキ(2), 白磁(2)	
P0912	A-37	滑石製石鍋(2), 石器(1), 粘土塊(2)	竪立柱建物跡 69 号 (P18)
P0914	A-37	鉄滓(1)	竪立柱建物跡 69 号 (P16)
P0917	あ-37	石器(1)	
P0919	あ-37	滑石製石鍋(6), 須恵器(2), 石器(2), 鉄滓(2)	竪立柱建物跡 69 号 (P13)
P0920	あ-37	兼久式土器(1), 粘土塊(3), 種の羽口(1)	竪立柱建物跡 69 号 (P12)
P0921	あ-37	滑石製石鍋(1), 粘土塊(2)	
P0927	あ-37	炭化物(1)	竪立柱建物跡 65 号 (P7)
P0929	あ-37	鉄滓(1), 種の羽口(1)	

第126表 ピット内出土遺物6)

遺構ID	グリッド	出土遺物	備考
P0932	あ-37	施釉陶磁器(1), 粘土塊(1)	
P0939	あ-37	滑石混入土器(1), 種の羽口(1)	
P0940	あ-37	カムイヤキ(1)	
P0942	あ-37	カムイヤキ(1), 粘土塊(3)	竪立柱建物跡 64 号 (P2)
P0943	い-43	カムイヤキ(1), 粘土塊(3)	
P0944	い-37	铁滓(1), 布目庄痕土器(2)	
P0945	い-37	滑石二次加工品(1)	
P0952	い-37	滑石三次加工品(1)	
P0975	い-36	铁滓(1)	
P0982	あ-36	土師器(1)	
P0985	あ-36	粘土塊(1), 布目庄痕土器(1)	
P0993	あ-36	滑石製石鍋(1), 布目庄痕土器(1)	
P0996	あ-36	白磁(1)	
P0997	あ-36	滑石製石鍋(1), 滑石二次加工品(1)	竪立柱建物跡 61 号 (P5)
P1000	あ-36	滑石混入土器(1), 滑石製石鍋(1), 石器(1), 粘土塊(2)	竪立柱建物跡 62 号 (P9)
P1002	あ-36	滑石混入土器(2), 滑石製石鍋(1), 轻石(2), 石器(1), 白磁(2)	
P1008	あ-36	滑石製石鍋(1), 石器(1), 粘土塊(1)	
P1009	あ-36	白磁(1), 布目庄痕土器(1)	
P1020	あ-37	石器(1), 铁滓(1), 粘土塊(1)	
P1022	あ-36	滑石製石鍋(3), 白磁(4)	
P1025	あ-36	铁滓(1), 布目庄痕土器(1)	
P1036	A-36	轻石(4), 铁製品(1)	竪立柱建物跡 67 号 (P2)
P1037	A-37	石器(2), 土師器(1), 粘土塊(1)	
P1038	A-37	土師器(1), 粘土塊(1)	竪立柱建物跡 67 号 (P9)
P1041	あ-36	滑石製石鍋(1), 铁滓(1)	竪立柱建物跡 62 号 (P2)
P1042	あ-36	铁滓(1), 粘土塊(1)	
P1044	あ-36	蘿蔓葉系青磁(1)	
P1055	あ-36	滑石製石鍋(1)	
P1057	B-35	石器(1), 粘土塊(2)	
P1058	あ-36	土师器(4)	
P1062	あ-36	滑石製石鍋(1), 布目庄痕土器(1)	
P1068	あ-36	石器(1), 粘土塊(6), 種の羽口(2)	
P1076	あ-36	種の羽口(1)	
P1082	あ-36	铁滓(1), 種の羽口(3)	
P1084	あ-36	土师器(1), 粘土塊(5), 白磁(1)	竪立柱建物跡 63 号 (P4)
P1087	あ-36	石器(1)	
P1092	あ-36	铁滓(1)	
P1097	あ-36	种の羽口(1)	
P1099	あ-36	土师器(3)	
P1106	あ-35	粘土塊(7)	
P1112	あ-35	石器(2), 铁滓(8)	
P1115	あ-35	铁滓(1)	
P1117	あ-35	土师器(4)	
P1118	あ-35	铁滓(1), 土师器(1), 粘土塊(2)	
P1120	あ-36	カムイヤキ(1)	
P1121	あ-35	种の羽口(1)	
P1123	あ-35	石器(1)	
P1125	あ-36	滑石製石鍋(1), 石器(3)	
P1127	B-40	铁滓(1), 粘土塊(9), 白磁(1)	
P1130	あ-36	滑石製石鍋(1), 石器(1)	
P1136	A-34	滑石製石鍋(1)	
P1146	A-36	土师器(2)	
P1150	-	轻石(1), 粘土塊(1), 布目庄痕土器(1)	
P1156	A-35	土製品(1), 粘土塊(2)	

第 127 表 ピット内出土遺物(7)

遺構 ID	グリッド	出土遺物	備考
P1163	あ-35	粘土塊(8)	
P1164	あ-35	粘土塊(3)	
P1165	A-35	粘土塊(4)	
P1166	A-35	粘土塊(4)	
P1168	A-35	須恵器(1), 土製品(8)	
P1175	A-34	土師器(1)	
P1176	A-34	須恵器(1)	
P1183	A-35	滑石製石鍋(1), 粘土塊(1)	
P1187	A-36	カムイヤキ(1), 旗釉陶磁器(3), 粘土塊(4), 無釉陶磁器(1), 銀の羽口(1)	
P1191	A-36	カムイヤキ(1), 滑石製石鍋(1), 旗釉陶磁器(2), 石器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(7)	
P1193	A-35	粘土塊(6)	
P1200	A-35	石器(1)	掘立柱建物跡 56 号 (P6)
P1201	A-35	輕石(1), 石器(1), 土師器(1), 土製品(1), 粘土塊(2)	掘立柱建物跡 56 号 (P5)
P1211	C-41	粘土塊(1)	掘立柱建物跡 75 号 (P6)
P1216	B-41	粘土塊(1)	掘立柱建物跡 75 号 (P5)
P1217	C-41	旗釉陶磁器(1), 粘土塊(2)	
P1224	C-40	旗釉陶磁器(1), 石器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(8)	
P1229	B-40	旗釉陶磁器(1), 粘土塊(5)	
P1230	B-40	粘土塊(1), 白磁(1)	
P1237	C-40	粘土塊(1)	
P1240	C-40	カムイヤキ(1), 石器(2), 粘土塊(8)	
P1243	B-40	旗釉陶磁器(1), 無釉陶磁器(1)	
P1244	B-40	カムイヤキ(1), 無釉陶磁器(1)	
P1245	B-40	粘土塊(7)	
P1246	E-39	カムイヤキ(2), 粘土塊(5)	
P1247	B-40	滑石製石鍋(2), 輕石(1), 須恵器(2), 石器(4), 鉄滓(8), 土師器(6), 粘土塊(8)	
P1251	A-40	旗釉陶磁器(1)	掘立柱建物跡 73 号 (P3)
P1257	A-39	粘土塊(8)	
P1258	A-39	粘土塊(6)	
P1269	F-36	須恵器(1)	
P1290	B-37	越州窯系青磁(1), 鉄滓(1), 土師器(1)	掘立柱建物跡 60 号 (P7)
P1292	B-37	石器(2), 土師器(1)	
P1293	B-37	須恵器(1)	
P1295	B-36	土師器(1)	
P1298	B-37	滑石製石鍋(1), 石器(1)	掘立柱建物跡 60 号 (P6)
P1300	B-37	滑石二次加工品(1), 石器(2)	掘立柱建物跡 60 号 (P5)
P1301	B-37	粘土塊(2)	掘立柱建物跡 60 号 (P1)
P1305	B-36	滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1)	
P1306	B-36	土師器(1)	掘立柱建物跡 59 号 (P2)
P1308	C-36	滑石製石鍋(1), 石器(1)	掘立柱建物跡 59 号 (P3)
P1309	B-36	土師器(1), 粘土塊(1)	掘立柱建物跡 58 号 (P6)
P1311	D-36	滑石製石鍋(1), 石器(1), 粘土塊(2)	
P1313	B-36	カムイヤキ(2), 滑石製石鍋(5), 旗釉陶磁器(1), 須恵器(2), 石器(1), 土師器(9), 粘土塊(2), 白磁(1), 布目唐衣土器(2)	
P1315	B-36	旗釉陶磁器(1)	掘立柱建物跡 58 号 (P9)
P1325	B-36	滑石製石鍋(1)	掘立柱建物跡 57 号 (P8)
P1329	B-36	旗釉陶磁器(2), 土師器(2)	
P1331	B-35	土師器(3)	掘立柱建物跡 58 号 (P2)

第 128 表 ピット内出土遺物(8)

遺構 ID	グリッド	出土遺物	備考
P1333	B-35	滑石混入土器(1)	
P1336	B-34	粘土塊(1)	掘立柱建物跡 53 号 (P2)
P1343	B-35	土師器(1), 粘土塊(1)	掘立柱建物跡 53 号 (P3)
P1348	C-35	土師器(9), 銀の羽口(1)	掘立柱建物跡 53 号 (P3)
P1352	C-35	土師器(3)	掘立柱建物跡 51 号 (P5)
P1359	B-35	滑石製石鍋(1), 土師器(1), 粘土塊(1)	掘立柱建物跡 51 号 (P5)
P1361	C-35	土師器(3), 粘土塊(2)	
P1365	C-35	黒色土器(1), 石器(1), 土師器(5), 粘土塊(3)	掘立柱建物跡 53 号 (P4)
P1366	C-35	土師器(1)	掘立柱建物跡 52 号 (P2)
P1368	C-35	土師器(2), 粘土塊(1)	
P1369	C-35	土師器(1), 粘土塊(1)	掘立柱建物跡 53 号 (P5)
P1370	C-35	輕石(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1)	
P1371	C-35	旗釉陶磁器(1), 土師器(1), 粘土塊(1)	掘立柱建物跡 52 号 (P3)
P1373	C-35	土師器(7)	掘立柱建物跡 53 号 (P6)
P1375	C-35	獸骨(5), 粘土塊(1)	
P1379	C-35	石器(1), 土師器(3), 銀の羽口(1)	掘立柱建物跡 53 号 (P6)
P1381	C-35	土師器(5), 粘土塊(1)	掘立柱建物跡 53 号 (P9)
P1383	C-35	土師器(6), 粘土塊(5)	掘立柱建物跡 53 号 (P10)
P1384	C-35	滑石製石鍋(1), 土師器(3), 粘土塊(5)	掘立柱建物跡 52 号 (P4)
P1395	B-35	土師器(1)	
P1400	G-36	粘土塊(7)	
P1403	B-35	滑石混入土器(1), 土師器(3), 粘土塊(3)	
P1404	G-36	土師器(2), 土製品(1)	
P1408	G-36	土師器(2)	掘立柱建物跡 7 号 (P9)
P1418	G-36	土師器(2), 粘土塊(1)	
P1419	G-36	石器(1)	
P1427	G-36	粘土塊(6)	
P1428	G-36	粘土塊(2)	
P1430	G-36	石器(1), 土師器(2), 粘土塊(4)	
P1442	G-36	滑石製石鍋(1)	
P1444	G-37	土師器(2)	
P1448	G-37	土師器(6)	
P1453	G-36	粘土塊(1)	
P1457	G-36	粘土塊(4)	掘立柱建物跡 7 号 (P15)
P1481	F-37	輕石(1), 須恵器(1)	
P1487	F-37	粘土塊(1)	
P1488	F-37	滑石製石鍋(1), 白磁(1)	
P1489	F-37	鉄滓(1)	掘立柱建物跡 11 号 (P2)
P1490	F-37	石器(2)	掘立柱建物跡 11 号 (P3)
P1491	B-35	土師器(2)	
P1497	B-35	滑石製石鍋(1)	
P1498	B-35	須恵器(1), 鉄滓(1), 土師器(2), 粘土塊(5), 銀の羽口(1)	
P1501	B-35	銀の羽口(1)	
P1503	B-35	銀の羽口(1)	
P1506	B-35	カムイヤキ(1)	
P1507	B-35	石器(1)	
P1510	B-35	石器(1)	掘立柱建物跡 54 号 (P2)
P1511	B-35	滑石混入土器(2)	

第129表 ピット内出土遺物⑨

遺構ID	グリッド	出土遺物	備考
P1512	B-35	土師器(3)	
P1514	B-35	土師器(1), 粘土塊(1)	
P1519	A-35	土師器(2)	
P1521	A-36	滑石製石鍋(1)	
P1522	B-35	鐵滓(1)	
P1524	B-35	石器(1)	
P1526	B-36	須恵器(1), 粘土塊(1)	
P1527	B-36	滑石製石鍋(2), 鉄滓(1), 土師器(2), 粘土塊(3)	
P1529	B-35	カムイヤキ(2), 滑石混入土器(6), 土師器(2), 箔の羽口(1)	
P1530	B-35	土師器(1)	
P1531	B-35	鐵滓(1), 箔の羽口(1)	竪立柱建物 跡 57 号 (P3)
P1532	B-35	滑石製石鍋(1), 石器(2), 土師器(1), 粘土塊(3)	竪立柱建物 跡 54 号 (P1)
P1534	B-35	石器(1), 粘土塊(1)	
P1535	B-35	滑石製石鍋(1), 土師器(1)	竪立柱建物 跡 57 号 (P4)
P1536	E-39	施釉陶磁器(1)	
P1537	E-38	越州窯系青磁(1)	竪立柱建物 跡 25 号 (P7)
P1546	E-38	土師器(1)	
P1547	F-38	粘土塊(3)	
P1548	F-38	カムイヤキ(1), 滑石製石鍋(1), 獣骨(1), 鉄滓(1), 土師器(1)	
P1549	F-38	石器(2), 塚化物(1), 土師器(2), 粘土塊(2)	
P1557	F-38	施釉陶磁器(1), 粘土塊(4)	
P1562	B-35	粘土塊(2)	
P1564	B-36	滑石製石鍋(1), 輕石(2), 土師器(1)	竪立柱建物跡 57 号 (P11)
P1565	B-36	滑石二次加工品(1)	
P1566	B-36	鐵滓(1)	竪立柱建物跡 58 号 (P10)
P1567	B-36	石器(1), 土師器(1)	
P1569	B-36	滑石製石鍋(1), 石器(1), 土師器(2), 粘土塊(1)	
P1572	B-36	施釉陶磁器(1), 鉄滓(2)	
P1573	A-36	滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1)	竪立柱建物 跡 66 号 (P4)
P1576	B-36	輕石(6), 須恵器(1)	
P1580	B-36	土師器(1), 粘土塊(1)	
P1583	B-36	粘土塊(1)	
P1584	B-36	滑石製石鍋(1)	竪立柱建物 跡 57 号 (P1)
P1586	B-36	カムイヤキ(1), 土師器(1), 粘土塊(1)	竪立柱建物跡 57 号 (P10)
P1587	B-36	土師器(1)	
P1595	A-37	滑石製石鍋(1)	竪立柱建物 跡 67 号 (P5)
P1597	A-36	滑石製石鍋(1), 土師器(1), 粘土塊(1)	
P1598	A-36	塚化物(1), 鉄滓(2), 粘土塊(5)	竪立柱建物 跡 66 号 (P6)
P1600	A-36	滑石製石鍋(2), 須恵器(1), 石器(1), 鉄滓(1)	
P1601	A-37	輕石(1)	
P1602	A-37	箇の羽口(1)	
P1603	A-36	土師器(2), 粘土塊(1)	
P1607	A-37	須恵器(1)	
P1608	A-37	石器(2), 鉄滓(1)	
P1609	A-37	粘土塊(1)	竪立柱建物 跡 67 号 (P6)
P1614	A-37	白磁(1)	
P1615	A-37	滑石製石鍋(2)	
P1616	A-37	須恵器(1), 箇の羽口(1)	竪立柱建物 跡 69 号 (P9)
P1618	A-37	粘土塊(1)	竪立柱建物 跡 68 号 (P1)

第130表 ピット内出土遺物⑩

遺構ID	グリッド	出土遺物	備考
P1620	A-37	土師器(4), 箇の羽口(1)	竪立柱建物 跡 69 号 (P4)
P1621	A-38	越州窯系青磁(1), 石器(2), 土師器(1), 粘土塊(2)	竪立柱建物 跡 70 号 (P6)
P1622	A-38	須恵器(1), 石器(6), 塚化物(3), 土師器(2), 粘土塊(5)	竪立柱建物 跡 70 号 (P7)
P1632	B-37	土師器(1)	竪立柱建物 跡 60 号 (P9)
P1633	B-37	石器(1)	
P1634	B-37	粘土塊(2)	
P1635	B-37	越州窯系青磁(1)	竪立柱建物跡 60 号 (P10)
P1637	B-37	土師器(1)	竪立柱建物跡 60 号 (P11)
P1638	B-37	滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 土師器(1)	
P1639	B-37	箇の羽口(1)	竪立柱建物 跡 60 号 (P13)
P1644	E-38	土師器(3)	
P1651	E-38	石器(1)	
P1656	E-38	滑石製石鍋(1), 白磁(1)	
P1661	A-37	土師器(2), 粘土塊(2)	竪立柱建物 跡 68 号 (P2)
P1664	A-34	輕石(1), 石器(1), 粘土塊(2)	
P1667	A-34	鉄滓(1)	竪立柱建物 跡 68 号 (P7)
P1669	-	石器(1)	
P1672	A-38	粘土塊(3)	
P1675	A-38	粘土塊(2)	
P1686	E-38	須恵器(1), 土師器(1), 粘土塊(1)	
P1687	E-38	須恵器(2), 土師器(1)	
P1693	B-37	土師器(1), 粘土塊(2)	
P1695	B-38	粘土塊(4)	
P1699	B-38	土師器(3)	
P1700	B-38	土師器(1)	
P1707	D-37	施釉陶磁器(1), 粘土塊(1)	
P1711	D-37	須恵器(1), 石器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(5)	
P1712	D-37	カムイヤキ(1), 石器(1)	
P1717	C-39	石器(1)	
P1718	C-36	粘土塊(1)	
P1724	C-37	滑石製石鍋(1)	
P1725	C-37	鉄滓(1), 龍泉窯系青磁(1)	
P1728	E-39	輕石(2)	竪立柱建物跡 25 号 (P12)
P1733	F-37	土製品(1)	
P1741	E-37	土師器(1)	
P1744	E-37	土師器(1), 粘土塊(1)	
P1748	E-37	土師器(1)	竪立柱建物 跡 10 号 (P1)
P1751	E-37	滑石製石鍋(1)	
P1757	E-37	土師器(4)	
P1758	F-37	越州窯系青磁(1), 滑石製石鍋(1), 土師器(5), 粘土塊(1)	
P1773	F-37	施釉陶磁器(1)	
P1774	F-37	土師器(1)	
P1787	E-37	土師器(2)	
P1788	D-40	粘土塊(3), 無釉陶磁器(1)	
P1789	F-37	輕石(1)	
P1790	E-40	粘土塊(4)	
P1791	E-40	施釉陶磁器(1)	
P1792	E-40	粘土塊(5)	
P1793	F-40	滑石製石鍋(1), 塚化物(2), 粘土塊(4)	
P1799	a-37	滑石製石鍋(5), 滑石二次加工品(1), 土師器(1), 粘土塊(1), 白磁(1)	
P1802	a-37	滑石製石鍋(2), 石器(2), 土師器(2)	竪立柱建物 跡 69 号 (P3)

第 131 表 ピット内出土遺物①

遺構 ID	グリッド	出土遺物	備考
P1807	A-36	石器(1)	
P1817	あ-36	粘土塊(1)	
P1824	B-36	土師器(1), 粘土塊(4)	
P1826	B-36	石器(1), 粘土塊(2)	
P1828	B-34	石器(1), 土師器(1)	搬立柱建物跡 50 号 (P2)
P1829	あ-42	カムイヤキ(1), 施釉陶磁器(1), 粘土塊(2), 布目压痕(1)	
P1831	B-35	石器(2), 土師器(2), 粘土塊(1), 白磁(1)	
P1832	C-39	施釉陶磁器(1), 無釉陶磁器(1)	
P1833	A-36	石器(2), 鉄滓(1), 土師器(7), 粘土塊(4), 麦の羽(1)	
P1837	A-36	滑石製石鍋(2), 石器(1), 粘土塊(2), 布目压痕(1)	搬立柱建物跡 66 号 (P1)
P1838	A-36	滑石製石鍋(1)	
P1840	A-36	石器(1)	
P1843	A-36	滑石二次加工品(1)	搬立柱建物跡 66 号 (P3)
P1844	A-36	土師器(1), 粘土塊(3), 白磁(1)	
P1845	A-36	滑石製石鍋(1), 石器(1), 粘土塊(5), 白磁(1)	
P1846	A-36	石器(1), 粘土塊(2)	
P1861	C-35	魚骨(1), 土師器(2), 粘土塊(4)	
P1869	C-35	石器(1), 土師器(1), 粘土塊(2)	
P1887	D-37	土師器(1)	
P1891	D-39	土師器(1)	搬立柱建物跡 25 号 (P2)
P1898	E-36	滑石二次加工品(2), 粘土塊(2)	
P1899	E-36	粘土塊(2), 麦の羽(2)	
P1910	B-43	粘土塊(8), 白磁(1)	
P1911	A-42	粘土塊(1)	
P1912	B-35	土師器(2)	搬立柱建物跡 58 号 (P3)
P1915	B-36	滑石製石鍋(3), 炭化物(1)	搬立柱建物跡 57 号 (P9)
SK004	B-35	滑石製石鍋(1), 石器(2), 土師器(4), 粘土塊(1)	搬立柱建物跡 53 号 (P1)
P0001	え-42	粘土塊(7)	搬立柱建物跡 82 号 (P6)
P0003	え-40	粘土塊(16)	搬立柱建物跡 82 号 (P4)
P0005	お-42	粘土塊(2)	
P0006	え-42	カムイヤキ(1)	搬立柱建物跡 82 号 (P7)
P0011	え-42	石器(1), 粘土塊(4)	搬立柱建物跡 82 号 (P2)
P0012	え-42	粘土塊(1)	
P0013	え-42	铁製品(1), 粘土塊(3)	
P0014	え-42	粘土塊(8)	
P0016	え-42	施釉陶磁器(1), 粘土塊(2)	
P0017	え-41	カムイヤキ(1), 施釉陶磁器(1), 土師器(2), 粘土塊(8)	
P0019	え-41	獸骨(1), 粘土塊(8)	
P0020	え-41	施釉陶磁器(1), 粘土塊(8)	
P0027	B-27	須恵器(1)	
P0035	え-40	施釉陶磁器(1), 粘土塊(1), 白磁(1), 無釉陶磁器(1)	
P0037	う-40	粘土塊(1)	
P0038	え-39	カムイヤキ(1), 施釉陶磁器(1), 粘土塊(2)	
P0043	う-41	粘土塊(2)	
P0045	う-40	施釉陶磁器(1), 粘土塊(2)	
P0078	お-40	土師器(2), 粘土塊(2)	
P0079	お-40	土師器(1)	搬立柱建物跡 83 号 (P1)
P0081	き-41	炭化物(1)	搬立柱建物跡 83 号 (P1)
P0093	あ-27	滑石製石鍋(1)	

第 132 表 ピット内出土遺物②

遺構 ID	グリッド	出土遺物	備考
P0097	え-41	粘土塊(3)	
P0099	お-41	粘土塊(8)	
P0101	え-41	滑石製石鍋(1)	
P0102	お-41	粘土塊(8), 無釉陶磁器(1)	
P0103	お-41	粘土塊(1)	
P0104	お-41	土師器(1), 粘土塊(6)	
P0105	え-41	粘土塊(1), 麦の羽(1)	
P0107	お-41	粘土塊(1)	
P0108	お-42	炭化物(1)	
P0109	お-42	粘土塊(1)	
P0110	お-42	施釉陶磁器(1), 粘土塊(5)	
P0113	き-41	麦の羽(1)	
P0114	し-34	貝(1)	
P0118	お-41	石器(1)	
P0119	お-41	粘土塊(8)	
P0125	お-42	粘土塊(3)	
P0126	お-42	粘土塊(1), 麦の羽(1)	
P0127	お-42	土師器(1)	
P0128	お-42	粘土塊(1)	
P0129	お-42	土師器(1), 粘土塊(1)	
P0130	お-42	土師器(1)	
P0131	お-42	カムイヤキ(1)	
P0132	お-42	粘土塊(1), 無釉陶磁器(1)	
P0134	お-42	炭化物(1), 粘土塊(5)	
P0135	お-42	粘土塊(9)	
P0136	お-42	石器(1), 粘土塊(1)	
P0142	お-42	滑石製石鍋(1), 铁滓(1), 土師器(2), 粘土塊(2)	
P0146	お-42	土師器(1)	
P0147	お-42	土師器(1), 粘土塊(1)	
P0149	お-42	土師器(2)	
P0150	お-41	炭化物(1)	
P0153	お-42	滑石製石鍋(2), 铁滓(1), 土師器(1), 粘土塊(1)	
P0154	お-42	粘土塊(3), 麦の羽(1)	
P0156	か-42	土師器(1)	
P0158	か-41	土師器(1)	
P0159	か-41	粘土塊(2)	
P0160	か-42	麦の羽(1)	
P0161	か-42	麦の羽(1)	
P0165	お-41	粘土塊(3)	
P0167	お-41	粘土塊(1)	
P0168	お-41	粘土塊(2)	
P0171	か-42	滑石製石鍋(1), 軽石(1), 铁製品(1), 铁滓(1), 土師器(6), 粘土塊(7), 布目压痕(1)	
P0172	か-42	滑石製石鍋(1)	
P0174	D-30	土師器(3)	
P0176	か-42	滑石製石鍋(1), 石器(2), 土師器(5), 粘土塊(5)	
P0177	か-42	石器(1)	
P0179	か-41	滑石製石鍋(1), 土師器(1)	
P0182	か-41	土师器(7), 粘土塊(10)	
P0187	か-41	土师器(1), 粘土塊(1)	
P0189	か-41	滑石製石鍋(1)	
P0190	か-42	铁滓(1), 粘土塊(3)	
P0194	か-41	土师器(2), 粘土塊(2)	
P0195	か-41	滑石製石鍋(2), 土师器(2), 粘土塊(1)	
P0196	か-41	土师器(1)	
P0198	か-42	石器(1)	
P0204	か-42	炭化物(1), 粘土塊(2)	
P0205	か-42	土师器(2), 麦の羽(1)	
P0208	か-41	施釉陶磁器(1), 土师器(4), 粘土塊(1)	
P0211	か-41	滑石二次加工品(1), 石器(1), 粘土塊(1)	
P0212	か-41	土师器(1)	

第133表 ピット内出土遺物⑩

遺構ID	グリッド	出土遺物	備考
P0213	か-42	須恵器(1)	
P0215	か-42	土師器(6), 粘土塊(1)	
P0216	か-42	粘土塊(2)	
P0217	か-42	滑石製石綱(1), 石器(2), 土師器(8), 粘土塊(3)	
P0219	か-42	粘土塊(1)	
P0220	か-42	粘土塊(1)	
P0221	か-41	土師器(1)	
P0222	か-42	須恵器(1), 鉄滓(1), 土師器(3), 粘土塊(6), 糜の羽口(1)	
P0223	き-42	須恵器(1), 炭化物(1)	
P0225	し-34	粘土塊(1)	
P0228	か-42	石器(2), 土師器(1), 粘土塊(3)	
P0229	か-42	石器(1), 土師器(8), 粘土塊(6)	
P0231	か-42	鉄滓(1)	
P0238	か-41	カムイヤキ(1), 粘土塊(1)	
P0240	か-41	施釉陶器(1), 土師器(1), 粘土塊(2)	
P0242	か-41	土師器(2)	
P0243	か-41	須恵器(1)	
P0245	か-41	粘土塊(1)	
P0248	か-41	土師器(1)	
P0260	か-41	滑石製石綱(1), 土師器(2)	
P0264	か-41	土師器(3), 粘土塊(1)	
P0267	か-41	滑石製石綱(3), 石器(1), 土師器(3), 粘土塊(10)	
P0268	か-41	粘土塊(2)	
P0269	か-41	獸骨(1), 炭化物(1), 土師器(1), 粘土塊(2)	
P0272	か-41	須恵器(2), 土師器(4), 粘土塊(2)	
P0278	き-41	石器(1), 粘土塊(2)	
P0287	こ-36	滑石製石綱(1), 石器(3), 土師器(4), 粘土塊(3)	
P0291	か-41	石器(1)	
P0293	か-41	粘土塊(1)	
P0294	か-41	土師器(1)	
P0299	お-41	石器(1), 土師器(2)	
P0301	お-41	滑石製石綱(1), 石器(1), 鉄滓(2), 粘土塊(3)	
P0302	お-41	土師器(1), 粘土塊(1)	
P0303	お-41	須恵器(1)	
P0305	お-41	粘土塊(2)	
P0307	か-41	土師器(2)	
P0323	か-41	土師器(1)	
P0349	お-40	カムイヤキ(2), 石器(1), 土師器(1), 粘土塊(4)	
P0355	お-40	土師器(1)	
P0357	お-39	土師器(2)	
P0358	お-39	土師器(1)	
P0359	お-39	粘土塊(1)	
P0360	お-39	土師器(1)	
P0366	お-39	石器(1), 土師器(2)	
P0376	お-39	施釉陶器(1)	
P0380	か-39	土師器(1), 粘土塊(1)	
P0382	お-39	粘土塊(2)	既立柱建物跡81号(P4)
P0384	お-39	粘土塊(8)	
P0385	お-38	粘土塊(2)	
P0393	お-38	滑石製石綱(1)	
P0395	お-38	粘土塊(8)	
P0399	お-38	粘土塊(1)	
P0417	お-38	粘土塊(5)	既立柱建物跡80号(P10)
P0420	お-35	粘土塊(3)	
P0482	お-38	土師器(1), 粘土塊(1)	
P0483	お-38	カムイヤキ(1), 粘土塊(6)	
P0485	お-38	石器(1), 粘土塊(1)	
P0488	お-37	土師器(1)	
P0504	か-37	滑石製石綱(1), 粘土塊(9)	

第134表 ピット内出土遺物⑪

遺構ID	グリッド	出土遺物	備考
P0506	か-37	粘土塊(1)	
P0510	か-37	カムイヤキ(1), 粘土塊(3)	
P0511	か-37	粘土塊(3)	
P0512	き-37	粘土塊(3)	
P0514	か-37	土師器(3)	
P0517	か-36	土師器(2), 粘土塊(5)	
P0522	き-37	铁滓(1), 粘土塊(20)	
P0523	き-37	石器(1)	
P0525	き-37	粘土塊(3)	
P0528	き-37	カムイヤキ(1), 滑石製石綱(1), 粘土塊(1)	
P0530	E-29	土師器(1)	
P0531	き-37	粘土塊(4)	
P0532	き-37	粘土塊(4)	
P0533	き-37	粘土塊(9)	
P0534	か-37	カムイヤキ(1), 滑石製石綱(1), 粘土塊(1)	
P0545	か-38	施釉陶器(1), 粘土塊(1)	
P0546	か-38	カムイヤキ(1)	
P0547	か-38	粘土塊(3)	
P0548	か-38	粘土塊(4)	
P0549	か-38	粘土塊(6)	
P0557	か-39	粘土塊(2)	既立柱建物跡81号(P1)
P0564	か-40	铁滓(1), 粘土塊(6)	
P0565	か-40	粘土塊(26)	
P0566	か-40	粘土塊(6)	
P0572	か-41	滑石製石綱(2), 石器(1), 铁滓(1), 土師器(3), 粘土塊(5)	
P0576	か-41	粘土塊(1)	
P0578	か-41	粘土塊(2)	
P0579	か-41	石器(1), 土師器(2), 粘土塊(1)	
P0580	か-40	铁滓(1), 土師器(1)	
P0584	か-40	須恵器(1)	
P0585	か-41	滑石製石綱(1), 粘土塊(7)	
P0587	か-41	滑石製石綱(1), 石器(1), 土師器(3), 粘土塊(3), 糜の羽口(1)	
P0588	か-40	滑石製石綱(1), 粘土塊(6)	
P0589	か-41	糜の羽口(1)	
P0591	き-41	土師器(1), 粘土塊(1)	
P0593	き-41	滑石製石綱(1), 石器(1), 铁滓(2), 土師器(8), 粘土塊(3), 糜の羽口(2)	
P0594	き-41	粘土塊(5)	
P0596	き-41	铁滓(1), 粘土塊(2)	
P0601	か-40	炭化物(1), 土師器(1)	
P0604	か-40	滑石二次加工品(1), 石器(2)	
P0606	き-40	滑石製石綱(1)	
P0608	き-40	施釉陶器(1), 粘土塊(29)	
P0610	き-40	滑石製石綱(2), 滑石二次加工品(1), 施釉陶器(1), 石器(2), 土師器(2), 粘土塊(8), 白磁(2)	
P0614	き-40	糜の羽口(1)	
P0618	き-41	白磁(1)	
P0620	き-40	粘土塊(1)	
P0621	き-40	土師器(1)	
P0626	き-40	石器(2), 粘土塊(2), 白磁(1)	
P0627	き-41	滑石製石綱(2), 石器(1), 铁滓(2), 土師器(7), 粘土塊(6), 糜の羽口(4)	
P0628	き-41	石器(1)	
P0629	き-41	土師器(1), 粘土塊(5)	
P0630	き-41	石器(1), 粘土塊(4)	
P0632	き-41	粘土塊(4)	
P0633	き-41	輕石(1), 粘土塊(4)	
P0634	き-40	炭化物(1), 粘土塊(2)	
P0638	き-41	滑石製石綱(1), 铁滓(1), 布目直庄土器(1), 糜の羽口(1)	

第 135 表 ピット内出土遺物[5]

遺構 ID	グリッド	出土遺物	備考
P0642	き-41	縄文式土器(1), 鉄滓(4), 土師器(1), 粘土塊(5), 繩の羽口(1)	
P0645	き-41	滑石製石鍋(1), 石器(1), 繩の羽口(1)	
P0646	き-41	粘土塊(8), 繩の羽口(1)	
P0647	き-41	石器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(8)	
P0648	き-41	滑石混入土器(1), 粘土塊(1)	
P0650	き-41	鉄滓(4), 繩の羽口(1)	
P0655	き-41	鉄滓(1), 土師器(1), 粘土塊(6)	
P0661	き-41	土師器(1), 粘土塊(3)	据立柱建物 跡 84 号 (P6)
P0662	き-41	土師器(1)	
P0663	き-41	土師器(3), 粘土塊(1)	
P0666	き-41	石器(1), 鉄滓(2), 土師器(2), 粘土塊(3)	
P0667	き-41	石器(1), 土師器(2), 粘土塊(6), 白磁(1)	
P0672	き-41	石器(1)	
P0674	き-41	粘土塊(2)	
P0675	き-41	カムイヤキ(2)	
P0680	き-41	滑石製石鍋(2), 土師器(1)	据立柱建物 跡 84 号 (P7)
P0682	き-41	鉄滓(1)	
P0683	き-41	鉄滓(1)	
P0695	き-42	滑石製石鍋(1), 鉄滓(1), 土師器(8)	据立柱建物 跡 84 号 (P8)
P0696	き-41	滑石第二次加工品(1), 鉄滓(1), 土師器(4), 粘土塊(2), 白磁(1), 繩の羽口(3)	据立柱建物 跡 84 号 (P1)
P0707	き-41	滑石製石鍋(1), 土師器(4), 粘土塊(3)	据立柱建物 跡 84 号 (P3)
P0716	<-41	滑石製石鍋(2), 鉄滓(2), 土師器(1), 粘土塊(2), 繩の羽口(1)	
P0722	<-41	土師器(1)	
P0728	<-39	土師器(1)	
P0729	<-39	カムイヤキ(1), 粘土塊(8)	
P0730	お-39	土師器(1), 粘土塊(7)	据立柱建物 跡 81 号 (P3)
P0732	お-40	鉄滓(2), 粘土塊(9), 繩の羽口(1)	
P0735	お-41	土師器(2)	
P0737	か-38	土師器(1)	据立柱建物 跡 78 号 (P7)
P0738	か-41	カムイヤキ(2), 施釉陶器(1), 石器(1), 粘土塊(1)	
P0743	け-40	鉄滓(2), 粘土塊(1)	
P0748	<-41	粘土塊(2)	
P0756	<-41	滑石製石鍋(1), 土師器(4)	
P0768	け-41	滑石製石鍋(1), 魚骨(3), 黑色土器(1), 石器(1), 朝鮮系無釉陶器(1), 土師器(8), 粘土塊(3), 布目压痕土器(2)	
P0771	け-41	滑石製石鍋(1), 土師器(1), 粘土塊(1)	
P0777	<-41	滑石第二次加工品(1), 鉄滓(1), 土師器(1), 白磁(1), 繩の羽口(2)	
P0785	<-41	輕石(1), 土師器(3), 繩の羽口(1)	
P0791	<-41	滑石製石鍋(1), 土師器(2), 粘土塊(4)	
P0792	<-41	鉄滓(2), 土師器(5)	
P0794	き-41	粘土塊(2)	
P0801	き-41	輕石(3), 石器(2), 鉄滓(2), 粘土塊(4), 繩の羽口(2)	
P0803	D-28	土師器(1)	
P0805	き-37	石器(1), 粘土塊(1)	
P0806	き-37	粘土塊(7)	
P0809	き-37	粘土塊(6)	
P0819	か-38	鉄滓(1), 土師器(2)	据立柱建物 跡 78 号 (P1)
P0820	か-38	粘土塊(7), 無釉陶器(1)	
P0825	き-37	粘土塊(2)	
P0830	き-38	石器(1)	
P0839	<-38	石器(2), 鉄滓(1), 土師器(2)	

第 136 表 ピット内出土遺物[6]

遺構 ID	グリッド	出土遺物	備考
P0855	L-39	滑石二次加工品(1), 須恵器(1), 土師器(9), 粘土塊(4)	
P0858	<-39	カムイヤキ(1), 石器(1), 鉄滓(1), 粘土塊(1)	
P0861	<-39	朝鮮系無釉陶器(1)	
P0862	<-39	カムイヤキ(1), 滑石製石鍋(1), 繩の羽口(1)	
P0863	<-39	輕石(1), 粘土塊(1), 繩の羽口(1)	据立柱建物 跡 90 号 (P2)
P0867	<-39	白磁(1)	
P0870	き-39	カムイヤキ(1), 滑石製石鍋(1), 輕石(1), 石器(2), 鉄滓(1), 粘土塊(1)	
P0877	き-39	輕石(1), 鉄滓(2), 土師器(2)	
P0880	き-39	石器(1), 土師器(1), 粘土塊(1)	
P0886	こ-37	粘土塊(5)	据立柱建物 跡 89 号 (P4)
P0888	<-39	土師器(1)	据立柱建物 跡 89 号 (P3)
P0893	<-39	粘土塊(1)	
P0895	<-39	土師器(2)	据立柱建物 跡 90 号 (P1)
P0907	<-39	繩の羽口(1)	
P0909	<-39	カムイヤキ(1), 滑石製石鍋(1)	
P0910	<-39	土師器(1)	
P0911	<-39	滑石製石鍋(2)	
P0913	<-39	鉄滓(1)	
P0914	<-39	滑石製石鍋(1)	
P0920	<-39	土師器(1)	
P0923	あ-27	滑石製石鍋(1), 朝鮮系無釉陶器(1), 土師器(1), 粘土塊(1)	
P0924	<-39	滑石製石鍋(1), 輕石(1), 石器(2), 龍泉窯系青磁(1)	据立柱建物 跡 89 号 (P2)
P0929	き-39	土師器(2), 粘土塊(2)	
P0930	き-39	白磁(1)	据立柱建物 跡 89 号 (P7)
P0935	あ-27	鉄滓(3), 土師器(1), 粘土塊(1)	
P0936	き-39	滑石製石鍋(1)	
P0937	<-39	粘土塊(2)	据立柱建物 跡 87 号 (P9)
P0938	<-39	滑石混入土器(1)	据立柱建物 跡 88 号 (P1)
P0941	<-39	滑石製石鍋(3)	据立柱建物 跡 87 号 (P1)
P0950	<-39	土師器(1)	
P0951	け-40	鉄滓(1), 粘土塊(1)	
P0954	け-40	滑石製石鍋(1)	
P0961	け-39	滑石製石鍋(1)	
P0964	け-39	土師器(1)	
P0965	け-39	滑石製石鍋(1)	
P0970	け-39	滑石製石鍋(1), 粘土塊(4)	
P0976	け-39	輕石(2)	
P0986	け-39	施釉陶器底座(1), 石器(2)	
P0992	け-40	滑石混入土器(2)	
P0998	<-40	粘土塊(1)	
P1001	<-40	石器(1)	
P1007	け-40	カムイヤキ(1), 石器(1)	
P1013	け-40	粘土塊(1)	
P1015	け-40	石器(5), 粘土塊(1)	
P1017	け-40	滑石第二次加工品(1)	
P1023	<-40	カムイヤキ(1)	
P1034	<-40	滑石製石鍋(1), 輕石(1)	
P1045	<-40	滑石製石鍋(1), 粘土塊(1), 白磁(1)	
P1060	け-40	越州窯系青磁(1)	
P1062	け-40	カムイヤキ(2), 滑石製石鍋(1), 施釉陶器(1), 粘土塊(1)	
P1064	け-40	粘土塊(5)	
P1068	<-40	鉄製品(1), 土師器(1), 粘土塊(1)	

第137表 ピット内出土遺物①

遺構ID	グリッド	出土遺物	備考
P1073	<-40	白磁(1)	
P1083	<-40	粘土塊(2)	
P1096	け-40	石器(1)	
P1098	け-40	滑石製石鍋(1)	
P1102	<-40	铁滓(1)	
P1109	け-40	滑石製石鍋(1)	
P1110	け-40	滑石製石鍋(1)、朝鮮系無釉陶器(1)	
P1110	け-40	黑色土器(1)、炭化物(1)、土師器(3)、繩の羽口	班立柱建物 跡 86号 (P1)
P1111	け-40	土師器(1)、粘土塊(1)	
P1114	き-41	カムイサキ(1)、滑石製石鍋(1)、石器(1)、铁滓(1)	
P1115	き-41	滑石製石鍋(1)、施釉陶器(1)、粘土塊(2)	
P1117	き-41	輕石(2)	
P1118	き-41	粘土塊(1)	
P1120	き-40	土師器(1)	
P1121	き-40	滑石製石鍋(1)	
P1122	き-40	粘土塊(3)	
P1123	き-40	粘土塊(2)	
P1124	き-40	カムイサキ(1)、滑石二次加工品(1)、石器(1)、铁滓(2)、土師器(2)、粘土塊(1)、白磁(1)、繩の羽口(1)	班立柱建物 跡 85号 (P1)
P1125	き-40	土師器(2)、粘土塊(2)	
P1127	き-40	土師器(2)、粘土塊(2)	班立柱建物 跡 85号 (P2)
P1130	き-40	土師器(2)、粘土塊(1)	
P1132	き-39	施釉陶器(1)、粘土塊(7)、龍泉系青磁(1)	
P1133	き-39	滑石製石鍋(1)、粘土塊(1)	
P1134	き-39	石器(1)	
P1135	き-39	滑石製石鍋(1)	
P1139	き-39	カムイサキ(1)、粘土塊(5)	
P1141	き-40	粘土塊(5)	
P1142	き-40	粘土塊(2)	
P1144	か-40	土師器(1)、粘土塊(1)	班立柱建物 跡 85号 (P3)
P1148	か-39	石器(1)、粘土塊(1)	
P1170	お-40	土師器(1)	
P1173	か-41	土師器(1)	
P1177	か-41	炭化物(1)	
P1180	か-41	土師器(6)	
P1181	き-42	土師器(1)	
P1183	か-42	土師器(1)	
P1191	お-42	粘土塊(1)	
P1192	え-42	石器(1)	
P1195	<-40	カムイサキ(1)、繩の羽口(1)	
P1196	<-40	土師器(1)	
P1199	お-42	土師器(1)	
P1204	お-42	铁滓(1)	
P1206	お-42	铁滓(2)、繩の羽口(3)	
P1211	き-39	滑石製石鍋(2)	
P1220	お-41	粘土塊(1)	
P1533	き-37	粘土塊(2)	
P1666	た-30	石器(1)	
P170	か-42	土師器(2)、粘土塊(4)	
P1730	D-32	粘土塊(1)	
P1734	C-31	土師器(1)	
P1735	D-30	繩の羽口(1)	
P1736	D-30	滑石製石鍋(3)、土師器(3)	
P1737	D-30	石器(2)、土師器(5)、粘土塊(2)	
P1744	D-30	石器(1)、土師器(2)	
P1746	D-30	铁滓(1)	
P1748	C-30	土師器(2)、粘土塊(1)、龍泉系青磁(1)	班立柱建物 跡 22号 (P5)

第138表 ピット内出土遺物②

遺構ID	グリッド	出土遺物	備考
P1749	C-30	越州窯系青磁(1)、滑石製石鍋(2)、須恵器(1)、班立柱建物 跡 22号 (P4)	
P1753	C-30	粘土塊(2)	班立柱建物 跡 22号 (P3)
P1755	C-29	粘土塊(2)	班立柱建物 跡 21号 (P4)
P1758	C-29	滑石製石鍋(1)	班立柱建物 跡 21号 (P2)
P1761	C-29	粘土塊(1)	
P1767	C-30	滑石製石鍋(1)、石器(3)、土師器(1)	班立柱建物 跡 22号 (P2)
P1770	C-30	石器(1)、土師器(3)	
P1771	C-30	石器(1)、粘土塊(2)	
P1774	C-30	須恵器(1)、土師器(1)、粘土塊(1)	班立柱建物 跡 22号 (P1)
P1779	B-30	炭化物(1)	
P1781	B-30	滑石二次加工品(1)、施釉陶器(1)、須恵器(1)、石器(1)、土師器(2)	
P1789	C-29	粘土塊(1)	班立柱建物 跡 20号 (P6)
P1790	C-29	滑石製石鍋(1)、石器(1)、铁滓(2)、粘土塊(1)、繩の羽口(3)	
P1792	C-29	铁滓(2)、粘土塊(2)	班立柱建物 跡 19号 (P4)
P1796	C-29	粘土塊(1)	
P1797	C-29	滑石混入土器(2)、土師器(2)、粘土塊(1)	
P1801	あ-27	铁滓(1)	班立柱建物 跡 20号 (P3)
P1802	C-29	土師器(2)、粘土塊(3)	
P1803	C-29	石器(2)、土師器(5)	班立柱建物 跡 19号 (P2)
P1804	C-29	土師器(1)、粘土塊(1)	班立柱建物 跡 19号 (P3)
P1805	C-29	粘土塊(1)	
P1810	B-29	カムイサキ(1)	
P1813	C-29	滑石製石鍋(1)、铁滓(1)、土師器(5)、粘土塊(3)	班立柱建物 跡 19号 (P2)
P1814	B-29	土師器(1)	
P1815	B-29	粘土塊(1)	
P1816	C-29	須恵器(1)、粘土塊(2)	
P1819	B-29	須恵器(1)、土師器(1)、粘土塊(1)	
P1820	C-29	須恵器(1)、土師器(2)	班立柱建物 跡 15号 (P7)
P1821	C-28	粘土塊(1)	
P1823	B-28	铁滓(1)	
P1827	D-28	铁滓(1)、土師器(1)、粘土塊(5)	
P1828	C-28	土師器(5)	
P1829	B-28	土師器(1)	
P1832	B-29	須恵器(1)、铁滓(6)、土師器(2)	
P1834	B-29	石器(1)、土師器(1)、繩の羽口(1)	
P1838	B-29	滑石製石鍋(1)	
P1839	B-29	土師器(1)	
P1840	B-29	铁滓(1)、白磁(1)	
P1842	B-29	土師器(2)、粘土塊(1)	班立柱建物 跡 16号 (P3)
P1846	B-29	粘土塊(1)	班立柱建物 跡 18号 (P4)
P1847	B-29	石器(1)	班立柱建物 跡 18号 (P5)
P1851	B-29	石器(1)、铁滓(1)、土師器(2)、粘土塊(4)	
P1853	B-29	石器(1)	班立柱建物 跡 15号 (P2)
P1855	B-29	土師器(1)、粘土塊(2)、布目庄唐土器(1)	
P1859	B-29	石器(1)	班立柱建物 跡 15号 (P3)
P1863	B-29	滑石製石鍋(1)、須恵器(1)、炭化物(1)、铁滓(1)、土師器(1)、粘土塊(1)	

第 139 表 ピット内出土遺物⑨

遺構 ID	グリッド	出土遺物	備考
P1864	B-29	カムィヤキ(4)、滑石製石綱(1)、石器(2)、粘土塊(5)	掘立柱建物跡 16 号 (P1)
P1866	B-29	滑石製石綱(1)、土師器(1)、粘土塊(1)	
P1867	B-29	カムィヤキ(1)、土師器(2)、粘土塊(5)、輪の羽口(1)	
P1868	B-29	石器(1)、土師器(1)	
P1869	B-29	滑石製石綱(1)、石器(2)、土師器(1)、粘土塊(2)	
P1870	A-29	石器(1)	掘立柱建物跡 18 号 (P1)
P1871	B-29	石器(1)	
P1872	B-29	滑石製石綱(1)	
P1874	B-29	土師器(2)	
P1875	B-29	粘土塊(1)	
P1879	B-29	石器(1)、土師器(1)	
P1881	B-29	施釉陶磁器(1)、鉄滓(1)、土師器(5)、粘土塊(3)	
P1886	B-29	粘土塊(1)	
P1889	B-29	粘土塊(3)	掘立柱建物跡 18 号 (P10)
P1891	B-29	土師器(1)	
P1894	B-29	滑石製石綱(2)、土師器(1)、輪の羽口(1)	
P1895	B-29	石器(1)	掘立柱建物跡 18 号 (P8)
P1896	B-29	炭化物(1)	
P1900	B-30	粘土塊(2)	掘立柱建物跡 23 号 (P2)
P1905	B-30	石器(1)、土師器(3)、布目庄痕土器(1)	
P1906	B-30	滑石製石綱(2)、石器(2)	
P1907	B-30	輕石(1)、土師器(1)	
P1909	B-30	滑石製石綱(1)	掘立柱建物跡 26 号 (P21)
P1913	A-30	鉄滓(3)	
P1914	A-30	炭化物(1)、土師器(1)	
P1915	A-30	粘土塊(3)	
P1918	A-30	石器(1)、土師器(1)	掘立柱建物跡 26 号 (P17)
P1923	A-30	鉄滓(2)、輪の羽口(1)	掘立柱建物跡 27 号 (P18)
P1925	B-30	土師器(1)	掘立柱建物跡 26 号 (P19)
P1926	B-30	土師器(1)	掘立柱建物跡 26 号 (P6)
P1927	B-29	土師器(1)	
P1928	B-30	粘土塊(6)	掘立柱建物跡 27 号 (P19)
P1929	B-30	土師器(1)	掘立柱建物跡 26 号 (P5)
P1931	B-30	石器(1)、粘土塊(3)、白磁(1)	掘立柱建物跡 27 号 (P6)
P1933	A-30	土師器(2)、粘土塊(5)	掘立柱建物跡 26 号 (P4)
P1934	B-30	土師器(1)、布目庄痕土器(2)	掘立柱建物跡 26 号 (P3)
P1935	A-30	鉄滓(1)、粘土塊(2)	
P1939	A-30	施釉陶磁器(1)、石器(1)、土師器(1)、粘土塊(2)、輪の羽口(1)	
P1942	A-30	滑石製石綱(1)、石器(5)	掘立柱建物跡 26 号 (P16)
P1944	A-30	鉄滓(1)、土師器(9)、粘土塊(2)	掘立柱建物跡 27 号 (P4)
P1945	A-31	土師器(1)	掘立柱建物跡 27 号 (P13)
P1948	A-30	朝鮮系無釉陶器(1)、粘土塊(3)、布目庄痕土器(2)	掘立柱建物跡 27 号 (P14)
P1949	A-31	粘土塊(1)、龍泉窯系青磁(1)	
P1950	A-31	粘土塊(4)	
P1951	A-31	土師器(4)、粘土塊(2)	
P1954	A-30	粘土塊(1)	

第 140 表 ピット内出土遺物⑩

遺構 ID	グリッド	出土遺物	備考
P1957	B-30	輪の羽口(1)	掘立柱建物跡 28 号 (P2)
P1960	B-30	須恵器(1)、石器(2)、鐵滓(1)、土師器(1)	掘立柱建物跡 26 号 (P7)
P1961	A-31	須恵器(1)、鐵滓(1)、土師器(1)	掘立柱建物跡 27 号 (P2)
P1962	A-31	土師器(2)、粘土塊(1)	
P1971	B-30	土師器(1)	
P1975	B-30	土師器(1)	
P1983	B-30	炭化物(1)	
P1984	B-30	土師器(1)	
P1985	B-30	土師器(2)	掘立柱建物跡 26 号 (P2)
P1986	B-31	兼久式土器(1)	掘立柱建物跡 26 号 (P6)
P1989	B-31	土師器(9)	掘立柱建物跡 26 号 (P11)
P1990	B-31	越州窯系青磁(1)、鐵滓(1)、粘土塊(1)	
P1996	B-31	滑石製石綱(1)	
P2000	B-30	土師器(2)、粘土塊(1)	
P2003	B-30	石器(2)、炭化物(1)、土師器(2)、粘土塊(3)	
P2007	B-30	滑石製石綱(1)、輪の羽口(1)	
P2010	B-30	土師器(1)	掘立柱建物跡 28 号 (P3)
P2015	B-30	須恵器(1)	掘立柱建物跡 26 号 (P25)
P2016	B-30	滑石製石綱(1)、輕石(1)、施釉陶磁器(1)、鐵製品(1)、土師器(1)	
P2020	A-31	鐵滓(1)	掘立柱建物跡 29 号 (P5)
P2023	A-31	土師器(3)	掘立柱建物跡 29 号 (P3)
P2027	A-31	滑石製石綱(1)、石器(1)、土師器(1)	掘立柱建物跡 29 号 (P6)
P2028	A-31	施釉陶磁器(1)	
P2029	A-31	カムィヤキ(1)、須恵器(1)、粘土塊(1)、白磁(1)、輪の羽口(1)	
P2030	A-31	粘土塊(4)	
P2034	A-31	石器(1)、土師器(2)	
P2035	A-31	輪の羽口(7)	掘立柱建物跡 31 号 (P5)
P2038	A-31	滑石混入土器(1)、土師器(2)、粘土塊(4)	
P2039	A-31	石器(1)	
P2050	A-31	粘土塊(5)	
P2052	A-31	土師器(4)、粘土塊(1)	
P2053	A-31	カムィヤキ(1)、粘土塊(1)	
P2059	A-31	粘土塊(3)	
P2060	A-31	鐵滓(1)	
P2062	A-31	石器(1)	
P2065	A-31	炭化物(1)	
P2067	A-31	粘土塊(3)	
P2069	B-31	須恵器(1)、粘土塊(2)	
P2070	B-31	粘土塊(2)	
P2071	A-31	粘土塊(6)	
P2076	A-32	粘土塊(3)	
P2080	B-31	粘土塊(3)	
P2084	B-31	炭化物(1)	
P2094	C-31	炭化物(2)、鐵滓(1)、土師器(1)、粘土塊(2)	
P2097	B-31	輪の羽口(1)	
P2110	B-30	土師器(1)	
P2111	B-30	滑石製石綱(1)	
P2112	B-30	土師器(2)	掘立柱建物跡 23 号 (P1)

第 141 表 ピット内出土遺物②

遺構ID グリッド	出土遺物	備考
P2117 C-32	軽石(1), 土師器(1)	庭立柱建物 跡 43 号 (P2)
P2119 C-32	土師器(1)	庭立柱建物 跡 43 号 (P3)
P2121 C-33	施釉陶器(1), 粘土塊(2)	
P2124 C-33	土器(1), 土師器(2), 粘土塊(1)	
P2125 C-33	土師器(1), 粘土塊(3)	
P2128 C-33	土師器(3)	
P2138 D-34	粘土塊(3)	
P2139 D-33	滑石製石鍋(1), 石器(1), 粘土塊(1)	
P2141 D-33	施釉陶器(1), 土師器(2), 粘土塊(5)	
P2144 D-33	土師器(1)	
P2148 D-33	粘土塊(3)	
P2149 C-33	滑石製石鍋(1), 粘土塊(2)	
P2150 C-33	カムイヤキ(3), 石器(1), 白磁(1)	庭立柱建物 跡 45 号 (P4)
P2157 D-31	粘土塊(7)	
P2160 C-33	粘土塊(2)	
P2163 B-33	土師器(3)	
P2169 B-32	滑石製石鍋(1)	
P2173 B-32	籠の羽(口)(1)	
P2178 C-33	須恵器(1), 粘土塊(4), 白磁(1)	
P2179 D-34	須恵器(1)	庭立柱建物 跡 44 号 (P6)
P2182 C-33	粘土塊(8)	
P2183 L-33	粘土塊(4)	
P2185 C-33	カムイヤキ(1), 粘土塊(9)	
P2187 <-40	铁(原)(2), 土師器(1)	
P2188 C-34	土師器(2)	
P2196 け-39	土師器(1)	
P2200 <-40	籠の羽(口)(1)	
P2210 C-34	粘土塊(2)	
P2211 C-34	土師器(1), 粘土塊(5)	
P2214 C-34	施釉陶器(1)	
P2217 D-34	粘土塊(3)	
P2218 D-34	粘土塊(3)	
P2227 D-34	カムイヤキ(1), 粘土塊(2)	
P2229 D-34	滑石製石鍋(1), 土師器(3), 粘土塊(3)	
P2230 D-34	粘土塊(1)	
P2232 C-34	土師器(2), 粘土塊(1)	
P2233 C-34	須恵器(1)	
P2235 C-34	施釉陶器(1)	
P2237 C-34	粘土塊(3)	
P2242 C-34	土師器(3), 粘土塊(2)	
P2243 C-34	炭化物(1), 粘土塊(1)	庭立柱建物 跡 46 号 (P9)
P2245 C-33	粘土塊(8)	
P2246 C-33	粘土塊(4)	
P2247 D-33	石器(1), 土師器(4), 粘土塊(8)	庭立柱建物 跡 45 号 (P6)
P2250 C-33	粘土塊(5)	庭立柱建物 跡 45 号 (P7)
P2252 C-34	粘土塊(3)	
P2253 C-34	土師器(1), 粘土塊(1)	
P2256 C-34	铁(原)(1), 粘土塊(1), 布目压痕土器(3)	
P2257 C-34	滑石製石鍋(1), 土師器(2), 粘土塊(2)	庭立柱建物 跡 49 号 (P5)
P2268 き-40	铁(原)(1), 粘土塊(3)	
P2275 C-34	石器(1)	
P2276 C-34	土師器(3)	
P2277 C-34	粘土塊(7)	
P2278 B-34	滑石製石鍋(1), 土師器(1), 粘土塊(1)	
P2280 C-34	石器(1), 粘土塊(1), 白磁(1), 布目压痕土器(2)	庭立柱建物 跡 49 号 (P1)

第 142 表 ピット内出土遺物③

遺構ID グリッド	出土遺物	備考
P2281 C-34	滑石製石鍋(1), 滑石二次加工品(2), 石器(1), 粘土塊(3)	庭立柱建物 跡 48 号 (P3)
P2283 C-34	滑石製石鍋(1), 土師器(1), 粘土塊(4)	庭立柱建物 跡 48 号 (P4)
P2290 C-34	石器(1), 鉄(原)(1), 土師器(1)	
P2297 C-34	滑石製石鍋(1), 土師器(6), 粘土塊(2)	庭立柱建物 跡 48 号 (P2)
P2300 C-34	石器(1), 粘土塊(3)	
P2301 C-34	粘土塊(1)	
P2302 C-34	滑石製石鍋(1), 石器(1), 土師器(2), 粘土塊(3)	
P2307 C-33	鐵製品(1), 土師器(1), 粘土塊(1)	
P2308 C-33	石器(1), 土師器(1)	庭立柱建物 跡 45 号 (P1)
P2311 C-34	土師器(1), 粘土塊(1)	
P2312 C-33	粘土塊(1)	
P2317 C-33	土師器(1)	
P2318 C-33	鉄(原)(1), 土師器(1), 粘土塊(4), 白磁(1)	
P2320 C-33	粘土塊(8)	
P2321 C-33	滑石製石鍋(1), 輕石(2), 石器(1), 土師器(1), 粘土塊(3), 白磁(1), 布目压痕土器(2)	
P2325 C-33	粘土塊(4)	
P2326 C-34	黒色土器(1), 炭化物(1), 粘土塊(2)	
P2327 C-34	滑石製石鍋(1), 土師器(1), 粘土塊(7)	
P2329 C-34	粘土塊(6)	
P2334 B-34	粘土塊(2)	
P2336 B-34	土師器(4)	
P2337 B-34	粘土塊(3)	
P2339 B-34	粘土塊(5)	
P2343 B-34	粘土塊(6)	
P2346 B-33	土師器(2), 布目压痕土器(1)	
P2347 B-33	施釉陶器(1), 土師器(1), 粘土塊(3)	
P2348 B-33	粘土塊(6)	
P2350 B-34	粘土塊(3)	
P2351 B-33	カムイヤキ(1), 粘土塊(5)	
P2352 B-33	土師器(1), 粘土塊(4)	
P2355 C-33	土師器(1)	
P2357 C-33	粘土塊(1)	
P2365 B-33	粘土塊(8)	
P2367 B-33	滑石製石鍋(1)	
P2376 B-34	土師器(1)	
P2378 B-34	土師器(1)	
P2381 B-33	粘土塊(1)	
P2383 B-34	滑石製石鍋(2)	
P2387 B-34	土師器(1)	
P2388 B-34	粘土塊(1)	
P2390 B-34	須恵器(5)	
P2392 B-34	粘土塊(1)	庭立柱建物 跡 39 号 (P4)
P2398 B-33	滑石二次加工品(1), 土師器(1)	
P2401 B-33	粘土塊(1)	庭立柱建物 跡 39 号 (P2)
P2406 A-34	石器(3), 土師器(1), 粘土塊(6), 篠の羽(口)(1)	
P2408 A-34	土師器(2)	
P2409 A-34	施釉陶器(1), 土師器(1), 粘土塊(2)	
P2412 A-34	土製品(1), 粘土塊(6), 篠の羽(口)(1)	
P2413 A-33	滑石混入土器(1)	
P2419 A-34	軽石(1), 須恵器(1), 土師器(2)	庭立柱建物 跡 38 号 (P7)
P2421 A-34	土師器(5)	庭立柱建物 跡 38 号 (P8)
P2426 A-34	石器(1), 炭化物(1)	
P2429 A-34	滑石製石鍋(1)	
P2431 A-33	滑石二次加工品(1), 粘土塊(9)	庭立柱建物 跡 37 号 (P6)

第 143 表 ピット内出土遺物28

遺構 ID	グリッド	出土遺物	備考
P2432	A-33	土師器(1), 布目庄痕土器(1)	
P2436	B-33	滑石製石鍋(2), 黒色土器(1), 土師器(7), 粘土塊(3), 布目庄痕土器(2)	
P2437	き-41	滑石混入土器(1), 粘土塊(1)	
P2438	く-40	土師器(1)	掘立柱建物跡 87 号 (P6)
P2440	A-33	施釉陶磁器(1), 石器(1)	
P2445	B-33	土師器(1), 布目庄痕土器(1)	
P2446	B-33	土師器(1)	
P2453	B-32	輕石(1)	
P2454	B-33	施釉陶磁器(1), 粘土塊(4)	
P2455	A-33	粘土塊(3)	
P2456	A-33	輕石(1)	
P2457	A-33	土師器(3)	
P2459	A-33	炭化物(1), 土師器(2), 粘土塊(1)	
P2464	A-32	铁滓(1), 粘土塊(1)	
P2465	A-32	铁滓(2)	
P2469	A-34	石器(1), 土師器(1)	
P2470	A-33	滑石製石鍋(1)	掘立柱建物跡 37 号 (P7)
P2471	A-34	滑石製石鍋(1)	
P2472	A-34	土師器(2), 粘土塊(2)	掘立柱建物跡 38 号 (P9)
P2475	A-33	炭化物(1)	掘立柱建物跡 38 号 (P16)
P2477	A-33	粘土塊(1)	掘立柱建物跡 38 号 (P5)
P2478	A-33	滑石製石鍋(2), 土師器(1)	掘立柱建物跡 37 号 (P5)
P2480	A-33	石器(1), 土師器(1), 粘土塊(4)	
P2484	A-33	施釉陶磁器(1)	
P2485	A-33	粘土塊(1)	
P2486	A-33	滑石製石鍋(1)	掘立柱建物跡 38 号 (P15)
P2489	A-34	白磁(1)	
P2490	A-33	輕石(1)	掘立柱建物跡 38 号 (P2)
P2495	A-33	滑石混入土器(2)	掘立柱建物跡 37 号 (P3)
P2499	A-33	土師器(2), 粘土塊(1)	
P2500	A-33	土師器(1)	
P2503	A-33	滑石二次加工品(1), 輕石(1), 土師器(8), 粘土塊(1), 布目庄痕土器(7)	掘立柱建物跡 38 号 (P3)
P2509	A-33	土師器(1)	
P2512	A-33	粘土塊(1), 糜の羽口(1)	
P2514	A-33	石器(1), 土師器(1)	
P2515	A-33	施釉陶磁器(1), 粘土塊(3)	
P2516	A-33	カムイヤキ(1), 土師器(1), 粘土塊(1)	
P2518	B-33	土師器(1)	
P2521	A-33	粘土塊(3)	
P2525	A-33	滑石混入土器(1)	
P2527	A-33	滑石製石鍋(1), 石器(1)	
P2528	A-33	滑石混入土器(1), 施釉陶磁器(1), 土師器(1), 粘土塊(1)	
P2535	A-33	石器(1), 粘土塊(1)	
P2536	A-33	施釉陶磁器(1), 石器(1)	
P2537	A-33	滑石製石鍋(5), 石器(1), 土師器(2)	
P2540	A-33	カムイヤキ(1), 土師器(3), 粘土塊(1), 布目庄痕土器(1)	
P2541	A-33	魚骨(1), 土師器(2), 粘土塊(1)	
P2542	A-33	石器(1)	
P2543	A-33	滑石製石鍋(1)	
P2545	A-33	土師器(1)	
P2551	A-33	土師器(1)	
P2560	A-33	石器(1)	

第 144 表 ピット内出土遺物26

遺構 ID	グリッド	出土遺物	備考
P2565	あ-33	土師器(2)	掘立柱建物跡 36 号 (P2)
P2567	あ-33	土師器(1)	
P2568	あ-33	粘土塊(1)	
P2573	A-33	土師器(1), 糜の羽口(1)	
P2578	A-32	鉄製品(3), 鉄滓(1), 粘土塊(2)	掘立柱建物跡 35 号 (P6)
P2587	あ-33	須恵器(1), 土師器(7)	
P2589	あ-33	趙州窯系青磁(1)	
P2595	あ-33	土師器(2)	掘立柱建物跡 35 号 (P9)
P2597	あ-33	滑石混入土器(2)	
P2601	あ-33	土師器(2)	掘立柱建物跡 35 号 (P1)
P2604	あ-33	石器(1), 土師器(4)	掘立柱建物跡 35 号 (P2)
P2609	A-33	土師器(1)	
P2610	あ-33	石器(1), 粘土塊(1)	
P2622	A-33	粘土塊(3)	
P2626	A-32	粘土塊(2)	
P2630	A-32	糜の羽口(1)	掘立柱建物跡 32 号 (P1)
P2634	A-32	鉄製品(1)	掘立柱建物跡 32 号 (P6)
P2637	あ-32	粘土塊(1)	
P2643	あ-32	石器(1)	掘立柱建物跡 34 号 (P4)
P2645	あ-32	土師器(1)	掘立柱建物跡 33 号 (P2)
P2646	あ-32	土師器(1)	掘立柱建物跡 34 号 (P3)
P2647	あ-32	土師器(2)	
P2648	あ-32	輕石(2), 石器(2), 土師器(4), 粘土塊(6)	掘立柱建物跡 31 号 (P1)
P2653	あ-31	粘土塊(1)	掘立柱建物跡 31 号 (P2)
P2654	あ-32	土師器(1)	
P2660	あ-32	土師器(1), 粘土塊(1)	掘立柱建物跡 31 号 (P11)
P2661	あ-32	滑石製石鍋(1), 土師器(1)	掘立柱建物跡 33 号 (P4)
P2662	あ-32	土師器(1), 粘土塊(1)	掘立柱建物跡 31 号 (P12)
P2664	ア-31	粘土塊(2)	
P2668	う-32	粘土塊(4)	
P2672	い-33	粘土塊(2)	
P2684	D-34	石器(1), 土師器(1)	
P2685	B-34	布目庄痕土器(1)	
P2690	B-30	粘土塊(1)	
P2704	こ-33	滑石製石鍋(1), 土師器(1)	
P2707	こ-34	石器(1), 土師器(5)	
P2708	こ-34	粘土塊(2)	
P2717	こ-34	土師器(1)	
P2718	こ-34	土師器(7)	
P2720	こ-34	須恵器(1)	
P2736	こ-34	土師器(2)	
P2739	こ-35	カムイヤキ(1), 土師器(2)	
P2740	こ-36	鐵滓(1)	
P2741	こ-35	粘土塊(1)	
P2743	こ-35	輕石(1)	
P2746	こ-36	布目庄痕土器(3)	
P2747	こ-36	炭化物(1)	
P2748	こ-36	施釉陶磁器(2)	
P2750	こ-36	土師器(2)	掘立柱建物跡 93 号 (P4)

第145表 ピット内出土遺物25

遺構ID	グリッド	出土遺物	備考
P2751	こ・36	カムイヤキ(1)、土師器(1)、粘土塊(2)	
P2753	こ・36	滑石製石鍋(2)、鉄滓(1)、粘土塊(3)	竪立柱建物跡 93号(P6)
P2754	こ・36	粘土塊(4)	
P2755	こ・36	鉄滓(1)、粘土塊(1)	
P2766	け・36	軽石(1)	
P2768	け・36	輕石(1)	
P2769	け・36	軽石(1)	竪立柱建物跡 93号(P9)
P2770	け・36	鉄滓(2)、粘土塊(1)	竪立柱建物跡 93号(P17)
P2778	こ・36	滑石製石鍋(1)、粘土塊(7)	竪立柱建物跡 93号(P3)
P2779	け・36	石器(1)	
P2785	こ・36	石器(2)、粘土塊(4)	
P2786	こ・36	土師器(2)、粘土塊(1)	
P2787	け・36	滑石製石鍋(1)	
P2791	け・37	兼久文土器(1)	
P2792	け・37	施釉陶磁器(1)、須恵器(1)	
P2794	け・37	滑石製石鍋(1)、粘土塊(1)	竪立柱建物跡 92号(P7)
P2795	こ・37	粘土塊(1)	竪立柱建物跡 92号(P11)
P2797	け・37	土師器(1)、粘土塊(2)	竪立柱建物跡 92号(P10)
P2798	け・37	滑石製石鍋(1)、石器(5)、土師器(6)	竪立柱建物跡 91号(P8)
P2801	こ・38	滑石製石鍋(1)	
P2811	こ・38	カムイヤキ(1)、石器(1)、土師器(4)、穂の羽口(1)	
P2812	こ・37	石器(1)、土師器(5)	
P2814	こ・38	土師器(1)	
P2816	こ・37	カムイヤキ(2)、滑石製石鍋(1)、土師器(2)、粘土塊(7)、白磁(1)、穂の羽口(1)	
P2817	こ・38	土師器(1)、布目庄唐土器(1)	
P2818	こ・37	粘土塊(1)	
P2819	こ・37	滑石二次加工品(1)、粘土塊(1)	竪立柱建物跡 91号(P9)
P2822	こ・37	土師器(2)、粘土塊(4)	
P2823	こ・37	石器(2)、土師器(1)	
P2824	こ・37	滑石製石鍋(4)	
P2825	こ・37	カムイヤキ(1)、炭化物(2)、粘土塊(5)	竪立柱建物跡 91号(P7)
P2826	こ・37	須恵器(1)、粘土塊(6)	竪立柱建物跡 91号(P6)
P2827	こ・37	滑石混入土器(1)、滑石製石鍋(1)、粘土塊(2)	
P2828	こ・37	カムイヤキ(1)、滑石製石鍋(1)、土器(1)	
P2830	こ・37	カムイヤキ(1)、石器(3)、炭化物(1)	
P2831	こ・37	石器(2)	竪立柱建物跡 92号(P16)
P2833	こ・37	滑石製石鍋(1)、軽石(1)、施釉陶磁器(1)、粘土塊(2)	竪立柱建物跡 92号(P17)
P2837	こ・37	滑石製石鍋(1)、滑石二次加工品(1)、粘土塊(2)	
P2842	こ・37	土師器(1)	
P2845	こ・37	土師器(1)、粘土塊(2)	竪立柱建物跡 92号(P15)
P2846	こ・37	滑石混入土器(1)、滑石製石鍋(1)、軽石(1)、穂の羽口(1)	竪立柱建物跡 92号(P14)
P2848	け・37	粘土塊(3)	
P2849	け・37	滑石製石鍋(1)、粘土塊(2)	
P2850	け・36	カムイヤキ(1)、石器(2)、鉄滓(2)、土師器(1)、粘土塊(4)	
P2853	こ・36	粘土塊(1)	
P2855	け・36	粘土塊(2)	
P2856	け・36	滑石製石鍋(1)、石器(2)、土師器(1)、粘土塊(1)	竪立柱建物跡 93号(P11)
P2857	け・36	土師器(1)、粘土塊(1)	

第146表 ピット内出土遺物26

遺構ID	グリッド	出土遺物	備考
P2858	け・36	滑石製石鍋(2)	
P2859	け・37	滑石製石鍋(1)	竪立柱建物跡 93号(P12)
P2862	こ・36	滑石製石鍋(1)、石器(3)、粘土塊(5)	竪立柱建物跡 93号(P14)
P2864	け・36	滑石製石鍋(2)、土師器(1)、粘土塊(2)	
P2867	こ・37	土師器(1)	竪立柱建物跡 92号(P5)
P2872	こ・36	滑石製石鍋(2)、粘土塊(2)	
P2873	こ・36	穂の羽口(2)	
P2874	こ・36	滑石製石鍋(1)、鉄滓(1)、粘土塊(2)、白磁(1)	竪立柱建物跡 92号(P3)
P2876	こ・37	石器(2)	
P2878	こ・37	炭化物(1)、土師器(2)、粘土塊(2)	竪立柱建物跡 92号(P2)
P2879	こ・36	石器(1)、土師器(2)、粘土塊(1)	
P2881	こ・37	土師器(1)、粘土塊(4)	
P2882	こ・37	土師器(1)	
P2888	こ・37	滑石製石鍋(1)、鉄滓(1)、土師器(1)、粘土塊(2)、龍泉系青磁(1)	
P2890	こ・37	土師器(2)	
P2894	こ・36	カムイヤキ(1)、土師器(2)、粘土塊(4)、白磁(1)	
P2903	す・36	布目庄土器(2)	
P2912	さ・36	土師器(4)	
P2915	そ・36	土師器(1)	
P2918	さ・36	石器(2)	
P2919	そ・37	土師器(2)、粘土塊(1)	
P2925	さ・37	土師器(2)	
P2931	さ・37	石器(1)、土師器(2)	
P2932	さ・37	土師器(1)	
P2933	さ・37	滑石製石鍋(1)、鉄滓(1)、穂の羽口(1)	
P2934	さ・37	土師器(2)	
P2938	さ・37	滑石製石鍋(1)、須恵器(1)	
P2940	こ・36	土師器(4)、粘土塊(1)	
P2946	こ・36	土師器(2)	
P2951	さ・36	石器(1)、粘土塊(3)	
P2954	こ・36	土師器(1)	
P2963	こ・36	土師器(2)	
P2964	こ・36	須恵器(1)、土師器(1)	
P2965	こ・36	カムイヤキ(1)、ガラス玉(1)、鉄滓(1)、土師器(1)	
P2966	こ・37	黒色土器(2)	
P2969	こ・36	石器(4)、土師器(4)、粘土塊(8)	
P2972	こ・37	石器(2)、粘土塊(3)	
P2975	こ・37	鉄滓(1)	
P2977	こ・27	土師器(4)	
P2979	こ・27	カムイヤキ(1)、施釉陶磁器(9)、石器(3)、粘土塊(5)、無輪陶磁器(1)	
P2980	こ・37	土師器(1)、粘土塊(1)	
P2981	こ・37	土師器(1)	
P2987	こ・37	土師器(1)、粘土塊(1)	竪立柱建物跡 91号(P2)
P2996	こ・34	石器(1)、土師器(2)	
P2997	こ・37	滑石製石鍋(1)、鉄滓(1)、土師器(4)、粘土塊(1)	
P2998	こ・37	土師器(1)	
P2999	こ・37	粘土塊(2)	
P3001	こ・37	滑石製石鍋(2)、粘土塊(2)	
P3003	こ・37	粘土塊(1)	
P3004	こ・37	石器(1)、土師器(2)	
P3005	こ・37	炭化物(2)、土師器(3)、粘土塊(5)	
P3006	こ・37	土師器(1)	
P3008	こ・37	滑石製石鍋(1)、粘土塊(1)	竪立柱建物跡 91号(P4)
P3011	こ・37	土師器(2)	

第 147 表 ピット内出土遺物(2)

遺構 ID	グリッド	出土遺物	備考
P3021	こ -36	滑石製石鍋(1)。須恵器(1)。石器(1)。鉄滓(4)。土師器(1)。縁の羽口(2)	
P3022	け -37	石器(2)	
P3026	け -37	鉄滓(2)	
P3027	け -37	滑石製石鍋(2)。土師器(1)	
P3028	け -37	鉄滓(1)	掘立柱建物跡 93 号 (P2)
P3030	こ -36	カムイヤキ(2)。土師器(2)	
P3031	こ -36	須恵器(1)。朝鮮系無釉陶器(1)。鉄滓(1)。土師器(5)。粘土塊(3)。縁の羽口(2)	
P3033	こ -36	土師器(3)。粘土塊(3)	
P3034	こ -36	カムイヤキ(2)。粘土塊(2)	
P3035	け -37	粘土塊(2)。白磁(1)	
P3038	こ -36	土師器(1)	
P3040	こ -36	土師器(1)。縁の羽口(1)	
P3041	こ -36	カムイヤキ(1)。石器(2)。土師器(2)。粘土塊(1)	
P3042	そ -36	滑石製石鍋(1)	
P3043	さ -36	土師器(1)	
P3057	さ -36	族釉陶器(1)	
P3058	し -34	須恵器(2)。土師器(2)。粘土塊(1)	
P3060	し -34	兼久式土器(1)。粘土塊(1)	
P3062	し -34	滑石製石鍋(1)。須恵器(1)	
P3064	し -34	土師器(1)	
P3065	し -34	獸骨(6)	掘立柱建物跡 94 号 (P10)
P3066	C -34	滑石製石鍋(2)。石器(2)	
P3068	L -34	粘土塊(1)	
P3069	L -34	粘土塊(1)	
P3073	C -34	滑石製石鍋(2)	
P3074	L -34	滑石製石鍋(4)。石器(1)。土師器(1)	掘立柱建物跡 95 号 (P8)
P3075	L -34	粘土塊(1)	掘立柱建物跡 94 号 (P9)
P3079	C -34	土師器(1)。縁の羽口(1)	
P3084	L -34	土師器(1)。粘土塊(1)	
P3091	L -35	カムイヤキ(1)。滑石製石鍋(2)。石器(3)。鉄滓(8)	
P3095	L -35	鉄滓(1)	
P3097	L -35	鉄滓(1)	
P3098	L -35	粘土塊(3)	
P3099	L -35	粘土塊(1)	
P3105	C -34	石器(2)。土師器(1)	
P3106	L -34	滑石製石鍋(1)。鉄滓(1)。土師器(2)	
P3107	L -34	滑石製石鍋(2)。縁の羽口(1)	
P3108	C -34	獸骨(1)。粘土塊(4)	
P3111	L -34	滑石製石鍋(1)。石器(1)	
P3114	L -34	土師器(1)。粘土塊(2)	
P3116	L -35	鉄滓(5)。土師器(4)	
P3120	L -34	輕石(8)。炭化物(2)	
P3121	L -34	滑石製石鍋(1)。土師器(3)。粘土塊(1)	
P3124	L -34	滑石製石鍋(1)。石器(1)。土師器(3)。粘土塊(3)	掘立柱建物跡 95 号 (P10)
P3126	L -34	滑石製石鍋(1)。粘土塊(2)。縁の羽口(1)	
P3127	C -34	粘土塊(2)	掘立柱建物跡 95 号 (P11)
P3129	L -34	鉄滓(1)	
P3133	L -34	粘土塊(3)	
P3138	C -34	越州窯系青磁(1)。鉄滓(1)	
P3143	す -34	滑石製石鍋(1)。鉄滓(1)。粘土塊(3)	
P3144	L -34	須恵器(1)	
P3145	B -28	鉄滓(2)。粘土塊(1)	
P3146	B -28	石器(1)。粘土塊(2)	掘立柱建物跡 15 号 (P4)
P3148	B -28	土師器(1)	

第 148 表 ピット内出土遺物(3)

遺構 ID	グリッド	出土遺物	備考
P3149	C -28	石器(1)。土師器(2)。縁の羽口(2)	掘立柱建物跡 15 号 (P6)
P3150	C -29	土師器(1)	
P3151	B -29	滑石混入器(1)。粘土塊(2)	
P3154	C -29	土師器(2)	
P3157	C -29	粘土塊(1)	掘立柱建物跡 20 号 (P5)
P3159	B -29	鉄滓(2)	掘立柱建物跡 18 号 (P7)
P3164	B -29	滑石製石鍋(1)。土師器(2)	
P3166	B -29	土師器(1)	
P3168	A -29	粘土塊(1)	
P3169	L -34	滑石製石鍋(2)。鉄滓(3)。土師器(4)。土製品(5)	
P3170	す -34	石器(1)。粘土塊(2)	
P3171	す -34	滑石製石鍋(1)。石器(1)。土師器(1)。粘土塊(2)	
P3172	す -34	輕石(2)。土師器(2)	
P3173	す -34	土師器(1)。粘土塊(1)	
P3177	す -34	土師器(1)	
P3178	す -34	鉄滓(1)	
P3181	す -34	土師器(2)	
P3182	L -34	石器(1)	
P3183	L -34	土師器(1)	
P3184	L -34	粘土塊(2)	
P3191	L -34	滑石製石鍋(2)。粘土塊(1)	掘立柱建物跡 94 号 (P7)
P3195	L -34	土師器(2)	掘立柱建物跡 95 号 (P5)
P3198	-	土師器(1)	
P3199	L -34	滑石製石鍋(1)	掘立柱建物跡 95 号 (P13)
P3200	L -34	滑石製石鍋(1)。粘土塊(1)	
P3201	C -34	輕石(2)。土師器(3)。粘土塊(1)	掘立柱建物跡 95 号 (P1)
P3203	C -34	粘土塊(4)	
P3204	L -34	鉄滓(6)	
P3205	L -34	滑石製石鍋(2)。土師器(2)	掘立柱建物跡 95 号 (P2)
P3210	す -34	炭化物(1)。土師器(1)。布目住痕土器(2)	
P3211	す -34	土師器(3)。粘土塊(1)	
P3213	す -34	土師器(1)	
P3214	す -34	鉄滓(1)。粘土塊(5)	
P3217	す -34	土師器(2)	
P3218	す -34	滑石二次加工品(1)。土師器(1)。粘土塊(1)	
P3222	す -34	土師器(1)	
P3223	す -34	鉄滓(1)。土師器(4)。粘土塊(3)	掘立柱建物跡 96 号 (P11)
P3224	す -34	滑石製石鍋(2)。鉄滓(6)	
P3225	す -34	土師器(6)	
P3226	す -34	滑石製石鍋(1)。土器(3)。土師器(2)	
P3227	す -34	粘土塊(2)	
P3228	す -34	粘土塊(1)	
P3234	す -34	朝鮮系無釉陶器(1)	
P3236	C -34	土師器(2)	
P3242	こ -34	カムイヤキ(1)。鉄滓(2)。土師器(1)	
P3244	こ -33	土師器(2)	
P3256	L -34	鉄滓(1)。粘土塊(2)。麗泉窯系青磁(1)	掘立柱建物跡 95 号 (P6)
P3259	L -33	粘土塊(5)	
P3262	L -34	土師器(1)	掘立柱建物跡 95 号 (P4)
P3263	L -34	粘土塊(5)	
P3264	L -34	鉄滓(2)	掘立柱建物跡 95 号 (P3)
P3269	L -33	滑石二次加工品(1)	

第149表 ピット内出土遺物2

遺構ID	グリッド	出土遺物	備考
P3272	し-34	土師器(2), 粘土塊(1)	
P3276	し-34	土師器(1)	
P3279	C-34	石器(2)	
P3280	し-34	粘土塊(1)	
P3281	し-34	炭化物(1)	
P3284	し-34	粘土塊(2)	
P3287	す-34	滑石製石鍋(1), 粘土塊(1)	
P3288	C-34	土師器(2)	掘立柱建物跡 96号(P8)
P3290	す-34	滑石製石鍋(1)	
P3294	す-34	滑石製石鍋(7), 鉄製品(1), 鉄滓(2), 粘土塊(4)	
P3295	す-34	石器(1)	
P3296	す-34	土師器(2), 白磁(1)	掘立柱建物跡 96号(P10)
P3298	す-34	繩の羽口(1)	
P3299	す-34	土師器(1)	
P3303	す-34	繩の羽口(2)	掘立柱建物跡 96号(P12)
P3305	し-34	カムイヤキ(2), 粘土塊(8)	
P3306	し-34	土師器(5), 土製品(2), 繩の羽口(2)	
P3309	し-34	土師器(1)	掘立柱建物跡 96号(P7)
P3311	し-39	鉄製品(1), 土師器(1), 粘土塊(1)	
P3312	し-34	石器(1), 土師器(3), 粘土塊(1)	
P3313	し-33	粘土塊(2)	
P3314	し-33	石器(1)	
P3315	し-33	須恵器(1)	
P3318	す-33	粘土塊(2)	
P3321	す-34	滑石製石鍋(1), 朝鮮系無袖陶器(1), 土師器(4)	
P3324	す-34	土師器(2)	
P3325	す-33	铁滓(1), 土師器(2), 白磁(1)	掘立柱建物跡 96号(P3)
P3328	す-34	滑石製石鍋(1)	
P3332	す-33	石器(1), 土師器(2), 粘土塊(1), 繩の羽口(1)	掘立柱建物跡 96号(P3)
P3333	す-33	滑石製石鍋(1), 石器(1), 土師器(2), 粘土塊(1)	
P3336	す-34	炭化物(1), 土師器(1), 粘土塊(2)	
P3341	す-34	石器(2), 土師器(3), 粘土塊(3)	掘立柱建物跡 96号(P1)
P3342	す-34	滑石製石鍋(3), 土師器(1), 粘土塊(1)	
P3343	す-34	土師器(2)	
P3350	す-34	滑石製石鍋(2)	
P3365	-	石器(1), 土師器(2), 粘土塊(3), 繩の羽口(1)	
P3369	B-31	粘土塊(1)	
P3371	す-33	粘土塊(1)	
P3373	す-33	土師器(1)	
P3374	す-33	粘土塊(4), 繩の羽口(1)	
P3376	し-34	炭化物(1)	
P3378	す-33	石器(2)	
P3381	す-33	輕石(2)	
P3382	す-33	鐵滓(1)	
P3387	す-33	土師器(1), 粘土塊(4)	
P3400	す-33	石器(1)	
P3403	し-33	土製品(2), 粘土塊(2)	
P3405	す-33	土師器(2), 粘土塊(3)	
P3410	す-33	土師器(1)	
P3413	す-33	滑石二次加工品(1), 繩の羽口(4)	
P3416	す-33	粘土塊(4)	
P3417	す-33	土師器(4)	
P3418	す-33	粘土塊(6)	
P3420	す-33	土師器(2)	
P3424	す-33	粘土塊(8)	
P3426	す-33	土師器(2)	

第150表 ピット内出土遺物3

遺構ID	グリッド	出土遺物	備考
P3427	す-33	鐵滓(4)	掘立柱建物跡 97号(P9)
P3431	す-33	鐵滓(1), 粘土塊(1)	掘立柱建物跡 97号(P5)
P3432	す-33	繩の羽口(1)	掘立柱建物跡 97号(P6)
P3437	A-31	施釉陶器(1), 粘土塊(4)	
P3443	A-33	施釉陶器(1), 石器(1), 白磁(1)	
P3446	A-33	粘土塊(8)	
P3448	あ-32	滑石製石鍋(1)	
P3449	あ-31	土師器(1)	掘立柱建物跡 34号(P2)
P3460	B-33	土師器(3)	
P3465	す-33	鐵滓(2), 土師器(4)	掘立柱建物跡 97号(P3)
P3466	A-32	粘土塊(1)	
P3469	す-33	滑石製石鍋(1), 粘土塊(1), 繩の羽口(2)	
P3470	す-33	土師器(2)	掘立柱建物跡 97号(P2)
P3473	す-33	越州窯系青磁(1), 滑石製石鍋(1)	
P3476	す-33	土師器(1)	
P3481	せ-33	滑石製石鍋(2), 鉄滓(1), 繩の羽口(1)	
P3482	す-33	滑石製石鍋(1)	
P3483	す-32	貝(1)	
P3484	す-32	粘土塊(4)	
P3488	せ-32	土師器(2)	
P3490	す-33	土師器(2), 粘土塊(1)	掘立柱建物跡 97号(P4)
P3494	B-33	石器(1)	
P3498	B-33	石器(2), 土師器(1), 粘土塊(3)	
P3499	C-33	石器(1), 土師器(2), 粘土塊(1)	
P3507	C-34	土師器(1)	掘立柱建物跡 45号(P5)
P3510	C-34	粘土塊(1)	
P3512	C-34	土師器(3)	
P3514	C-34	土師器(2)	掘立柱建物跡 47号(P4)
P3520	し-31	須恵器(1)	
P3521	C-34	布目玉須器(1)	
P3524	C-34	滑石製石鍋(1), 輕石(1), 石器(1), 粘土塊(6), 粘土塊(2), 布目玉須器(1), 青泉窯系青磁(1), 繩の羽口(1)	
P3525	B-33	石器(2), 土師器(1), 粘土塊(1)	
P3527	C-34	土師器(1)	
P3529	C-34	粘土塊(2)	
P3530	C-34	滑石製石鍋(1)	
P3533	D-34	須恵器(1), 土師器(1)	
P3534	C-34	粘土塊(2)	
P3535	C-33	輕石(3), 粘土塊(2)	掘立柱建物跡 49号(P4)
P3536	C-34	施釉陶器(1), 粘土塊(2)	
P3537	C-33	土師器(1), 粘土塊(1)	
P3541	C-33	土師器(2), 粘土塊(3)	掘立柱建物跡 46号(P1)
P3542	C-33	土師器(2), 粘土塊(3)	
P3543	C-34	土師器(4), 粘土塊(2)	掘立柱建物跡 49号(P3)
P3545	L-34	滑石製石鍋(1), 石器(1), 朝鮮系無袖陶器(1), 土師器(1), 粘土塊(3)	
P3551	D-34	粘土塊(1)	
P3555	C-34	石器(1)	
P3556	C-34	石器(5)	
P3557	C-34	土師器(1)	
P3559	C-34	滑石製石鍋(1)	

第 151 表 ピット内出土遺物④

遺構 ID	グリッド	出土遺物	備考
P3560	A-34	炭化物(1)、土師器(2)、粘土塊(6)	
P3561	C-34	土師器(2)、粘土塊(1)	
P3564	C-34	土師器(7)、粘土塊(4)	
P3571	B-34	土師器(1)、粘土塊(2)	掘立柱建物跡 47 号(P5)
P3578	C-34	滑石製石鍋(3)、兼久式土器(1)、土師器(2)、粘土塊(2)	掘立柱建物跡 48 号(P1)
P3581	乙-36	滑石製石鍋(2)、土師器(4)、粘土塊(2)	
P3587	乙-37	粘土塊(3)	
P3590	甲-37	石器(1)	
P3592	D-33	土師器(1)、粘土塊(2)	
P3593	C-34	粘土塊(2)	
P3594	L-33	石器(1)	
P3595	C-31	カムイヤキ(1)、施釉陶磁器(1)、粘土塊(6)	
P3597	D-31	粘土塊(4)	
P3604	乙-36	土師器(1)	
P3606	D-32	粘土塊(3)	掘立柱建物跡 41 号(P1)
P3611	D-32	炭化物(1)、鉄滓(1)、粘土塊(2)	掘立柱建物跡 41 号(P3)
P3613	D-32	粘土塊(1)	掘立柱建物跡 41 号(P2)
P3615	A-31	滑石製石鍋(1)	掘立柱建物跡 27 号(P12)
P3619	あ-34	須恵器(1)、粘土塊(1)	
P3620	あ-34	土師器(2)、粘土塊(2)	
P3624	あ-36	滑石製石鍋(1)	
P3626	A-34	土師器(1)	
P3627	A-34	炭化物(1)、粘土塊(6)	
P3628	A-34	土師器(1)、粘土塊(1)	
P3632	A-34	滑石製石鍋(1)、石器(5)	掘立柱建物跡 37 号(P10)
P3633	A-34	滑石製石鍋(1)、布目庄痕土器(3)	
P3635	A-34	滑石製石鍋(2)、土師器(1)、粘土塊(7)、白磁(1)	掘立柱建物跡 38 号(P12)
P3636	A-34	粘土塊(3)	掘立柱建物跡 38 号(P20)
P3638	A-34	滑石製石鍋(1)	掘立柱建物跡 37 号(P8)
P3639	A-34	輕石(1)	
P3640	A-34	石器(1)、粘土塊(3)	掘立柱建物跡 38 号(P11)
P3641	A-34	輕石(4)、石器(1)、土師器(2)、粘土塊(6)	
P3642	A-34	土師器(2)、粘土塊(1)	
P3644	A-34	施釉陶磁器(1)、炭化物(1)	
P3645	A-34	石器(1)	
P3649	A-34	粘土塊(6)	
P3650	A-34	カムイヤキ(1)、滑石製石鍋(1)、石器(1)、土師器(1)、粘土塊(3)	
P3652	A-34	鉄滓(3)	
P3653	A-34	越州窯系青磁(1)、滑石二次加工品(1)、布目庄痕土器(1)	掘立柱建物跡 38 号(P9)
P3654	A-34	布目庄痕土器(1)	
P3655	A-34	土師器(1)	
P3658	A-34	粘土塊(1)	
P3660	B-34	須恵器(1)	
P3661	A-30	炭化物(1)、土師器(9)、粘土塊(2)、布目庄痕土器(1)	
P3662	あ-33	輕石(1)	
P3672	L-33	粘土塊(3)	
P3674	L-33	粘土塊(1)	
P3680	乙-33	粘土塊(6)	
P3686	う-34	カムイヤキ(1)、土師器(2)、龍泉窯系青磁(1)	
P3688	う-34	カムイヤキ(1)、鉄滓(1)	
P3692	え-35	鉄滓(2)、粘土塊(3)	
P3693	え-34	粘土塊(1)	

第 152 表 ピット内出土遺物⑤

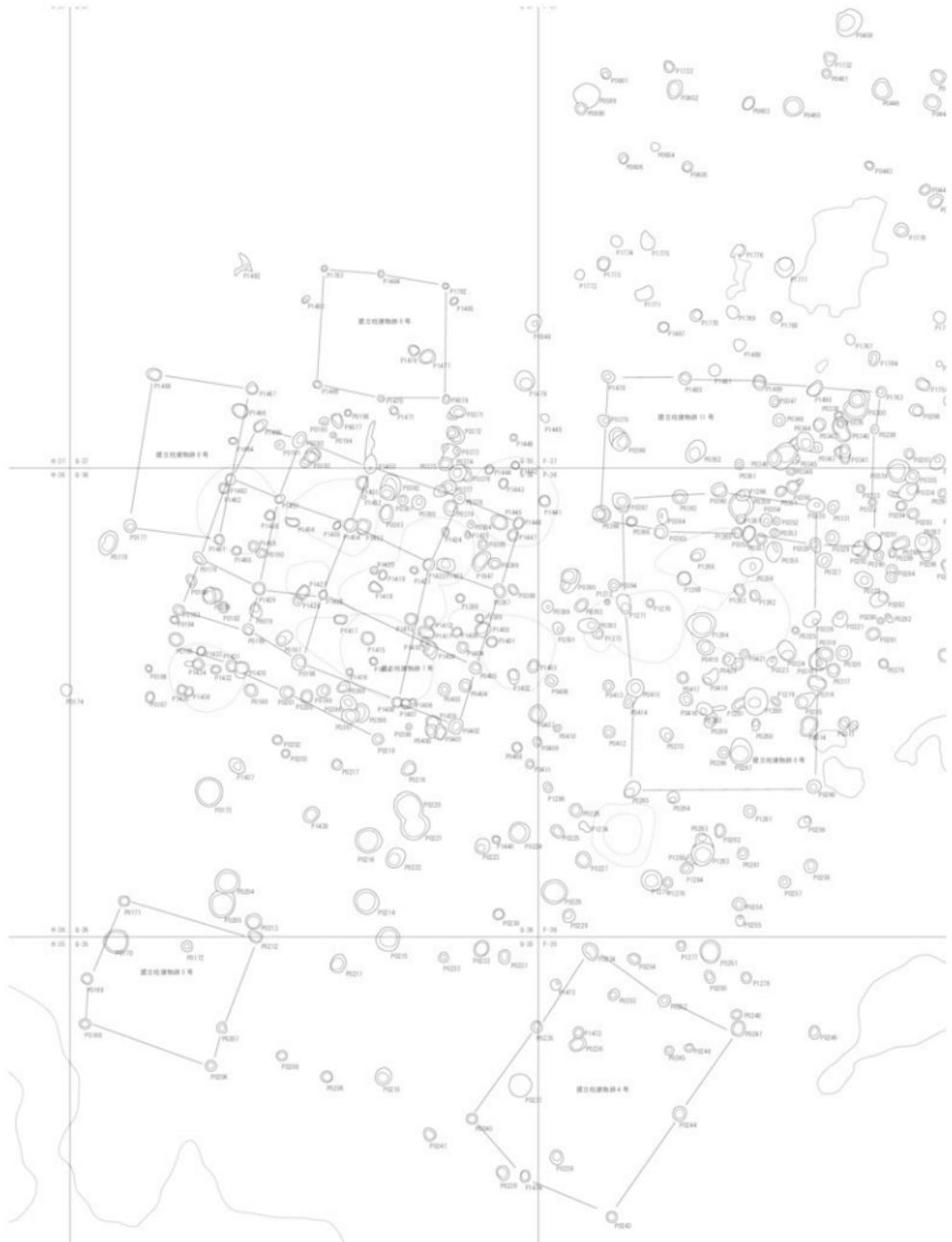
遺構 ID	グリッド	出土遺物	備考
P3695	え-35	魚骨(1)、粘土塊(2)	
P3696	え-35	土師器(1)、粘土塊(1)	
P3701	え-35	粘土塊(2)	
P3704	え-35	石器(4)、鉄滓(1)、土師器(3)、粘土塊(6)	
P3705	え-35	カムイヤキ(1)	
P3706	え-35	粘土塊(3)	
P3707	え-35	施釉陶磁器(1)、粘土塊(1)	
P3708	え-35	土師器(1)	
P3711	え-33	粘土塊(2)	
P3715	え-35	粘土塊(1)	
P3718	え-35	石器(2)、粘土塊(2)	
P3720	お-35	粘土塊(5)	
P3721	え-35	粘土塊(3)	
P3722	え-35	石器(1)	
P3724	お-35	カムイヤキ(1)、粘土塊(1)	
P3729	お-35	石器(2)	
P3731	お-35	粘土塊(6)	
P3732	え-35	粘土塊(4)	
P3735	え-35	石器(2)、白磁(2)	
P3736	え-36	施釉陶磁器(1)、石器(1)	
P3737	え-35	カムイヤキ(1)、施釉陶磁器(1)、龍泉窯系青磁(1)	
P3739	え-35	カムイヤキ(1)、鉄滓(1)、粘土塊(3)	
P3743	え-36	粘土塊(3)	
P3747	え-36	粘土塊(3)	
P3750	え-36	土師器(1)、粘土塊(1)	
P3754	C-34	石器(2)、粘土塊(1)	掘立柱建物跡 49 号(P2)
P3755	C-34	滑石製石鍋(1)、石器(1)、鉄滓(9)、土師器(2)、粘土塊(1)	
P3758	お-35	須恵器(1)、粘土塊(4)	
P3760	お-36	粘土塊(2)	
P3769	C-33	滑石製石鍋(1)、滑石二次加工品(1)、土師器(1)	掘立柱建物跡 44 号(P3)
P3771	か-42	鉄滓(1)、土師器(8)、粘土塊(7)	
P3773	こ-37	カムイヤキ(1)、施釉陶磁器(1)、石器(2)、鉄滓(1)、布目庄痕土器(1)	
P3774	え-35	粘土塊(6)	
P3776	え-35	染付(1)	
P3781	お-41	土師器(1)、粘土塊(6)	
P3784	き-41	粘土塊(5)	
P3789	A-32	石器(1)	
P3791	B-29	滑石製石鍋(1)、鉄滓(1)、土師器(1)、布目庄痕土器(6)	掘立柱建物跡 19 号(P1)
P3813	さ-37	土師器(2)	
P3815	さ-37	土師器(2)	
P3817	け-37	輕石(2)、鉄滓(2)	
P3823	か-42	土師器(3)、粘土塊(3)	
P3825	か-41	石器(2)、土師器(2)	
P3830	か-41	土師器(3)、粘土塊(1)	
P3855	き-35	滑石製石鍋(1)	
P3864	き-35	土師器(1)	
P3868	き-35	石器(1)、粘土塊(1)	
P3872	す-33	土師器(1)、粘土塊(1)、龍泉窯系青磁(1)	
P3875	き-35	須恵器(1)	
P3879	き-35	滑石製石鍋(1)、鉄滓(1)	
P3889	さ-37	粘土塊(2)	
P3892	さ-37	土師器(3)、粘土塊(1)	
P3897	さ-37	鉄滓(2)、粘土塊(2)、輪の羽口(1)	
P3899	さ-37	滑石製石鍋(1)、土師器(3)	
P3908	さ-37	カムイヤキ(1)、滑石製石鍋(1)、土師器(1)、白磁(1)	
P3910	さ-37	カムイヤキ(1)、石器(1)、土師器(1)	
P3927	お-35	粘土塊(6)	

第152図 詳細遺構配置図(1)



第153図 詳細造構配置図(2)

第154回 詳細遺構配置図(3)



第155図 詳細遮構配置図(4)

第156図 詳細構成図(5)





第158図 詳細造構配置図(7)